

日 時 令和4年3月29日（火曜日）午後3時00分～  
開催方法 WEB会議システムによる開催

## 第150回東京都自然環境保全審議会 会 議 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

- ・ 諮問第468号 第13次東京都鳥獣保護管理事業計画の策定について
- ・ 諮問第469号 第二種特定鳥獣管理計画（第6期東京都第二種シカ管理計画）の策定について

### 3 閉 会

#### 【資料】

- 資料 1-1 第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）に関するパブリックコメント等の結果
- 資料 1-2 第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（答申案）への主な修正点
- 資料 1-3 第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（答申案）
- 資料 2-1 第6期東京都第二種シカ管理計画（案）に関するパブリックコメント等の結果
- 資料 2-2 第6期東京都第二種シカ管理計画（答申案）
- 資料 2-3 資料編

- 参考資料 1-1 第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）に寄せられたパブリックコメント
- 参考資料 1-2 新旧対照表
- 参考資料 2 第6期東京都第二種シカ管理計画（案）に寄せられたパブリックコメント

# 【 第25期東京都自然環境保全審議会委員名簿 】

令和4年3月1日現在  
(敬称略)

|            | 氏 名         |                         |
|------------|-------------|-------------------------|
| 委 員        | ◎ 荒 井 步     | 東京農業大学教授                |
|            | ◎ 石 井 信 夫   | 東京女子大学名誉教授              |
|            | ◎ 板 寺 一 洋   | 神奈川県温泉地学研究所所長           |
|            | ◎ 井 本 郁 子   | 慶應義塾大学SFC研究所上席所員        |
|            | ◎ 木 川 田 喜 一 | 上智大学教授                  |
|            | ◎ 窪 田 ひろみ   | (一財)電力中央研究所上席研究員        |
|            | ◎ 佐 伯 いく代   | 筑波大学准教授                 |
|            | ◎ 鈴 木 雅 和   | 筑波大学名誉教授                |
|            | ◎ 高 橋 恒 彦   | (公社)東京都獣医師会業務執行理事       |
|            | ◎ 田 島 夏 与   | 立教大学教授                  |
|            | ◎ 田 尻 浩 伸   | (公財)日本野鳥の会自然保護室室長       |
|            | ◎ 濱 中 重 美   | むさし府中商工会議所会頭            |
|            | ◎ 益 子 保     | 益子温泉調査事務所代表             |
|            | ◎ 安 川 香 澄   | (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構特命審議役 |
|            | ◎ 山 崎 靖 代   | 東京都森林組合理事               |
|            | ◎ 山 崎 晃 司   | 東京農業大学教授                |
|            | ◎ 松 田 康 将   | 東京都議会議員                 |
|            | ◎ 森 村 隆 行   | 東京都議会議員                 |
|            | ◎ 古 城 ま さ お | 東京都議会議員                 |
|            | ◎ 里 吉 ゆ み   | 東京都議会議員                 |
|            | ◎ 関 口 健 太 郎 | 東京都議会議員                 |
|            | ◎ 保 坂 展 人   | 世田谷区長                   |
|            | ◎ 小 林 洋 子   | 小平市長                    |
|            | ◎ 師 岡 伸 公   | 奥多摩町長                   |
|            | ◎ 石 川 貴 善   | 都民委員                    |
|            | ◎ 芳 賀 勲     | 都民委員                    |
| ◎ 細 野 佳 苗  | 都民委員        |                         |
| ◎ 渡 辺 仁    | 都民委員        |                         |
| 臨 時<br>委 員 | ◎ 相 原 宏 次   | (一社)東京都農業会議事務局長         |
|            | ◎ 石 田 眞     | 東京都公衆浴場業生活衛生同業組合副理事長    |
|            | ◎ 一ノ瀬 友博    | 慶應義塾大学教授                |
|            | ◎ 小 林 達 明   | 千葉大学大学院教授               |
|            | ◎ 下 村 彰 男   | 國學院大学研究開発推進機構教授         |
|            | ◎ 須 田 真 一   | 東京大学総合研究博物館研究事業協力者      |
|            | ◎ 竹 下 祐 二   | 岡山大学学術研究院教授             |
|            | ◎ 布 山 裕 一   | 流通経済大学講師                |
|            | ◎ 八 尾 明     | (公社)東京都猟友会副会長・総務委員長     |
|            | ◎ 山 中 勤     | 筑波大学教授                  |

\* 委員28名 \* 臨時委員10名 ◎ 会長

## 第 13 次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）に関する パブリックコメント等の結果

### 1 パブリックコメント

#### (1) 意見募集期間

令和 4 年 2 月 10 日(木曜日)から令和 4 年 3 月 11 日(金曜日)まで(30 日間)

#### (2) 告知方法

プレス発表、東京都環境局ホームページへの掲載

#### (3) 意見提出方法

郵送又は電子メールによる

#### (4) 応募者数及び意見件数

応募者数 9 通、意見件数 24 件

#### (5) 主なご意見の概要と都の見解

類似のご意見は集約し、単なる計画の内容確認や計画の対象外であるご意見等は除いた結果、主な意見としては以下 6 つの事項である。

| No. | 意見内容   | 都の見解  | 計画案の修正            |
|-----|--|---|-------------------|
| 1   | 近年、ドバトへの餌やりについて、ふん害や通行障害など生活環境の悪化を懸念する苦情が多発し、対応に苦慮している。全都的に規制を検討してもらうとともに、検討材料とするため、ドバトの基礎や実態の調査を本計画の鳥獣管理対策調査等に盛り込んでいただきたい。      | ドバトに関する実態について、関係自治体と連携を図り、情報収集に努めていきます。   | 無                 |
| 2   | ムクドリとウミネコについて、個体数が減少傾向にあるため、安易に予察捕獲表へ新規追加し、捕獲しやすくすることには反対します。  | 安易な予察捕獲にならないよう、防除対策を含め適切に指導していきます。  | 無                 |
| 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツキノワグマの錯誤捕獲について把握しているか。</li> <li>・クマが市街地に出没した際に殺処分するのではなく、麻酔銃を用いて眠らせ、山に戻すべきだ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・錯誤捕獲について、関係部署と連携を図り、情報の蓄積に努めていきます。</li> <li>・本計画に記載のとおり、大型獣類の市街地出没への対応を強化していきます。</li> </ul> | <p>無</p> <p>無</p> |

| No. | 意見内容   | 都の見解  | 計画案の修正 |
|-----|--|---|--------|
| 4   | 小笠原諸島の概要に、世界的な希少海鳥種のおガサワラヒメミズナギドリ、おガサワラミズナギドリを追記すべきである。  | 希少海鳥種であるおガサワラヒメミズナギドリ及びおガサワラミズナギドリについて、追記します。 | 有      |
| 5   | 希少鳥獣保護調査において、生息状況の実態把握等を行うニホンカモシカ、アカガシラカラスバトに加え、おガサワラオオコウモリ、おガサワラカワラヒワ、おガサワラノスリ、おガサワラミズナギドリ、おガサワラヒメミズナギドリも調査の対象とすべきである。  | 希少鳥獣の実態把握について関連部署と連携を図り、情報収集に努めていきます。         | 無      |
| 6   | 小笠原諸島における鳥獣保護等の普及啓発に、「アカガシラカラスバトのガラス窓や建物への衝突、ハトやおガサワラオオコウモリの交通事故や人工ネットへの絡まり、粘着性ネズミトラップによる野鳥の誤捕獲、ミズナギドリ類の人工光誘引による不時着などについて、情報発信や啓発を図るにあたり、島内の行政及び民間の関係団体とも積極的に協働を図る。」を追記すべきである。 | 小笠原諸島における鳥獣保護等に関する普及啓発について、追記します。             | 有      |

## 2 庁内関係部局への意見照会

### (1) 協議先

産業労働局、水道局、建設局、港湾局、福祉保健局、教育庁

### (2) 照会結果

意見を踏まえ、文言整理、事実関係の追記を行った。(資料1-2 参照)

## 第 13 次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）から（答申案）への主な修正点

※赤下線部が変更箇所

| 頁               | 新（答申案）  | 旧（案）  |  |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
|-----------------|---|---|--|-------------------|----|-----------------|-------|--|--|--|-------|----|-------------------|----|-----------------|-------|--|---------------------------------|
| 27              | <p>【2行目】⇒（文言の追加）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>年度</th> <th>防除方法の検討、個体数管理の実施等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンジカ<br/>(多摩地域)</td> <td>平成17～</td> <td>農林業被害調査<br/>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br/>個体数調整補償（市町村、地元親友会等）<br/>生息状況調査</td> <td>「第6期東京都第<br/>二種シカ管理計<br/>画」及び第5次東<br/>区部農林業被害対<br/>策基本計画に基づ<br/>く事業</td> </tr> </tbody> </table> | 対象鳥獣名   | 年度   | 防除方法の検討、個体数管理の実施等 | 備考 | ニホンジカ<br>(多摩地域) | 平成17～ | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br>個体数調整補償（市町村、地元親友会等）<br>生息状況調査 | 「第6期東京都第<br>二種シカ管理計<br>画」及び第5次東<br>区部農林業被害対<br>策基本計画に基づ<br>く事業 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>年度</th> <th>防除方法の検討、個体数管理の実施等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンジカ<br/>(多摩地域)</td> <td>平成17～</td> <td>農林業被害調査<br/>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br/>個体数調整補償（市町村、地元親友会等）<br/>生息状況調査</td> <td>「第6期東京都第<br/>二種シカ管理計<br/>画」に基づく事業</td> </tr> </tbody> </table> | 対象鳥獣名 | 年度 | 防除方法の検討、個体数管理の実施等 | 備考 | ニホンジカ<br>(多摩地域) | 平成17～ | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br>個体数調整補償（市町村、地元親友会等）<br>生息状況調査 | 「第6期東京都第<br>二種シカ管理計<br>画」に基づく事業 |
| 対象鳥獣名           | 年度  | 防除方法の検討、個体数管理の実施等   | 備考   |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
| ニホンジカ<br>(多摩地域) | 平成17～   | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br>個体数調整補償（市町村、地元親友会等）<br>生息状況調査  | 「第6期東京都第<br>二種シカ管理計<br>画」及び第5次東<br>区部農林業被害対<br>策基本計画に基づ<br>く事業 |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
| 対象鳥獣名           | 年度  | 防除方法の検討、個体数管理の実施等   | 備考   |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
| ニホンジカ<br>(多摩地域) | 平成17～   | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br>個体数調整補償（市町村、地元親友会等）<br>生息状況調査  | 「第6期東京都第<br>二種シカ管理計<br>画」に基づく事業                                |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
| 51              | <p>【13行目】⇒（文言の追加）</p> <p>わな猟について ICT 等を活用した捕獲技術の普及及び錯誤捕獲の少ないくりわなやはこわなの改良について<u>開発された技術の普及・導入などを</u>検討する。</p>  | <p>わな猟について ICT 等を活用した捕獲技術の普及及び錯誤捕獲の少ないくりわなやはこわなの改良について検討する。</p>   |  |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
| 51              | <p>【20行目】⇒（文言の整理）</p> <p>生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害等を及ぼす鳥獣の被害発生メカニズムを明らかにし、ICT等の新たな技術も活用しながら、被害の防止、鳥獣の忌避や追い払いなど<u>技術開発について検討し、</u>普及に努める。</p>   | <p>生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害等を及ぼす鳥獣の被害発生メカニズムを明らかにし、ICT等の新たな技術も活用しながら、被害の防止、鳥獣の忌避や追い払いなどの技術開発を進め、普及に努める。</p> |  |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
| 60              | <p>【1行目】⇒（文言の追加）</p> <p>家畜衛生部局、保健所、<u>区市町村</u>等と連携し、発生時には迅速な対応を行う。</p>  | <p>家畜衛生部局、保健所、市町村等と連携し、発生時には迅速な対応を行う。</p>   |  |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |
| 60              | <p>【8行目】⇒（文言の追加）</p> <p>平成30年に国内で26年ぶりに発生して以降、野生イノシシにおける豚熱（CSF）感染が継続して確認されている。<u>都内でも令和2年に野生イノシシでの本病の感染が確認されていること</u>から、</p>  | <p>平成30年に国内で26年ぶりに発生して以降、野生イノシシにおける豚熱（CSF）感染が継続して確認されていることから、</p>                                       |  |                   |    |                 |       |  |  |  |       |    |                   |    |                 |       |  |                                 |

| 頁  | 新（答申案）   | 旧（案）  |
|----|--|---|
| 60 | <p>【29 行目】⇒（文言の整理）</p> <p><u>重要な家畜伝染病（例：口蹄疫等）、既に国内での感染者が見られている野生鳥獣と人・家畜との間で伝播する感染症（例：SFTS（重症熱性血小板減少症候群）等）、国内での感染は確認されていないが発生した場合に家畜や希少鳥獣等への影響及び人への感染が懸念される感染症（例：ウエストナイル熱等）については、</u></p>   | <p><u>例えば、口蹄疫等の家畜伝染病や、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）等の既に国内での感染者が見られている野生鳥獣と人・家畜の間で伝播する感染症、ウエストナイル熱等のこれまで国内での感染は確認されていないが、国内で発生した場合に家畜や希少鳥獣等への影響が懸念される感染症について、</u></p>   |
| 61 | <p>【10 行目】⇒（文言の整理）</p> <p><u>都内及び周辺県で家畜伝染病予防法（昭和 26 年法律第 166 号）第 3 条の 2 に規定する特定家畜伝染病が発生している場合は、同病に感受性の高い鳥獣の監視に努めるとともに、同病の感染が疑われる際は、家畜衛生部局等（産業労働局）と調整し、適切な対応を図る。</u></p> <p><u>(5) 感染症にり患した傷病鳥獣保護個体への対応</u></p> <p><u>傷病鳥獣を保護した際には、必要に応じて搬入後速やかに隔離し、感染症の有無を確認する。感染症にり患している可能性がある場合には検査を実施し、家畜伝染病予防法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）、狂犬病予防法（昭和 25 年法律第 247 号）等の関係法令等の規定に従い適切に対処するとともに、第九の 1 の</u></p> <p><u>(2) ②若しくは③に基づき対応する。</u></p> | <p>周辺県で家畜伝染病予防法（昭和 26 年法律第 166 号）第 2 条に規定する家畜伝染病が発生している場合において、同病に感受性の高い鳥獣の個体が確認された場合には、その症状等に十分留意し、同病の感染が疑われる際は、家畜衛生部局等（産業労働局）と調整し、適切な対応を図る。</p> <p><u>また、保護個体については、必要に応じて搬入後速やかに隔離及び検査を行い、人獣共通感染症の有無を把握し、感染の可能性がある場合には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法等の関係法令等の規定に従い、適切に対処する。</u></p> |
| 65 | <p>【13 行目】⇒（文言の追加）</p> <p>その特異な島の成り立ちから、クロアシアホウドリ、コアホウドリ、<u>オガサワラヒメミズナギドリ</u>等の海鳥類の重要な繁殖地であるとともに、アカガシラカラスバト、オガサワラオオコウモリ等の東京都レッドデータブックに記載されている希少な鳥獣も数多く生息する。<u>また、近年、小笠原諸島のセグロミズナギドリが、他地域とは遺伝的に異なる固有種であることが明らかとなった。</u></p>   | <p>その特異な島の成り立ちから、クロアシアホウドリ、コアホウドリ等の海鳥類の重要な繁殖地であるとともに、アカガシラカラスバト、オガサワラオオコウモリ等の東京都レッドデータブックに記載されている希少な鳥獣も数多く生息する。</p>   |

| 頁  | 新（答申案）  | 旧（案）  |
|----|---|---|
| 68 | <p>【23 行目】⇒（文言の追加）</p> <p>また、国による「ボランティアによる外来植物の駆除ツアー」や村による「飼いネコのマイクロチップの装着」等、島内外の協力による取組が実施されている。</p> <p><u>アカガシラカラスバトの建物のガラス窓等への衝突、オガサワラオオコウモリの交通事故や農業用ネット等への絡まり、ミズナギドリ類の人工光誘引による不時着など、小笠原特有の鳥獣保護対策について、島内の行政機関、民間の関係団体及び島民と連携して取り組む。</u></p> | <p>また、国による「ボランティアによる外来植物の駆除ツアー」や村による「飼いネコのマイクロチップの装着」等、島内外の協力による取組が実施されている。</p> |

# 第13次東京都鳥獣保護管理事業計画 (答申案)

令和4年4月1日から

5年間

令和9年3月31日まで

東京都

第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）に寄せられたパブリックコメント

| 通し番号 | 該当箇所  |       |                               | ご意見内容   | 都の見解   | 修正の有無 |
|------|-------|-------|-------------------------------|---|--|-------|
|      | ページ   | 行     | 項目                            |   |  |       |
| 1    | 25    | -     | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項     | ウミネコについては「個体（雛のみ）、卵」と記載され、ドバトについては「個体、卵」と記載されているが、これは単純に「ウミネコの成鳥の駆除は許可されない」「ドバトの成鳥の駆除は許可される場合がある」という理解でよいか。   | 鳥獣保護管理法第9条第3項に該当しないことが前提となりますが、予察捕獲の考えに基づく許可申請の場合、ウミネコの成鳥を対象とした捕獲は許可いたしません。一方で、ドバトの場合は成鳥も捕獲許可の対象となります。   | 無     |
| 2    | 28    | 12～19 | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項     | ドバトの成鳥の駆除が23区内の銃猟禁止区域で許可される場合、P28(ア)a及びbにある手捕りまたは手持ちの網（つき網やたも網等）または捕獲器を用いた捕獲という理解でよいか。例えば、むそう網の使用は許可されるものであるか。また、それらの捕獲方法については23区内の専門業者が例年許可を受けているものであるか。   | 23区内は特定猟具使用禁止区域に指定されているとともに、第38条第2項にも該当すると解されます。そのため、手取り、手持ちの網及び捕獲器での捕獲が想定されます。また、むそう網をはじめ、法定の網猟具を使用した捕獲は、網猟免許を所持する者により、捕獲実施区域周辺にいる人への安全性が担保されるなど、適切な申請内容であると判断された場合には許可されることがあります。専門業者の許可については、本計画への意見には関係しないため、回答はいたしかねます。 | 無     |
| 3    | 27    | -     | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項     | ドバトは、本文中で都心部を中心に生活環境被害が顕著であり、かつ個体数の異常な増加と記載されているが、防除方法の検討、個体数管理の実施等の計画を示した第8表に含まれていないのは何故か。   | ドバトに関する実態について、関係自治体と連携を図り、情報収集に努めていきます。  | 無     |
| 4    | 24～25 | -     | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項     | ムクドリは、世界的な分布は極東に偏り、個体数は減少傾向にある。駅前などの繁華街でのねぐらの増加は無理な追い出しによる人為的なものとされており、決して個体数が増えたためではありません。駅前などのねぐらは来る前の対策が大切で、来てからの対策では防ぐことはできません。安易に予察捕獲表へ新規追加し捕獲しやすくすることには反対します。   | 安易な予察捕獲にならないよう、防除対策を含め適切に指導してまいります。  | 無     |
| 5    | 24～25 | -     | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項     | ウミネコは、世界的に見ても分布が極東に偏り、個体数も多くなく、分布は広がっているものの個体数は減少している可能性があると考えられている。ウミネコはなるべく個体数が減らないようにする注意が必要で、ビルの屋上で繁殖させない方策を練るべきである。こちらも安易に予察捕獲表へ新規追加し捕獲しやすくすることには反対します。  | 安易な予察捕獲にならないよう、防除対策を含め適切に指導してまいります。  | 無     |
| 6    | 35    | 7     | その他、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項 | ツキノワグマについては錯誤捕獲が相当数あると思われます。これについて東京都は事実を把握しているのでしょうか。また、ツキノワグマが錯誤捕獲された場合の放獣についての記述がありません。東京都は錯誤捕獲に対する認識が低いと思われます。対応について記述すべきです。またくり罠は12cm以下、かつ真円とすべきです。  | 錯誤捕獲について、関係部署と連携を図り、情報の蓄積に努めてまいります。また、くりわなの使用については、国の方針等を踏まえ、適切に指導してまいります。   | 無     |
| 7    | -     | -     | -                             | 東京都のツキノワグマに対する対応について、公務員としての義務を果たすべきである。  | 引き続き、ツキノワグマへの適切な対応に努めてまいります。   | 無     |
| 8    | 27    | -     | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項     | 近年、鳩（ドバト）への餌やりについて、ふん害や通行障害など生活環境の悪化を懸念する苦情が多発しており、対応に苦慮している。一部の自治体では給餌行為を禁止することや給餌した際の清掃を義務付けているが、広範囲に移動が可能な鳥類への給餌行為等を規制するには一自治体ではなく広域的な対応が必要と考える。そのため、全都的に給餌行為に対する規制を設けることを検討してもらうとともに、検討材料とするためのドバトの基礎調査や実態調査を本計画の鳥獣管理対策調査等に盛り込んでいただきたい。 | ドバトに関する実態について、関係自治体と連携を図り、情報収集に努めてまいります。   | 無     |
| 9    | 26    | 22    | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項     | 東京都内の一部区域にて営巣を繰り返しているウミネコについて、適正に管理すべきとの方針に賛成いたします。   | 種の個体数への影響を勘案しながら、適正に管理してまいります。   | 無     |

第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）に寄せられたパブリックコメント

| 通し番号 | 該当箇所 |      |                     | ご意見内容  | 都の見解  | 修正の有無 |
|------|------|------|---------------------|--|---|-------|
|      | ページ  | 行    | 項目                  |  |   |       |
| 10   | 46   | 24   | 鳥獣の生息状況の調査に関する事項    | 希少鳥獣保護調査の実態把握を行うニホンカモシカ、アカガシラカラスバトの2種に加えて、オガサワラオオコウモリ、オガサワラカワラヒワ、オガサワラノスリ、オガサワラミズナギドリ、オガサワラヒメミズナギドリ(いずれも、父島列島・母島列島で特に絶滅が危惧される小笠原固有の野生鳥獣)も定期的な調査対象として追加すべきである。  | 希少鳥獣の実態把握について、関係部署と連携を図り、情報収集に努めていきます。          | 無     |
| 11   | 52   | 第17表 | 鳥獣保護管理事業の実施体制に関する事項 | <p>●意見<br/>計画案では、専任0人、兼任1名とあるが、以下の人員を配置すべきである。<br/>専任2名(小笠原産業課 父島支庁及び、母島出張所)、<br/>又は専任1名、兼任1名(小笠原産業課 父島支庁及び、母島出張所)、<br/>又は兼任2名(小笠原産業課 父島支庁及び、母島出張所)</p> <p>●理由:<br/>世界で小笠原諸島にしか生息していない野生鳥獣について、適切で合理的な鳥獣保護管理事業を実施するための体制が明らかに不足しているため。</p>   | 人員の配置に関しては、本計画とは別に定めていることから、関係部署へ情報共有させていただきます。 | 無     |
| 12   | 55   | 10   | 鳥獣保護管理事業の実施体制に関する事項 | <p>●意見<br/>西多摩地域及び南多摩地域の記述に続けて、「小笠原諸島では、外来動物の作物被害や生態系被害がとともに固有動物の作物被害もあり、被害や生息状況等の調査等、鳥獣の適正な管理が求められ、担い手の育成が急務となっている。」を追記すべきである。</p> <p>●理由<br/>本事業計画の柱である、外来種対策と希少種の保護は、小笠原諸島においても非常に深刻な喫緊の課題となっており、取り組みの背景部分への記載は不可欠であるため。</p>  | 担い手の育成について、関係部署と連携を図り、情報収集に努めていきます。             | 無     |
| 13   | 56   | 6    | 鳥獣保護管理事業の実施体制に関する事項 | <p>●意見<br/>以下の挿入「又は外来種対策や鳥獣保護に係る職務を担当する」<br/>挿入位置:6行目:「都は、鳥獣の保護及び管理に関する部局に配置された「挿入位置」区市町村職員が。……」</p> <p>●理由<br/>町村によっては、鳥獣保護や外来種問題に取り組む部局が、必ずしも「鳥獣の保護及び管理に関する部局」と規定されていないため。</p>   | 「鳥獣の保護及び管理に関する部局」に外来種対策を担当する職員も含むものと考えております。    | 無     |
| 14   | 58   | 21   | 傷病鳥獣救護の基本的な対応に関する事項 | <p>●意見<br/>⑨の追記 又は「7 小笠原諸島における鳥獣保護等について」への追記<br/>⑨ 世界自然遺産の小笠原諸島では、世界的希少種や固有の鳥獣が多く生息している。このため、国設小笠原諸島鳥獣保護区の管理方針、他の野生鳥獣関係の事業、地域の実情等に合わせて、实际的で実行力のある傷病鳥獣救護を実施することとする。</p> <p>●理由<br/>本土を主題に設定されている鳥獣保護管理計画において、特に「傷病鳥獣救護の基本的な対応」は、世界自然遺産、小笠原諸島の実情に合わないことが多く、遺産登録前から大きな課題となっているため。</p> | 「傷病鳥獣救護の基本的な対応」については、鳥しよ部を含めた方針となっております。        | 無     |

第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）に寄せられたパブリックコメント

| 通し番号 | 該当箇所 |    |                      | ご意見内容   | 都の見解  | 修正の有無 |
|------|------|----|----------------------|---|---|-------|
|      | ページ  | 行  | 項目                   |   |   |       |
| 15   | 65   | 6  | 小笠原諸島における鳥獣保護等に関する事項 | <p>●意見 修文・追記<br/>                     (前文)小笠原諸島は、固有かつ希少な動植物が数多く生育する独特の生態系を有しており、平成23年6月にユネスコの世界自然遺産に登録された。一方、外来種等により多くの固有種が影響を受けている。本事業の対象である野生鳥獣には、世界的希少種や小笠原固有が非常に多く、人工照明、バードストライク、ネット絡まりなどの人為要因事故等が大きな脅威となっており、専門的な対応が必要である。世界的に希少な鳥獣の保護等のためには、中核施設の検討と、専門的かつ積極的な取組が必要である。</p> <p>●理由<br/>                     多くの世界的希少鳥獣の保護についての課題は、過去の傷病鳥獣対応の経緯から、すでに明らかである。今後は、希少種の収容施設や、生息鳥獣の実態把握を行い、明らかな課題を解決・軽減するために専門的な取り組みを実施する中核施設が必要である。</p>   | 希少鳥獣の保護について、関係部署と連携を図り、情報収集に努めていきます。                      | 無     |
| 16   | 65   | 9  | 小笠原諸島における鳥獣保護等に関する事項 | <p>●意見<br/>                     世界的な希少海鳥種の追記 オガサワラヒメミズナギドリ、オガサワラミズナギドリ</p> <p>●理由<br/>                     近年明らかになった世界的な希少種の記述が追記されていない。オガサワラヒメミズナギドリの生息確認という世界的ニュースは2012年。オガサワラミズナギドリへの種名変更(セグロミズナギドリではなく小笠原固有種であることが判明)が提案されたのは2019年であり、第12次計画施工中の出来事である。両種とも世界的な希少種でかつ、小笠原諸島のみで生息する日本固有種である。文章量、種名の列記に問題がある場合には、日本の他の島嶼でも繁殖するクロアシアホウドリの記述を割愛しても、前述の世界的に希少なミズナギドリ類を追記すべきである。</p>  | 希少海鳥種であるオガサワラヒメミズナギドリ及びオガサワラミズナギドリについて、追記いたします。           | 有     |
| 17   | 67   | 32 | 小笠原諸島における鳥獣保護等に関する事項 | <p>●意見 以下の追記。<br/>                     ペットとして飼われていたヘビの逸失事件が発生している。ペット由来の外来種の発生を防ぐためにペット条例の施行が準備されているが、は虫類が野生化した場合の影響の大きさから実行力のある対策が喫緊の課題となっている。</p> <p>●理由<br/>                     奇跡的な発見・回収により逸失は免れたが、回収できなかった場合、第12次計画実施期間並びに、世界自然遺産登録後10年間における最悪の新たな外来問題となりうる案件であった。第13次計画期間中に、未然に防止が必要な最大の外来種問題である。</p>  | ペットの逸出防止は、動物愛護管理法に基づく、愛玩動物の適切な管理となります。関係部署へ情報共有させていただきます。 | 無     |
| 18   | 68   | 3  | 小笠原諸島における鳥獣保護等に関する事項 | <p>●意見 以下の追記。<br/>                     アカガシラカラスバトで多発している、ガラス窓や建物への衝突、また、同様にハトやオガサワラオオコウモリにおいて増加傾向にある交通事故の減少に向けて、積極的な掲示や啓発を図る。オオコウモリの最大の脅威となっている人工ネットについても、事故防止のための情報発信を行う。多発している粘着性ネズミトラップによる野鳥の誤捕獲についても情報発信や啓発を図る、さらに、小笠原の傷病鳥獣について、もっとも発生頻度が高いミズナギドリ類の人工光誘引による不時着について、海鳥の習性の解説などの啓発を行う。これらの取り組みにあたっては、島内の行政及び民間の関係団体とも積極的に協働を図る。</p> <p>●理由<br/>                     記述されている内容の多くは、他事業で実施されている普及啓発であり、実際に鳥獣保護管理事業で取り組まれている、あるいは取り組むべき事柄の記述が少ない。特に、島内外でも評価を得ている小笠原独自の普及啓発の取り組みについて記載がないことについては事業計画案の立場を不明瞭にしており、改善すべきと思う。</p> | 小笠原諸島における鳥獣保護等に関する普及啓発について、追記いたします。                       | 有     |

第13次東京都鳥獣保護管理事業計画（案）に寄せられたパブリックコメント

| 通し番号 | 該当箇所 |    |                           | ご意見内容  | 都の見解                                 | 修正の有無 |
|------|------|----|---------------------------|--|--------------------------------------|-------|
|      | ページ  | 行  | 項目                        |  |                                      |       |
| 19   | 14   | 31 | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項 | クマがよく街中に出てきて、ニュースになり、マスコミやテレビカメラが追いかけて回して結局猟友会が射殺してしまう報道を見ますが、殺さず麻酔銃で眠らせ山へ戻す手段をとって下さい。熊にはゾーニングの区別は出来ませんし、人間を傷つけたくて人間の住処に来るわけではありません。人間の側に来たら排除されるのは、人間の側の都合ですので、人間との共存、熊との棲み分けが出来るように人間の工夫が必要になります。共存共生を第一の目的として下さい。   | 本計画に記載のとおり、大型獣類の市街地出没への対応を強化していきます。  | 無     |
| 20   | 59   | 21 | 感染症への対応に関する事項             | 日本の畜産の環境といえば、海外ではもう続々と禁止になっているパタリーケージによる、採卵鶏の密飼いや、豚のストール飼育など、非常に家畜を苦しめストレスを与える飼いがほとんどです。実際、ストレスによる常同行動を起こす動物がほとんどなのではないでしょうか、そのような環境では伝染病も蔓延しやすく、豚熱など発生すると、全てとても残酷な方法により殺処分となってしまう、この負の連鎖を断ち切らなければいつまでたっても動物を苦しめ、殺す事に膨大な税金を使うことになってしまいます。環境を整え、動物を苦しめない、負担のない環境にシフトしていかなければいつまでも同じことの繰り返しであると思う。 | 畜産、衛生関連となりますので、関係部署へ情報共有させていただきます。   | 無     |
| 21   | 17   | 31 | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項 | (意見)<br>くくりわなを使用禁止猟具とする。<br>(理由)<br>くくりわなは無差別に動物を捕まえ、脚を失う動物を生み出し、じわじわと死に至らしめる残酷なわなであるから、使用禁止猟具として下さい。  | くくりわなの使用については、国の方針等を踏まえ、適切に指導していきます。 | 無     |
| 22   | —    | —  | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項 | 東京農大教授の山崎 晃司氏の論文「錯誤捕獲問題から目をそらし続けることはできない」(哺乳類科学 60(2):321-326, 2020)を鳥獣保護管理事業計画に反映していただきたい。  | 本計画の策定に当たり、当該論文も参考とさせていただいております。     | 無     |
| 23   | —    | —  | 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項 | 国際都市の責務として、野生動物を捕殺するのではなく保護に重点を置くべきである。  | 引き続き、適切な野生鳥獣の保護管理に努めていきます。           | 無     |
| 24   | —    | —  | —                         | ジビエは人獣共通感染症やコロナ禍のリスク軽減のため推奨すべきではない。  | 畜産、衛生関連となりますので、関係部署へ情報共有させていただきます。   | 無     |

| 新 (第 13 次東京都鳥獣保護管理事業計画)   | 旧 (第 12 次鳥獣保護管理事業計画)   | 備考  |
|---|--|---|
| <p style="text-align: center;"><b>第 <u>13</u> 次<u>東京都</u>鳥獣保護管理事業計画</b></p> <p style="text-align: center;"><u>令和 4</u> 年 4 月 1 日から<br/>5 年間<br/><u>令和 9</u> 年 3 月 31 日まで</p> <p style="text-align: center;">東京都</p> | <p style="text-align: center;"><b>第 <u>12</u> 次鳥獣保護管理事業計画</b></p> <p style="text-align: center;"><u>平成 29</u> 年 4 月 1 日から<br/>5 年間<br/><u>平成 34</u> 年 3 月 31 日まで<br/><u>(平成 30 年 3 月変更)</u></p> <p style="text-align: center;">東京都</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> |



新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考          |
|--|--|-------------|
| <p>(3) わなの使用に当たっての許可基準<br/>                     (4) 保護の必要性が高い種又は地域個体群に係る捕獲許可の考え方<br/>                     (5) 鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域に係る捕獲許可の考え方<br/>                     (6) 捕獲等又は採取等の情報の収集</p> <p>3 目的別の捕獲許可の基準<br/>                     3-1 学術研究を目的とする場合<br/>                     (1) 学術研究<br/>                     (2) 標識調査（環境省足環を装着する場合）</p> <p>3-2 鳥獣の保護を目的とする場合<br/>                     (1) 第一種特定鳥獣保護計画に基づく鳥獣の保護の目的<br/>                     (2) 鳥獣の保護に係る行政事務の遂行の目的<br/>                     (3) 傷病により保護を要する鳥獣の保護の目的</p> <p>3-3 鳥獣の管理を目的とする場合<br/>                     (1) 第二種特定鳥獣管理計画に基づく鳥獣の数の調整の目的<br/>                     (2) 鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害の防止の目的</p> <p>3-4 その他特別な事由の場合</p> <p>4 その他、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項<br/>                     4-1 捕獲許可した者への指導<br/>                     (1) 捕獲物又は採取物の処理等<br/>                     (2) 従事者の指揮監督<br/>                     (3) 危険の予防<br/>                     (4) 捕獲実施に当たっての留意事項<br/> <u>(5) 錯誤捕獲の防止</u></p> <p>4-2 許可権限の区市町村長への委譲<br/>                     4-3 鳥類の飼養登録<br/>                     4-4 販売禁止鳥獣等の販売許可<br/>                     (1) 許可の考え方<br/>                     (2) 許可の条件</p> <p>4-5 住居集合地域等における麻酔銃猟の実施に当たっての留意事項</p> <p>第五 特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限区域及び猟区に関する事項<br/>                     1 特定猟具使用禁止区域<br/>                     (1) 方針<br/>                     (2) 特定猟具使用禁止区域指定計画<br/>                     (3) 特定猟具使用禁止区域指定内訳</p> <p>2 特定猟具使用制限区域<br/>                     3 猟区の設定</p> | <p>(3) わなの使用に当たっての許可基準<br/>                     (4) 保護の必要性が高い種又は地域個体群に係る捕獲許可の考え方<br/>                     (5) 鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域に係る捕獲許可の考え方<br/>                     (6) 捕獲等又は採取等の情報の収集</p> <p>3 目的別の捕獲許可の基準<br/>                     3-1 学術研究を目的とする場合<br/>                     (1) 学術研究<br/>                     (2) 標識調査（環境省足環を装着する場合）</p> <p>3-2 鳥獣の保護を目的とする場合<br/>                     (1) 第一種特定鳥獣保護計画に基づく鳥獣の保護の目的<br/>                     (2) 鳥獣の保護に係る行政事務の遂行の目的<br/>                     (3) 傷病により保護を要する鳥獣の保護の目的</p> <p>3-3 鳥獣の管理を目的とする場合<br/>                     (1) 第二種特定管理計画に基づく鳥獣の数の調整の目的<br/>                     (2) 鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害の防止の目的</p> <p>3-4 その他特別な事由の場合</p> <p>4 その他、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項<br/>                     4-1 捕獲許可した者への指導<br/>                     (1) 捕獲物又は採取物の処理等<br/>                     (2) 従事者の指揮監督<br/>                     (3) 危険の予防<br/>                     (4) 捕獲実施に当たっての留意事項</p> <p>4-2 許可権限の区市町村長への委譲<br/>                     4-3 鳥類の飼養登録<br/>                     4-4 販売禁止鳥獣等の販売許可<br/>                     (1) 許可の考え方<br/>                     (2) 許可の条件</p> <p>4-5 住居集合地域等における麻酔銃猟の実施に当たっての留意事項</p> <p>第五 特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限区域及び猟区に関する事項<br/>                     1 特定猟具使用禁止区域<br/>                     (1) 方針<br/>                     (2) 特定猟具使用禁止区域指定計画<br/>                     (3) 特定猟具使用禁止区域指定内訳</p> <p>2 特定猟具使用制限区域<br/>                     3 猟区の設定</p> | <p>(新設)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p>4 指定猟法禁止区域</p> <p>第六 特定計画の作成に関する事項</p> <p>1 計画作成の目的</p> <p>2 対象鳥獣の単位</p> <p>(1) 第一種特定鳥獣保護計画</p> <p>(2) 第二種特定鳥獣管理計画</p> <p>3 計画期間</p> <p>4 対象区域</p> <p>5 計画の目標</p> <p>6 保護事業又は管理事業</p> <p>(1) 個体群管理</p> <p>(2) 生息環境管理</p> <p>(3) 被害防除対策</p> <p>7 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施に関する事項</p> <p>8 計画の記載項目及び様式</p> <p>(1) 第一種特定鳥獣保護計画の記載事項</p> <p>(2) 第二種特定鳥獣管理計画の記載事項</p> <p>9 計画の作成及び実行手続</p> <p>(1) 検討会・連絡協議会の設置</p> <p>(2) 関係地方公共団体との協議</p> <p>(3) 利害関係人の意見の聴取</p> <p>(4) 計画の決定及び公表・報告</p> <p>(5) 計画に関する年度別実施計画の作成</p> <p>10 計画の評価・見直し</p> <p>11 計画の実行体制の整備</p> <p>第七 鳥獣の生息状況の調査に関する事項</p> <p>1 基本方針</p> <p>2 鳥獣保護対策調査</p> <p>(1) 鳥獣生息分布調査</p> <p>(2) 希少鳥獣保護調査</p> <p>(3) ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査</p> <p>3 鳥獣保護区等の指定及び管理状況に関する調査</p> <p>4 狩猟対策調査</p> <p>(1) 狩猟鳥獣生息調査</p> <p>(2) 狩猟実態調査</p> | <p>4 指定猟法禁止区域</p> <p>第六 特定計画に関する事項</p> <p>1 計画作成の目的</p> <p>2 対象鳥獣の単位</p> <p>(1) 第一種特定鳥獣保護計画</p> <p>(2) 第二種特定鳥獣管理計画</p> <p>3 計画期間</p> <p>4 対象地域</p> <p>5 計画の目標</p> <p>6 保護事業又は管理事業</p> <p>(1) 個体群管理</p> <p>(2) 生息環境管理</p> <p>(3) 被害防除対策</p> <p>7 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施に関する事項</p> <p>8 計画の記載項目及び様式</p> <p>(1) 第一種特定鳥獣保護計画の記載事項</p> <p>(2) 第二種特定鳥獣管理計画の記載事項</p> <p>9 計画の作成及び実行手続</p> <p>(1) 検討会・連絡協議会の設置</p> <p>(2) 関係地方公共団体との協議</p> <p>(3) 利害関係人の意見の聴取</p> <p>(4) 計画の決定及び公表・報告</p> <p>(5) 計画に関する実施計画の作成</p> <p>10 計画の見直し</p> <p>11 計画の実行体制の整備</p> <p>第七 鳥獣の生息状況の調査に関する事項</p> <p>1 基本方針</p> <p>2 鳥獣保護対策調査</p> <p>(1) 鳥獣生息分布調査</p> <p>(2) 希少鳥獣保護調査</p> <p>(3) ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査</p> <p>3 鳥獣保護区等の指定及び管理状況に関する調査</p> <p>4 狩猟対策調査</p> <p>(1) 狩猟鳥獣生息調査</p> <p>(2) 狩猟実態調査</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|--|--|---|
| <p>5 鳥獣管理対策調査<br/>           (1) 調査の概要</p> <p>6 法に基づく諸制度の運用状況調査<br/>           (1) 捕獲等情報収集調査<br/>           (2) 制度運用の概況情報</p> <p>7 新たな技術についての<u>検討・普及</u><br/>           (1) 捕獲、調査等に係る技術の<u>検討・普及</u><br/>           (2) 被害防除対策に資する<u>検討・普及</u><br/>           (3) 捕獲個体の活用や処分に係る<u>検討・普及</u></p> <p>第八 鳥獣保護管理事業の実施体制に関する事項</p> <p>1 鳥獣行政担当職員<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 配置計画<br/>           (3) 研修計画</p> <p>2 鳥獣保護<u>管理推進員</u><br/>           (1) 方針<br/>           (2) 配置計画<br/>           (3) 年間活動計画<br/>           (4) 研修計画</p> <p>3 保護及び管理の担い手の育成<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 人材の育成及び配置<br/>           (3) 研修計画</p> <p>4 鳥獣保護施設等について</p> <p>5 取締り<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 年間計画</p> <p>6 必要な財源の確保</p> <p>第九 その他</p> <p>1 傷病鳥獣救護の基本的な対応<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 傷病鳥獣保護の実施</p> <p>2 油等による汚染に伴う水鳥の救護<br/>           (1) 連絡体制の整備<br/>           (2) 事故発生時の対応</p> | <p>5 鳥獣管理対策調査<br/>           (1) 調査の概要</p> <p>6 法に基づく諸制度の運用状況調査<br/>           (1) 捕獲等情報収集調査<br/>           (2) 制度運用の概況情報</p> <p>7 新たな技術についての<u>検討</u><br/>           (1) 捕獲、調査等に係る技術の<u>検討</u><br/>           (2) 被害防除対策に資する<u>検討</u><br/>           (3) 捕獲個体の活用や処分に係る<u>検討</u></p> <p>第八 鳥獣保護管理事業の実施体制に関する事項</p> <p>1 鳥獣行政担当職員<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 配置計画<br/>           (3) 研修計画</p> <p>2 鳥獣保護<u>管理員</u><br/>           (1) 方針<br/>           (2) 配置計画<br/>           (3) 年間活動計画<br/>           (4) 研修計画</p> <p>3 保護及び管理の担い手の育成<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 人材の育成及び配置<br/>           (3) 研修計画</p> <p>4 鳥獣保護施設等について</p> <p>5 取締り<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 年間計画</p> <p>6 必要な財源の確保</p> <p>第九 その他</p> <p>1 傷病鳥獣救護の基本的な対応<br/>           (1) 方針<br/>           (2) 傷病鳥獣保護の実施</p> <p>2 油等による汚染に伴う水鳥の救護<br/>           (1) 連絡体制の整備<br/>           (2) 事故発生時の対応</p> | <p>(変更)<br/>           (変更)<br/>           (変更)<br/>           (変更)</p> <p>(変更)</p> |



新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p>はじめに</p> <p>人と野生鳥獣との共生の確保及び生物多様性の保全を<b>基本とし</b>、野生鳥獣を適切に保護及び管理することを<b>を目的として</b>、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」（平成14年法律第88号。以下「<b>鳥獣保護管理法</b>」という。）第4条第1項の規定により、国が定める「鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針」（<b>令和3</b>年環境省告示第<b>69</b>号）」に基づき、東京都（以下「都」という。）の地域事情を勘案して、「第<b>13</b>次<b>東京都</b>鳥獣保護管理事業計画」を定める。</p> <p><b>第一 計画の期間</b></p> <p>計画の期間は、<b>令和4年</b>4月1日から<b>令和9年</b>3月31日までの5年間とする。</p> <p><b>第二 鳥獣保護区、特別保護地区及び休猟区に関する事項</b></p> <p><b>1 鳥獣保護区の指定</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>① 指定に関する中長期的な方針</p> <p>鳥獣保護区は、狩猟を禁止し、鳥獣の安定した生存を確保するとともに、多様な鳥獣の生息環境を保全、管理及び整備することにより、鳥獣の保護を図ることを目的とする。これまで、河川敷、比較的規模の大きな緑地等、鳥獣の保護繁殖に有益な区域を中心に鳥獣保護区<b>39</b>か所を指定し、その面積の<b>割合</b>は都の全面積の約<b>22</b>%となっている。</p> <p>今後、鳥獣の生息環境だけでなく、昆虫類、両生類、は虫類、植物等の多様な生物の生息及び生育の場としての視点も加え、生物多様性の保全に資するような保護区の指定に努めていく。</p> <p>また、本計画期間中において指定期間が満了する既指定保護区については、地域の自然的社会的状況を踏まえ、期間や区域の変更等も含めた検討を行った上で、原則として更新を行う。</p> <p>鳥獣保護区及び特別保護地区においては、指定期間が長期にわたるため、指定期間中に自然的社会的状況が変化し<b>指定時当初</b>の要件から外れてしまうことが考えられる。このため、指定の更新期だけでなく、指定期間半ばにおいても現況調査等を行い、必要に応じて管理計画や区域の見直し、解除等を検討していく。</p> <p>なお、鳥獣保護区及び特別保護地区の指定に当たっては、関係地方公共団体、鳥獣の専門家、農林水産業団体、狩猟者団体、自然保護団体等の地域の関係者の合意形成に努める。その際には、地域の自然的社会的特性を踏まえ農林水産業等の人間活動と鳥獣との共存を図るよう十分留意する。特に、区域周辺で鳥獣による農林水産業等の被害を受けた場合には、鳥獣保護区内における鳥獣の管理のための捕獲の実施等、関係者の理解が得られるよう適切な対応に努める。</p> <p>行政区界に接して鳥獣保護区を指定する場合にあっては、隣接する自治体間で相互に連絡調整を図るよう努める。</p> <p>また、鳥獣保護区は、河川、海岸線、山稜線、道路、鉄道その他現地で容易に確認できる区域線により区分け<b>するよう</b>努める。</p> <p>なお、島しょに位置する鳥獣保護区では、指定の目的を勘案<b>し</b>、周辺海域を含めた必要な範囲の指定に努める。</p> | <p>はじめに</p> <p>人と野生鳥獣との共生の確保及び生物多様性の保全を<b>基本として</b>、野生鳥獣を適切に保護及び管理することを<b>により</b>、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号。以下「<b>法</b>」という。）第4条第1項の規定により、国が定める「鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針」（<b>平成28</b>年環境省告示第<b>100</b>号）」に基づき、東京都（以下「都」という。）の地域事情を勘案して、「第<b>12</b>次鳥獣保護管理事業計画」を定める。</p> <p><b>第一 計画の期間</b></p> <p>計画の期間は、<b>平成29年</b>4月1日から<b>平成34年</b>3月31日までの5年間とする。</p> <p><b>第二 鳥獣保護区、特別保護地区及び休猟区に関する事項</b></p> <p><b>1 鳥獣保護区の指定</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>① 指定に関する中長期的な方針</p> <p>鳥獣保護区は、狩猟を禁止し、鳥獣の安定した生存を確保するとともに、多様な鳥獣の生息環境を保全、管理及び整備することにより、鳥獣の保護を図ることを目的とする。これまで、河川敷、比較的規模の大きな緑地等、鳥獣の保護繁殖に有益な区域を中心に鳥獣保護区<b>38</b>か所を指定し、その面積は都の全面積<b>に対し</b>約<b>24</b>%となっている。</p> <p>今後、鳥獣の生息環境だけでなく、昆虫類、両生類、は虫類、植物等の多様な生物の生息及び生育の場としての視点も加え、生物多様性の保全に資するような保護区の指定に努めていく。</p> <p>また、本計画期間中において指定期間が満了する既指定保護区については、地域の自然的社会的状況を踏まえ、期間や区域の変更等も含めた検討を行った上で、原則として更新を行う。</p> <p>鳥獣保護区及び特別保護地区においては、指定期間が長期にわたるため、指定期間中に自然的社会的状況が変化し<b>当初指定時</b>の要件から外れてしまうことが考えられる。このため、指定の更新期だけでなく、指定期間半ばにおいても現況調査等を行い、必要に応じて管理計画や区域の見直し、解除等を検討していく。</p> <p>なお、鳥獣保護区及び特別保護地区の指定に当たっては、関係地方公共団体、鳥獣の専門家、農林水産業団体、狩猟者団体、自然保護団体等の地域の関係者の合意形成に努める。その際には、地域の自然的社会的特性を踏まえ農林水産業等の人間活動と鳥獣との共存を図るよう十分留意する。特に、区域周辺で鳥獣による農林水産業等の被害を受けた場合には、鳥獣保護区内における鳥獣の管理のための捕獲の実施等、関係者の理解が得られるよう適切な対応に努める。</p> <p>行政区界に接して鳥獣保護区を指定する場合にあっては、隣接する自治体間で相互に連絡調整を図るよう努める。</p> <p>また、鳥獣保護区は、河川、海岸線、山稜線、道路、鉄道その他現地で容易に確認できる区域線により区分<b>可能な指定に</b>努める。</p> <p>なお、島しょに位置する鳥獣保護区では、指定の目的を勘案<b>して</b>、周辺海域を含めた必要な範囲の指定に努める。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p>1) 指定期間</p> <p>鳥獣の生息地及び生息環境を安定して保全する観点から、指定期間は20年以内と<b>するが</b>、鳥獣保護区の指定区分と生息する鳥獣の生息状況に合わせて、適切な期間を設定する。なお、地域の自然的社会的状況に応じて必要と認められる場合には、<b>適宜存続期間</b>の見直しを行う。</p> <p>2) 区域の指定及び見直し</p> <p>区域の指定及び見直しに当たっては、鳥獣の生息状況、生息環境等に関する科学的知見に基づいて、鳥獣の重要な生息地の把握に努め、地域の鳥獣の保護の見地から当該鳥獣の保護のために重要と認める区域を指定するとともに、地域全体の生物多様性の保全に資する観点から、偏りなく配置されるよう配慮する。</p> <p>3) 特別保護地区の指定</p> <p>鳥獣の生息環境を確保し、同時に鳥獣以外の生物を含めた地域の生物多様性の維持回復や向上にも資するため、鳥獣の保護又は鳥獣の生息地の保護を図るために特に必要な地域について、必要に応じて特別保護地区の指定に努める。</p> <p>4) 他の制度等との連携</p> <p><u>「自然公園法」</u>（昭和32年法律第161号）、<u>「文化財保護法」</u>（昭和25年法律第214号）等の他の制度によってまとまった面積が保護されている地域で鳥獣の保護上重要な地域については、できる限り鳥獣保護区に包含するよう考慮するとともに、特定猟具使用禁止区域等の狩猟鳥獣の捕獲を制限する区域とも関連づけられるように努める。<b><u>なお、「葛西海浜公園」の三枚洲部分は、スズガモやカンムリカイツブリのアジア地域個体群の1%以上が飛来し、越冬していることから、国際的にも重要な生息地となっているため、ラムサール条約湿地に登録されている。</u></b></p> <p>また、鳥獣の生息域を増やすため、森林整備等の取組との連携にも努める。</p> <p>5) 鳥獣保護区の指定による環境教育等への貢献</p> <p>地域の実情に応じ、人と自然との触れ合いの場又は鳥獣の観察や保護活動等を通じた環境教育の場を確保するため鳥獣保護区の指定に努める。</p> <p>6) 市街地の周辺における鳥獣保護区の指定</p> <p>都市における生活環境の改善等のため、鳥獣の誘致を図る必要がある場合には、既に鳥獣の生息に適している場所のみならず、今後、生息環境の整備等により鳥獣の生息状況の改善が見込まれる場所があれば、当該場所についても鳥獣保護区の指定に努める。</p> <p>② 指定区分ごとの方針</p> <p>1) 森林鳥獣生息地の保護区</p> <p>森林に生息する鳥獣の保護を図るため森林鳥獣生息地の保護区を指定し、地域における生物多様性の保全にも資する。</p> <p>森林面積のおおむね10,000haに1か所の割合で、次のアからウまでのいずれかの要件を満たす地域の中からできる限りまとまりをもった団地状（1か所当たり面積は300ha以上）として、かつ、低</p> | <p>1) 指定期間</p> <p>鳥獣の生息地及び生息環境を安定して保全する観点から、指定期間は20年以内と<b>し</b>、鳥獣保護区の指定区分と生息する鳥獣の生息状況に合わせて、適切な期間を設定する。なお、地域の自然的社会的状況に応じて必要と認められる場合には、<b>存続期間</b>の見直しを行う。</p> <p>2) 区域の指定及び見直し</p> <p>区域の指定及び見直しに当たっては、鳥獣の生息状況、生息環境等に関する科学的知見に基づいて、鳥獣の重要な生息地の把握に努め、地域の鳥獣の保護の見地から当該鳥獣の保護のために重要と認める区域を指定するとともに、地域全体の生物多様性の保全に資する観点から、偏りなく配置されるよう配慮する。</p> <p>3) 特別保護地区の指定</p> <p>鳥獣の生息環境を確保し、同時に鳥獣以外の生物を含めた地域の生物多様性の維持回復や向上にも資するため、鳥獣の保護又は鳥獣の生息地の保護を図るために特に必要な地域について、必要に応じて特別保護地区の指定に努める。</p> <p>4) 他の制度等との連携</p> <p>自然公園法（昭和32年法律第161号）、文化財保護法（昭和25年法律第214号）等の他の制度によってまとまった面積が保護されている地域で鳥獣の保護上重要な地域については、できる限り鳥獣保護区に包含するよう考慮するとともに、特定猟具使用禁止区域等の狩猟鳥獣の捕獲を制限する区域とも関連づけられるように努める。</p> <p><b><u>「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」</u>（ラムサール条約）に関しては、<u>ラムサール条約湿地潜在候補地として「東京湾の干潟・浅瀬」等が環境省により選定されており、都内候補地の登録については国に対してできる範囲で協力を行う。</u></b></p> <p>また、鳥獣の生息域を増やすため、森林整備等の取組との連携にも努める。</p> <p>5) 鳥獣保護区の指定による環境教育等への貢献</p> <p>地域の実情に応じ、人と自然との触れ合いの場又は鳥獣の観察や保護活動等を通じた環境教育の場を確保するため鳥獣保護区の指定に努める。</p> <p>6) 市街地の周辺における鳥獣保護区の指定</p> <p>都市における生活環境の改善等のため、鳥獣の誘致を図る必要がある場合には、既に鳥獣の生息に適している場所のみならず、今後、生息環境の整備等により鳥獣の生息状況の改善が見込まれる場所があれば、当該場所についても鳥獣保護区の指定に努める。</p> <p>② 指定区分ごとの方針</p> <p>1) 森林鳥獣生息地の保護区</p> <p>森林に生息する鳥獣の保護を図るため森林鳥獣生息地の保護区を指定し、地域における生物多様性の保全にも資する。</p> <p>森林面積のおおむね10,000haに1か所の割合で、次のアからウまでのいずれかの要件を満たす地域の中からできる限りまとまりをもった団地状（1か所当たり面積は300ha以上）として、かつ、低</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(削除)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考                      |
|---|--|-------------------------|
| <p>山帯から高山帯まで偏りなく当該保護区を設ける。また、必要に応じて、保護対象となる鳥獣を明らかにしつつ、これまで指定した鳥獣保護区の配置を踏まえ、その鳥獣の保護に適切かを考慮した上で、新規指定、存続期間の更新等を検討する。</p> <p>ア 多様な鳥獣が生息する地域<br/>イ 鳥獣の生息密度の高い地域<br/>ウ 天然林分布地域、森林地形が変化に富む地域、溪流又は沼沢を含む地域及び餌となる動植物が豊富な地域といった鳥獣の生息に適している地域</p> <p>なお、都内における指定基準数は8か所で、本計画開始時点での指定数は充足している。</p> <p>2) 大規模生息地の保護区</p> <p>行動圏が広域に及ぶ大型鳥獣をはじめその地域に生息する多様な鳥獣を保護するため、大規模生息地の保護区を指定し、地域の生物多様性の保全にも資する。</p> <p>次のアからウまでの要件に該当し、1か所当たりの面積は10,000ha以上とする。</p> <p>ア 猛禽類又は大型獣類を含む多様な鳥獣が生息する地域<br/>イ 暖帯林、温帯林、亜寒帯林等その地方を代表する森林植生が含まれる地域<br/>ウ 地形等の変化に富み、河川、湖沼、湿原等多様な環境要素を含む地域</p> <p>3) 集団渡来地の保護区</p> <p>集団で渡来する渡り鳥等及び海棲哺乳類（<u>鳥獣保護管理法</u>第80条第1項の規定に基づき環境省令で規定されるものは除く。）の保護を図るため、これらの渡来地である干潟、湿地、湖沼、岩礁等のうち必要な地域について、集団渡来地の保護区を指定する。指定に当たっては、次の要件のいずれかを満たす地域のうち必要な地域について選定し、その際には鳥類の渡りのルート等を踏まえた配置となるよう配慮するとともに、採餌又は休息の場、ねぐらとするための後背地、水面等も可能な限り含める。</p> <p>ア 現在、都内において、渡来する鳥獣の種数又は個体数の多い地域<br/>イ かつて、渡来する鳥類の種数又は個体数の多かった地域で、鳥類の渡りの経路上その回復が必要かつ可能と考えられる地域</p> <p>4) 集団繁殖地の保護区</p> <p>集団で繁殖する鳥類、コウモリ類及び海棲哺乳類の保護を図るため、島しょ、断崖、樹林、草原、砂地、洞窟等について、採餌、休息又はねぐらとするための後背地、水面等も含めて集団繁殖地の保護区を指定する。</p> <p>5) 希少鳥獣生息地の保護区</p> <p><u>鳥獣保護管理法</u>第2条第4項に規定する希少鳥獣等であって、環境省のレッドリストにおいて絶滅危惧Ⅰ類若しくはⅡ類に該当する鳥獣又は絶滅のおそれのある地域個体群として掲載されている鳥獣及び都内において同様な状況になっている鳥獣の保護を図るため、希少鳥獣生息地の保護区を指定する。</p> <p>6) 生息地回廊の保護区</p> <p>生息地が分断された鳥獣の保護を図るため、生息地間をつなぐ樹林帯や河畔林等であって鳥獣の移動経路となっている地域又は鳥獣の移動経路としての機能が回復する見込みのある地域のうち必要な</p> | <p>低山帯から高山帯まで偏りなく当該保護区を設ける。また、必要に応じて、保護対象となる鳥獣を明らかにしつつ、これまで指定した鳥獣保護区の配置を踏まえ、その鳥獣の保護に適切かを考慮した上で、新規指定、存続期間の更新等を検討する。</p> <p>ア 多様な鳥獣が生息する地域<br/>イ 鳥獣の生息密度の高い地域<br/>ウ 天然林分布地域、森林地形が変化に富む地域、溪流又は沼沢を含む地域及び餌となる動植物が豊富な地域といった鳥獣の生息に適している地域</p> <p>なお、都内における指定基準数は8か所で、本計画開始時点での指定数は充足している。</p> <p>2) 大規模生息地の保護区</p> <p>行動圏が広域に及ぶ大型鳥獣をはじめその地域に生息する多様な鳥獣を保護するため、大規模生息地の保護区を指定し、地域の生物多様性の保全にも資する。</p> <p>次のアからウまでの要件に該当し、1か所当たりの面積は10,000ha以上とする。</p> <p>ア 猛禽類又は大型獣類を含む多様な鳥獣が生息する地域<br/>イ 暖帯林、温帯林、亜寒帯林等その地方を代表する森林植生が含まれる地域<br/>ウ 地形等の変化に富み、河川、湖沼、湿原等多様な環境要素を含む地域</p> <p>3) 集団渡来地の保護区</p> <p>集団で渡来する渡り鳥等及び海棲哺乳類（<u>法</u>第80条第1項の規定に基づき環境省令で規定されるものは除く。）の保護を図るため、これらの渡来地である干潟、湿地、湖沼、岩礁等のうち必要な地域について、集団渡来地の保護区を指定する。指定に当たっては、次の要件のいずれかを満たす地域のうち必要な地域について選定し、その際には鳥類の渡りのルート等を踏まえた配置となるよう配慮するとともに、採餌又は休息の場、ねぐらとするための後背地、水面等も可能な限り含める。</p> <p>ア 現在、都内において、渡来する鳥獣の種数又は個体数の多い地域<br/>イ かつて、渡来する鳥類の種数又は個体数の多かった地域で、鳥類の渡りの経路上その回復が必要かつ可能と考えられる地域</p> <p>4) 集団繁殖地の保護区</p> <p>集団で繁殖する鳥類、コウモリ類及び海棲哺乳類の保護を図るため、島しょ、断崖、樹林、草原、砂地、洞窟等について、採餌、休息又はねぐらとするための後背地、水面等も含めて集団繁殖地の保護区を指定する。</p> <p>5) 希少鳥獣生息地の保護区</p> <p><u>法</u>第2条第4項に規定する希少鳥獣等であって、環境省のレッドリストにおいて絶滅危惧Ⅰ類若しくはⅡ類に該当する鳥獣又は絶滅のおそれのある地域個体群として掲載されている鳥獣及び都内において同様な状況になっている鳥獣の保護を図るため、希少鳥獣生息地の保護区を指定する。</p> <p>6) 生息地回廊の保護区</p> <p>生息地が分断された鳥獣の保護を図るため、生息地間をつなぐ樹林帯や河畔林等であって鳥獣の移動経路となっている地域又は鳥獣の移動経路としての機能が回復する見込みのある地域のうち必</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   |              |              |                |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  |      |              |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      | 備考   |      |      |      |      |      |
|--|--------------|--------------|----------------|-----------------|---|---|---|---|------|-------------------|---|---|---|--|------|--------------|--------|----------|------|------|------|------|------|------|------------|------------|------|------|------|------|------|------|------|
| <p>地域について生息地回廊の保護区を指定する。指定に当たっては、移動分散を確保しようとする対象鳥獣を明らかにし、その生態や行動範囲等を踏まえて回廊として確保すべき区域を、既存の鳥獣保護区のみならず自然公園法、文化財保護法等他の制度によってまとまった面積が保護されている地域を相互に結び付ける等により、効果的な配置に努める。</p> <p>7) 身近な鳥獣生息地の保護区</p> <p>第8次鳥獣保護事業計画の誘致地区及び愛護地区を引き継ぎ、市街地及びその近郊において鳥獣の良好な生息地を確保し又は創出し、豊かな生活環境の形成に資するため必要と認められる地域又は自然との触れ合いや鳥獣の観察や保護活動を通じた環境教育の場を確保するため、身近な鳥獣生息地の保護区を指定する。</p> |              |              |                |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   | <p>要な地域について生息地回廊の保護区を指定する。指定に当たっては、移動分散を確保しようとする対象鳥獣を明らかにし、その生態や行動範囲等を踏まえて回廊として確保すべき区域を、既存の鳥獣保護区のみならず自然公園法、文化財保護法等他の制度によってまとまった面積が保護されている地域を相互に結び付ける等により、効果的な配置に努める。</p> <p>7) 身近な鳥獣生息地の保護区</p> <p>第8次鳥獣保護事業計画の誘致地区及び愛護地区を引き継ぎ、市街地及びその近郊において鳥獣の良好な生息地を確保し又は創出し、豊かな生活環境の形成に資するため必要と認められる地域又は自然との触れ合いや鳥獣の観察や保護活動を通じた環境教育の場を確保するため、身近な鳥獣生息地の保護区を指定する。</p> |      |              |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| (2) 指定計画等  |              |              |                |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   | (2) 指定計画等  |      |              |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| (第1表)  |              |              |                |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   | (第1表)  |      |              |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 区分   | 鳥獣保護区指定の目標   | 既指定鳥獣保護区(A)  | 箇所             | 本計画期間に指定する鳥獣保護区 |   |   |   |   |      | 本計画期間に区域拡大する鳥獣保護区 |   |   |   |  |      | 箇所           | 面積(ha) | 変動面積(ha) | 計(B) | 計(C) | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度       | 計(B)       | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 計(C) | (変更) |
|  |              |              |                | 令和4年度           | 5 | 6 | 7 | 8 | 計(B) | 令和4年度             | 5 | 6 | 7 | 8  | 計(C) |              |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 森林鳥獣生息地  | 箇所<br>面積(ha) | 8<br>11,723  | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 8<br>11,723  |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 大規模生息地   | 箇所<br>面積(ha) | 0<br>0       | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 0<br>0       |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 集団渡来地  | 箇所<br>面積(ha) | 1<br>11,455  | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 1<br>11,750  |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 集団繁殖地  | 箇所<br>面積(ha) | 1<br>10,800  | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 1<br>10,800  |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 希少鳥獣生息地  | 箇所<br>面積(ha) | 3<br>2,354   | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 2<br>935     |        |          |      |      |      |      |      |      |            | 1<br>1,419 |      |      |      |      |      |      |      |
| 生息地回廊  | 箇所<br>面積(ha) | 0<br>0       | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 0<br>0       |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 身近な鳥獣生息地   | 箇所<br>面積(ha) | 26<br>12,303 | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 26<br>12,303 |        |          |      |      |      |      |      |      |            |            |      |      |      |      |      |      |      |
| 計  | 箇所<br>面積(ha) | 39<br>48,635 | 箇所<br>変動面積(ha) |                 |   |   |   |   |      |                   |   |   |   |  |      | 38<br>47,511 |        |          |      |      |      |      |      |      | 1<br>1,419 |            |      |      |      |      |      |      |      |



新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  |          |         |      |             |           |             |                     | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   |    |          |         |      |             |           |             | 備考                     |      |
|---|----------|---------|------|-------------|-----------|-------------|---------------------|---|----|----------|---------|------|-------------|-----------|-------------|------------------------|------|
| ② 既指定鳥獣保護区の変更計画<br>(第2表)  |          |         |      |             |           |             |                     | ② 既指定鳥獣保護区の変更計画<br>(第2表)  |    |          |         |      |             |           |             |                        |      |
| 年度  | 指定区分     | 鳥獣保護区名称 | 変更区分 | 指定面積の異動     |           |             | 変更後の指定期間            | 備考  | 年度 | 指定区分     | 鳥獣保護区名称 | 変更区分 | 指定面積の異動     |           |             | 変更後の指定期間               | 備考   |
|   |          |         |      | 異動前の面積 (ha) | 異動面積 (ha) | 異動後の面積 (ha) |                     |   |    |          |         |      | 異動前の面積 (ha) | 異動面積 (ha) | 異動後の面積 (ha) |                        |      |
| 令和4   | 森林鳥獣生息地  | 高尾      | 期間更新 | 4,414       | 0         | 4,414       | 令和4.11.1～令和24.10.31 |   | 29 | 身近な鳥獣生息地 | 青梅      | 期間更新 | 517         | 0         | 517         | H29.10.31からH49.10.30まで | (変更) |
|   | 〃        | 奥多摩     | 〃    | 2,576       | 0         | 2,576       | 令和6.11.1～令和26.10.31 |   |    | 〃        | 七生      | 〃    | 270         | 0         | 270         | H29.11.1からH49.10.31まで  | (変更) |
| 6   | 身近な鳥獣生息地 | 秋川丘陵    | 〃    | 2,235       | 0         | 2,235       | 令和6.11.1～令和26.10.31 |   |    | 〃        | 五日市     | 〃    | 127         | 0         | 127         | H29.11.1からH49.10.31まで  | (変更) |
|   | 〃        | 井の頭恩賜公園 | 〃    | 47          | 0         | 47          | 令和6.11.1～令和26.10.31 |   | 30 | 身近な鳥獣生息地 | 山のふるさと村 | 〃    | 332         | 0         | 332         | H30.11.1からH50.10.31まで  | (変更) |
|   | 森林鳥獣生息地  | 奥多摩湖    | 〃    | 691         | 0         | 691         | 令和7.11.1～令和27.10.31 |   |    | 森林鳥獣生息地  | 奥多摩都民の森 | 〃    | 360         | 0         | 360         | H30.11.1からH50.10.31まで  | (変更) |
| 7   | 身近な鳥獣生息地 | 大島泉津    | 〃    | 470         | 0         | 470         | 令和7.11.1～令和27.10.31 |   | 合計 |          | 5か所     |      | 1,606       | 0         | 1,606       |                        | (変更) |
|   | 〃        | 上野恩賜公園  | 〃    | 55          | 0         | 55          | 令和7.11.1～令和27.10.31 |   |    |          |         |      |             |           |             |                        |      |
|   | 〃        | 村山山口    | 〃    | 460         | 0         | 460         | 令和8.11.1～令和28.10.31 |   |    |          |         |      |             |           |             |                        |      |
| 8   | 森林鳥獣生息地  | 多摩川     | 〃    | 4,607       | 0         | 4,607       | 令和8.11.1～令和28.10.31 |   |    |          |         |      |             |           |             |                        |      |
|   | 集団渡来地    | 東京港     | 〃    | 11,455      | 0         | 11,455      | 令和8.11.1～令和28.10.31 |   |    |          |         |      |             |           |             |                        |      |
| 合計  |          | 10か所    |      | 27,010      | 0         | 27,010      |                     |   |    |          |         |      |             |           |             |                        |      |
| <b>2 特別保護地区の指定</b><br>(1) 方針<br>① 指定に関する中長期的な方針<br>鳥獣の保護又は鳥獣の生息地の保護を図る上で、生息環境の保全は極めて重要であることから、指定された鳥獣保護区内においては、特別保護地区の指定を積極的に進める。特に良好な生息環境の確保が求められている集団渡来地、集団繁殖地及び希少鳥獣生息地の保護区については、都の実情を勘案して指定に努める。<br>なお、指定に当たっては、その区域内での行為（軽微な工作物の設置等は除く。）について許可を要することとなるため、土地所有者の協力が得られるよう努める。さらに、指定の期間は、鳥獣保護区の指定期間に一致させるとともに、その位置はできる限り鳥獣保護区等狩猟が禁止された区域に取り囲まれるよう配慮する。 |          |         |      |             |           |             |                     | <b>2 特別保護地区の指定</b><br>(1) 方針<br>① 指定に関する中長期的な方針<br>鳥獣の保護又は鳥獣の生息地の保護を図る上で、生息環境の保全は極めて重要であることから、指定された鳥獣保護区内においては、特別保護地区の指定を積極的に進める。特に良好な生息環境の確保が求められている集団渡来地、集団繁殖地及び希少鳥獣生息地の保護区については、都の実情を勘案して指定に努める。<br>なお、指定に当たっては、その区域内での行為（軽微な工作物の設置等は除く。）について許可を要することとなるため、土地所有者の協力が得られるよう努める。さらに、指定の期間は、鳥獣保護区の指定期間に一致させるとともに、その位置はできる限り鳥獣保護区等狩猟が禁止された区域に取り囲まれるよう配慮する。 |    |          |         |      |             |           |             |                        |      |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考                      |
|--|--|-------------------------|
| <p>② 指定区分ごとの方針</p> <p>1) 森林鳥獣生息地の保護区<br/>           良好な鳥獣の生息環境となっている区域について指定し、指定箇所数の2分の1以上の保護区につき、それぞれの面積の10分の1以上を指定するよう努める。<br/>           本計画開始時点で5か所2,192haを指定し、基準を満たしている。</p> <p>2) 大規模生息地の保護区<br/>           猛禽類や大型哺乳類を含む多様な鳥獣が生息し、当該保護区において必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>3) 集団渡来地の保護区<br/>           渡来する鳥獣の採餌場又はねぐらとして必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>4) 集団繁殖地の保護区<br/>           保護対象となる鳥類、コウモリ類及び海棲哺乳類の繁殖を確保するため必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>5) 希少鳥獣生息地の保護区<br/>           保護対象となる鳥獣の繁殖、採餌等に必要な区域が認められる場合は、広範囲に指定するよう努める。</p> <p>6) 生息地回廊の保護区<br/>           保護対象となる鳥獣の移動経路として必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>7) 身近な鳥獣生息地の保護区<br/>           鳥獣の誘致又は鳥獣保護思想の普及啓発上必要と認められる区域内について指定する。</p> <p>8) 特別保護指定区域<br/>           集団繁殖地の保護区、希少鳥獣生息地の保護区等の特別保護地区内において、人の立入り、車両の乗入れ等により、保護対象となる鳥獣の生息、繁殖等に悪影響が生じるおそれのある場所について積極的に指定するよう努める。<br/>           なお、特別保護指定区域については、国指定の小笠原群島鳥獣保護区内において、都内で唯一の指定が行われている。</p> | <p>② 指定区分ごとの方針</p> <p>1) 森林鳥獣生息地の保護区<br/>           良好な鳥獣の生息環境となっている区域について指定し、指定か所数の2分の1以上の保護区につき、それぞれの面積の10分の1以上を指定するよう努める。<br/>           本計画開始時点で5か所2,192haを指定し、基準を満たしている。</p> <p>2) 大規模生息地の保護区<br/>           猛禽類や大型哺乳類を含む多様な鳥獣が生息し、当該保護区において必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>3) 集団渡来地の保護区<br/>           渡来する鳥獣の採餌場又はねぐらとして必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>4) 集団繁殖地の保護区<br/>           保護対象となる鳥類、コウモリ類及び海棲哺乳類の繁殖を確保するため必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>5) 希少鳥獣生息地の保護区<br/>           保護対象となる鳥類の繁殖、採餌等に必要な区域が認められる場合は、広範囲に指定するよう努める。</p> <p>6) 生息地回廊の保護区<br/>           保護対象となる鳥獣の移動経路として必要と認められる中核的<sup>きん</sup>地区について指定するよう努める。</p> <p>7) 身近な鳥獣生息地の保護区<br/>           鳥獣の誘致又は鳥獣保護思想の普及啓発上必要と認められる区域内について指定する。</p> <p>8) 特別保護指定区域<br/>           集団繁殖地の保護区、希少鳥獣生息地の保護区等の特別保護地区内において、人の立入り、車両の乗入れ等により、保護対象となる鳥獣の生息、繁殖等に悪影響が生じるおそれのある場所について積極的に指定するよう努める。<br/>           なお、特別保護指定区域については、国指定の小笠原群島鳥獣保護区内において、都内で唯一の指定が行われている。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |



新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画） |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    |          |      | 備考         |                |      |
|----------------------|---|---|---|---|------|---------------------------------|---|---|---|---|------|------------|-------------------|--------------------|----|----|----|----|------|---------------------------------|----|----|----|----------|------|------------|----------------|------|
| 本計画期間に区域縮小する特別保護地区   |   |   |   |   |      | 本計画期間に解除又は期間満了となる特別保護地区（再指定も含む） |   |   |   |   |      | 計画期間中の増△減※ | 計画終了時の特別保護地区※※    | 本計画期間に区域縮小する特別保護地区 |    |    |    |    |      | 本計画期間に解除又は期間満了となる特別保護地区（再指定も含む） |    |    |    |          |      | 計画期間中の増△減※ | 計画終了時の特別保護地区※※ | (変更) |
| 令和4年度                | 5 | 6 | 7 | 8 | 計(D) | 令和4年度                           | 5 | 6 | 7 | 8 | 計(E) |            |                   | 29年度               | 30 | 31 | 32 | 33 | 計(D) | 29年度                            | 30 | 31 | 32 | 33       | 計(E) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 5か所      | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 2,192 ha | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 0        | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 1か所      | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 136 ha   | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 8か所      | (変更) |            |                |      |
|                      |   |   |   |   |      |                                 |   |   |   |   |      |            |                   |                    |    |    |    |    |      |                                 |    |    |    | 2,887 ha | (変更) |            |                |      |

※箇所数についてはB-E、面積についてはB+C-D-E

※※箇所数についてはA+B-E、面積についてはA+B+C-D-E

(3) 指定内訳 (第4表)

| 年度  | 指定区分     | 鳥獣保護区名称 | 変更区分 | 指定面積の異動     |           |             | 変更後の指定期間            |
|-----|----------|---------|------|-------------|-----------|-------------|---------------------|
|     |          |         |      | 異動前の面積 (ha) | 異動面積 (ha) | 異動後の面積 (ha) |                     |
| 令和4 | 森林鳥獣生息地  | 高尾      | 期間更新 | 504         | 0         | 504         | 令和4.11.1～令和24.10.31 |
| 6   | 森林鳥獣生息地  | 奥多摩     | 〃    | 1,173       | 0         | 1,173       | 令和6.11.1～令和26.10.31 |
| 7   | 森林鳥獣生息地  | 奥多摩湖    | 〃    | 110         | 0         | 110         | 令和7.11.1～令和27.10.31 |
| 8   | 身近な鳥獣生息地 | 村山山口    | 〃    | 136         | 0         | 136         | 令和8.11.1～令和28.10.31 |
| 合計  |          | 4か所     |      | 1,923       | 0         | 1,923       |                     |

※箇所数についてはB-E、面積についてはB+C-D-E

※※箇所数についてはA+B-E、面積についてはA+B+C-D-E

(3) 指定内訳 (第4表)

| 年度 | 指定の対象となる鳥獣保護区 |         |         |                       | 特別保護地区    |                       | 備考 |
|----|---------------|---------|---------|-----------------------|-----------|-----------------------|----|
|    | 指定区分          | 鳥獣保護区名称 | 面積 (ha) | 指定期間                  | 指定面積 (ha) | 指定期間                  |    |
| 29 | 希少鳥獣生息地       | 八丈小島    | 1,419   | H29.11.1からH49.10.31まで | 307       | H29.11.1からH49.10.31まで |    |
| 合計 |               | 1か所     | 1,419   |                       | 307       |                       |    |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考   |      |      |      |      |    |    |     |    |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |
|--|-------------------|------|------|------|------|------|----|----|-----|----|---|---|---|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|---|-----|----|----|----|----|----|-----|---|---|----|------|------|------|------|------|---|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|---|-----|----|----|----|----|----|-----|---|---|
| <p><b>3 休猟区の指定</b><br/>本計画期間中においては休猟区の指定は行わない。なお、計画期間中に休猟区指定の必要があると判断された場合は、必要に応じて指定に努める。</p> <p><b>4 鳥獣保護区の整備等</b><br/>(1) 方針<br/>それぞれの鳥獣保護区の指定目的を達成するために必要な整備等を実施する。<br/>管理施設については、鳥獣保護区及び特別保護地区の区域が明らかになるよう制札及び案内板を設置する。設置箇所、老朽化等の状況を確認し、周辺の景観等に十分配慮した適切な寸法により既存の古い制札及び案内板を計画的に設置・更新していく。</p> <p>(2) 整備計画<br/>(第5表)</p> <table border="1" data-bbox="216 846 1308 1073"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="5">年度</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>令和4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制札</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>250本</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>案内板</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>25基</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数については、現状確認等の結果により増減することがある。</p> <p><b>第三 鳥獣の人工増殖に関する事項</b><br/><b>1 鳥獣の人工増殖</b><br/>(1) 方針<br/>① <u>都では、小笠原諸島にしか生息していないアカガシラカラスバト及びオガサワラカワラヒワの保護増殖事業を実施している。本事業は、「絶滅のおそれのある野生動植物の保存に関する法律」（平成4年法律第75号。以下「種の保存法」という。）に基づき、国により策定された事業計画のもとに進められている。今後も動物園等での飼育繁殖を継続し、関係機関と連携するとともに合意形成を図りながら生息域外保全に努める。</u><br/>② <u>都では、国により種の保存法に基づく保護増殖事業計画が策定されているツシマヤマネコ（平成7年7月）、トキ（平成5年11月）及びライチョウ（平成24年10月）については、引き続き当該の計画に協力して動物園での飼育繁殖を実施する。また、コウノトリについては、野生復帰計画を推進している兵庫県等に協力しつつ、動物園での飼育繁殖を継続する。</u></p> | 区分                | 年度   |      |      |      |      | 計  | 備考 | 令和4 | 5  | 6 | 7 | 8 | 制札 | 50本 | 50本 | 50本 | 50本 | 50本 | 250本 | ※ | 案内板 | 5基 | 5基 | 5基 | 5基 | 5基 | 25基 | ※ | <p><b>3 休猟区の指定</b><br/>本計画期間中においては休猟区の指定は行わない。なお、計画期間中に休猟区指定の必要があると判断された場合は、必要に応じて指定に努める。</p> <p><b>4 鳥獣保護区の整備等</b><br/>(1) 方針<br/>それぞれの鳥獣保護区の指定目的を達成するために必要な整備等を実施する。<br/>管理施設については、鳥獣保護区及び特別保護地区の区域が明らかになるよう制札及び案内板を設置する。設置箇所、老朽化等の状況を確認し、周辺の景観等に十分配慮した適切な寸法により既存の古い制札及び案内板を計画的に設置更新していく。</p> <p>(2) 整備計画<br/>(第5表)</p> <table border="1" data-bbox="1460 846 2552 1014"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>33年度</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制札</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>50本</td> <td>250本</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>案内板</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>5基</td> <td>25基</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数については、現状確認等の結果により増減することがある。</p> <p><b>第三 鳥獣の人工増殖に関する事項</b><br/><b>1 鳥獣の人工増殖</b><br/>(1) 方針<br/>① <u>小笠原諸島にしか生息していないアカガシラカラスバトの保護増殖事業を平成12年度から実施しており、平成18年8月には、「絶滅のおそれのある野生動植物の保存に関する法律」（平成4年法律第75号。以下「種の保存法」という。）に基づき国によって策定された保護増殖事業計画に位置付けられた。本事業はこの計画に基づいて進められており、今後も動物園での飼育繁殖を継続し、関係機関と連携して合意を図りながら生息域外保全に努める。</u><br/>② <u>国により種の保存法に基づく保護増殖事業計画が策定されているツシマヤマネコ（平成7年7月）、トキ（平成16年1月）及びライチョウ（平成26年4月）については、引き続き当該の計画に協力して動物園での飼育繁殖を実施する。また、コウノトリについては、野生復帰計画を推進している兵庫県等に協力しつつ、動物園での飼育繁殖を継続する。</u></p> | 区分 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 計 | 備考 | 制札 | 50本 | 50本 | 50本 | 50本 | 50本 | 250本 | ※ | 案内板 | 5基 | 5基 | 5基 | 5基 | 5基 | 25基 | ※ | <p>備考</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 区分   |                   | 年度   |      |      |      |      |    |    | 計   | 備考 |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |
|  | 令和4               | 5    | 6    | 7    | 8    |      |    |    |     |    |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |
| 制札   | 50本               | 50本  | 50本  | 50本  | 50本  | 250本 | ※  |    |     |    |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |
| 案内板  | 5基                | 5基   | 5基   | 5基   | 5基   | 25基  | ※  |    |     |    |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |
| 区分   | 29年度              | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 計    | 備考 |    |     |    |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |
| 制札   | 50本               | 50本  | 50本  | 50本  | 50本  | 250本 | ※  |    |     |    |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |
| 案内板  | 5基                | 5基   | 5基   | 5基   | 5基   | 25基  | ※  |    |     |    |   |   |   |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |    |      |      |      |      |      |   |    |    |     |     |     |     |     |      |   |     |    |    |    |    |    |     |   |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画） |            |   |        |   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）                           |            |                                      |   |        | 備考   |   |      |
|----------------------|------------|---|--------|---|---|------------|--------------------------------------|---|--------|------|---|------|
| (2) 人工増殖計画<br>(第6表)  |            |   |        |   | (2) 人工増殖計画<br>(第6表)                         |            |                                      |   |        |      |   |      |
| 年度                   | 希少鳥獣等      |   | 狩猟鳥獣   |   | 備考  | 年度         | 希少鳥獣等                                |   | 狩猟鳥獣   |      | 備考  |      |
|                      | 鳥獣名        | 実施方法  | 鳥獣名    | 実施方法  |   |            | 鳥獣名                                  | 実施方法  | 鳥獣名    | 実施方法 |   |      |
| 昭和47～                | コウノトリ      | 安定した飼育個体群の確立、維持を図るため、動物園で飼育繁殖を継続実施          | (該当なし) |   | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>特別天然記念物<br>(文化庁、兵庫県等) | 昭和47年度～    | コウノトリ                                | 安定した飼育個体群の確立、維持を図るため、動物園で飼育繁殖を継続実施          | (該当なし) |      | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>特別天然記念物<br>(文化庁、兵庫県等) | (変更) |
| 平成12～                | アカガシラカラスバト | アカガシラカラスバト保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施        |        | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>天然記念物<br>(環境省、都等)     | 平成12年度～                                     | アカガシラカラスバト | アカガシラカラスバト保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施 | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>天然記念物<br>(環境省、都等)     |        | (変更) |   |      |
| 平成17～                | ツシマヤマネコ    | ツシマヤマネコ保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施           |        | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>天然記念物<br>(環境省等)       | 平成17年度～                                     | ツシマヤマネコ    | ツシマヤマネコ保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施    | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>天然記念物<br>(環境省等)       |        | (変更) |   |      |
| 平成19～                | トキ         | トキ保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施                |        | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>特別天然記念物<br>(環境省、新潟県等) | 平成19年度～                                     | トキ         | トキ保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施         | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>特別天然記念物<br>(環境省、新潟県等) |        | (変更) |   |      |
| 平成26～                | ライチョウ      | ライチョウ保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施             |        | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>天然記念物<br>(環境省等)       | 平成26年度～                                     | ライチョウ      | ライチョウ保護増殖事業計画に基づき、動物園で飼育繁殖を継続実施      | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>天然記念物<br>(環境省等)       |        | (変更) |   |      |
| 令和3～                 | オガサワラカワラヒワ | オガサワラカワラヒワ保護増殖事業計画に基づき、小笠原諸島内の飼養施設で飼育下繁殖を実施 |        | 希少鳥獣<br>国内希少野生動植物種<br>(環境省、都等)              |   |            |                                      |   |        | (追加) |   |      |
| 2 放鳥獣等<br>計画なし       |            |   |        |   |   |            |                                      |   |        |      |   | (新設) |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p>第四 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項</p> <p>1 鳥獣の区分と保護及び管理の考え方</p> <p>(1) <b>希少鳥獣等</b></p> <p>① 対象種</p> <p>環境省のレッドリストにおいて、絶滅危惧 IA・IB類又はII類に該当する鳥獣、<u>鳥獣保護管理法</u>第2条第4項に基づき環境省令で定められた希少鳥獣又は都の最新のレッドリスト「東京都の保護上重要な野生生物種」において、絶滅危惧 IA・IB類に該当する鳥獣を対象とする。</p> <p>② 保護及び管理の考え方</p> <p>希少鳥獣の適切な保護管理のため、調査等により生息状況や生息環境の把握に努めるものとする。特に、都内に生息している絶滅のおそれのある鳥獣で、知事が特に保護する必要があると認める種については、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、東京都希少野生動植物種の指定、捕獲等の禁止を行うとともに、必要に応じて保護増殖事業を実施し、種及び地域個体群の保存を図ることとする。</p> <p>なお、アカガシラカラスバト、<u>アホウドリ</u>、<u>オガサワラカワラヒワ</u>、及びオガサワラオオコウモリについては、種の保存法に基づき、保護増殖事業計画（アカガシラカラスバト：文部科学省、農林水産省、環境省、<u>アホウドリ：文部科学省、農林水産省、環境省、オガサワラカワラヒワ：農林水産省、国土交通省、環境省</u>、オガサワラオオコウモリ：文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省）が策定されており、これにより事業が実施されている。</p> <p>(2) 狩猟鳥獣</p> <p>① 対象種</p> <p><u>鳥獣保護管理法</u>第2条第7項に基づき環境省令で定められているものである。</p> <p>② 保護及び管理の考え方</p> <p>狩猟鳥獣の適切な保護及び管理のため、自然環境保全基礎調査等により生息状況等の把握に努める。また、関係行政機関等からの情報収集、関連する調査等を通じ、生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害状況の把握に努める。管理の目的で捕獲等の対象となる狩猟鳥獣については、狩猟を活用しつつ、特定計画の積極的な作成及び実施により、被害の防止及び地域個体群の存続を図るものとする。</p> <p>③ 狩猟禁止鳥獣</p> <p>ツキノワグマについては、一部の地域で樹木の剥皮害や<u>農水産物の食害</u>のほか、人身被害も生じているが、<u>地域に生息する個体数が安定的に維持されるよう厳重な保護管理が必要である</u>。このため、<u>鳥獣保護管理法</u>第12条2項で規定される特に保護を図る必要がある対象狩猟鳥獣と認め、引き続き令和4年4月1日から令和9年3月31日まで狩猟禁止とする。</p> <p>本計画期間中は定期的に生息状況等を調査し、動向について注意深く監視していくとともに、関係市町村等との連絡体制の整備、目撃等の情報収集、堅果類の豊凶情報の収集、<u>侵入防止対策の整備、学習放獣及び錯誤捕獲（意図しない捕獲）</u>、<u>個体の放獣</u>、ツキノワグマを誘引する生ごみや未収穫作物の適切な管理を促す普及啓発等について、関係市町村と協議していく。</p> | <p>第四 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項</p> <p>1 鳥獣の区分と保護及び管理の考え方</p> <p>(1) <b>希少鳥獣</b></p> <p>① 対象種</p> <p>環境省のレッドリストにおいて、絶滅危惧 IA・IB類又はII類に該当する鳥獣で、<u>法第2条第4項に基づき環境大臣が定めるもの及び都のレッドリスト</u>「東京都の保護上重要な野生生物種」<u>（平成22年）</u>において、絶滅危惧 IA・IB類に該当する鳥獣を対象とする。</p> <p>② 保護及び管理の考え方</p> <p>希少鳥獣の適切な保護管理のため、調査等により生息状況や生息環境の把握に努めるものとする。特に、都内に生息している絶滅のおそれのある鳥獣で、知事が特に保護する必要があると認める種については、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、東京都希少野生動植物種の指定、捕獲等の禁止を行うとともに、必要に応じて保護増殖事業を実施し、種及び地域個体群の保存を図ることとする。</p> <p>なお、アカガシラカラスバト及びオガサワラオオコウモリについては、種の保存法に基づき、保護増殖事業計画（アカガシラカラスバト：文部科学省、農林水産省、環境省、オガサワラオオコウモリ：文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省）が策定されており、これにより事業が実施されている。</p> <p>(2) 狩猟鳥獣</p> <p>① 対象種</p> <p><u>法第2条第7項に基づき定めるものとする。</u></p> <p>② 保護及び管理の考え方</p> <p>狩猟鳥獣の適切な保護及び管理のため、自然環境保全基礎調査等により生息状況等の把握に努める。また、関係行政機関等からの情報収集、関連する調査等を通じ、生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害状況の把握に努める。管理の目的で捕獲等の対象となる狩猟鳥獣については、狩猟を活用しつつ、特定計画の積極的な作成及び実施により、被害の防止及び地域個体群の存続を図るものとする。</p> <p>③ 狩猟禁止鳥獣</p> <p>ツキノワグマについては、一部の地域で樹木の剥皮害のほか、人身被害の懸念が生じているが、<u>個体数の減少が危惧されている</u>。このため、<u>法第12条2項で規定される特に保護を図る必要がある対象狩猟鳥獣と認め、引き続き平成29年4月1日から平成34年3月31日まで狩猟禁止とする</u>。</p> <p>本計画期間中は定期的に生息状況等を調査し、動向について注意深く監視していくとともに、関係市町村等との連絡体制の整備、目撃等の情報収集、堅果類の豊凶情報の収集、ツキノワグマを誘引する生ごみや未収穫作物の適切な管理を促す普及啓発等について、関係市町村と協議していく。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|---|---|---|
| <p>なお、人身被害を防止する観点から、市町村による有害鳥獣捕獲については必要な行為であり、捕獲許可申請においては通常どおり審査し、実績等を踏まえた最小限の捕獲数について許可を行う。</p> <p><b>(3) 外来鳥獣等</b></p> <p>① 対象種<br/>本来、我が国に自然分布域を有しておらず、人為的に海外から導入された鳥獣とする<br/>(例：ガビチョウ類、ソウシチョウ、アライグマ、キョン、クリハラリス、台湾ンザル、ハクビシン等)。<br/>なお、我が国に自然分布域を有しているが、過去又は現在の自然分布域を超えて国内の他地域に人為的に導入され、農林水産業又は生態系等に係る被害を生じさせている又はそのおそれがある鳥獣<br/><u>(例：三宅島のニホンイタチ、新島のニホンジカ、小笠原のノヤギ等)については、外来鳥獣と同様の取扱いとする。(以下、国外由来・国内由来の外来鳥獣を示す場合は「外来鳥獣等」という。)</u></p> <p>② 管理の考え方<br/>外来鳥獣の適切な管理のため、国が策定した「外来種被害防止行動計画」を参考に、調査等を実施し、生息状況、農林水産業への被害、生態系等への影響について把握に努める。農林水産業、生態系等に係る被害を及ぼす外来鳥獣等については、狩猟及び有害鳥獣捕獲を推進し、被害の防止を図る。<br/>「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号。以下「外来生物法」という。)による指定を受けた外来鳥獣(以下「特定外来生物」という。)については、外来生物法に基づき、生態系からの完全排除、封じ込め等の防除を実施するよう指導する。<u>また、排除や防除に当たっては、在来種の錯誤捕獲にも留意するよう指導する。</u><br/><u>特に、近年、生息域が都内に広く拡大していると考えられるアライグマ及びハクビシンの防除については、農業被害や生活環境被害等が大きくなっているため、「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に基づき、都と区市町村が連携し、地域住民の理解と協力を得ながら取組を進める。</u></p> <p><b>(4) 指定管理鳥獣</b></p> <p>① 対象種<br/><u>鳥獣保護管理法</u>第2条第5項に規定する指定管理鳥獣とする。</p> <p>② 管理の考え方<br/>地域個体群の存続に配慮しつつ、必要な捕獲を計画的かつ積極的に推進する。<br/>指定管理鳥獣の適切な管理のため、生息域の分布等に関する調査や個体数推定等を実施して、都</p> | <p>なお、人身被害を防止する観点から、市町村による有害鳥獣捕獲については必要な行為であり、捕獲許可申請においては通常どおり審査し、実績等を踏まえた最小限の捕獲数について許可を行う。</p> <p>(3) 外来鳥獣</p> <p>① 対象種<br/>本来、我が国に自然分布域を有しておらず、人為的に海外から導入された鳥獣とする<br/>(例：ガビチョウ類、ソウシチョウ、アライグマ、キョン、クリハラリス、台湾ンザル、ハクビシン等)。なお、我が国に自然分布域を有しているが、人為的に過去又は現在の自然分布域を超えて国内の他地域に導入され、生態系、農林水産業等に係る被害を生じさせている又はそのおそれがある鳥獣についても、同様の取扱いとする。</p> <p>② 管理の考え方<br/>外来鳥獣の適切な管理のため、国が策定した「外来種被害防止行動計画」を参考に、調査等により、生息状況、農林水産業への被害、生態系等への影響について把握に努める。農林水産業、生態系等に係る被害を及ぼす外来鳥獣については、狩猟及び有害鳥獣捕獲を推進し被害の防止を図る。<br/>「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年法律第78号。以下「外来生物法」という。)による指定を受けた外来鳥獣(以下「特定外来生物」という。)については、外来生物法に基づき、生態系からの完全排除、封じ込め等の防除を実施するよう指導する。</p> <p><u>特に、隣接県でも開始されているアライグマの防除については、生息域拡大のおそれがあるため、区市町村と連携して取組を進める。また、効果的に防除を進めるため、地域の事情に精通する区市町村が地域住民の理解と協力を得ながら積極的な対策を行うことができるよう支援する。</u><br/><u>なお、三宅島のイタチ、新島のニホンジカ、八丈島・小笠原のノヤギ等、在来種や家畜であっても本来の生息地以外に人為的に導入された鳥獣(以下「移入鳥獣」という。)については、当該地域における生態系や農林水産業等に係る被害の発生状況等を踏まえ、必要に応じて外来鳥獣の管理に準じて取り扱う。</u></p> <p>(4) 指定管理鳥獣</p> <p>① 対象種<br/>法第2条第5項に規定する指定管理鳥獣とする。</p> <p>② 管理の考え方<br/>地域個体群の存続に配慮しつつ、可能な限り捕獲等を推進する。<br/>指定管理鳥獣の適切な管理のため、生息域の分布等に関する調査や個体数推定等を実施して、都</p> | <p></p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(削除)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p>における当該鳥獣の生息状況等の把握に努めるとともに、関係行政機関等からの情報収集、関連する調査等を通じ、生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害状況の把握に努めるものとする。</p> <p>また、必要と認められるときは、区市町村が「<u>鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律</u>」（平成19年法律第134号。以下「鳥獣被害防止特措法」という。）に基づく鳥獣被害防止計画を策定して実施する被害防止のための捕獲等との調整を図る等、関係主体が広域的及び地域的に連携<u>を図る</u>。</p> <p>(5) 一般鳥獣</p> <p>① 対象種</p> <p>希少鳥獣、狩猟鳥獣、<u>外来鳥獣等</u>及び指定管理鳥獣以外の鳥獣とする。</p> <p>② 保護及び管理の考え方</p> <p>一般鳥獣の適切な保護及び管理のため、個別の種ごとの調査等により生息状況の把握に努める。また、全国的な分布動向、地域個体群の極端な増加又は減少、生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害の発生状況等を踏まえ、必要に応じて希少鳥獣及び狩猟鳥獣の保護及び管理に準じた対策を講じるものとする。</p> <p>2 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可基準の設定</p> <p>2—1 捕獲許可基準の設定に当たっての共通事項</p> <p>鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可（以下「捕獲許可」という。）に当たっては、<u>鳥獣保護管理法</u>第9条第3項各号のいずれかに該当する場合を除き、許可をしなければならないこととされている。その基準に係る共通事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 許可しない場合の基本的考え方</p> <p>次の場合にあつては、捕獲許可をしないものとする。</p> <p>① 捕獲後の処置の計画等、申請内容に照らして明らかに捕獲の目的が異なると判断される場合</p> <p>② <u>捕獲等又は採取等によって</u>特定の鳥獣の地域個体群に絶滅のおそれを生じさせ、又は、鳥獣の生息環境を著しく悪化させるおそれがある等、鳥獣の保護又は生物多様性の保全に重大な支障を及ぼすおそれのある場合。ただし、<u>外来鳥獣等</u>による当該地域の生態系に係る被害を防止する目的で捕獲等又は採取等をする場合はこの限りではない。</p> <p>③ 第二種特定鳥獣管理計画又は特定希少鳥獣管理計画に基づく計画的・科学的な鳥獣の管理のための対策に支障を及ぼすおそれがあるような場合</p> <p>④ 捕獲等又は採取等に際し、住民の安全の確保又は社寺境内、墓地における捕獲等を認めることによりそれらの場所の目的や意義の保持に支障を及ぼすおそれがあるような場合</p> <p>⑤ 愛玩のための飼養が目的である場合</p> <p>なお、法においては、個人又は法人（<u>鳥獣保護管理法</u>第9条第8項に規定する「国、地方公共団体、</p> | <p>内における当該鳥獣の生息状況等の把握に努めるとともに、関係行政機関等からの情報収集、関連する調査等を通じ、生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害状況の把握に努めるものとする。</p> <p>また、必要と認められるときは、区市町村が鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号。以下「鳥獣被害防止特措法」という。）に基づく鳥獣被害防止計画を策定して実施する被害防止のための捕獲等との調整を図る等、関係主体が広域的及び地域的に連携<u>協力する</u>。</p> <p>(5) 一般鳥獣</p> <p>① 対象種</p> <p>希少鳥獣、狩猟鳥獣、<u>外来鳥獣</u>及び指定管理鳥獣以外の鳥獣とする。</p> <p>② 保護及び管理の考え方</p> <p>一般鳥獣の適切な保護及び管理のため、個別の種ごとの調査等により生息状況の把握に努める。また、全国的な分布動向、地域個体群の極端な増加又は減少、生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害の発生状況等を踏まえ、必要に応じて希少鳥獣及び狩猟鳥獣の保護及び管理に準じた対策を講じるものとする。</p> <p>2 鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可基準の設定</p> <p>2—1 捕獲許可基準の設定に当たっての共通事項</p> <p>鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可（以下「捕獲許可」という。）に当たっては、<u>法</u>第9条第3項各号のいずれかに該当する場合を除き、許可をしなければならないこととされている。その基準に係る共通事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 許可しない場合の基本的考え方</p> <p>次の場合にあつては、捕獲許可をしないものとする。</p> <p>① 捕獲後の処置の計画等、申請内容に照らして明らかに捕獲の目的が異なると判断される場合</p> <p>② 特定の鳥獣の地域個体群に絶滅のおそれを生じさせ、又は鳥獣の生息環境を著しく悪化させるおそれがある等、鳥獣の保護又は生物多様性の保全に重大な支障を及ぼすおそれのある場合。ただし、<u>人為的に導入された鳥獣により生態系に係る被害が生じている地域又は新たに人為的に導入された鳥獣の生息が認められ、今後被害が予想される地域において、当該鳥獣</u>による当該地域の生態系に係る被害を防止する目的で捕獲等又は採取等をする場合はこの限りではない。</p> <p>③ 第二種特定鳥獣管理計画又は特定希少鳥獣管理計画に基づく計画的・科学的な鳥獣の管理のための対策に支障を及ぼすおそれがあるような場合</p> <p>④ 捕獲等又は採取等に際し、住民の安全の確保又は社寺境内、墓地における捕獲等を認めることによりそれらの場所の目的や意義の保持に支障を及ぼすおそれがあるような場合</p> <p>⑤ 愛玩のための飼養が目的である場合</p> <p>なお、法においては、個人又は法人（<u>法</u>第9条第8項に規定する「国、地方公共団体、第18条の5</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p>第18条の5第2項第1号に規定する認定鳥獣捕獲等事業者その他適切かつ効果的に第1項の許可に係る捕獲等又は採取等を行うことができるものとして環境大臣の定める法人」をいう。以下同じ。）のいずれも捕獲許可の対象者となることに留意する。また、許可する期間についても、捕獲を無理なく完遂することができ、鳥獣の保護に重大な支障を及ぼすおそれがなく、かつ、住民の安全の確保に支障を及ぼすおそれがない場合は、対象鳥獣を通年で捕獲することも可能である点に留意する。</p> <p><b>(2) 許可に当たって付する条件の考え方</b></p> <p>捕獲等又は採取等の許可に当たっての条件は、期間の限定、捕獲する区域の限定、捕獲方法の限定、鳥獣の種類及び数の限定、捕獲物の処理の方法、捕獲等又は採取等を行う区域における安全の確保・静穏の保持、捕獲を行う際の周辺環境への配慮、適切なわなの数量及び見回り、猟具の所有等について付す。</p> <p>特に、住居と隣接した地域において<b>捕獲等又は採取等</b>を許可する場合には、住民の安全を確保する観点から条件を付す。</p> <p>また、特定計画に基づく保護又は管理のために必要がある場合においては、捕獲数の上限に関する適切な条件を付す。</p> <p><b>(3) わなの使用に当たっての許可基準</b></p> <p>① わなの構造に関する基準</p> <p>1) くくりわなを使用した方法での許可申請の場合</p> <p>ア イノシシ、ニホンジカ及び<b>ツキノワグマ</b>以外の獣類の捕獲を目的とする許可申請の場合は、原則として輪の直径が12cm以内であり、締付け防止金具を装着したものであること（<b>ツキノワグマ</b>が生息しない島しょは除く。）。</p> <p>イ イノシシ及びニホンジカの捕獲を目的とする許可申請の場合は、原則として輪の直径が12cm以内で、締付け防止金具を装着したものであり、ワイヤーの直径が4mm以上で、かつ、よりもどしを装着したものであること。</p> <p>2) とらばさみを使用した方法での許可申請の場合</p> <p>鋸歯がなく、開いた状態における内径の最大長は12cmを超えないものであって、衝撃緩衝器具を装着したものであること。また、安全の確保や鳥獣の保護の観点から、他の方法では目的が達成できない等、やむを得ない事由が認められる場合に限定されること。</p> <p>3) ツキノワグマの捕獲を目的とする許可申請の場合</p> <p><b>はこ</b>わなに限る。</p> <p>② 標識の装着に関する基準</p> <p>わなには、<b>鳥獣保護管理法</b>第9条第12項に基づく標識の装着を行う。ただし、捕獲に許可を要するネズミ・モグラ類の捕獲等の場合において、猟具の大きさ等の理由で猟具ごとに標識を装着できない場合にあっては、猟具を設置した場所周辺に立て札等で標識を設置する方法によることもできる。</p> <p><b>(4) 保護の必要性が高い種又は地域個体群に係る捕獲許可の考え方</b></p> | <p>第2項第1号に規定する認定鳥獣捕獲等事業者その他適切かつ効果的に第1項の許可に係る捕獲等又は採取等を行うことができるものとして環境大臣の定める法人」をいう。以下同じ。）のいずれも捕獲許可の対象者となることに留意する。また、許可する期間についても、捕獲を無理なく完遂することができ、鳥獣の保護に重大な支障を及ぼすおそれがなく、かつ、住民の安全の確保に支障を及ぼすおそれがない場合は、対象鳥獣を通年で捕獲することも可能である点に留意する。</p> <p>(2) 許可に当たって付する条件の考え方</p> <p>捕獲等又は採取等の許可に当たっての条件は、期間の限定、捕獲する区域の限定、捕獲方法の限定、鳥獣の種類及び数の限定、捕獲物の処理の方法、捕獲等又は採取等を行う区域における安全の確保・静穏の保持、捕獲を行う際の周辺環境への配慮、適切なわなの数量及び見回り、猟具の所有等について付す。</p> <p>特に、住居と隣接した地域において<b>捕獲等</b>を許可する場合には、住民の安全を確保する観点から条件を付す。</p> <p>また、特定計画に基づく保護又は管理のために必要がある場合においては、捕獲数の上限に関する適切な条件を付す。</p> <p>(3) わなの使用に当たっての許可基準</p> <p>① わなの構造に関する基準</p> <p>1) くくりわなを使用した方法での許可申請の場合</p> <p>ア イノシシ、ニホンジカ及び<b>クマ類</b>以外の獣類の捕獲を目的とする許可申請の場合は、原則として輪の直径が12cm以内であり、締付け防止金具を装着したものであること（<b>クマ類</b>が生息しない島しょは除く。）。</p> <p>イ イノシシ及びニホンジカの捕獲を目的とする許可申請の場合は、原則として輪の直径が12cm以内で、締付け防止金具を装着したものであり、ワイヤーの直径が4mm以上で、かつ、よりもどしを装着したものであること。</p> <p>2) とらばさみを使用した方法での許可申請の場合</p> <p>鋸歯がなく、開いた状態における内径の最大長は12cmを超えないものであって、衝撃緩衝器具を装着したものであること。また、安全の確保や鳥獣の保護の観点から、他の方法では目的が達成できない等、やむを得ない事由が認められる場合に限定されること。</p> <p>3) ツキノワグマの捕獲を目的とする許可申請の場合</p> <p><b>箱</b>わなに限る。</p> <p>② 標識の装着に関する基準</p> <p>わなには、<b>法</b>第9条第12項に基づく標識の装着を行う。ただし、捕獲に許可を要するネズミ・モグラ類の捕獲等の場合において、猟具の大きさ等の理由で猟具ごとに標識を装着できない場合にあっては、猟具を設置した場所周辺に立て札等で標識を設置する方法によることもできる。</p> <p>(4) 保護の必要性が高い種又は地域個体群に係る捕獲許可の考え方</p> | <p>備考</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考                      |
|--|--|-------------------------|
| <p>生息数が少ない等、保護の必要性が高い種又は地域個体群に係る捕獲許可は特に慎重に取り扱う。</p> <p><u>平成29年9月に種</u>の保存法の国内希少野生動植物種から解除されたオオタカについては、原則、鳥獣の管理を目的とする捕獲を認めない。ただし、被害防除対策を講じても被害が顕著であり、被害を与える個体が特定されている場合には、捕獲を認めることとする。</p> <p>なお、捕獲後、その個体を飼養する場合には、一般流通による密猟の助長を防止する観点から、当面の間、公的機関による飼養を前提とする場合に限り、捕獲を認めることとする。</p> <p><b>(5) 鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域に係る捕獲許可の考え方</b></p> <p>捕獲実施区域と水鳥又は希少猛禽類の生息地が重複しており、科学的な見地から、鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域に係る捕獲許可に当たっては、鉛が暴露しない構造・素材の装弾を使用し、又は捕獲個体の搬出の徹底を指導する。</p> <p><b>(6) 捕獲等又は採取等の情報の収集</b></p> <p>鳥獣の保護及び管理の適正な推進を図る上で必要な資料を得るため適当と認める場合には、捕獲等又は採取等の実施者に対し、実施した地点、日時、種名、性別、捕獲物又は採取物、捕獲努力量等についての報告を、必要に応じて写真又はサンプルを添付させる等により求める。</p> <p>特に、傷病鳥獣の保護捕獲にあつては、上記のような捕獲データの収集、収容個体の計測・分析等を積極的に進めるよう努め、保護及び管理のための基礎資料としての活用を図る。</p> <p><b>3 目的別の捕獲許可の基準</b></p> <p>捕獲許可の基準は、目的別に定める。なお、許可対象者の基準は、対象が法人である場合において、その法人の従事者に当たっては、次の基準に適合する必要がある。</p> <p><b>3—1 学術研究を目的とする場合</b></p> <p><b>(1) 学術研究</b></p> <p>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 研究の目的及び内容</p> <p>次の各号のいずれにも該当するものであること。</p> <p>1) 主たる目的が、理学、農学、医学、薬学等に関する学術研究であること。ただし、学術研究が単に付随的な目的である場合は、学術研究を目的とした行為とは認めない。</p> <p>2) 鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等を行う以外の方法では、その目的を達成することができないと認められること。</p> <p>3) 主たる内容が鳥獣の生態、習性、行動、食性、生理等に関する研究であること。また、適正な全体計画の下でのみ行われるものであること。</p> <p>4) 研究により得られた成果が、学会、学術誌等により、一般に公表されるものであること。</p> | <p>生息数が少ない等、保護の必要性が高い種又は地域個体群に係る捕獲許可は特に慎重に取り扱う。</p> <p>種の保存法の国内希少野生動植物種から解除されたオオタカについては、原則、鳥獣の管理を目的とする捕獲を認めない。ただし、被害防除対策を講じても被害が顕著であり、被害を与える個体が特定されている場合には、捕獲を認めることとする。</p> <p>なお、捕獲後、その個体を飼養する場合には、一般流通による密猟の助長を防止する観点から、当面の間、公的機関による飼養を前提とする場合に限り、捕獲を認めることとする。</p> <p>(5) 鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域に係る捕獲許可の考え方</p> <p>捕獲実施区域と水鳥又は希少猛禽類の生息地が重複しており、科学的な見地から、鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域に係る捕獲許可に当たっては、鉛が暴露しない構造・素材の装弾を使用し、又は捕獲個体の搬出の徹底を指導する。</p> <p>(6) 捕獲等又は採取等の情報の収集</p> <p>鳥獣の保護及び管理の適正な推進を図る上で必要な資料を得るため適当と認める場合には、捕獲等又は採取等の実施者に対し、実施した地点、日時、種名、性別、捕獲物又は採取物、捕獲努力量等についての報告を、必要に応じて写真又はサンプルを添付させる等により求める。</p> <p>特に、傷病鳥獣の保護捕獲にあつては、上記のような捕獲データの収集、収容個体の計測・分析等を積極的に進めるよう努め、保護及び管理のための基礎資料としての活用を図る。</p> <p><b>3 目的別の捕獲許可の基準</b></p> <p>捕獲許可の基準は、目的別に定める。なお、許可対象者の基準は、対象が法人である場合において、その法人の従事者に当たっては、次の基準に適合する必要がある。</p> <p>3—1 学術研究を目的とする場合</p> <p>(1) 学術研究</p> <p>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 研究の目的及び内容</p> <p>次の各号のいずれにも該当するものであること。</p> <p>1) 主たる目的が、理学、農学、医学、薬学等に関する学術研究であること。ただし、学術研究が単に付随的な目的である場合は、学術研究を目的とした行為とは認めない。</p> <p>2) 鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等を行う以外の方法では、その目的を達成することができないと認められること。</p> <p>3) 主たる内容が鳥獣の生態、習性、行動、食性、生理等に関する研究であること。また、適正な全体計画の下でのみ行われるものであること。</p> <p>4) 研究により得られた成果が、学会、学術誌等により、<u>原則として</u>、一般に公表されるものであること。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p>② 許可対象者<br/>理学、農学、医学、薬学等に関する調査研究を行う者又はこれらの者から依頼を受けた者</p> <p>③ 鳥獣の種類・数<br/>研究の目的を達成するために必要な種類又は数（羽、頭、個）。ただし、外来鳥獣又は生態系や農林水産業等に係る著しい被害を生じさせている鳥獣に関する学術研究を目的とする場合には、適切な種類又は数（羽、頭、個）とする。</p> <p>④ 期間<br/>1年以内</p> <p>⑤ 区域<br/>研究の目的を達成するために必要な区域とする。</p> <p>⑥ 方法<br/>次の各号に掲げる条件に適合するものであること。</p> <p>1) <u>鳥獣保護管理法</u>第12条第1項又は第2項で禁止されている猟法（以下「禁止猟法」という。）ではないこと。</p> <p>2) 殺傷又は損傷（以下「殺傷等」という。）を伴う捕獲方法の場合は、研究の目的を達成するために必要と認められるものであること。ただし、捕獲する鳥獣が外来鳥獣又は生態系や農林水産業等に係る著しい被害を生じさせている鳥獣であって、捕獲した個体を放鳥獣すべきではないと認められる場合は、この限りでない。</p> <p>⑦ 鳥獣の捕獲等又は採取等後の措置<br/>次の各号に掲げる条件に適合するものであること。</p> <p>1) 殺傷等を伴う場合は、研究の目的を達成するために必要最小限と認められるものであること。</p> <p>2) 個体識別等の目的で<u>標識（タグや足環など）</u>の装着、体の一部の切除、マイクロチップの皮下への埋込み等を行う場合は、当該措置が鳥獣の生態に著しい影響を及ぼさないものであり、かつ研究の目的を達成するために必要であると認められるものであること。</p> <p>3) <u>テレメトリー用装置や標識</u>の装着等の鳥獣への負荷を伴う措置については、研究の目的を達成するために当該措置が必要であると認められるものであること。なお、<u>テレメトリー用装置</u>を装着する場合には、必要期間経過後短期間の内に脱落するものであることとし、一般の無線通信に障害を与えないように電波法を遵守すること。また、装着する標識が脱落しない仕様である場合には、情報の収集・活用を促進する観点から標識の情報の公開に努めること。</p> <p>(2) 標識調査（環境省足環を装着する場合）<br/>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 許可対象者<br/>国若しくは都道府県の鳥獣行政事務担当職員又は国若しくは都道府県より委託を受けた者（委託を受けた者から依頼された者を含む。）</p> | <p>② 許可対象者<br/>理学、農学、医学、薬学等に関する調査研究を行う者又はこれらの者から依頼を受けた者</p> <p>③ 鳥獣の種類・数<br/>研究の目的を達成するために必要な種類又は数（羽、頭、個）。ただし、外来鳥獣又は生態系や農林水産業等に係る著しい被害を生じさせている鳥獣に関する学術研究を目的とする場合には、適切な種類又は数（羽、頭、個）とする。</p> <p>④ 期間<br/>1年以内</p> <p>⑤ 区域<br/>研究の目的を達成するために必要な区域とする。</p> <p>⑥ 方法<br/>次の各号に掲げる条件に適合するものであること。<u>ただし、他に方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</u></p> <p>1) <u>法</u>第12条第1項又は第2項で禁止されている猟法（以下「禁止猟法」という。）ではないこと。</p> <p>2) 殺傷又は損傷（以下「殺傷等」という。）を伴う捕獲方法の場合は、研究の目的を達成するために必要と認められるものであること。ただし、捕獲する鳥獣が外来鳥獣又は生態系や農林水産業等に係る著しい被害を生じさせている鳥獣であって、捕獲した個体を放鳥獣すべきではないと認められる場合は、この限りでない。</p> <p>⑦ 鳥獣の捕獲等又は採取等後の措置<br/>次の各号に掲げる条件に適合するものであること。</p> <p>1) 殺傷等を伴う場合は、研究の目的を達成するために必要最小限と認められるものであること。</p> <p>2) 個体識別等の目的で<u>タグ又は標識</u>の装着、体の一部の切除、マイクロチップの皮下への埋込み等を行う場合は、当該措置が鳥獣の生態に著しい影響を及ぼさないものであり、かつ研究の目的を達成するために必要であると認められるものであること。</p> <p>3) <u>電波発信機又は足環</u>の装着等の鳥獣への負荷を伴う措置については、研究の目的を達成するために当該措置が必要であると認められるものであること。なお、<u>電波発信機</u>を装着する場合には、<u>原則として</u>、必要期間経過後短期間の内に脱落するものであることとし、一般の無線通信に障害を与えないように電波法を遵守すること。また、装着する標識が脱落しない仕様である場合には、情報の収集・活用を促進する観点から標識の情報の公開に努めること。</p> <p>(2) 標識調査（環境省足環を装着する場合）<br/>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 許可対象者<br/>国若しくは都道府県の鳥獣行政事務担当職員又は国若しくは都道府県より委託を受けた者（委託を受けた者から依頼された者を含む。）</p> | <p>(削除)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |



新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p><b>(2) 鳥獣の保護に係る行政事務の遂行の目的</b></p> <p>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 許可対象者<br/>国又は地方公共団体の鳥獣行政事務担当職員（出先<del>の</del>機関の職員<del>を</del>含む。）、国又は地方公共団体から当該事務を受託した者、鳥獣保護<del>管理</del><u>推進員</u>その他特に必要と認められる者</p> <p>② 鳥獣の種類・数<br/>必要と認められる種類及び数（羽、頭、個）</p> <p>③ 期間<br/>1年以内</p> <p>④ 区域<br/>申請者の職務上必要な区域</p> <p>⑤ 方法<br/>禁止猟法は認めない。</p> <p><b>(3) 傷病により保護を要する鳥獣の保護の目的</b></p> <p>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 許可対象者<br/>国又は地方公共団体の鳥獣行政事務担当職員（出先<del>の</del>機関の職員<del>を</del>含む。）、国又は地方公共団体から当該事務を受託した者、鳥獣保護<del>管理</del><u>推進員</u>その他特に必要と認められる者</p> <p>② 鳥獣の種類・数<br/>必要と認められる種類及び数（羽、頭、個）</p> <p>③ 期間<br/>1年以内</p> <p>④ 区域<br/>必要と認められる区域</p> <p>⑤ 方法<br/>禁止猟法は認めない。</p> <p><b>3—3 鳥獣の管理を目的とする場合</b></p> <p><b>(1) 第二種特定<del>鳥獣</del>管理計画に基づく鳥獣の数の調整の目的</b></p> <p>① 許可対象者<br/>原則として、銃器を使用する場合にあっては第一種銃猟免許を所持する者（空気銃を使用する場合にあっては第一種銃猟免許又は第二種銃猟免許を所持する者）、銃器の使用以外の方法による場合にあっては網猟免許又はわな猟免許を所持する者であること。ただし、銃器の使用以外の方法による法</p> | <p>(2) 鳥獣の保護に係る行政事務の遂行の目的</p> <p>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 許可対象者<br/>国又は地方公共団体の鳥獣行政事務担当職員（出先機関の職員含む。）、国又は地方公共団体から当該事務を受託した者、鳥獣保護<del>管理</del><u>管理員</u>その他特に必要<del>がある</del>と認められる者</p> <p>② 鳥獣の種類・数<br/>必要と認められる種類及び数（羽、頭、個）</p> <p>③ 期間<br/>1年以内</p> <p>④ 区域<br/>申請者の職務上必要な区域</p> <p>⑤ 方法<br/><u>原則として</u>、禁止猟法は認めない。</p> <p>(3) 傷病により保護を要する鳥獣の保護の目的</p> <p>原則として次の基準による。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>① 許可対象者<br/>国又は地方公共団体の鳥獣行政事務担当職員（出先<del>の</del>機関の職員<del>を</del>含む。）、国又は地方公共団体から当該事務を受託した者、鳥獣保護<del>管理</del><u>管理員</u>その他特に必要と認められる者</p> <p>② 鳥獣の種類・数<br/>必要と認められる種類及び数（羽、頭、個）</p> <p>③ 期間<br/>1年以内</p> <p>④ 区域<br/>必要と認められる区域</p> <p>⑤ 方法<br/><u>原則として</u>、禁止猟法は認めない。</p> <p>3—3 鳥獣の管理を目的とする場合</p> <p>(1) 第二種特定管理計画に基づく鳥獣の数の調整の目的</p> <p>① 許可対象者<br/>原則として、銃器を使用する場合にあっては第一種銃猟免許を所持する者（空気銃を使用する場合にあっては第一種銃猟免許又は第二種銃猟免許を所持する者）、銃器の使用以外の方法による場合にあっては網猟免許又はわな猟免許を所持する者であること。ただし、銃器の使用以外の方法によ</p> | <p></p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|--|--|---|
| <p>人に対する許可であって、次の1)から4)までの要件を全て満たす場合は、狩猟免許を受けていない者も許可対象者とすることができるものとする。</p> <p>1) 従事者の中に猟法の種類に応じた狩猟免許所有者が含まれること。</p> <p>2) 当該法人が従事者に対して講習会を実施することにより捕獲技術、安全性等が確保されていると認められること。</p> <p>3) 当該免許を受けていない者が当該免許を受けている者の監督下で捕獲を行うこと。</p> <p>4) 当該法人が地域の関係者と十分な調整を図っていると認められること。</p> <p>② 鳥獣の種類・数<br/>第二種特定鳥獣管理計画の目標の達成のために適切かつ合理的な数（羽、頭、個）<u>とする</u>。</p> <p>③ 期間<br/>第二種特定鳥獣管理計画の目標の達成を図るために必要かつ適切な期間とする。なお、複数年にわたる期間を設定する場合には、第二種特定鳥獣管理計画の内容を踏まえ適切に対応する。捕獲等又は採取等の対象以外の鳥獣の保護及び繁殖に支障がある期間は避けるように考慮する。</p> <p>④ 区域<br/>第二種特定鳥獣管理計画の達成を図るために必要かつ適切な区域</p> <p>⑤ 方法<br/>空気銃を使用した捕獲等は、対象を負傷させた<u>状態で</u>取り逃がす危険性があるため、<u>中・小型鳥類、ネズミ、リス等の小型獣類及びアライグマ、ハクビシン、キョン、タイワンザル等の中型獣類を除き</u>その使用を認めない。ただし、取り逃がす危険性の少ない状況において使用する場合にはこの限りではない。</p> <p>また、鳥獣の捕獲等に当たっては、鉛が暴露する構造・素材の装弾は使用しないよう指導する。</p> <p>(2) 鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害の防止の目的</p> <p>① 有害鳥獣捕獲の基本的考え方<br/>捕獲は、<u>現に被害</u>が生じている場合だけでなく、そのおそれがある場合についても許可するものとする。また、原則として被害防除対策<u>を講じても</u>被害等の防止又は軽減ができないと認められる時に行うものとする。ただし、<u>ニホンジカ及びイノシシといった指定管理鳥獣、ハシボソガラスやハシブトガラス、外来鳥獣等</u>については、<u>捕獲を推進するため、被害や被害のおそれがなく、被害防除対策を講じていない場合でも</u>有害鳥獣捕獲を<u>可能とする</u>。</p> <p>捕獲に当たっては、<u>各関係機関と連絡調整を行うとともに</u>、協力体制の<u>強化を図り</u>、連携して捕獲の実施や被害防除施設の整備等が総合的に推進されるように努める<u>ものとする</u>。<u>また</u>、農林水産業の健全な発展と鳥獣の保護及び管理との両立を図るため、鳥獣の生息状況及び被害の実態を把握し、狩猟の活用を含む適切かつ効果的な防除方法の確立に<u>努めるものとする</u>。<u>加えて</u>、生活環境の悪化等の被害に対しては、鳥獣の生態や習性に関する知識及び生ごみ等の適正な処理や餌やり行為の防止についても指導し、<u>及び普及</u>を図るよう努める<u>ものとする</u>。</p> | <p>る法人に対する許可であって、次の1)から4)までの要件を全て満たす場合は、狩猟免許を受けていない者も許可対象者とすることができるものとする。</p> <p>1) 従事者の中に猟法の種類に応じた狩猟免許所有者が含まれること。</p> <p>2) 当該法人が従事者に対して講習会を実施することにより捕獲技術、安全性等が確保されていると認められること。</p> <p>3) 当該免許を受けていない者が当該免許を受けている者の監督下で捕獲を行うこと。</p> <p>4) 当該法人が地域の関係者と十分な調整を図っていると認められること。</p> <p>② 鳥獣の種類・数<br/>第二種特定鳥獣管理計画の目標の達成のために適切かつ合理的な数（羽、頭、個）<u>であること</u>。</p> <p>③ 期間<br/>第二種特定鳥獣管理計画の目標の達成を図るために必要かつ適切な期間とする。なお、複数年にわたる期間を設定する場合には、第二種特定鳥獣管理計画の内容を踏まえ適切に対応する。捕獲等又は採取等の対象以外の鳥獣の保護及び繁殖に支障がある期間は避けるように考慮する。</p> <p>④ 区域<br/>第二種特定鳥獣管理計画の達成を図るために必要かつ適切な区域</p> <p>⑤ 方法<br/>空気銃を使用した捕獲等は、対象を負傷させたまま取り逃がす危険性があるため、<u>大型獣類については</u>その使用を認めない。ただし、取り逃がす危険性の少ない状況において使用する場合にはこの限りではない。</p> <p>また、鳥獣の捕獲等に当たっては、鉛が暴露する構造・素材の装弾は使用しないよう指導する。</p> <p>(2) 鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害の防止の目的</p> <p>① 有害鳥獣捕獲の基本的考え方<br/>捕獲は、<u>被害が現に</u>生じている場合だけでなく、そのおそれがある場合についても許可するものとする。また、原則として被害防除対策<u>によっても</u>被害等の防止又は軽減ができないと認められる時に行うものとする。ただし、指定管理鳥獣、外来鳥獣等については、<u>積極的な有害鳥獣捕獲を図るものとする</u>。</p> <p>捕獲の実施に当たっては、関係諸機関と連絡調整、協力体制を<u>強化し</u>、連携して捕獲の実施や被害防除施設の整備等が総合的に推進されるように努める。農林水産業の健全な発展と鳥獣の保護及び管理との両立を図るため、鳥獣の生息状況及び被害の実態を把握し、狩猟の活用を含む適切かつ効果的な防除方法の確立にも<u>努める</u>。<u>また</u>、生活環境の悪化等の被害に対しては、鳥獣の生態や習性に関する知識及び生ごみ等の適正な処理や餌やり行為の防止についても指導、普及を図るよう努める。</p> | <p></p> <p>(変更)</p> <p></p> <p>(変更)</p> <p></p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）                                   | 備考        |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
|--|---|-----------|------------------------|--------------|-------|-----|------|-------|------|--------------|--------------------|--|----|---------------------|------|------|------------------------|---------------------|------|----|------------------------|----|--------------|------|-----|--------------------------|--------|------------------------|------|----|------|----|--------------|------|------|---------------------------------|----|---------------------|------|------|----------------------------|----|---------------|------|------|----|-----------|------|----------|--------|----|--------|------|--|-------|------------|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------|-----|--------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|------------------------|------|---------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------|------|----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----------------|---|
| <p>② 予察捕獲</p> <p>農作物や生活への被害等のおそれがある場合の予察に基づく被害を防止する目的での捕獲は、具体的被害が発生する以前であっても、農作物の作付け、過去の被害発生時と類似の条件、対象鳥獣の出現状況等を考慮して、予防策を講じても被害の発生が予測される場合に、被害を受けることが予測される者又は当該者から依頼された者から申請があった場合に適用するものとし、次の予察表の加害鳥獣、被害発生時期、被害発生地域において、過去の捕獲実績等を勘案して許可するものとする。ただし、指定管理鳥獣、外来鳥獣等についてはこの限りでない。</p> <p style="text-align: right;">（第7表）</p> <table border="1" data-bbox="192 667 1329 1852"> <thead> <tr> <th>加害鳥獣名</th> <th>主な被害等</th> <th>被害発生時期</th> <th>被害発生地域 ※1</th> <th>捕獲対象等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウミネ</td> <td>生活環境</td> <td>3月～8月</td> <td>23区内</td> <td>個体（雛のみ）、卵 ※2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ハシボコガラス<br/>ハシブトガラス</td> <td>サツマイモ等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、スイカ、トマト、アスパラ等野菜類・シソ等果樹類</td> <td>通年</td> <td>23区内<br/>多摩全域<br/>島しょ</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td>生活環境</td> <td>通年</td> <td>23区内<br/>多摩全域<br/>島しょ</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td>カワ</td> <td>アユ、ニジマス、ヤマメ、ウグイ、オカワ等魚類</td> <td>通年</td> <td>23区内<br/>多摩全域</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td>スズメ</td> <td>水稻・小麦・スイートコーン等野菜類・ブルーベリー</td> <td>5月～10月</td> <td>23区内<br/>北多摩地域<br/>西多摩地域</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td>トビ</td> <td>生活環境</td> <td>通年</td> <td>23区内<br/>多摩全域</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td>ヒヨドリ</td> <td>キャベツ、コマツナ、ブロッコリー等野菜類・キイフルーツ等果樹類</td> <td>通年</td> <td>23区内<br/>多摩全域<br/>大島町</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ムクドリ</td> <td>キャベツ、ホウレンソウ等野菜類・ブルーベリー等果樹類</td> <td>通年</td> <td>23区内<br/>北多摩地域</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td>生活環境</td> <td>通年</td> <td>23区内、多摩全域</td> <td>個体、卵</td> </tr> <tr> <td>全ての種類 ※3</td> <td>航空航行障害</td> <td>通年</td> <td>空港周辺地域</td> <td>個体、卵</td> </tr> </tbody> </table> | 加害鳥獣名   | 主な被害等     | 被害発生時期                 | 被害発生地域 ※1    | 捕獲対象等 | ウミネ | 生活環境 | 3月～8月 | 23区内 | 個体（雛のみ）、卵 ※2 | ハシボコガラス<br>ハシブトガラス | サツマイモ等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、スイカ、トマト、アスパラ等野菜類・シソ等果樹類 | 通年 | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ | 個体、卵 | 生活環境 | 通年                     | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ | 個体、卵 | カワ | アユ、ニジマス、ヤマメ、ウグイ、オカワ等魚類 | 通年 | 23区内<br>多摩全域 | 個体、卵 | スズメ | 水稻・小麦・スイートコーン等野菜類・ブルーベリー | 5月～10月 | 23区内<br>北多摩地域<br>西多摩地域 | 個体、卵 | トビ | 生活環境 | 通年 | 23区内<br>多摩全域 | 個体、卵 | ヒヨドリ | キャベツ、コマツナ、ブロッコリー等野菜類・キイフルーツ等果樹類 | 通年 | 23区内<br>多摩全域<br>大島町 | 個体、卵 | ムクドリ | キャベツ、ホウレンソウ等野菜類・ブルーベリー等果樹類 | 通年 | 23区内<br>北多摩地域 | 個体、卵 | 生活環境 | 通年 | 23区内、多摩全域 | 個体、卵 | 全ての種類 ※3 | 航空航行障害 | 通年 | 空港周辺地域 | 個体、卵 | <p>② 予察捕獲</p> <p>被害等のおそれがある場合に実施する予察による被害防止の目的での捕獲（以下「予察捕獲」という。）は、具体的被害の発生以前であっても、農作物の作付け、過去の被害発生時と類似の条件、対象鳥獣の出現状況からみて、予防策を講じても被害の発生が予測される場合に被害を受けることが予測される者又は当該者から依頼された者から申請があった場合に適用するものとし、次の予察表の加害鳥獣、被害発生時期、被害発生地域において、過去の捕獲実績等を勘案して許可するものとする。ただし、指定管理鳥獣、外来鳥獣等についてはこの限りでない。</p> <p style="text-align: right;">（第7表）</p> <table border="1" data-bbox="1430 667 2567 1938"> <thead> <tr> <th rowspan="2">加害鳥獣名</th> <th rowspan="2">主な被害農林水産物等</th> <th colspan="12">被害発生時期（月）</th> <th rowspan="2">被害発生地域 ※1</th> </tr> <tr> <th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">カラス類</td> <td>サツマイモ等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、スイカ、トマト、アスパラ等野菜類・ミカン等果樹類</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>23区内<br/>多摩全域<br/>島しょ</td> </tr> <tr> <td>生活環境</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>23区内<br/>多摩全域<br/>島しょ</td> </tr> <tr> <td>スズメ</td> <td>水稻・小麦・スイートコーン等野菜類・ブルーベリー</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>23区内<br/>北多摩地域<br/>西多摩地域</td> </tr> <tr> <td>ヒヨドリ</td> <td>キャベツ、コマツナ、ブロッコリー等野菜類・キイフルーツ等果樹類</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>23区内<br/>多摩全域<br/>大島町</td> </tr> <tr> <td>ムクドリ</td> <td>キャベツ、ホウレンソウ等野菜類・ブルーベリー等果樹類</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>23区内<br/>北多摩地域</td> </tr> <tr> <td>イシ</td> <td>サツマイモ等いも類・スイートコーン、カボチャ等野菜類・クリ等果樹類、タケノコ、ワサビ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>西多摩地域<br/>南多摩地域</td> </tr> </tbody> </table> | 加害鳥獣名 | 主な被害農林水産物等 | 被害発生時期（月） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 被害発生地域 ※1 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | カラス類 | サツマイモ等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、スイカ、トマト、アスパラ等野菜類・ミカン等果樹類 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ | 生活環境 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ | スズメ | 水稻・小麦・スイートコーン等野菜類・ブルーベリー |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 23区内<br>北多摩地域<br>西多摩地域 | ヒヨドリ | キャベツ、コマツナ、ブロッコリー等野菜類・キイフルーツ等果樹類 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 23区内<br>多摩全域<br>大島町 | ムクドリ | キャベツ、ホウレンソウ等野菜類・ブルーベリー等果樹類 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 23区内<br>北多摩地域 | イシ | サツマイモ等いも類・スイートコーン、カボチャ等野菜類・クリ等果樹類、タケノコ、ワサビ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 西多摩地域<br>南多摩地域 | <p>(変更)</p> |
| 加害鳥獣名  | 主な被害等   | 被害発生時期    | 被害発生地域 ※1              | 捕獲対象等        |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| ウミネ  | 生活環境  | 3月～8月     | 23区内                   | 個体（雛のみ）、卵 ※2 |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| ハシボコガラス<br>ハシブトガラス   | サツマイモ等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、スイカ、トマト、アスパラ等野菜類・シソ等果樹類  | 通年        | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ    | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
|  | 生活環境  | 通年        | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ    | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| カワ   | アユ、ニジマス、ヤマメ、ウグイ、オカワ等魚類                              | 通年        | 23区内<br>多摩全域           | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| スズメ  | 水稻・小麦・スイートコーン等野菜類・ブルーベリー                            | 5月～10月    | 23区内<br>北多摩地域<br>西多摩地域 | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| トビ   | 生活環境  | 通年        | 23区内<br>多摩全域           | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| ヒヨドリ   | キャベツ、コマツナ、ブロッコリー等野菜類・キイフルーツ等果樹類                     | 通年        | 23区内<br>多摩全域<br>大島町    | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| ムクドリ   | キャベツ、ホウレンソウ等野菜類・ブルーベリー等果樹類                          | 通年        | 23区内<br>北多摩地域          | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
|  | 生活環境  | 通年        | 23区内、多摩全域              | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| 全ての種類 ※3   | 航空航行障害  | 通年        | 空港周辺地域                 | 個体、卵         |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| 加害鳥獣名  | 主な被害農林水産物等  | 被害発生時期（月） |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    | 被害発生地域 ※1           |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
|  |   | 4         | 5                      | 6            | 7     | 8   | 9    | 10    | 11   | 12           | 1                  | 2  | 3  |                     |      |      |                        |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| カラス類   | サツマイモ等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、スイカ、トマト、アスパラ等野菜類・ミカン等果樹類 |           |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ    |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
|  | 生活環境  |           |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      | 23区内<br>多摩全域<br>島しょ    |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| スズメ  | 水稻・小麦・スイートコーン等野菜類・ブルーベリー                            |           |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      | 23区内<br>北多摩地域<br>西多摩地域 |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| ヒヨドリ   | キャベツ、コマツナ、ブロッコリー等野菜類・キイフルーツ等果樹類                     |           |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      | 23区内<br>多摩全域<br>大島町    |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| ムクドリ   | キャベツ、ホウレンソウ等野菜類・ブルーベリー等果樹類                          |           |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      | 23区内<br>北多摩地域          |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |
| イシ   | サツマイモ等いも類・スイートコーン、カボチャ等野菜類・クリ等果樹類、タケノコ、ワサビ          |           |                        |              |       |     |      |       |      |              |                    |  |    |                     |      |      | 西多摩地域<br>南多摩地域         |                     |      |    |                        |    |              |      |     |                          |        |                        |      |    |      |    |              |      |      |                                 |    |                     |      |      |                            |    |               |      |      |    |           |      |          |        |    |        |      |  |       |            |           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |           |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |      |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |     |                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                        |      |                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                     |      |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |               |    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画） |  |        |                |       | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） |  |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   | 備考 |        |  |  |  |                |                      |                      |
|----------------------|--|--------|----------------|-------|-------------------|--|-----------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|----|--------|--|--|--|----------------|----------------------|----------------------|
| 加害鳥獣名                | 主な被害等  | 被害発生時期 | 被害発生地域 ※1      | 捕獲対象等 | 加害鳥獣名             | 主な被害農林水産物等   | 被害発生時期（月） |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    | 被害発生地域 |  |  |  |                |                      |                      |
|                      |  |        |                |       |                   |  | 4         | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3  |        |  |  |  |                |                      |                      |
| イノシ                  | サツマイモ等いも類・スイートコーン、カボチャ等野菜類・クリ等果樹類、タケノコ、ワサビ                 | 通年     | 西多摩地域<br>南多摩地域 | 個体    | ニホンザル             | ジャガ芋等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、カボチャ等野菜類・クリ、カキ等果樹類、タケノコ、ワサビ、シイタケ |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  |                | 西多摩地域<br>南多摩地域       | (変更)<br>(変更)<br>(変更) |
| ニホンザル                | ジャガ芋等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、カボチャ等野菜類・クリ、カキ等果樹類、タケノコ、ワサビ、シイタケ | 通年     | 西多摩地域<br>南多摩地域 | 個体    | ニホンザル             | ジャガ芋等いも類・ラッカセイ等豆類・スイートコーン、カボチャ等野菜類・クリ、カキ等果樹類、タケノコ、ワサビ、シイタケ |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  | 西多摩地域<br>南多摩地域 | (変更)<br>(変更)<br>(変更) |                      |
| ニホンジカ                | スキ、ヒノキ、植栽苗木、育成樹木、ワサビ                                       | 通年     | 西多摩地域<br>南多摩地域 | 個体    | ニホンジカ             | スキ、ヒノキ、植栽苗木、育成樹木、ワサビ                                       |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  | 西多摩地域          | (変更)<br>(変更)<br>(変更) |                      |
|                      | サツマイモ、アシタバ   | 通年     | 新島村            | 個体    |                   | サツマイモ、アシタバ   |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  |                |                      | 新島村                  |
| タヌキ                  | ジャガ芋等いも類・ラッカセイ、スイートコーン、トマト等野菜類・ナシ、ブドウ等果樹類                  | 通年     | 23区内<br>多摩全域   | 個体    | タヌキ               | ジャガ芋等いも類・ラッカセイ、スイートコーン、トマト等野菜類・ナシ、ブドウ等果樹類                  |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  | 23区内<br>多摩全域   | (変更)<br>(変更)<br>(変更) |                      |
|                      |  |        |                |       | トバト               | 生活環境   |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  | 23区内<br>多摩全域   | (変更)<br>(変更)<br>(変更) |                      |
|                      |  |        |                |       | カリウ               | アユ、ニジマス、ヤマメ、ウグイ、オカリ等魚類                                     |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  | 23区内<br>多摩全域   | (変更)<br>(変更)<br>(変更) |                      |
|                      |  |        |                |       | 全ての種類 ※2          |  |           |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |    |        |  |  |  | 航空航行障害         | (変更)<br>(変更)<br>(変更) |                      |

※1 各多摩地域には、次の市町村を含む。  
 北多摩地域：立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、小金井市、小平市、東村山市、国立市、西東京市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、国分寺市及び狛江市  
 西多摩地域：青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村及び奥多摩町  
 南多摩地域：八王子市、町田市、日野市、多摩市及び稲城市  
 ※2 ウミネコは東京都レッドリスト（本土部）2020年度版において、区部・本土部の「留意種」に評価されていることから、本来の営巣環境ではない人工構造物上での繁殖により生活環境被害が発生した場合を対象とし、必要最低数の捕獲に限る。

※1 各多摩地域には、次の市町村を含む。  
 北多摩地域：立川市、武蔵野市、三鷹市、府中市、昭島市、調布市、小金井市、小平市、東村山市、国立市、西東京市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、国分寺市及び狛江市  
 西多摩地域：青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村及び奥多摩町  
 南多摩地域：八王子市、町田市、日野市、多摩市及び稲城市

(追加)

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考                                  |
|---|---|-------------------------------------|
| <p>※<u>3</u> ただし、<u>鳥獣保護管理法</u>第2条第4項に規定する「希少鳥獣」を除く種類に限定する。</p> <p>③ 鳥獣の適正管理</p> <p>1) 方針</p> <p>生活環境、農林水産業又は生態系への影響から<u>適正な管理</u>を実施する必要性の高い鳥獣については、農林水産部局等<u>の関係部署と連携の上</u>、効果的な適正管理を図るよう努める。<u>なお</u>、本計画では、多摩地域で被害を発生させているニホンジカ、ニホンザル、イノシシ等、島しょ地域で被害を発生させているキョン、タイワンザル、ニホンジカ、ノヤギ等、都心部を中心に生活環境被害が顕著なアライグマ、ハクビシン、<u>ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト、ムクドリ等</u>、広域にわたって水産業への被害を<u>及ぼしている</u>カワウについて、各鳥獣の保護及び管理の考え方にに基づき、適正な管理を<u>推進</u>していく。<u>また、ウミネコについて、近年、23区内の沿岸部における住宅地等で営巣し、糞や鳴き声による生活環境被害を及ぼしているため、適正に対応していく。</u></p> | <p>※<u>2</u> ただし、<u>法</u>第2条第4項に規定する「希少鳥獣」を除く種類に限定する。</p> <p>③ 鳥獣の適正管理</p> <p>1) 方針</p> <p>生活環境、農林水産業又は生態系への影響から<u>適正管理</u>を実施する必要性の高い鳥獣については、農林水産部局等<u>関係部署と連携の上</u>、効果的な適正管理を図るよう努める。本計画では、多摩地域で被害を発生させているニホンジカ、ニホンザル、イノシシ等、島しょ地域で被害を発生させているキョン、タイワンザル、ニホンジカ、ノヤギ等、都心部を中心に生活環境被害が顕著なアライグマ、ハクビシン、<u>カラス類</u>、広域にわたって水産業への被害を<u>発生させて</u>いるカワウについて、各鳥獣の保護及び管理の考え方にに基づき、適正な管理を<u>進め</u>ていく。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   |       |  |   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  |     |  |   | 備考   |
|--|-------|--|---|--|-----|--|---|------|
| 2) 防除方法の検討、個体数管理の実施等の計画<br>(第8表)   |       |  |   | 2) 防除方法の検討、個体数管理の実施等の計画<br>(第8表)   |     |  |   |      |
| 対象鳥獣名  | 年度    | 防除方法の検討、個体数管理の実施等  | 備考  | 対象鳥獣名  | 年度  | 防除方法の検討、個体数管理の実施等  | 備考  |      |
| ニホンジカ<br>(多摩地域)  | 平成17～ | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br>個体数調整捕獲（市町村、地元猟友会等）<br>生息状況調査       | 「第6期東京都第2種シカ管理計画」及び「第5次東京都農林業獣害対策基本計画」に基づく事業    | ニホンジカ<br>(多摩地域)  | 17～ | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止柵等）<br>個体数調整捕獲（市町村、地元猟友会等）<br>生息状況調査       | 「東京都シカ管理計画検討会」「東京都シカ管理計画」に基づく事業   | (変更) |
| ニホンザル<br>イノシシ<br>ハクビシン<br>アライグマ等<br>(区部・多摩地域)  | 平成13～ | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止電気柵等）<br>地元猟友会等による追い払い<br>有害鳥獣捕獲<br>生息状況調査 | 「第5次東京都農林業獣害対策基本計画」「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に基づく事業 | ニホンザル<br>イノシシ<br>ハクビシン<br>アライグマ等<br>(区部・多摩地域)  | 13～ | 農林業被害調査<br>侵入防止対策（侵入防止電気柵等）<br>地元猟友会等による追い払い<br>有害鳥獣捕獲<br>生息状況調査 | 「東京都鳥獣害対策委員会」「東京都獣害対策基本計画」「東京都外来鳥獣（アライグマ・ハクビシン）防除対策検討委員会」<br>「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」<br>に基づく事業 | (変更) |
| キョン<br>タイワンザル<br>クリハラリス<br>ニホンジカ<br>ノヤギ<br>(島しょ地域)   | 平成18～ | 農林業被害調査<br>有害鳥獣捕獲<br>生息状況調査                                      | 「第5次東京都農林業獣害対策基本計画」「東京都キョン防除実施計画」に基づく事業         | キョン<br>タイワンザル<br>クリハラリス<br>ニホンジカ<br>ノヤギ<br>(島しょ地域)   | 18～ | 農林業被害調査<br>有害鳥獣捕獲<br>生息状況調査                                      | 「東京都特定外来生物（キョン）防除対策検討委員会」「東京都キョン防除実施計画」「東京都鳥獣害対策委員会」「東京都獣害対策基本計画」に基づく事業                       | (変更) |
| ハシボソガラス<br>ハシブトガラス   | 平成13～ | ごみ対策の推進（防鳥ネット、個別収集等）<br>トラップ捕獲及び巣の撤去<br>生息状況調査                   |   | カラス類   | 13～ | ごみ対策の強化（防鳥ネット、個別収集等）<br>トラップ捕獲及び巣の撤去<br>生息状況調査                   |   | (変更) |
| カワウ  | 平成20～ | 広域的な一斉追い払い、生息状況調査<br>有害捕獲<br>個体数管理                               | 「関東カワウ広域協議会」の管理指針                               | カワウ  | 20～ | 広域的な一斉追い払い、生息状況調査<br>有害捕獲<br>個体数管理                               | 「関東カワウ広域協議会」の管理指針   | (変更) |
| ④ 有害鳥獣捕獲についての許可基準の設定<br>1) 許可基準<br>ア 許可対象者<br>許可対象者は、被害等を受けた者又は被害等を受けた者から依頼された個人又は法人（区市町村が定める被害防止計画に基づき捕獲等を行う者及び国又は地方公共団体職員を含む。）とし、銃器を使用する場合は、第一種銃猟免許を所持する者（空気銃を使用する場合は、第一種銃猟免許又 |       |  |   | ④ 有害鳥獣捕獲についての許可基準の設定<br>1) 許可基準<br>ア 許可対象者<br>許可対象者は、被害等を受けた者又は被害等を受けた者から依頼された個人又は法人であって、原則として次の事項に該当する者とする。 |     |  |   | (変更) |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p><u>は第二種銃猟免許を所持する者）、銃器以外の方法による場合は、網猟免許又はわな猟免許を所持する者とする。</u></p> <p><u>ただし、銃器以外の方法による捕獲許可申請において、次の(ア)から(オ)までに該当する場合及びネズミ・モグラ類（ドブネズミ、クマネズミ及びハツカネズミを除く。）を捕獲する場合は、狩猟免許を受けていない者も許可対象者とすることができる。</u></p> <p><u>(ア) 被害を防止する目的で、次に掲げる捕獲を行う場合</u></p> <p><u>a 手捕り又はつき網やたも網等の手持ちの網を用いる方法で、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト及びクリハラリスを捕獲する場合</u></p> <p><u>b 捕獲器（構造及び設置場所から捕獲対象種以外の鳥獣を捕獲するおそれが少なく、かつ、人又は捕獲対象種以外の鳥獣が捕獲器に入ることにより、傷害を負わせたり致死させない構造のものに限る。）により、ハシボソガラス、ハシブトガラスやドバトを捕獲する場合。また、市販のネズミ捕獲器を改造することなくクリハラリスを捕獲する場合</u></p> <p><u>(イ) 住宅等の建物、塀、垣等に囲われ不特定の人物が立ち入るおそれの少ないその住宅等の敷地内における被害を防止する目的で、小型のはこわな若しくはつき網やたも網等の手持ちの網を用いる方法又は手捕りにより、その建物又は敷地内においてアライグマ、ハクビシン等の鳥獣を捕獲する場合</u></p> | <p><u>(ア) 銃器を使用する場合は、第一種銃猟免許を所持する者（空気銃を使用する場合にあっては、第一種銃猟又は第二種銃猟免許を所持する者）</u></p> <p><u>(イ) 銃器以外の方法による場合は、網猟免許又はわな猟免許を所持する者。ただし、ネズミ・モグラ類（ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミを除く。）を捕獲する場合及び次に示す捕獲を行うことが申請書類等により確認できる場合で、法第9条第3項各号のいずれにも該当せず、捕獲した個体の適切な処分ができると認められる場合はこの限りではない。</u></p> <p><u>a 手捕り又は手持ちの網を用いて、カラス類やドバト、クリハラリスを捕獲する場合</u></p> <p><u>b 捕獲器（構造及び設置場所から捕獲対象種以外の鳥獣を捕獲するおそれが少なく、かつ、人又は捕獲対象種以外の鳥獣が捕獲器に入ることにより、傷害を負わせたり致死させない構造のものに限る。）により、カラス類やドバトを捕獲する場合</u></p> <p><u>c 小型の箱わな若しくはつき網を用いて又は手捕りにより、住宅等の建物内における被害を防止する目的で、当該敷地内において小型の鳥獣、アライグマ、ハクビシン又はタヌキを捕獲する場合</u></p> <p><u>d 囲いわなを用いて、農林業被害の防止の目的で、農林業者が自らの事業地内においてイノシシ、ニホンジカその他の鳥獣を捕獲する場合</u></p> <p><u>e 小型の箱わな若しくはつき網を用いて又は手捕りにより、農林業地内における被害を防止する目的で、当該農林業地内（使用するわなで捕獲される可能性がある希少鳥獣が生息する地域を除く。）において小型の鳥獣又はアライグマ、ハクビシン等の中型の外来鳥獣を捕獲する場合であつて、1日1回以上の見回りを実施する等、錯誤捕獲等により鳥獣の保護に重大な支障を生じないと認められる場合</u></p> <p><u>f 小型の箱わな又は手持ちの網を用いて、建物等における被害を防止する目的で、国又は地方公共団体が、塀や垣等に囲われ不特定の人物が立ち入るおそれの少ない住宅等の敷地内で、アライグマ、ハクビシン等の中型の外来鳥獣を計画的に捕獲する場合</u></p> <p><u>g 市販のネズミ捕獲器を改造することなくクリハラリスを捕獲する場合</u><br/> <u>当該申請の捕獲方法に該当する狩猟免許を有する者は、法第52条第2項による免許停止処分を受けていない者とする。</u></p> | <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p><u>(ウ) 農林業被害を防止する目的で、次に掲げる捕獲を行う場合</u></p> <p>a <u>罠いわなを用いて、農林業者が自らの事業地内においてイノシシ、ニホンジカその他の鳥獣を捕獲する場合</u></p> <p>b <u>小型のはこわな若しくはつき網を用いる方法又は手捕りにより、当該農林業地内（使用するわなで捕獲される可能性がある希少鳥獣が生息する地域を除く。）においてアライグマ、ハクビシン等の鳥獣を捕獲する場合であって、1日1回以上の見回りを実施する等、錯誤捕獲（意図しない鳥獣種の捕獲）等により鳥獣の保護に重大な支障を生じないと認められる場合</u></p> <p><u>(エ) 次の要件を満たす場合</u></p> <p>a <u>林野庁長官通達（昭和38年12月4日付38林野造第2047号）に基づき、国有林の職員であって3年以内に所要の研修を受けた者が、国有林内において有害鳥獣を捕獲する場合</u></p> <p>b <u>人身被害を防止する等の緊急時の対応をする目的で、国又は地方公共団体が、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル等の大型及び中型の獣類を捕獲する場合</u></p> <p>c <u>動物園職員が展示動物の安全等の確保のため、園内ではこわなを使って中型哺乳類等を捕獲する場合</u></p> <p><u>(オ) 法人に対する許可で、銃器の使用以外の方法による場合であって、次の要件を全て満たす場合</u></p> <p>a <u>従事者の中に猟法の種類に応じた狩猟免許所持者が含まれること。</u></p> <p>b <u>当該法人が従事者に対して講習会を実施することにより、捕獲技術、安全性等が確保されていると認められること。</u></p> <p>c <u>当該免許を受けていない者は、原則として当該免許を受けている者の監督下で捕獲を行うこと。</u></p> <p>d <u>当該法人が地域の関係者と十分な調整を図っていると認められること。</u></p> <p>イ 鳥獣の種類・数<br/>鳥獣の種類は、現に被害等を生じさせている種又はそのおそれのある種とする。<br/>なお、鳥類の卵の採取等の許可は、原則として、<u>現に</u>被害等を発生させている個体を捕獲等することが困難であり、<u>又は</u>卵のある巣を除去する必要がある等、卵の採取等を行わなければ被害を防止する目的が達成できない場合に限る。<br/>捕獲等又は採取等の数は、被害等の防止又は軽減の目的を達成するために必要な数（羽、頭、個）とする。</p> <p>ウ 期間<br/>有害鳥獣捕獲の期間は、原則として被害等が生じている時期又は被害等を予防できると認められる時期のうち、最も安全かつ効果的に有害鳥獣捕獲が実施できる時期であって6か月を超えない範囲で必要最小限の期間とする。ただし、次に示す場合にあつては、1年を超えない範囲で必要最小限の期間とする。</p> <p>(ア) 飛行場の区域内において飛行機の安全な航行に支障を及ぼすと認められる鳥獣を捕獲する場合<br/>(イ) 国又は地方公共団体に対する許可である場合</p> | <p>なお、<u>法人、NPO 団体等に対する許可では、許可を受ける者又は従事者（以下「従事者等」という。）について、原則として狩猟免許を有する者とする。ただし、銃器の使用以外の方法による場合であって、次の要件を全て満たす場合は、狩猟免許を受けていない者を許可対象者とするこもできるものとする。</u></p> <p><u>(ア) 従事者等</u>の中に猟法の種類に応じた狩猟免許所持者が含まれること。</p> <p><u>(イ)</u> 当該法人が<u>従事者等</u>に対して講習会を実施することにより、捕獲技術、安全性等が確保されていると認められること。</p> <p><u>(ウ)</u> 当該免許を受けていない者は、原則として当該免許を受けている者の監督下で捕獲を行うこと。</p> <p><u>(エ)</u> 当該法人が地域の関係者と十分な調整を図っていると認められること。</p> <p>イ 鳥獣の種類・数<br/>鳥獣の種類は、現に被害等を生じさせている種又はそのおそれのある種とする。<br/>なお、鳥類の卵の採取等の許可は、原則として被害等を発生させている個体を捕獲等することが困難である、<u>卵のある巣を除去する必要がある等、卵の採取等を行わなければ被害を防止する目的が達成できない場合に限る。</u><br/>捕獲等又は採取等の数は、被害等の防止又は軽減の目的を達成するために必要な数（羽、頭、個）とする。</p> <p>ウ 期間<br/>有害鳥獣捕獲の期間は、原則として被害等が生じている時期又は被害等を予防できると認められる時期のうち、最も安全かつ効果的に有害鳥獣捕獲が実施できる時期であって6か月を超えない範囲で必要最小限の期間とする。ただし、次に示す場合にあつては、1年を超えない範囲で必要最小限の期間とする。</p> <p>(ア) 飛行場の区域内において飛行機の安全な航行に支障を及ぼすと認められる鳥獣を捕獲する場合<br/>(イ) 国又は地方公共団体に対する許可である場合</p> | <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p>(ウ) 国又は地方公共団体との<u>確定した契約等</u>に基づき、その範囲内で鳥獣を捕獲する場合</p> <p>(エ) 捕獲等の対象が指定管理鳥獣<u>又は</u>外来鳥獣等<u>に限られている</u>場合</p> <p>(オ) その他特別な事由が認められる場合</p> <p>なお、期間が6か月を超える場合にあつては、<u>原則として</u>6か月ごとの捕獲状況等について、報告書の提出を義務付ける。また、捕獲対象以外の鳥獣の保護に支障がある期間は避けるよう考慮する。</p> <p>エ 区域</p> <p>被害等の発生状況及びその対象となる鳥獣の行動圏域を踏まえて、必要かつ適切な区域とする。</p> <p>捕獲の区域に鳥獣保護区又は休猟区が含まれる場合は、捕獲対象以外の鳥獣の保護に支障が生じないよう配慮する。特に、集団渡来地、集団繁殖地、希少鳥獣生息地の保護区等鳥獣の保護を図ることが必要な地域にあつては、捕獲許可について慎重な取扱いを行う。</p> <p>オ 方法</p> <p>原則として、<u>鳥獣保護管理法</u>第36条及び規則第45条に規定される危険猟法は用いることはできないものとする。ただし、<u>鳥獣保護管理法</u>第37条の規定による環境大臣の許可を受けたものについてはこの限りでない。また、空気銃を使用した捕獲等は、対象<u>鳥獣</u>を負傷させた状態で取り逃がす危険性があるため、中・小型鳥類、ネズミ、リス等の小型獣類及びアライグマ、ハクビシン、キョン、タイワンザル等の中型獣類を除きその使用を認めない。ただし、取り逃がす危険性の少ない状況において使用する場合には、この限りではない。</p> <p>また、鳥獣の捕獲等に当たっては、鉛が暴露する構造・素材の装弾は使用しないよう指導する。特に捕獲実施区域と水鳥又は希少猛禽類の生息地が重複しており、科学的な知見から、鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域における捕獲許可にあつては、非鉛製銃弾を使用するか、又は捕獲個体の搬出の徹底を指導する。</p> <p>カ その他</p> <p>(ア) 第二種特定鳥獣管理計画との関係</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画が作成されている鳥獣について、<u>管理を目的とした</u>捕獲は、原則として第二種特定鳥獣管理計画に基づく数の調整としての捕獲とする。<u>ただし、個別の被害の防止を目的とする時</u>、緊急時等のやむを得ない場合のみ、<u>被害の防止を目的とした</u>捕獲許可の対象とする。</p> <p>(イ) 被害防除対策との関係</p> <p>原則として、被害防除対策ができない、又は被害防除対策によっても被害が防止できないと認められるときに許可する。</p> <p>(ウ) 被害がまれである又は従来 of 許可実績が僅少な種の取扱い</p> <p>全国的な観点から、被害等が生じることがまれであるか、又は従来 of 許可実績が僅少である一般鳥獣についての被害の防止を目的とした捕獲許可に当たっては、被害や生息の実態を<u>十分に</u>考慮して、捕獲の上限を定める<u>などするとともに</u>、捕獲以外の方法による被害防止方法を指導した上で許可する。ただし、外来鳥獣及び指定管理鳥獣は、地域的に被害が僅少であっても、積極的な捕獲許可をする。</p> <p>(エ) 狩猟期間中及びその前後における取扱い</p> <p>狩猟期間中及びその前後における被害防止目的の捕獲許可については、被害防止の目的の重要性に</p> | <p>(ウ) 国又は地方公共団体との<u>契約等</u>に基づき、その範囲内で鳥獣を捕獲する場合</p> <p>(エ) 捕獲等の対象が指定管理鳥獣、<u>外来鳥獣等である</u>場合</p> <p>(オ) その他特別な事由が認められる場合</p> <p>なお、期間が6か月を超える場合にあつては、6か月ごとの捕獲状況等について、報告書の提出を義務付ける。また、捕獲対象以外の鳥獣の保護に支障がある期間は避けるよう考慮する。</p> <p>エ 区域</p> <p>被害等の発生状況及びその対象となる鳥獣の行動圏域を踏まえて必要かつ適切な区域とする。</p> <p>捕獲の区域に鳥獣保護区又は休猟区が含まれる場合は、捕獲対象以外の鳥獣の保護に支障が生じないよう配慮する。特に、集団渡来地、集団繁殖地、希少鳥獣生息地の保護区等鳥獣の保護を図ることが必要な地域にあつては、捕獲許可について慎重な取扱いを行う。</p> <p>オ 方法</p> <p>原則として、<u>法</u>第36条及び規則第45条に規定される危険猟法は用いることはできないものとする。ただし、<u>法</u>第37条の規定による環境大臣の許可を受けたものについてはこの限りでない。また、空気銃を使用した捕獲等は、対象を負傷させた状態で取り逃がす危険性があるため、中・小型鳥類、ネズミ、リス等の小型獣類及びアライグマ、ハクビシン、キョン、タイワンザル等の中型獣類を除きその使用を認めない。ただし、取り逃がす危険性の少ない状況において使用する場合には、この限りではない。</p> <p>また、鳥獣の捕獲等に当たっては、鉛が暴露する構造・素材の装弾は使用しないよう指導する。特に捕獲実施区域と水鳥又は希少猛禽類の生息地が重複しており、科学的な知見から、鉛中毒が生じる蓋然性が高いと認められる地域における捕獲許可にあつては、非鉛製銃弾を使用するか、又は捕獲個体の搬出の徹底を指導する。</p> <p>カ その他</p> <p>(ア) 第二種特定鳥獣管理計画との関係</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画が作成されている鳥獣についての<u>管理の目的での</u>捕獲は、原則として第二種特定鳥獣管理計画に基づく数の調整としての捕獲とする。<u>個別の被害防止の目的</u>、緊急時等のやむを得ない場合のみ被害の防止を目的とした捕獲許可の対象とする。</p> <p>(イ) 被害防除対策との関係</p> <p>原則として、被害防除対策ができない、又は被害防除対策によっても被害が防止できないと認められるときに許可する。<u>ただし、外来鳥獣及び指定管理鳥獣については、この限りでない。</u></p> <p>(ウ) 被害がまれである又は従来 of 許可実績が僅少な種の取扱い</p> <p>全国的な観点から、被害等が生じることがまれであるか、又は従来 of 許可実績が僅少である一般鳥獣についての被害の防止を目的とした捕獲許可に当たっては、被害や生息の実態を考慮して、捕獲の上限を定める<u>等</u>とともに、捕獲以外の方法による被害防止方法を指導した上で許可する。ただし、外来鳥獣及び指定管理鳥獣は、地域的に被害が僅少であっても、積極的な捕獲許可をする。</p> <p>(エ) 狩猟期間中及びその前後における取扱い</p> <p>狩猟期間中及びその前後における被害防止目的の捕獲許可については、被害防止の目的の重要性</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p>鑑み、適切な期間で許可する。あわせて、周囲の者が捕獲行為を行っていないと誤認することによる事故が起こらないよう、必要に応じて、許可を受けた者に対しては捕獲区域の周辺住民等関係者へ事前周知するよう指導する。</p> <p>⑤ 有害鳥獣捕獲の適正化のための体制の整備等</p> <p>ニホンジカ、イノシシのような大型獣類等による農林水産業の被害等がある地方公共団体については、必要に応じて、その地域ごとに、あらかじめ有害鳥獣捕獲を目的として捕獲隊を編成するよう指導する。捕獲隊員の選定については、技術の優れた者、有害鳥獣捕獲のための出動の可能な者等が隊員として編成されるよう指導する。また、捕獲隊において指導を行う者の確保に当たっては、鳥獣の保護及び管理に関する専門的な人材確保等の仕組みの積極的な活用を図るよう指導する。なお、当該区市町村内では、捕獲隊の編成が困難な場合においては、区市町村の境界を越えた広域の捕獲隊を編成し、その実施者の養成・確保に努めるよう関係区市町村に助言する。</p> <p>なお、本計画開始時点では、八王子市、青梅市、町田市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町等において捕獲隊が整備されている。</p> <p>必要に応じて、被害等の防除対策に関する関係者が連携して円滑に有害鳥獣捕獲を実施するため、都、区市町村、農林水産業団体、有識者、地域住民、狩猟者団体等の関係者による連絡協議会等を設置する。</p> <p>被害等が慢性的に発生している地域にあつては、鳥獣の出現状況の把握・連絡、防護柵等防除技術の普及、追い払い等の被害対策を行う体制の整備、複数地域で一斉に捕獲を実施する等、被害、防除技術等の情報の共有化をし、効果的な被害防止を図るよう関係区市町村に助言する。</p> <p>有害鳥獣捕獲の実施に当たっては、事前に地域住民に対して捕獲内容等を周知徹底させるとともに、錯誤捕獲の防止及び危害発生の防止を図るよう助言する。</p> <p><b>3-4 その他特別な事由の場合</b></p> <p>それぞれの目的ごとの許可の基準については、原則として次表により、その他公益に資すると認められる場合については、捕獲等又は採取等の目的に応じて個々の事例ごとに判断する。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>なお、環境教育への利用の目的、環境影響評価等のための調査を目的として捕獲等又は採取等する場合及び被害防除対策事業等のための個体の追跡を目的として捕獲等をする場合の許可の基準については、「第四 3-1 学術研究を目的とする場合」に準じて取り扱う。</p> | <p>に鑑み、適切な期間とするよう指導する。あわせて、周囲の者が捕獲行為が行われていないと誤認することによる事故が生じるおそれがないよう、必要に応じて、許可を受けた者に周辺住民等への周知を指導する。</p> <p>⑤ 有害鳥獣捕獲の適正化のための体制の整備等</p> <p>ニホンジカ、イノシシのような大型獣類等による農林水産業の被害等がある地域については、必要に応じて、その地域ごとに、あらかじめ有害鳥獣捕獲を目的として捕獲隊を編成するよう指導する。捕獲隊員の選定については、技術の優れた者、有害鳥獣捕獲のための出動の可能な者等が隊員として編成されるよう指導する。また、捕獲隊において指導を行う者の確保に当たっては、鳥獣の保護及び管理に関する専門的な人材確保等の仕組みの積極的な活用を図るよう指導する。なお、当該市町村内では、捕獲隊の編成が困難な場合においては、市町村の境界を越えた広域の捕獲隊を編成し、その実施者の養成・確保に努めるよう関係市町村に助言する。</p> <p>なお、本計画開始時点では、八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町等において捕獲隊が整備されている。</p> <p>必要に応じて、被害等の防除対策に関する関係者が連携して円滑に有害鳥獣捕獲を実施するため、都、市町村、農林水産業団体、有識者、地域住民、狩猟者団体等の関係者による連絡協議会等を設置する。</p> <p>被害等が慢性的に発生している地域にあつては、鳥獣の出現状況の把握・連絡、防護柵等防除技術の普及、追い払い等の被害対策を行う体制の整備、複数地域で一斉に捕獲を実施する等、被害、防除技術等の情報の共有化をし、効果的な被害防止を図るよう関係市町村に助言する。</p> <p>有害鳥獣捕獲の実施に当たっては、事前に地域住民に対して捕獲内容等を周知徹底させるとともに、誤認捕獲の防止及び危害発生の防止を図るよう助言する。</p> <p><b>3-4 その他特別な事由の場合</b></p> <p>それぞれの目的ごとの許可の基準については、原則として次表により、その他公益に資すると認められる場合については、捕獲等又は採取等の目的に応じて個々の事例ごとに判断する。ただし、他の方法がなく、やむを得ない事由がある場合は、この限りでない。</p> <p>なお、環境教育への利用の目的、環境影響評価等のための調査を目的として捕獲等又は採取等する場合及び被害防除対策事業等のための個体の追跡を目的として捕獲等をする場合の許可の基準については、「第四 3-1 学術研究を目的とする場合」に準じて取り扱う。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）        |                                      |   |              |  |            | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）           |                                      |   |             |  |            | 備考   |
|-----------------------------|--------------------------------------|---|--------------|--|------------|-----------------------------|--------------------------------------|---|-------------|--|------------|------|
| (第9表)                       |                                      |   |              |  |            | (第9表)                       |                                      |   |             |  |            |      |
| 捕獲の目的                       | 許可基準                                 |   |              |  |            | 捕獲の目的                       | 許可基準                                 |   |             |  |            |      |
|                             | 許可対象者                                | 鳥獣の種類・数   | 期間           | 区域   | 方法         |                             | 許可対象者                                | 鳥獣の種類・数   | 期間          | 区域   | 方法         |      |
| 博物館、動物園その他これに類する施設における展示の目的 | 博物館、動物園等の公共施設の飼育・研究者又はこれらの者から依頼を受けた者 | 展示の目的を達成するために必要な種類及び数(羽、頭、個)  | <u>6か月以内</u> | 規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。ただし、特に必要があると認められる場合は、この限りではない。  | 禁止猟法は認めない。 | 博物館、動物園その他これに類する施設における展示の目的 | 博物館、動物園等の公共施設の飼育・研究者又はこれらの者から依頼を受けた者 | 展示の目的を達成するために必要な種類及び数(羽、頭、個)  | <u>1年以内</u> | <u>原則として</u> 、規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。ただし、特に必要があると認められる場合は、この限りではない。  | 禁止猟法は認めない。 | (変更) |
| 養殖している鳥類の過度の近親交配の防止の目的      | 鳥類の養殖を行っている者又はこれらの者から依頼を受けた者         | 人工養殖が可能と認められる種類であること。過度の近親交配の防止に必要な数(羽、個)とすること。放鳥を目的とする場合は、放鳥予定地の個体とする。 | 6か月以内        | 規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。なお、他道府県居住者の申請については、都内で捕獲する特段の必要性に関する理由書を要する。その他特に必要が認められる場合は、この限りでない。 | 網、わな又は手捕り  | 養殖している鳥類の過度の近親交配の防止の目的      | 鳥類の養殖を行っている者又はこれらの者から依頼を受けた者         | 人工養殖が可能と認められる種類であること。過度の近親交配の防止に必要な数(羽、個)とすること。放鳥を目的とする場合は、放鳥予定地の個体とする。 | 6か月以内       | <u>原則として</u> 、規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。なお、他道府県居住者の申請については、都内で捕獲する特段の必要性に関する理由書を要する。その他特に必要が認められる場合は、この限りでない。 | 網、わな又は手捕り  | (変更) |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   |   |   |       |                             |            | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  |   |   |       |   |            | 備考                                  |
|--|---|---|-------|-----------------------------|------------|--|---|---|-------|---|------------|-------------------------------------|
| 捕獲の目的  | 許可基準  |   |       |                             |            | 捕獲の目的  | 許可基準  |   |       |   |            |                                     |
|  | 許可対象者   | 鳥獣の種類・数   | 期間    | 区域                          | 方法         |  | 許可対象者   | 鳥獣の種類・数   | 期間    | 区域  | 方法         |                                     |
| 鶺鴒漁業への利用の目的  | 水産関係部局（都では産業労働局農林水産部水産課）において登録を受けた鶺鴒漁業者又はこれらの者から依頼を受けた者   | ウミウ又はカワウ。鶺鴒漁業への利用の目的を達成するために必要な数（羽、個）   | 6か月以内 | 規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。 | わな又は手捕り    | 鶺鴒漁業への利用の目的  | 水産関係部局（都では産業労働局農林水産部水産課）において登録を受けた鶺鴒漁業者又はこれらの者から依頼を受けた者   | ウミウ又はカワウ。鶺鴒漁業への利用の目的を達成するために必要な数（羽、個）   | 6か月以内 | <u>原則として</u> 、規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。 | わな又は手捕り    | (変更)                                |
| 伝統的な祭礼行事等に用いる目的  | 祭礼行事、伝統的な生活様式の継承に係る行為（いずれも、現在まで継続的に実施されてきていたものに限る。）の関係者又はこれらの者から依頼を受けた者（登録狩猟等他の目的による捕獲等又は採取等により、当該行事等の趣旨が達成できる場合を除く。） | 伝統的な祭礼行事等に用いる目的を達成するために必要な数（羽、頭、個）。捕獲し、行事等に用いた後は放鳥獣とする（致死させる事によらなければ行事等の趣旨を達成できない場合を除く。）。 | 30日以内 | 規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。 | 禁止猟法は認めない。 | 伝統的な祭礼行事等に用いる目的  | 祭礼行事、伝統的な生活様式の継承に係る行為（いずれも、現在まで継続的に実施されてきていたものに限る。）の関係者又はこれらの者から依頼を受けた者（登録狩猟等他の目的による捕獲等又は採取等により、当該行事等の趣旨が達成できる場合を除く。） | 伝統的な祭礼行事等に用いる目的を達成するために必要な数（羽、頭、個）。捕獲し、行事等に用いた後は放鳥獣とする（致死させる事によらなければ行事等の趣旨を達成できない場合を除く。）。 | 30日以内 | <u>原則として</u> 、規則第7条第1項第7号イからチまでに掲げる区域は除く。 | 禁止猟法は認めない。 | (変更)                                |
| <p>4 その他、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項</p> <p>4-1 捕獲許可した者への指導</p> <p>(1) 捕獲物又は採取物の処理等</p> <p>捕獲物等については、鉛中毒事故等の問題を引き起こすことのないよう、原則として持ち帰って適切に処理することとし、やむを得ない場合は生態系に影響を与えないように埋設することにより適切に処理し、山野に放置することのないよう指導する（適切な処理が困難な場合又は生態系に影響を及ぼすおそれが軽微である場合として規則第19条で定められた場合を除く。）。さらに、捕獲物等が、鳥獣の保護及び管理に関する学術研究、環境教育等に利用できる場合は、努めてこれを利用するよう指導する。</p> <p><u>豚熱（CSF）等、野生鳥獣に関する感染症の拡大が懸念される場合は、捕獲作業を実施する際に十分な防疫措置をとって捕獲及び捕獲物等の処分を行うよう指導を徹底する。</u></p> <p><u>被害防止目的で捕獲された外来鳥獣等については、その捕獲目的と生態系への影響に鑑み、捕獲後に致死させ、原則として焼却又は埋設処分し、放鳥獣しないよう指導する。</u></p> <p>捕獲物等は、違法なものと誤認されないよう指導するものとし、特に、<u>ツキノワグマ</u>及びニホンカモ</p> |   |   |       |                             |            | <p>4 その他、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可に関する事項</p> <p>4-1 捕獲許可した者への指導</p> <p>(1) 捕獲物又は採取物の処理等</p> <p>捕獲物等については、鉛中毒事故等の問題を引き起こすことのないよう、原則として持ち帰って適切に処理することとし、やむを得ない場合は生態系に影響を与えないように埋設することにより適切に処理し、山野に放置することのないよう指導する（適切な処理が困難な場合又は生態系に影響を及ぼすおそれが軽微である場合として規則第19条で定められた場合を除く。）。さらに、捕獲物等が、鳥獣の保護及び管理に関する学術研究、環境教育等に利用できる場合は、努めてこれを利用するよう指導する。</p> <p>捕獲物等は、違法なものと誤認されないよう指導するものとし、特に、<u>クマ類</u>及びニホンカモシカ</p> |   |   |       |   |            | <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p>シカについては、<u>国内で密猟されたり</u>違法に輸入されたり<u>した</u>個体の流通を防止する観点から、目印標（製品タグ）の装着により国内で適法捕獲された個体であることを明確にさせる。</p> <p>捕獲個体を致死させる場合は、できる限り苦痛を与えない方法によるよう指導する。<u>（ただし、人身被害のおそれがある緊急の場合を除く。）</u>。このできる限り苦痛を与えない方法とは、例示すれば次の方法がある。</p> <p>① 袋や箱等に入れた後、高濃度の二酸化炭素の注入</p> <p>② 第一種銃猟免許又は第二種銃猟免許を受けた者による銃器の使用</p> <p>③ 獣医師又は麻薬研究者による麻酔薬の投与</p> <p><u>④ 電気止めさし器の使用（頭部（脳）への通電あるいは一次麻酔等により意識を消失させた後の使用が望ましい。）</u></p> <p>⑤ その他、①から④までと同等と認められる方法</p> <p><u>また、指定管理鳥獣、外来鳥獣等は、積極的な捕獲を推進するため、食用等に利用することを推進するよう努める。</u></p> <p>錯誤捕獲した個体は原則として所有及び活用はできないこと、狩猟鳥獣以外にあつては、捕獲された個体を生きたまま譲渡する場合には、飼養登録等の手続きが必要となる場合があること、また、捕獲許可申請に記載された捕獲個体の処理の方法が実際と異なる場合は、<u>鳥獣保護管理法</u>第9条第1項違反となる場合があることについて、あらかじめ申請者に対して十分周知を図る。</p> <p>錯誤捕獲された<u>外来鳥獣等</u>又は生態系や農林水産業等に係る著しい被害を生じさせている鳥獣の放鳥獣は適切ではないことから、これらの鳥獣が捕獲される可能性がある場合には、あらかじめ<u>捕獲許可</u>申請を行うよう指導する。</p> <p>(2) 従事者の指揮監督</p> <p><u>法人</u>に対しては、指揮監督の適正を期するため、それぞれの従事者等が行う捕獲行為の内容を具体的に指示するとともに、従事者の台帳を整備するよう指導する。</p> <p>(3) 危険の予防</p> <p>捕獲等又は採取等の実施に当たっては、必要に応じて実施者に対し錯誤捕獲や事故の発生防止に<u>万全</u>の対策を<u>講じさせる</u>とともに、必要に応じて関係地域住民等の周知を図らせる。</p> <p>(4) 捕獲実施に当たっての留意事項</p> <p>捕獲等又は採取等の実施に当たっては、許可証又は従事者証を携帯し、<u>必要に応じて</u>腕章等を着用するよう指導する。また、必要に応じて捕獲の実施に立ち会う。</p> <p><u>わな猟による捕獲に当たっては、錯誤捕獲発生の可能性等も考慮し、ICT等の活用も含め適切な頻度で見回りを実施するよう指導する。</u></p> | <p>については、違法に輸入されたり<u>国内で密猟された</u>個体の流通を防止する観点から、目印標（製品タグ）の装着により国内で適法捕獲された個体であることを明確にさせる。</p> <p>捕獲個体を致死させる場合は、できる限り苦痛を与えない方法によるよう指導する。このできる限り苦痛を与えない方法とは、例示すれば次の方法がある。</p> <p>① 袋や箱等に入れた後、高濃度の二酸化炭素の注入</p> <p>② 第一種銃猟免許又は第二種銃猟免許を受けた者による銃器の使用</p> <p>③ 獣医師又は麻薬研究者による麻酔薬の投与</p> <p>④ その他、①から③までと同等と認められる方法</p> <p>錯誤捕獲した個体は原則として所有及び活用はできないこと、狩猟鳥獣以外にあつては、捕獲された個体を生きたまま譲渡する場合には、飼養登録等の手続きが必要となる場合があること、また、捕獲許可申請に記載された捕獲個体の処理の方法が実際と異なる場合は、<u>法</u>第9条第1項違反となる場合があることについて、あらかじめ申請者に対して十分周知を図る。</p> <p>錯誤捕獲された<u>外来鳥獣</u>又は生態系や農林水産業等に係る著しい被害を生じさせている鳥獣の放鳥獣は適切ではないことから、これらの鳥獣が捕獲される可能性がある場合には、あらかじめ<u>捕獲</u>申請を行うよう指導する。</p> <p>(2) 従事者の指揮監督</p> <p><u>法人、NPO団体等</u>に対しては、指揮監督の適正を期するため、それぞれの従事者等が行う捕獲行為の内容を具体的に指示するとともに、従事者の台帳を整備するよう指導する。</p> <p>(3) 危険の予防</p> <p>捕獲等又は採取等の実施に当たっては、必要に応じて実施者に対し錯誤捕獲や事故の発生防止の対策を<u>講じるさせる</u>とともに、必要に応じて関係地域住民等の周知を図らせる。</p> <p>(4) 捕獲実施に当たっての留意事項</p> <p>捕獲等又は採取等の実施に当たっては、許可証又は従事者証を携帯し、腕章等を着用するよう指導する。また、必要に応じて捕獲の実施に立ち会う。</p> <p><u>ツキノワグマの生息地域であつて錯誤捕獲のおそれがある場合については、地域の実情を踏まえつつ、ツキノワグマの出没状況を確認しながら、わなの形状、誘引の方法等を工夫して錯誤捕獲を防止するよう指導する。この場合、設置する場所、時期、頻度等を考慮し、ツキノワグマへの不適切な餌付けとならないよう指導する。また、ツキノワグマの錯誤捕獲に対して適切な対応ができるよう体制等の整備に努める。</u></p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|--|--|---|
| <p><b>(5) 錯誤捕獲の防止</b></p> <p><u>実施者は、わなの適正な使用を徹底することに加え、特にツキノワグマやカモシカなど希少鳥獣の生息地であって錯誤捕獲のおそれがある場合には、地域の実情を踏まえつつ、希少鳥獣等の出没状況を確認しながら、わなの形状、餌による誘引方法等の工夫に加え、設置場所の変更も含めて検討し、錯誤捕獲の防止に努める。また、錯誤捕獲した場合に迅速かつ安全な放獣が実施できるように、事前の放獣体制の構築及び放獣場所の確保に努める。</u></p> <p><u>都は、これらの対応を適切に実施するよう指導するとともに、錯誤捕獲の実態について報告するよう要請する。なお、やむを得ず捕獲する場合は捕獲許可等の手続きを行うよう指導する。</u></p> <p><b>4—2 許可権限の区市町村長への委譲</b></p> <p>本計画期間中は、許可権限の<u>区市町村長</u>への委譲については行わないが、必要に応じて、区市町村との意見交換等を行う。</p> <p><b>4—3 鳥類の飼養登録</b></p> <p>鳥類の違法な飼養が依然として見受けられるため、次のことに留意しつつ、個体管理のための足環の装着等適正な管理が行われるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録票の更新は、飼養個体と装着登録証（足環）を照合し、確認した上で行う。</li> <li>長期更新個体については、羽毛の光沢や虹彩色、行動の敏捷性等により高齢個体の特徴を視認すること等により、個体のすり替えが行われていないことを慎重に確認した上で更新を行う。</li> <li>装着登録証の毀損等による再交付は原則として行わず、毀損時の写真や足の状況等により確実に同一個体と認められる場合にのみ行う。</li> <li>愛玩のための飼養を目的とした他道府県における捕獲許可により捕獲された個体を譲り受けた者から届出があった場合、譲渡の経緯等を確認することにより1人が多数の飼養をする等不正な飼養が行われないようにする。</li> </ul> <p>また、違法に捕獲した鳥獣については、飼養についても禁止されているので、不正な飼養が行われないよう適正な管理に努める。</p> <p><b>4—4 販売禁止鳥獣等の販売許可</b></p> <p><b>(1) 許可の考え方</b></p> <p>販売禁止鳥獣等の販売許可に当たっては、<u>次</u>の①及び②のいずれにも該当する場合に許可する。</p> <p>① 販売の目的が<u>鳥獣保護管理法</u>第24条第1項又は規則第23条に規定する目的に適合すること。</p> <p>② 捕獲した個体若しくはその加工品又は採取した卵が販売されることによって違法捕獲又は捕獲物の不適切な処理が増加し個体数の急速な減少を招く等、その保護に重大な支障を及ぼすおそれのあるものでないこと。</p> <p><b>(2) 許可の条件</b></p> <p>ヤマドリの販売許可証を交付する場合に付す条件は、販売する鳥獣の数量、所在地及び販売期間、</p> | <p>4—2 許可権限の区市町村長への委譲</p> <p>本計画期間中は、許可権限の<u>区市町村</u>への委譲については行わないが、必要に応じて、区市町村との意見交換等を行う。</p> <p>4—3 鳥類の飼養登録</p> <p>鳥類の違法な飼養が依然として見受けられるため、次のことに留意しつつ、個体管理のための足環の装着等適正な管理が行われるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録票の更新は、飼養個体と装着登録証（足環）を照合し、確認した上で行う。</li> <li>長期更新個体については、羽毛の光沢や虹彩色、行動の敏捷性等により高齢個体の特徴を視認すること等により、個体のすり替えが行われていないことを慎重に確認した上で更新を行う。</li> <li>装着登録証の毀損等による再交付は原則として行わず、毀損時の写真や足の状況等により確実に同一個体と認められる場合にのみ行う。</li> <li>愛玩のための飼養を目的とした他道府県における捕獲許可により捕獲された個体を譲り受けた者から届出があった場合、譲渡の経緯等を確認することにより1人が多数の飼養をする等不正な飼養が行われないようにする。また、違法に捕獲した鳥獣については、飼養についても禁止されているので、不正な飼養が行われないよう適正な管理に努める。</li> </ul> <p>4—4 販売禁止鳥獣等の販売許可</p> <p><b>(1) 許可の考え方</b></p> <p>販売禁止鳥獣等の販売許可に当たっては、<u>以下</u>の①及び②のいずれにも該当する場合に許可する。</p> <p>① 販売の目的が<u>法</u>第24条第1項又は規則第23条に規定する目的に適合すること。</p> <p>② 捕獲した個体若しくはその加工品又は採取した卵が販売されることによって違法捕獲又は捕獲物の不適切な処理が増加し個体数の急速な減少を招く等、その保護に重大な支障を及ぼすおそれのあるものでないこと。</p> <p><b>(2) 許可の条件</b></p> <p>ヤマドリの販売許可証を交付する場合に付す条件は、販売する鳥獣の数量、所在地及び販売期間、</p> | <p>(新設)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p>販売した鳥獣を放鳥獣する場合の場所（同一地域個体群）等とする。</p> <p>オオタカの販売許可証を交付する場合に付す条件は、販売する鳥獣の数量は現に保有する数量に限定すること、販売する鳥獣に足環を装着させること等とする。</p> <p><b>4—5 住居集合地域等における麻醉銃猟の実施に当たっての留意事項</b></p> <p>生活環境に係る被害の防止の目的で住居集合地域等において麻醉銃猟をする場合については、捕獲許可のほか<u>鳥獣保護管理法</u>第38条の2第1項の規定による知事の許可を得るとともに、<u>鳥獣保護管理法</u>第36条で使用を禁止されている麻醉薬の種類及び量により危険猟法に該当する場合には、<u>鳥獣保護管理法</u>第37条の規定による環境大臣又は関東地方環境事務所長の許可を得るものとする。</p> <p><b>第五 特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限区域及び猟区に関する事項</b></p> <p><b>1 特定猟具使用禁止区域</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>特定猟具の使用に伴う危険の予防又は指定区域の静穏の保持のため、次の区域を特定猟具使用禁止区域に指定するよう努める。</p> <p>① 銃猟に伴う危険を予防するための地区</p> <p>銃猟による事故が頻発している地区、学校の所在する地区、病院の近傍、農林水産業上の利用が恒常的に行われることにより人の所在する可能性が高い場所、レクリエーション等の目的のため利用する者が多いと認められる場所、公道、都市計画法（昭和43年法律第100号）第4条第6項の都市計画施設である公共空地等、市街地、住宅が集合している場所及び多数の者の集合する場所が相当程度の広がりをもって集中している場所、その他銃猟による事故発生のおそれのある区域</p> <p>② 静穏を保持するための地区</p> <p><u>鳥獣保護管理法</u>第9条第3項第4号に規定する指定区域（社寺境内及び墓地）</p> <p>③ わな猟に伴う危険を予防するための地区</p> <p>学校や通学路の周辺、子供の遊び場となっているような空き地及びその周辺、自然観察路及び野外レクリエーション等の目的のため利用する者が多いと認められる場所、その他わな猟による事故発生のおそれの高い区域</p> <p>(2) 特定猟具使用禁止区域指定計画</p> <p><u>新規</u>計画なし</p> | <p>販売した鳥獣を放鳥獣する場合の場所（同一地域個体群）等とする。</p> <p>オオタカの販売許可証を交付する場合に付す条件は、販売する鳥獣の数量は現に保有する数量に限定すること、販売する鳥獣に足環を装着させること等とする。</p> <p><b>4—5 住居集合地域等における麻醉銃猟の実施に当たっての留意事項</b></p> <p>生活環境に係る被害の防止の目的で住居集合地域等において麻醉銃猟をする場合については、捕獲許可のほか<u>法</u>第38条の2第1項の規定による知事の許可を得るとともに、<u>法</u>第36条で使用を禁止されている麻醉薬の種類及び量により危険猟法に該当する場合には、<u>法</u>第37条の規定による環境大臣又は関東地方環境事務所長の許可を得るものとする。</p> <p><b>第五 特定猟具使用禁止区域、特定猟具使用制限区域及び猟区に関する事項</b></p> <p><b>1 特定猟具使用禁止区域</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>特定猟具の使用に伴う危険の予防又は指定区域の静穏の保持のため、次の区域を特定猟具使用禁止区域に指定するよう努める。</p> <p>① 銃猟に伴う危険を予防するための地区</p> <p>銃猟による事故が頻発している地区、学校の所在する地区、病院の近傍、農林水産業上の利用が恒常的に行われることにより人の所在する可能性が高い場所、レクリエーション等の目的のため利用する者が多いと認められる場所、公道、都市計画法（昭和43年法律第100号）第4条第6項の都市計画施設である公共空地等、市街地、住宅が集合している場所及び多数の者の集合する場所が相当程度の広がりをもって集中している場所、その他銃猟による事故発生のおそれのある区域</p> <p>② 静穏を保持するための地区</p> <p><u>法</u>第9条第3項第4号に規定する指定区域（社寺境内及び墓地）</p> <p>③ わな猟に伴う危険を予防するための地区</p> <p>学校や通学路の周辺、子供の遊び場となっているような空き地及びその周辺、自然観察路及び野外レクリエーション等の目的のため利用する者が多いと認められる場所、その他わな猟による事故発生のおそれの高い区域</p> <p>(2) 特定猟具使用禁止区域指定計画</p> <p>計画なし</p> | <p></p> <p>(変更)</p> <p></p> <p>(変更)</p> <p></p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  |                     |                        |              |                             | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） |  |  |  |  | 備考   |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|---|---------------------|------------------------|--------------|-----------------------------|-------------------|--|--|--|--|------|----|---------------------|------------------------|--------------|------|----|-----|------|---------|-------|-----------------------------|-----|---|-----|-------|--|--|-------------------|--|--|--|--|--|----|---------------------|------------------------|--------------|------|----|-----|----|--------|-----|-----------------------------|-----|-----|--------------|-----|-----------------------------|-----|-----|-----------|----|-----------------------------|-----|-----|------------|----|-----------------------------|-----|-----|-----------|----|-----------------------------|-----|---|-----|-------|--|--|--|--|--|--|--|-------------------|--|--|--|--|--|----|---------------------|------------------------|--------------|------|----|----|-----|---------|-----|--------------------------|-----|-----|--------|-----|--------------------------|-----|---|-----|-----|--|--|-------------------|--|--|--|--|--|----|---------------------|------------------------|--------------|------|----|----|-----|----------|-----|---------------------------|-----|-----|----------|-----|---------------------------|-----|---|-----|-------|--|--|----|
| <b>(3) 特定猟具使用禁止区域指定内訳</b><br><div style="text-align: right;">(第10表)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">銃猟に伴う危険を予防するための区域</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>特定猟具使用禁止区域<br/>指定所在地</th> <th>特定猟具使用禁止区域名<br/>(特定猟具名)</th> <th>指定面積<br/>(ha)</th> <th>指定期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和4</td> <td>神津島村</td> <td>神津島(銃器)</td> <td>1,858</td> <td>令和4.11.1<br/>～<br/>令和14.10.31</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1か所</td> <td>1,858</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table><br><table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">銃猟に伴う危険を予防するための区域</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>特定猟具使用禁止区域<br/>指定所在地</th> <th>特定猟具使用禁止区域名<br/>(特定猟具名)</th> <th>指定面積<br/>(ha)</th> <th>指定期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">令和7</td> <td>利島</td> <td>利島(銃器)</td> <td>419</td> <td>令和7.11.1<br/>～<br/>令和17.10.31</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>八丈町</td> <td>八丈島三根大賀郷(銃器)</td> <td>824</td> <td>令和7.11.1<br/>～<br/>令和17.10.31</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>八丈町</td> <td>八丈島檜立(銃器)</td> <td>14</td> <td>令和7.11.1<br/>～<br/>令和17.10.31</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>八丈町</td> <td>八丈島中之郷(銃器)</td> <td>33</td> <td>令和7.11.1<br/>～<br/>令和17.10.31</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>八丈町</td> <td>八丈島末吉(銃器)</td> <td>20</td> <td>令和7.11.1<br/>～<br/>令和17.10.31</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5か所</td> <td>1,310</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table><br><p><b>2 特定猟具使用制限区域</b><br/>本計画期間中においては、指定は行わない。なお、自然的社会的状況等に変化が生じた場合は、必要に応じて指定を検討する。</p> <p><b>3 猟区の設定</b><br/>本計画期間中においては、猟区の設定は行わない。なお、猟区を設定する場合にあっては、その必要性や公益性、安全性等を十分に検討し設定する。</p> <p><b>4 指定猟法禁止区域</b><br/>本計画期間中においては、指定は行わない。地域の鳥獣の保護の見地からその鳥獣の保護のために必要が生じたときには、科学的・客観的な情報の収集・分析を行い、関係機関及び土地所有者・占有者との調整を行いつつ、指定を進める。</p> |                     |                        |              |                             | 銃猟に伴う危険を予防するための区域 |  |  |  |  |      | 年度 | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間 | 備考 | 令和4 | 神津島村 | 神津島(銃器) | 1,858 | 令和4.11.1<br>～<br>令和14.10.31 | 再指定 | 計 | 1か所 | 1,858 |  |  | 銃猟に伴う危険を予防するための区域 |  |  |  |  |  | 年度 | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間 | 備考 | 令和7 | 利島 | 利島(銃器) | 419 | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定 | 八丈町 | 八丈島三根大賀郷(銃器) | 824 | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定 | 八丈町 | 八丈島檜立(銃器) | 14 | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定 | 八丈町 | 八丈島中之郷(銃器) | 33 | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定 | 八丈町 | 八丈島末吉(銃器) | 20 | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定 | 計 | 5か所 | 1,310 |  |  | <b>(3) 特定猟具使用禁止区域指定内訳</b><br><div style="text-align: right;">(第10表)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">銃猟に伴う危険を予防するための区域</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>特定猟具使用禁止区域<br/>指定所在地</th> <th>特定猟具使用禁止区域名<br/>(特定猟具名)</th> <th>指定面積<br/>(ha)</th> <th>指定期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">32</td> <td>三宅村</td> <td>沖ヶ平(銃器)</td> <td>178</td> <td>H32.10.1から<br/>H42.9.30まで</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>三宅村</td> <td>若宮(銃器)</td> <td>280</td> <td>H32.10.1から<br/>H42.9.30まで</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2か所</td> <td>458</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table><br><table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">銃猟に伴う危険を予防するための区域</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>特定猟具使用禁止区域<br/>指定所在地</th> <th>特定猟具使用禁止区域名<br/>(特定猟具名)</th> <th>指定面積<br/>(ha)</th> <th>指定期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">33</td> <td>大島町</td> <td>大島南部(銃器)</td> <td>730</td> <td>H33.11.1から<br/>H43.10.31まで</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>大島町</td> <td>元町岡田(銃器)</td> <td>305</td> <td>H33.11.1から<br/>H43.10.31まで</td> <td>再指定</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2か所</td> <td>1,035</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table><br><p><b>2 特定猟具使用制限区域</b><br/>本計画期間中においては、指定は行わない。なお、自然的社会的状況等に変化が生じた場合は、必要に応じて指定を検討する。</p> <p><b>3 猟区の設定</b><br/>本計画期間中においては、猟区の設定は行わない。なお、猟区を設定する場合にあっては、その必要性や公益性、安全性等を十分に検討し設定する。</p> <p><b>4 指定猟法禁止区域</b><br/>本計画期間中においては、指定は行わない。地域の鳥獣の保護の見地からその鳥獣の保護のために必要が生じたときには、科学的・客観的な情報の収集・分析を行い、関係機関及び土地所有者・占有者との調整を行いつつ、指定を進める。</p> |  |  |  |  | 銃猟に伴う危険を予防するための区域 |  |  |  |  |  | 年度 | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間 | 備考 | 32 | 三宅村 | 沖ヶ平(銃器) | 178 | H32.10.1から<br>H42.9.30まで | 再指定 | 三宅村 | 若宮(銃器) | 280 | H32.10.1から<br>H42.9.30まで | 再指定 | 計 | 2か所 | 458 |  |  | 銃猟に伴う危険を予防するための区域 |  |  |  |  |  | 年度 | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間 | 備考 | 33 | 大島町 | 大島南部(銃器) | 730 | H33.11.1から<br>H43.10.31まで | 再指定 | 大島町 | 元町岡田(銃器) | 305 | H33.11.1から<br>H43.10.31まで | 再指定 | 計 | 2か所 | 1,035 |  |  | 備考 |
| 銃猟に伴う危険を予防するための区域   |                     |                        |              |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 年度  | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間                        | 備考                |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 令和4   | 神津島村                | 神津島(銃器)                | 1,858        | 令和4.11.1<br>～<br>令和14.10.31 | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 計                   | 1か所                    | 1,858        |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 銃猟に伴う危険を予防するための区域   |                     |                        |              |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 年度  | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間                        | 備考                |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 令和7   | 利島                  | 利島(銃器)                 | 419          | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 八丈町                 | 八丈島三根大賀郷(銃器)           | 824          | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 八丈町                 | 八丈島檜立(銃器)              | 14           | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 八丈町                 | 八丈島中之郷(銃器)             | 33           | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 八丈町                 | 八丈島末吉(銃器)              | 20           | 令和7.11.1<br>～<br>令和17.10.31 | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 計                   | 5か所                    | 1,310        |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 銃猟に伴う危険を予防するための区域   |                     |                        |              |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 年度  | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間                        | 備考                |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 32  | 三宅村                 | 沖ヶ平(銃器)                | 178          | H32.10.1から<br>H42.9.30まで    | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 三宅村                 | 若宮(銃器)                 | 280          | H32.10.1から<br>H42.9.30まで    | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 計                   | 2か所                    | 458          |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 銃猟に伴う危険を予防するための区域   |                     |                        |              |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 年度  | 特定猟具使用禁止区域<br>指定所在地 | 特定猟具使用禁止区域名<br>(特定猟具名) | 指定面積<br>(ha) | 指定期間                        | 備考                |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
| 33  | 大島町                 | 大島南部(銃器)               | 730          | H33.11.1から<br>H43.10.31まで   | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 大島町                 | 元町岡田(銃器)               | 305          | H33.11.1から<br>H43.10.31まで   | 再指定               |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   | 計                   | 2か所                    | 1,035        |                             |                   |  |  |  |  |      |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   |                     |                        |              |                             |                   |  |  |  |  | (変更) |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   |                     |                        |              |                             |                   |  |  |  |  | (変更) |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |
|   |                     |                        |              |                             |                   |  |  |  |  | (変更) |    |                     |                        |              |      |    |     |      |         |       |                             |     |   |     |       |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |     |    |        |     |                             |     |     |              |     |                             |     |     |           |    |                             |     |     |            |    |                             |     |     |           |    |                             |     |   |     |       |  |  |  |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |         |     |                          |     |     |        |     |                          |     |   |     |     |  |  |                   |  |  |  |  |  |    |                     |                        |              |      |    |    |     |          |     |                           |     |     |          |     |                           |     |   |     |       |  |  |    |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|---|---|---|
| <p><b>第六 特定計画の作成に関する事項</b></p> <p><b>1 計画作成の目的</b></p> <p>特定計画（以下第六において、単に「計画」という。）は、科学的・計画的な保護又は管理を広域的・継続的に推進することにより、人と<u>鳥獣</u>との<u>適切な関係の構築</u>に資することを目的として作成する。</p> <p><u>なお、広域指針が作成されている地域個体群や国が技術ガイドラインを作成している鳥獣については、当該指針又はガイドラインを参考に作成する。</u></p> <p><b>2 対象鳥獣の単位</b></p> <p>計画は、原則として、地域個体群を単位として作成する。</p> <p><b>(1) 第一種特定鳥獣保護計画</b></p> <p>第一種特定鳥獣保護計画の対象とする鳥獣は、生息数の著しい減少又は生息地の範囲の縮小、生息環境の悪化や分断等により地域個体群としての絶滅のおそれが生じている鳥獣であって、生物多様性の確保、生活環境の保全又は農林水産業の健全な発展を図る観点から当該鳥獣の地域個体群の安定的な維持及び保護を図りつつ、当該鳥獣の生息数を適正な水準に増加させ、若しくはその生息地を適正な範囲に拡大させる、又はその生息数の水準及びその生息地の範囲を維持する必要があると認められるものとする。</p> <p><u>なお、本計画期間においては、第一種特定鳥獣保護計画は作成しない。</u></p> <p><b>(2) 第二種特定鳥獣管理計画</b></p> <p>第二種特定鳥獣管理計画の対象とする鳥獣は、生息数の著しい増加又は生息地の範囲の拡大により、顕著な農林水産業被害等の人とのあつれきが深刻化している鳥獣、自然生態系の攪(かく)乱を引き起こしている鳥獣等であって、生物の多様性の確保、生活環境の保全又は農林水産業の健全な発展を図る観点から、当該鳥獣の地域個体群の安定的な維持を図りつつ、当該鳥獣の生息数を適正な水準に減少させ、又はその生息地を適正な範囲に縮小させる必要があると認められるものとする。</p> <p><b>3 計画期間</b></p> <p>計画期間は、原則として3～5年間程度とするものとする。なお、上位計画である鳥獣保護管理事業計画との整合を図るため、原則として鳥獣保護管理事業計画の有効期間内で<u>設定する</u>。ただし、鳥獣保護管理事業計画の計画期間をまたいで特定計画の計画期間を設定する場合は、鳥獣保護管理事業計画の改定に合わせて必要な改定を<u>行う</u>。</p> <p><u>なお、計画の有効期間内であっても、計画の対象となる鳥獣の生息状況や社会的状況に大きな変動が生じた場合は、必要に応じて計画の改定等を検討する。</u></p> | <p><b>第六 特定計画に関する事項</b></p> <p><b>1 計画作成の目的</b></p> <p>特定計画（以下第六において単に「計画」という。）は、科学的・計画的な保護又は管理を広域的・継続的に推進することにより、人と<u>野生鳥獣</u>との<u>共存</u>に資することを目的として作成する。</p> <p><u>作成に当たっては、科学的知見を踏まえながら専門家や地域の幅広い関係者の合意を図りつつ明確な保護又は管理の目標を設定する。そして、個体群管理、生息環境管理、被害防除対策の保護又は管理事業を多様な事業主体の協力を得て総合的に講じることとする。</u></p> <p><u>計画が作成され計画の有効期間内であっても、計画の前提条件となる鳥獣の生息状況等に大きな変動が生じた場合等には、必要に応じて計画の改訂等を検討する。</u></p> <p><u>なお、本計画期間においては、第一種特定鳥獣保護計画は作成しない。</u></p> <p><b>2 対象鳥獣の単位</b></p> <p>計画は、原則として、地域個体群を単位として作成する。</p> <p><b>(1) 第一種特定鳥獣保護計画</b></p> <p>第一種特定鳥獣保護計画の対象とする鳥獣は、生息数の著しい減少又は生息地の範囲の縮小、生息環境の悪化や分断等により地域個体群としての絶滅のおそれが生じている鳥獣であって、生物多様性の確保、生活環境の保全又は農林水産業の健全な発展を図る観点から当該鳥獣の地域個体群の安定的な維持及び保護を図りつつ、当該鳥獣の生息数を適正な水準に増加させ、若しくはその生息地を適正な範囲に拡大させる、又はその生息数の水準及びその生息地の範囲を維持する必要があると認められるものとする。</p> <p><b>(2) 第二種特定鳥獣管理計画</b></p> <p>第二種特定鳥獣管理計画の対象とする鳥獣は、生息数の著しい増加又は生息地の範囲の拡大により、顕著な農林水産業被害等の人とのあつれきが深刻化している鳥獣、自然生態系の攪(かく)乱を引き起こしている鳥獣等であって、生物の多様性の確保、生活環境の保全又は農林水産業の健全な発展を図る観点から、当該鳥獣の地域個体群の安定的な維持を図りつつ、当該鳥獣の生息数を適正な水準に減少させ、又はその生息地を適正な範囲に縮小させる必要があると認められるものとする。</p> <p><b>3 計画期間</b></p> <p>計画期間は、原則として3～5年間程度とするものとする。なお、上位計画である鳥獣保護管理事業計画との整合を図るため、原則として鳥獣保護管理事業計画の有効期間内で<u>設定するものとする</u>。ただし、鳥獣保護管理事業計画の計画期間をまたいで特定計画の計画期間を設定する場合は、<u>原則として、鳥獣保護管理事業計画の改定に合わせて必要な改定を行うものとする</u>。</p> <p>計画の有効期間内であっても、計画の対象となる鳥獣の生息状況等に大きな変動が生じた場合等は、必要に応じて計画の改定等を検討する。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p><b>4 対象区域</b></p> <p>計画の対象区域は、原則として当該地域個体群が分布する地域を包含するよう定めるものとし、行政界や明確な地形界又は顕著な地物を区域線として設定する。</p> <p>計画の対象とする地域個体群が、都県の行政界を越えて分布する場合は、関係都県間で整合のとれた対象地域を定めることのできるように、協議・調整を行う。</p> <p><b>5 計画の目標</b></p> <p>計画の目標の設定に当たっては、あらかじめ当該地域個体群の生息動向、生息環境、被害状況、捕獲状況等について必要な調査を行い、科学的な知見及び各地の実施事例に基づき、原則、数値による評価が可能な保護又は管理の目標設定に努める。また、必要な場合には、当該地域個体群の生息状況又は生息環境、被害等の実態を踏まえた計画対象地域の地区割を行い、それぞれの地区ごとに目標を設定する。</p> <p>目標の達成状況の評価のために用いる指標は、推定生息数や捕獲・目撃地点の分布、単位努力量当たりの捕獲数や目撃数、被害額等、当該地域個体群の生息動向、確保すべき生息環境、被害状況等を表すものを選択し、指標のモニタリングを実施するとともに、各指標の特性を踏まえ、指標に応じて中長期的な視点での評価を行う。</p> <p>評価の結果は、科学的な不確実性の補完及び専門家や地域の幅広い関係者の合意形成を図りつつ、計画や年度別実施計画へフィードバックすることにより計画を順応的に見直し、保護事業又は管理事業に反映させる。</p> <p><b>6 保護事業又は管理事業</b></p> <p>当該地域個体群の長期にわたる安定的な維持及び保護を図るために、計画の目標を達成するための施策として、対象種の特性を踏まえた個体群管理、生息環境管理、被害防除対策等の多岐にわたる保護事業を組み合わせるよう努める。</p> <p>(1) 個体群管理</p> <p>① 共通事項</p> <p>個体群管理の事業内容を検討するに当たっては、設定された生息数、生息密度、分布域、年齢構成等様々な側面の目標を踏まえて、年次別・地域別の捕獲等又は採取等の数の配分の考え方を明示する。</p> <p>② 第一種特定鳥獣保護計画</p> <p>第一種特定鳥獣保護計画においては、地域個体群の長期にわたる安定的な維持を図るため、設定された目標を踏まえて、適切な捕獲等又は採取等の抑制による個体群管理（生息数、生息密度、分布域、年齢構成等様々な側面を含む。）を行うものとする。捕獲等又は採取等の数、場所、期間、方法等に関する狩猟の制限の調整や捕獲許可基準の設定等の措置は、関係者で共有し、設定した目標の達成を妨げない範囲で調整する。</p> | <p><b>4 対象地域</b></p> <p>計画の対象地域は、原則として当該地域個体群が分布する地域を包含するよう定めるものとし、行政界や明確な地形界を区域線として設定するものとする。</p> <p>計画の対象とする地域個体群が、都県の行政界を越えて分布する場合は、整合のとれた対象地域を定めることのできるように、協議・調整を行う。</p> <p><b>5 計画の目標</b></p> <p>科学的な知見及び各地の実施事例に基づき適正な保護又は管理の目標を設定できるよう、あらかじめ当該地域個体群の生息動向、生息環境、被害状況、捕獲状況等について必要な調査を行うものとする。</p> <p>保護又は管理の目標については、次のとおり設定するものとする。なお、次の目標の設定に当たっては、必要に応じて当該地域個体群の生息状況又は生息環境、被害等の実態を踏まえた計画対象地域の地区割を行い、それぞれの地区ごとに目標を設定するものとする。</p> <p>また、目標の設定は、適切な情報公開及びモニタリングの実施やその結果を保護事業又は管理事業へ反映するというフィードバックシステムの導入の下、科学的な不確実性の補完及び専門家や地域の幅広い関係者の合意形成を図りつつ問題解決的な姿勢で進めるよう努める。さらに、設定された目標については、保護事業又は管理事業の実施状況やモニタリングによる特定計画の保護又は管理の目標の達成状況の評価を踏まえて、順応的に見直しを行うよう努める。計画の目標とする指標は、当該地域個体群の生息数、生息密度、分布域、確保すべき生息環境等の中から選択し、中期的な生息数の適正な水準及び生息地の適正な範囲の目標を設定する。</p> <p><b>6 保護事業又は管理事業</b></p> <p>当該地域個体群の長期にわたる安定的な維持及び保護を図るために、計画の目標を達成するための施策として、対象種の特性を踏まえた個体群管理、生息環境管理、被害防除対策等の多岐にわたる保護事業を組み合わせるよう努める。</p> <p>(1) 個体群管理</p> <p>① 共通事項</p> <p>個体群管理の事業内容を検討するに当たっては、設定された生息数、生息密度、分布域、年齢構成等様々な側面の目標を踏まえて、年次別・地域別の捕獲等又は採取等の数の配分の考え方を明示する。</p> <p>② 第一種特定鳥獣保護計画</p> <p>第一種特定鳥獣保護計画においては、地域個体群の長期にわたる安定的な維持を図るため、設定された目標を踏まえて、適切な捕獲等又は採取等の抑制による個体群管理（生息数、生息密度、分布域、年齢構成等様々な側面を含む。）を行うものとする。捕獲等又は採取等の数、場所、期間、方法等に関する狩猟の制限の調整や捕獲許可基準の設定等の措置は、関係者で共有し、設定した目標の枠内で調整する。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|--|---|---|
| <p>地域個体群の安定した存続を確保する上で特に重要な生息地については、捕獲等又は採取等を抑制的に実施する。</p> <p>③ 第二種特定鳥獣管理計画</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画においては、地域個体群の長期にわたる安定的な維持を図るため、設定された目標を踏まえて、適切な捕獲等又は採取等の推進による個体群管理（生息数、生息密度、分布域、年齢構成等様々な側面を含む。）を行う。群れで行動する鳥獣については、無計画な捕獲等により、分布域が拡大しないように留意する。</p> <p>(2) 生息環境管理</p> <p>① 共通事項</p> <p>生息環境管理については、当該地域個体群の長期にわたる安定的な維持及び保護を図るための生息環境として保全し、及び管理していく。また、特定鳥獣による被害を防止するため人里周辺に当該鳥獣が寄り付きにくいような環境として管理していくよう努める。</p> <p>② 第一種特定鳥獣保護計画</p> <p>第一種特定鳥獣保護計画において、生息環境管理の推進としては、鳥獣の採餌環境の改善、里地里山の適切な管理、河川の良好な環境と生物生産力の復元の実施によることとする。また、特に重要な生息地においては森林の育成等を実施するよう努める。</p> <p>③ 第二種特定鳥獣管理計画</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画においては、里地里山の適切な管理、耕作放棄地や牧草地の適切な管理等を実施するよう努める。</p> <p>(3) 被害防除対策</p> <p>被害の未然防止を図り、個体群管理や生息環境管理の効果を十分なものとするための基本的かつ不可欠な手段として、地域が一体となった被害防除対策を実施する。防護柵、防鳥網等による予防、威嚇音や煙火、忌避剤等による追い払い、生ごみや未収穫作物の適切な管理、耕作放棄地の解消等による鳥獣の誘引防止等を実施するよう努める。</p> <p>7 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施に関する事項</p> <p>指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する場合、都は、あらかじめ第二種特定鳥獣管理計画における指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する必要性、実施期間、実施区域、目標、実施方法、実施結果の把握及び評価、事業の実施者等を可能な範囲で定めるものとする。</p> <p>8 計画の記載項目及び様式</p> <p>計画に記載する項目は、次を標準とし、地域の実情に応じて調整する。</p> <p>(1) 第一種特定鳥獣保護計画の記載事項</p> <p>① 第一種特定鳥獣保護計画策定の目的及び背景</p> <p>② 保護すべき鳥獣の種類</p> | <p>地域個体群の安定した存続を確保する上で特に重要な生息地については、捕獲等又は採取等を抑制的に実施する。</p> <p>③ 第二種特定鳥獣管理計画</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画においては、地域個体群の長期にわたる安定的な維持を図るため、設定された目標を踏まえて、適切な捕獲等又は採取等の推進による個体群管理（生息数、生息密度、分布域、年齢構成等様々な側面を含む。）を行う。群れで行動する鳥獣については、無計画な捕獲等により、分布域が拡大しないように留意する必要がある。</p> <p>(2) 生息環境管理</p> <p>① 共通事項</p> <p>生息環境管理については、当該地域個体群の長期にわたる安定的な維持及び保護を図るための生息環境管理や、特定鳥獣による被害を防止するため人里周辺に当該鳥獣が寄り付きにくいよう行う生息環境管理を実施するよう努める。</p> <p>② 第一種特定鳥獣保護計画</p> <p>第一種特定鳥獣保護計画において、生息環境管理の推進としては、鳥獣の採餌環境の改善、里地里山の適切な管理、河川の良好な環境と生物生産力の復元の実施によることとする。また、特に重要な生息地においては森林の育成等を実施するよう努める。</p> <p>③ 第二種特定鳥獣管理計画</p> <p>第二種特定鳥獣管理計画においては、里地里山の適切な管理、耕作放棄地や牧草地の適切な管理等を実施するよう努める。</p> <p>(3) 被害防除対策</p> <p>被害の未然防止を図り、個体群管理や生息環境管理の効果を十分なものとするための基本的かつ不可欠な手段として、地域が一体となった被害防除対策を実施する。防護柵、防鳥網等による予防、忌避剤、威嚇音等による追い払い、生ごみや未収穫作物の適切な管理、耕作放棄地の解消等による鳥獣の誘引防止等を実施するよう努める。</p> <p>7 指定管理鳥獣捕獲等事業の実施に関する事項</p> <p>指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する場合、都は、あらかじめ、計画において、指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する必要性、実施期間、実施区域、目標、実施方法、事業の実施者等を定めるとともに、実施結果の把握と評価を行うものとする。</p> <p>8 計画の記載項目及び様式</p> <p>計画に記載する項目は、次を標準とし、地域の実情に応じて調整する。</p> <p>(1) 第一種特定鳥獣保護計画の記載事項</p> <p>① 第一種特定鳥獣保護計画策定の目的及び背景</p> <p>② 保護すべき鳥獣の種類</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|--|--|---|
| <p>③ 第一種特定鳥獣保護計画の期間<br/>④ 第一種特定鳥獣の保護が行われるべき区域<br/>⑤ 第一種特定鳥獣の保護の目標<br/>⑥ 第一種特定鳥獣の捕獲等の調整に関する事項<br/>⑦ 第一種特定鳥獣の生息地の保護及び整備に関する事項<br/>⑧ その他第一種特定鳥獣の保護のために必要な事項<br/>被害防止対策、モニタリング等の調査研究、計画の実施体制、錯誤捕獲対応の実施体制等について必要な事項を定めるよう努める。</p> <p><b>(2) 第二種特定鳥獣管理計画の記載事項</b></p> <p>① 第二種特定鳥獣管理計画策定の目的及び背景<br/>② 管理すべき鳥獣の種類<br/>③ 第二種特定鳥獣管理計画の期間<br/>④ 第二種特定鳥獣の管理が行われるべき区域<br/>⑤ 第二種特定鳥獣の管理の目標<br/>⑥ 第二種特定鳥獣の数の調整に関する事項<br/>(指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する場合は当該事業の実施に関する事項)<br/>⑦ 第二種特定鳥獣の生息地の保護及び整備に関する事項<br/>⑧ その他第二種特定鳥獣の管理のために必要な事項<br/>被害防止対策、モニタリング等の調査研究、計画の実施体制、錯誤捕獲対応の実施体制等について必要な事項を定めるよう努める。</p> <p><b>9 計画の作成及び実行手続</b></p> <p><b>(1) 検討会・連絡協議会の設置</b><br/>学識経験者、関係行政機関等からなる検討会・連絡協議会を設置し、計画の作成、実行方法等についての検討、評価等を行うとともに、<u>関係者の合意形成に努める。検討に当たっては、目標の設定と評価、対象鳥獣の保護又は管理のために必要な事業、モニタリング方法等について、自然科学と社会科学の両面から検討できる体制の整備に努める。</u></p> <p><b>(2) 関係地方公共団体との協議</b><br/>計画を策定する場合は、保護事業又は管理事業の一端を担うことになる計画対象区域に係る<u>区市町村</u>と協議する。また、都県の行政界を越えて分布する地域個体群の保護又は管理を関係地方公共団体が連携して実施する場合は、<u>鳥獣保護管理法</u>第7条第7項（第7条の2第3項において読み替えて準用する場合を含む。）に基づき、計画の対象とする地域個体群がまたがって分布する隣接県と協議する。<br/>なお、夜間銃猟を含む指定管理鳥獣捕獲等事業を実施することを想定している場合にあっては、第二種特定鳥獣管理計画の作成段階から、東京都公安委員会等との情報共有を行うものとする。</p> | <p>③ 第一種特定鳥獣保護計画の期間<br/>④ 第一種特定鳥獣の保護が行われるべき区域<br/>⑤ 第一種特定鳥獣の保護の目標<br/>⑥ 第一種特定鳥獣の捕獲等の調整に関する事項<br/>⑦ 第一種特定鳥獣の生息地の保護及び整備に関する事項<br/>⑧ その他第一種特定鳥獣の保護のために必要な事項<br/>被害防止対策、モニタリング等の調査研究、計画の実施体制、錯誤捕獲対応の実施体制等について必要な事項を定めるよう努める。</p> <p>(2) 第二種特定鳥獣管理計画の記載事項</p> <p>① 第二種特定鳥獣管理計画策定の目的及び背景<br/>② 管理すべき鳥獣の種類<br/>③ 第二種特定鳥獣管理計画の期間<br/>④ 第二種特定鳥獣の管理が行われるべき区域<br/>⑤ 第二種特定鳥獣の管理の目標<br/>⑥ 第二種特定鳥獣の数の調整に関する事項<br/>(指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する場合は当該事業の実施に関する事項)<br/>⑦ 第二種特定鳥獣の生息地の保護及び整備に関する事項<br/>⑧ その他第二種特定鳥獣の管理のために必要な事項<br/>被害防止対策、モニタリング等の調査研究、計画の実施体制、錯誤捕獲対応の実施体制等について必要な事項を定めるよう努める。</p> <p><b>9 計画の作成及び実行手続</b></p> <p>(1) 検討会・連絡協議会の設置<br/>学識経験者、関係行政機関等からなる検討会・連絡協議会を設置し、計画の作成、実行方法等についての検討、評価等を行う。</p> <p>(2) 関係地方公共団体との協議<br/>計画を策定する場合は、保護事業又は管理事業の一端を担うことになる計画対象区域に係る<u>市町村</u>と協議する。また、都県の行政界を越えて分布する地域個体群の保護又は管理を関係地方公共団体が連携して実施する場合は、<u>法</u>第7条第7項（第7条の2第3項において読み替えて準用する場合を含む。）に基づき、計画の対象とする地域個体群がまたがって分布する隣接県と協議する。<br/>なお、夜間銃猟を含む指定管理鳥獣捕獲等事業を実施することを想定している場合にあっては、第二種特定鳥獣管理計画の作成段階から、東京都公安委員会等との情報共有を行うものとする。</p> | <p></p> <p>(変更)<br/>(追加)</p> <p>(変更)<br/>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考       |  |      |    |       |   |         |  |  |   |      |         |      |      |    |       |   |          |  |  |   |
|---|---|----------|--|------|----|-------|---|---------|--|--|---|------|---------|------|------|----|-------|---|----------|--|--|---|
| <p>(3) 利害関係人の意見の聴取</p> <p>利害関係人の意見聴取については、計画の内容や地域の実情に応じ、<u>関係行政機関</u>、農林水産業団体、自然保護団体、狩猟者団体等の必要な機関又は団体が利害関係人として選定されるよう留意し行うものとする。<u>また、対象地域での鳥獣による被害状況の把握のみならず被害を受けている地域社会等の意見の聴取にも努める。</u></p> <p>(4) 計画の決定及び公表・報告</p> <p><u>ニホンジカについて、第13次東京都鳥獣保護管理事業計画と整合を図りながら、計画として引き続き第二種特定鳥獣管理計画を策定し、生息数の適正化、自然植生や農林業への被害軽減を目的として、個体数調整、被害対策（侵入防止柵設置）等の各事業を実施する。</u></p> <p>計画が決定された後は、速やかに公報等により公表するよう努めるとともに、環境大臣に報告する。</p> <p style="text-align: right;">(第11表)</p> <table border="1" data-bbox="204 846 1320 1213"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣</th> <th>計画作成の目的</th> <th>計画期間</th> <th>対象区域</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンジカ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域個体群の適正化</li> <li>・森林生態系の回復と保全</li> <li>・農林業被害の軽減</li> </ul> </td> <td>年度ごとに作成</td> <td>八王子市の一部（中央自動車道以北で国道16号線以西の区域及び中央自動車道以南で明治の森高尾国定公園及び都立高尾陣場自然公園の区域）、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 計画に関する<u>年度別</u>実施計画の作成</p> <p>計画の目標を効果的・効率的に達成するため、計画に沿って事業を実施する取組を、<u>年度別</u>実施計画として取りまとめ、公表するよう努める。</p> <p>鳥獣被害防止特措法に基づき区市町村が策定する被害防止計画がある場合は、これと整合を図る。指定管理鳥獣捕獲等事業を行う場合には、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画を作成する。</p> | 対象鳥獣  | 計画作成の目的  | 計画期間   | 対象区域 | 備考 | ニホンジカ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域個体群の適正化</li> <li>・森林生態系の回復と保全</li> <li>・農林業被害の軽減</li> </ul> | 年度ごとに作成 | 八王子市の一部（中央自動車道以北で国道16号線以西の区域及び中央自動車道以南で明治の森高尾国定公園及び都立高尾陣場自然公園の区域）、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町 |  | <p>(3) 利害関係人の意見の聴取</p> <p>利害関係人の意見聴取については、計画の内容や地域の実情に応じ、農林水産業団体、自然保護団体、狩猟者団体等の必要な機関又は団体が利害関係人として選定されるよう留意し行うものとする。</p> <p>(4) 計画の決定及び公表・報告</p> <p>計画が決定された後は、速やかに公報等により公表するよう努めるとともに、環境大臣に報告する。</p> <p>(5) 計画に関する実施計画の作成</p> <p>計画の目標を効果的・効率的に達成するため、計画に沿って事業を実施する取組を、<u>年度ごとの</u>実施計画（以下「<u>実施計画</u>」という。）として取りまとめ、公表するよう努める。</p> <p>鳥獣被害防止特措法に基づき区市町村が策定する被害防止計画がある場合は、これと整合を図る。指定管理鳥獣捕獲等事業を行う場合には、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画を作成する。</p> <p><u>ニホンジカについては、第12次鳥獣保護管理事業計画と整合を図りながら、計画として引き続き第二種シカ管理計画を策定し、生息数の適正化、自然植生や農林業への被害軽減を目的として、個体数調整、被害対策（侵入防止柵設置）等の各事業を実施する。</u></p> <p style="text-align: right;">(第11表)</p> <table border="1" data-bbox="1451 1654 2567 1885"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣</th> <th>計画作成の目的</th> <th>計画期間</th> <th>対象区域</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニホンジカ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域個体群の適正化</li> <li>・森林生態系の回復と保全</li> <li>・農林業被害の軽減</li> </ul> </td> <td>各年度ごとに作成</td> <td>八王子市の一部（中央自動車道以北で国道16号線以西の区域）、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 対象鳥獣 | 計画作成の目的 | 計画期間 | 対象区域 | 備考 | ニホンジカ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域個体群の適正化</li> <li>・森林生態系の回復と保全</li> <li>・農林業被害の軽減</li> </ul> | 各年度ごとに作成 | 八王子市の一部（中央自動車道以北で国道16号線以西の区域）、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町 |  | <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> |
| 対象鳥獣  | 計画作成の目的   | 計画期間     | 対象区域   | 備考   |    |       |   |         |  |  |   |      |         |      |      |    |       |   |          |  |  |   |
| ニホンジカ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域個体群の適正化</li> <li>・森林生態系の回復と保全</li> <li>・農林業被害の軽減</li> </ul> | 年度ごとに作成  | 八王子市の一部（中央自動車道以北で国道16号線以西の区域及び中央自動車道以南で明治の森高尾国定公園及び都立高尾陣場自然公園の区域）、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町 |      |    |       |   |         |  |  |   |      |         |      |      |    |       |   |          |  |  |   |
| 対象鳥獣  | 計画作成の目的   | 計画期間     | 対象区域   | 備考   |    |       |   |         |  |  |   |      |         |      |      |    |       |   |          |  |  |   |
| ニホンジカ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域個体群の適正化</li> <li>・森林生態系の回復と保全</li> <li>・農林業被害の軽減</li> </ul> | 各年度ごとに作成 | 八王子市の一部（中央自動車道以北で国道16号線以西の区域）、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町                                     |      |    |       |   |         |  |  |   |      |         |      |      |    |       |   |          |  |  |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|---|---|---|
| <p><b>10 計画の評価・見直し</b><br/>           設定された指標に対応するモニタリングにより、計画の目標の達成度を評価し、課題の抽出や改善策の検討を行う。それらの評価結果を踏まえて順応的に計画の見直しを行うものとする。</p> <p><b>11 計画の実行体制の整備</b><br/> <u>保護又は管理を適切に進めるため、個体群管理、生息環境管理、被害防止対策を担う人材の確保及び育成に取り組むほか、関係部局の施策との連携を図る。また、</u>施策の一貫性が確保される体制を整備するため、前述の検討会の設置等により、必要に応じて、大学・研究機関及び鳥獣の研究者と連携するとともに、地域住民の理解や協力を得るよう努めるものとする。</p> <p><b>第七 鳥獣の生息状況の調査に関する事項</b></p> <p><b>1 基本方針</b><br/>           科学的知見に基づいた鳥獣の保護管理を行うとともに、<u>次期事業</u>計画の策定の際に活用するため、必要に応じて次に示す鳥獣保護対策調査等を実施する。実施に当たっては、研究機関、博物館、研究者等、近隣県及び庁内各局と連携し効率的な調査体制の整備及び情報の共有化に努める。<br/>           なお、広域的な鳥獣の保護管理を進める上で、狩猟及び有害鳥獣捕獲等による捕獲等の位置情報は、生息状況の把握にもつながる有用な情報であることから、狩猟者登録証及び捕獲許可証返納時に記載されている捕獲場所の情報については積極的に収集する。<br/>           さらに、各種調査の実施に当たっては、情報を5kmメッシュ又は1kmメッシュ（国土標準3次メッシュ）を単位として収集することにより、生息分布情報の標準化及び共有化を図る。</p> <p><b>2 鳥獣保護対策調査</b><br/>           都内に生息する鳥獣の種類、分布状況、生息数の推移等を把握するため、次の調査等の実施に努める。</p> <p><b>(1) 鳥獣生息分布調査</b><br/>           都内に生息する野生鳥獣の種類、生息数、<u>出現の季節</u>等を調査する。<br/>           ツキノワグマについては、生息状況の実態把握等を行うため、定期的に調査する。</p> <p><b>(2) 希少鳥獣保護調査</b><br/>           絶滅のおそれのある鳥獣、これに準ずる鳥獣等の分布、生息個体数、生息環境、生態等を調査する。<br/> <u>ニホンカモシカ及びアカガシラカラスバトについては、生息状況の実態把握等を行うため、定期的に調査する。</u></p> | <p><b>10 計画の見直し</b><br/> <u>計画が終期を迎えたときは、</u>設定された目標の達成度や保護事業又は管理事業の効果を評価し、<u>必要に応じて</u>計画の見直しを行うものとする。</p> <p><b>11 計画の実行体制の整備</b><br/>           施策の一貫性が確保される体制を整備するため、前述の検討会の設置等により、必要に応じて、大学・研究機関及び鳥獣の研究者と連携するとともに、地域住民の理解や協力を得るよう努めるものとする。</p> <p><b>第七 鳥獣の生息状況の調査に関する事項</b></p> <p><b>1 基本方針</b><br/>           科学的知見に基づいた鳥獣の保護管理を行うとともに、<u>13次</u>計画の策定の際に活用するため、必要に応じて次に示す鳥獣保護対策調査等を実施する。実施に当たっては、研究機関、博物館、研究者等、近隣県及び庁内各局と連携し効率的な調査体制の整備及び情報の共有化に努める。<br/>           なお、広域的な鳥獣の保護管理を進める上で、狩猟及び有害鳥獣捕獲等による捕獲等の位置情報は、生息状況の把握にもつながる有用な情報であることから、狩猟者登録証及び捕獲許可証返納時に記載されている捕獲場所の情報については積極的に収集する。<br/>           さらに、各種調査の実施に当たっては、情報を5kmメッシュ又は1kmメッシュ（国土標準3次メッシュ）を単位として収集することにより、生息分布情報の標準化及び共有化を図る。</p> <p><b>2 鳥獣保護対策調査</b><br/>           都内に生息する鳥獣の種類、分布状況、生息数の推移等を把握するため、次の調査等の実施に努める。</p> <p><b>(1) 鳥獣生息分布調査</b><br/>           都内に生息する野生鳥獣の種類、生息数、<u>季節変化</u>等を調査する。<br/>           ツキノワグマについては、生息状況の実態把握等を行うため、定期的に調査する。</p> <p><b>(2) 希少鳥獣保護調査</b><br/>           絶滅のおそれのある鳥獣、これに準ずる鳥獣等の分布、生息個体数、生息環境、生態等を調査する。</p> | <p>(変更)<br/>(変更)</p> <p>(追加)<br/>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考   |                 |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
|--|--|--|-----------------|------|--|----------|--|-------------|---|-------|--------|---------|--------------------|--|-------|--|-------------|-------------------------|--|--|---------|-------|--|-----------------|----|------------|-------|--------------------|-------|----|--|-------|------|---------|------|------|----------|--|--|--|--|--------|-------|--------------------|-------|----|----------|--|--|--|--|---------|-------|--|-----------------|----|------------|-------|--------------------|-------|----|---|
| <p style="text-align: right;">(第12表)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>調査地域</th> <th>調査時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">鳥獣生息分布調査</td> </tr> <tr> <td>ツキノワグマ</td> <td>令和4～8</td> <td>生息状況調査（専門機関等による調査）</td> <td>西多摩地域、南多摩地域</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td colspan="5">希少鳥獣保護調査</td> </tr> <tr> <td>ニホンカモシカ</td> <td>令和4～8</td> <td>関東山地カモシカ保護地域通常調査（教育庁地域教育支援部所管、文化庁補助事業）</td> <td>奥多摩町（関東山地保護地域内）</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>アカガシラカラスバト</td> <td>令和4～8</td> <td>生息状況調査（専門機関等による調査）</td> <td>小笠原諸島</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table> | 対象鳥獣名  | 調査年度   | 調査方法・内容         | 調査地域 | 調査時期   | 鳥獣生息分布調査 |  |             |   |       | ツキノワグマ | 令和4～8   | 生息状況調査（専門機関等による調査） | 西多摩地域、南多摩地域                                    | 通年    | 希少鳥獣保護調査   |             |                         |  |  | ニホンカモシカ | 令和4～8 | 関東山地カモシカ保護地域通常調査（教育庁地域教育支援部所管、文化庁補助事業） | 奥多摩町（関東山地保護地域内） | 通年 | アカガシラカラスバト | 令和4～8 | 生息状況調査（専門機関等による調査） | 小笠原諸島 | 通年 | <p style="text-align: right;">(第12表)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>調査地域</th> <th>調査時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">鳥獣生息分布調査</td> </tr> <tr> <td>ツキノワグマ</td> <td>29～33</td> <td>生息状況調査（専門機関等による調査）</td> <td>西多摩地域</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td colspan="5">希少鳥獣保護調査</td> </tr> <tr> <td>ニホンカモシカ</td> <td>29～33</td> <td>関東山地カモシカ保護地域通常調査（教育庁地域教育支援部所管、文化庁補助事業）</td> <td>奥多摩町（関東山地保護地域内）</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>アカガシラカラスバト</td> <td>29～33</td> <td>生息状況調査（専門機関等による調査）</td> <td>小笠原諸島</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table> | 対象鳥獣名 | 調査年度 | 調査方法・内容 | 調査地域 | 調査時期 | 鳥獣生息分布調査 |  |  |  |  | ツキノワグマ | 29～33 | 生息状況調査（専門機関等による調査） | 西多摩地域 | 通年 | 希少鳥獣保護調査 |  |  |  |  | ニホンカモシカ | 29～33 | 関東山地カモシカ保護地域通常調査（教育庁地域教育支援部所管、文化庁補助事業） | 奥多摩町（関東山地保護地域内） | 通年 | アカガシラカラスバト | 29～33 | 生息状況調査（専門機関等による調査） | 小笠原諸島 | 通年 | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 対象鳥獣名  | 調査年度   | 調査方法・内容  | 調査地域            | 調査時期 |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 鳥獣生息分布調査   |  |  |                 |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| ツキノワグマ   | 令和4～8  | 生息状況調査（専門機関等による調査）                                 | 西多摩地域、南多摩地域     | 通年   |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 希少鳥獣保護調査   |  |  |                 |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| ニホンカモシカ  | 令和4～8  | 関東山地カモシカ保護地域通常調査（教育庁地域教育支援部所管、文化庁補助事業）             | 奥多摩町（関東山地保護地域内） | 通年   |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| アカガシラカラスバト   | 令和4～8  | 生息状況調査（専門機関等による調査）                                 | 小笠原諸島           | 通年   |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 対象鳥獣名  | 調査年度   | 調査方法・内容  | 調査地域            | 調査時期 |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 鳥獣生息分布調査   |  |  |                 |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| ツキノワグマ   | 29～33  | 生息状況調査（専門機関等による調査）                                 | 西多摩地域           | 通年   |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 希少鳥獣保護調査   |  |  |                 |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| ニホンカモシカ  | 29～33  | 関東山地カモシカ保護地域通常調査（教育庁地域教育支援部所管、文化庁補助事業）             | 奥多摩町（関東山地保護地域内） | 通年   |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| アカガシラカラスバト   | 29～33  | 生息状況調査（専門機関等による調査）                                 | 小笠原諸島           | 通年   |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| <p>(3) ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査</p> <p>ガン・カモ・ハクチョウ類の渡来地について、その越冬状況を明らかにするため、種別の生息数や飛来時期等を調査する。調査の実施に当たっては、環境省の定める日に実施される全国的な一斉調査を基本として行うものとする。</p> <p>なお、短期間に広域にわたり調査を行う必要があるため、鳥類に詳しい鳥獣保護管理推進員等を活用する。</p>   | <p>(3) ガン・カモ・ハクチョウ類一斉調査</p> <p>ガン・カモ・ハクチョウ類の渡来地について、その越冬状況を明らかにするため、種別の生息数等を調査する。調査の実施に当たっては、環境省の定める日に実施される全国的な一斉調査を基本として行うものとする。</p> <p>なお、短期間に広域にわたり調査を行う必要があるため、鳥類に詳しい鳥獣保護管理員等を活用する。</p>  | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>                |                 |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| <p style="text-align: right;">(第13表)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象地域名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多摩川、秋川、浅川、荒川、中川、奥多摩湖、多摩湖、その他都市公園や緑地内の水辺等、計80か所</td> <td>令和4～8</td> <td>「ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領」（環境省）に基づき、鳥獣保護管理推進員等の調査員が現地調査を実施</td> <td>原則、環境省の定める日</td> </tr> </tbody> </table>  | 対象地域名  | 調査年度   | 調査方法・内容         | 備考   | 多摩川、秋川、浅川、荒川、中川、奥多摩湖、多摩湖、その他都市公園や緑地内の水辺等、計80か所 | 令和4～8    | 「ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領」（環境省）に基づき、鳥獣保護管理推進員等の調査員が現地調査を実施 | 原則、環境省の定める日 | <p style="text-align: right;">(第13表)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象地域名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多摩川、秋川、浅川、荒川、中川、奥多摩湖、多摩湖、その他都市公園や緑地内の水辺等、計80か所</td> <td>29～33</td> <td>「ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領」（環境省）に基づき、鳥獣保護管理員等の調査員が現地調査を実施</td> <td>原則、環境省の定める日</td> </tr> </tbody> </table> | 対象地域名 | 調査年度   | 調査方法・内容 | 備考                 | 多摩川、秋川、浅川、荒川、中川、奥多摩湖、多摩湖、その他都市公園や緑地内の水辺等、計80か所 | 29～33 | 「ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領」（環境省）に基づき、鳥獣保護管理員等の調査員が現地調査を実施 | 原則、環境省の定める日 | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 対象地域名  | 調査年度   | 調査方法・内容  | 備考              |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 多摩川、秋川、浅川、荒川、中川、奥多摩湖、多摩湖、その他都市公園や緑地内の水辺等、計80か所   | 令和4～8  | 「ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領」（環境省）に基づき、鳥獣保護管理推進員等の調査員が現地調査を実施 | 原則、環境省の定める日     |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 対象地域名  | 調査年度   | 調査方法・内容  | 備考              |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| 多摩川、秋川、浅川、荒川、中川、奥多摩湖、多摩湖、その他都市公園や緑地内の水辺等、計80か所   | 29～33  | 「ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領」（環境省）に基づき、鳥獣保護管理員等の調査員が現地調査を実施   | 原則、環境省の定める日     |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |
| <p>3 鳥獣保護区等の指定及び管理状況に関する調査</p> <p>鳥獣保護区等の指定、管理等を適正に行うため、既に指定されている鳥獣保護区等においては、必要に応じて管理計画や区域の見直し、解除等を検討する。このため、指定の更新期はもとより指定期間中においても、鳥獣の生息状況、生息環境、施設等を把握する必要があるため、文献調査、定点調査、ラインセンサス調査等を実施する。</p> <p>なお、鳥獣の良好な生存を図るために、それを支える生息地、繁殖地等の生態系としての諸条件を把握することが保護区の維持、管理等にも重要であるため、鳥獣以外の動物や植物も含めた生息環境の調査方法について、専門家や有識者等への意見聴取も行って検討していく。</p>   | <p>3 鳥獣保護区等の指定及び管理状況に関する調査</p> <p>鳥獣保護区等の指定、管理等を適正に行うため、既に指定されている鳥獣保護区等においては、必要に応じて管理計画や区域の見直し、解除等を検討する。このため、指定の更新期はもとより指定期間中においても、鳥獣の生息状況、生息環境、施設等を把握する必要があるため、文献調査、定点調査、ラインセンサス調査等を実施する。</p> <p>なお、鳥獣の良好な生存を図るために、それを支える生息地、繁殖地等の生態系としての諸条件を把握することが保護区の維持、管理等にも重要であるため、鳥獣以外の動物や植物も含めた生息環境の調査方法について、専門家や有識者等への意見聴取も行って検討していく。</p> | <p>(変更)</p>  |                 |      |  |          |  |             |   |       |        |         |                    |  |       |  |             |                         |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |  |       |      |         |      |      |          |  |  |  |  |        |       |                    |       |    |          |  |  |  |  |         |       |  |                 |    |            |       |                    |       |    |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画） |      |               |            | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  |      |               |           | 備考   |
|----------------------|------|---------------|------------|--|------|---------------|-----------|------|
| (第14表)               |      |               |            | (第14表)   |      |               |           | (変更) |
| 対象保護区等の名称            | 調査年度 | 調査方法・内容       | 備考         | 対象保護区等の名称  | 調査年度 | 調査方法・内容       | 備考        |      |
| 奥多摩                  | 令和5  | 鳥獣保護区更新のための調査 | 特別保護地区を含む。 | 山のふるさと村  | 29   | 鳥獣保護区更新のための調査 |           | (変更) |
| 秋川丘陵                 | 5    | 鳥獣保護区更新のための調査 |            | 奥多摩都民の森  | 29   | 鳥獣保護区更新のための調査 |           | (変更) |
| 井の頭恩賜公園              | 5    | 鳥獣保護区更新のための調査 |            | 高尾   | 32   | 鳥獣保護区更新のための調査 | 特別保護地区含む。 | (変更) |
| 奥多摩湖                 | 6    | 鳥獣保護区更新のための調査 | 特別保護地区を含む。 | 小金井  | 29   | 鳥獣保護区管理のための調査 |           | (変更) |
| 大島泉津                 | 6    | 鳥獣保護区更新のための調査 |            | 三頭山  | 29   | 鳥獣保護区管理のための調査 | 特別保護地区含む。 | (変更) |
| 上野恩賜公園               | 6    | 鳥獣保護区更新のための調査 |            | 勝沼城跡   | 30   | 鳥獣保護区管理のための調査 |           | (変更) |
| 村山山口                 | 7    | 鳥獣保護区更新のための調査 | 特別保護地区を含む。 | 石神井  | 31   | 鳥獣保護区管理のための調査 |           | (変更) |
| 多摩川                  | 7    | 鳥獣保護区更新のための調査 |            | 世田谷  | 31   | 鳥獣保護区管理のための調査 |           | (変更) |
| 東京港                  | 7    | 鳥獣保護区更新のための調査 |            | 水元公園   | 31   | 鳥獣保護区管理のための調査 |           | (変更) |
| 御岳                   | 4    | 鳥獣保護区管理のための調査 | 特別保護地区を含む。 | 横沢入  | 31   | 鳥獣保護区管理のための調査 |           | (変更) |
| 清瀬                   | 4    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 新島   | 33   | 鳥獣保護区管理のための調査 |           | (変更) |
| 調布市深大寺               | 4    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 注) 調査は専門機関が実施する。   |      |               |           |      |
| 図師小野路                | 4    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 4 狩猟対策調査   |      |               |           |      |
| 七国山                  | 4    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 主要な狩猟鳥獣については、狩猟等による、生息分布、生息概況、生息環境の変化、捕獲状況等を調査する。指定管理鳥獣である狩猟鳥獣は、狩猟による捕獲の結果を、個体数推定の基礎情報として活用する。       |      |               |           |      |
| 東豊田                  | 5    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | (1) 狩猟鳥獣生息調査   |      |               |           |      |
| 三宅島雄山                | 5    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 主要な狩猟鳥獣について、生息状況、生息環境の変化、捕獲等の状況を把握するため、狩猟者等を対象にアンケート調査等を実施する。特に獣類については、位置情報、性別、捕獲年月日等の捕獲等の状況の把握に努める。 |      |               |           |      |
| 御蔵島                  | 6    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 4 狩猟対策調査   |      |               |           |      |
| 坪田大路池                | 6    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 主要な狩猟鳥獣については、狩猟等による、生息分布、生息概況、生息環境の変化、捕獲状況等を調査する。指定管理鳥獣である狩猟鳥獣は、狩猟による捕獲の結果を、個体数推定の基礎情報として活用する。       |      |               |           |      |
| こどもの国                | 6    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | (1) 狩猟鳥獣生息調査   |      |               |           |      |
| 八丈富士                 | 6    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 主要な狩猟鳥獣について、生息状況、生息環境の変化、捕獲等の状況を把握するため、狩猟者等を対象にアンケート調査等を実施する。特に獣類については、位置情報、性別、捕獲年月日等の捕獲等の状況の把握に努める。 |      |               |           |      |
| 八丈三原山                | 6    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 4 狩猟対策調査   |      |               |           |      |
| 小岩戸ヶ鼻                | 6    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 主要な狩猟鳥獣については、狩猟等による、生息分布、生息概況、生息環境の変化、捕獲状況等を調査する。指定管理鳥獣である狩猟鳥獣は、狩猟による捕獲の結果を、個体数推定の基礎情報として活用する。       |      |               |           |      |
| 北山                   | 6    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | (1) 狩猟鳥獣生息調査   |      |               |           |      |
| 三宅島富賀山               | 8    | 鳥獣保護区管理のための調査 |            | 主要な狩猟鳥獣について、生息状況、生息環境の変化、捕獲等の状況を把握するため、狩猟者等を対象にアンケート調査等を実施する。特に獣類については、位置情報、性別、捕獲年月日等の捕獲等の状況の把握に努める。 |      |               |           |      |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考  |   |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
|---|-------------------|---|---|----|-------------------------|-----------|--|---|--|-------|--------|----------------------------|-----------------|-------------------------|----------------------------|------------------------------|---|-------------------------|-------------------------------|--|------|-----------|------------------------|---------------|--|-------|------|---------|----|-----|-----|--|---|------|-----|--------|----------------------------|-----------------|-------|---|----------------|--------|-----|-------------------------------|--|------|-------|------------------------|---------------|---|
| <p style="text-align: right;">(第15表)</p> <table border="1" data-bbox="222 352 1308 541"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩猟鳥獣全般<br/>ニホンジカ<br/>イノシシ</td> <td>令和4～<br/>8</td> <td>アンケート調査、<br/>出猟カレンダーに<br/>よる調査</td> <td>シカ及びイノシシについては、出猟カレ<br/>ンダーにより、出猟日数当たりの捕獲数<br/>等を調査し、被害対策の資料とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 狩猟実態調査</p> <p>狩猟者の出猟日数、狩猟可能区域への狩猟者への立ち入り頻度、錯誤捕獲等を調査する。第15表の狩猟鳥獣生息調査と合わせ、主に出猟カレンダーを用いたアンケート調査等により実施する。</p> <p>5 鳥獣管理対策調査</p> <p>生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害等を及ぼす鳥獣の防除方法の確立に資するため、鳥獣の生息状況やその生態、個体群動態等を調査し、被害発生メカニズムを明らかにするよう努める。また、調査の実施に当たっては、関係部局等の情報を一元化し、連携して調査を実施するよう努める。特定鳥獣が指定管理鳥獣である場合は、生態の基礎調査、捕獲等情報調査、密度指標調査及び被害状況調査を行うとともに、個体数推定を行う。</p> <p>(1) 調査の概要</p>  | 対象鳥獣名             | 調査年度  | 調査方法・内容   | 備考 | 狩猟鳥獣全般<br>ニホンジカ<br>イノシシ | 令和4～<br>8 | アンケート調査、<br>出猟カレンダーに<br>よる調査             | シカ及びイノシシについては、出猟カレ<br>ンダーにより、出猟日数当たりの捕獲数<br>等を調査し、被害対策の資料とする。 | <p style="text-align: right;">(第15表)</p> <table border="1" data-bbox="1466 352 2552 541"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩猟鳥獣全般<br/>ニホンジカ<br/>イノシシ</td> <td>29～33</td> <td>アンケート調査、<br/>出猟カレンダーに<br/>よる調査</td> <td>シカ及びイノシシについては、出猟カレ<br/>ンダーにより、出猟日数当たりの捕獲数<br/>等を調査し、被害対策の資料とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 狩猟実態調査</p> <p>狩猟者の出猟日数、狩猟可能区域への狩猟者への立ち入り頻度、錯誤捕獲等を調査する。第15表の狩猟鳥獣生息調査と合わせ、主に出猟カレンダーを用いたアンケート調査等により実施する。</p> <p>5 鳥獣管理対策調査</p> <p>生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害等を及ぼす鳥獣の防除方法の確立に資するため、鳥獣の生息状況やその生態、個体群動態等を調査し、被害発生メカニズムを明らかにするよう努める。また、調査の実施に当たっては、関係部局等の情報を一元化し、連携して調査を実施するよう努める。特定鳥獣が指定管理鳥獣である場合は、生態の基礎調査、捕獲等情報調査、密度指標調査及び被害状況調査を行うとともに、個体数推定を行う。</p> <p>(1) 調査の概要</p> | 対象鳥獣名 | 調査年度   | 調査方法・内容                    | 備考              | 狩猟鳥獣全般<br>ニホンジカ<br>イノシシ | 29～33                      | アンケート調査、<br>出猟カレンダーに<br>よる調査 | シカ及びイノシシについては、出猟カレ<br>ンダーにより、出猟日数当たりの捕獲数<br>等を調査し、被害対策の資料とする。 | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| 対象鳥獣名   | 調査年度              | 調査方法・内容   | 備考  |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| 狩猟鳥獣全般<br>ニホンジカ<br>イノシシ   | 令和4～<br>8         | アンケート調査、<br>出猟カレンダーに<br>よる調査                                      | シカ及びイノシシについては、出猟カレ<br>ンダーにより、出猟日数当たりの捕獲数<br>等を調査し、被害対策の資料とする。 |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| 対象鳥獣名   | 調査年度              | 調査方法・内容   | 備考  |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| 狩猟鳥獣全般<br>ニホンジカ<br>イノシシ   | 29～33             | アンケート調査、<br>出猟カレンダーに<br>よる調査                                      | シカ及びイノシシについては、出猟カレ<br>ンダーにより、出猟日数当たりの捕獲数<br>等を調査し、被害対策の資料とする。 |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| <p style="text-align: right;">(第16表)</p> <table border="1" data-bbox="222 1167 1308 1808"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カワウ</td> <td>平成17～</td> <td>捕獲による胃内容物調査<br/>(多摩川、秋川流域)<br/>ねぐらモニタリング調査</td> <td>産業労働局農林水産部水産課<br/>による実施<br/>関東カワウ広域協議会と連携<br/>して実施</td> </tr> <tr> <td>カラス類</td> <td>平成13～</td> <td>生息状況調査</td> <td>都内のねぐら約40か所におい<br/>て個体数等を調査</td> </tr> <tr> <td>ニホンジカ<br/>(多摩地域)</td> <td>令和4～<br/>8</td> <td>被害状況、生息分布、個体数<br/>等モニタリング調査</td> <td>「シカ管理計画」に基づく調査</td> </tr> <tr> <td>ニホンザル等</td> <td>平成18～</td> <td>農作物被害状況、生息分布、<br/>個体数等モニタリング調査</td> <td>産業労働局農林水産部所管の<br/>「東京都獣害対策基本計画」に<br/>基づく調査</td> </tr> <tr> <td>イノシシ</td> <td>令和4～<br/>8</td> <td>生息状況調査（専門機関等<br/>による調査）</td> <td>西多摩地域において通年実施</td> </tr> </tbody> </table> | 対象鳥獣名             | 調査年度  | 調査方法・内容   | 備考 | カワウ                     | 平成17～     | 捕獲による胃内容物調査<br>(多摩川、秋川流域)<br>ねぐらモニタリング調査 | 産業労働局農林水産部水産課<br>による実施<br>関東カワウ広域協議会と連携<br>して実施               | カラス類   | 平成13～ | 生息状況調査 | 都内のねぐら約40か所におい<br>て個体数等を調査 | ニホンジカ<br>(多摩地域) | 令和4～<br>8               | 被害状況、生息分布、個体数<br>等モニタリング調査 | 「シカ管理計画」に基づく調査               | ニホンザル等  | 平成18～                   | 農作物被害状況、生息分布、<br>個体数等モニタリング調査 | 産業労働局農林水産部所管の<br>「東京都獣害対策基本計画」に<br>基づく調査 | イノシシ | 令和4～<br>8 | 生息状況調査（専門機関等<br>による調査） | 西多摩地域において通年実施 | <p style="text-align: right;">(第16表)</p> <table border="1" data-bbox="1466 1167 2552 1892"> <thead> <tr> <th>対象鳥獣名</th> <th>調査年度</th> <th>調査方法・内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カワウ</td> <td>17～</td> <td>捕獲による胃内容物調査<br/>(多摩川、秋川流域)<br/>ねぐらモニタリング調査</td> <td>産業労働局農林水産部水産課<br/>による実施<br/>関東カワウ広域協議会と連携<br/>して実施</td> </tr> <tr> <td>カラス類</td> <td>13～</td> <td>生息状況調査</td> <td>都内のねぐら約40か所におい<br/>て個体数等を調査</td> </tr> <tr> <td>ニホンジカ<br/>(多摩地域)</td> <td>29～33</td> <td>被害状況、生息分布、個体数<br/>等モニタリング調査、<u>区画調<br/>査法、糞粒調査法、アンケー<br/>ト調査法</u></td> <td>「シカ管理計画」に基づく調査</td> </tr> <tr> <td>ニホンザル等</td> <td>18～</td> <td>農作物被害状況、生息分布、<br/>個体数等モニタリング調査</td> <td>産業労働局農林水産部所管の<br/>「東京都獣害対策基本計画」に<br/>基づく調査</td> </tr> <tr> <td>イノシシ</td> <td>29～31</td> <td>生息状況調査（専門機関等<br/>による調査）</td> <td>西多摩地域において通年実施</td> </tr> </tbody> </table> | 対象鳥獣名 | 調査年度 | 調査方法・内容 | 備考 | カワウ | 17～ | 捕獲による胃内容物調査<br>(多摩川、秋川流域)<br>ねぐらモニタリング調査 | 産業労働局農林水産部水産課<br>による実施<br>関東カワウ広域協議会と連携<br>して実施 | カラス類 | 13～ | 生息状況調査 | 都内のねぐら約40か所におい<br>て個体数等を調査 | ニホンジカ<br>(多摩地域) | 29～33 | 被害状況、生息分布、個体数<br>等モニタリング調査、 <u>区画調<br/>査法、糞粒調査法、アンケー<br/>ト調査法</u> | 「シカ管理計画」に基づく調査 | ニホンザル等 | 18～ | 農作物被害状況、生息分布、<br>個体数等モニタリング調査 | 産業労働局農林水産部所管の<br>「東京都獣害対策基本計画」に<br>基づく調査 | イノシシ | 29～31 | 生息状況調査（専門機関等<br>による調査） | 西多摩地域において通年実施 | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 対象鳥獣名   | 調査年度              | 調査方法・内容   | 備考  |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| カワウ   | 平成17～             | 捕獲による胃内容物調査<br>(多摩川、秋川流域)<br>ねぐらモニタリング調査                          | 産業労働局農林水産部水産課<br>による実施<br>関東カワウ広域協議会と連携<br>して実施               |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| カラス類  | 平成13～             | 生息状況調査  | 都内のねぐら約40か所におい<br>て個体数等を調査                                    |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| ニホンジカ<br>(多摩地域)   | 令和4～<br>8         | 被害状況、生息分布、個体数<br>等モニタリング調査  | 「シカ管理計画」に基づく調査  |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| ニホンザル等  | 平成18～             | 農作物被害状況、生息分布、<br>個体数等モニタリング調査                                     | 産業労働局農林水産部所管の<br>「東京都獣害対策基本計画」に<br>基づく調査                      |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| イノシシ  | 令和4～<br>8         | 生息状況調査（専門機関等<br>による調査）  | 西多摩地域において通年実施   |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| 対象鳥獣名   | 調査年度              | 調査方法・内容   | 備考  |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| カワウ   | 17～               | 捕獲による胃内容物調査<br>(多摩川、秋川流域)<br>ねぐらモニタリング調査                          | 産業労働局農林水産部水産課<br>による実施<br>関東カワウ広域協議会と連携<br>して実施               |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| カラス類  | 13～               | 生息状況調査  | 都内のねぐら約40か所におい<br>て個体数等を調査                                    |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| ニホンジカ<br>(多摩地域)   | 29～33             | 被害状況、生息分布、個体数<br>等モニタリング調査、 <u>区画調<br/>査法、糞粒調査法、アンケー<br/>ト調査法</u> | 「シカ管理計画」に基づく調査  |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| ニホンザル等  | 18～               | 農作物被害状況、生息分布、<br>個体数等モニタリング調査                                     | 産業労働局農林水産部所管の<br>「東京都獣害対策基本計画」に<br>基づく調査                      |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |
| イノシシ  | 29～31             | 生息状況調査（専門機関等<br>による調査）  | 西多摩地域において通年実施   |    |                         |           |  |   |  |       |        |                            |                 |                         |                            |                              |   |                         |                               |  |      |           |                        |               |  |       |      |         |    |     |     |  |   |      |     |        |                            |                 |       |   |                |        |     |                               |  |      |       |                        |               |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p><b>6 法に基づく諸制度の運用状況調査</b></p> <p><b>(1) 捕獲等情報収集調査</b></p> <p>法に基づいて行われる捕獲（<u>登録狩猟、許可捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等事業での捕獲</u>）に<u>お</u>いては、捕獲を行った者から、<u>法令に基づき、捕獲場所、鳥獣種別捕獲数及び処置の概要を報告させているほか、必要に応じ捕獲年月日、捕獲個体の性別、捕獲個体の幼獣（鳥）及び成獣（鳥）の別、捕獲努力量、目撃数等も報告させているところであるが、収集する情報については、科学的な鳥獣の保護及び管理の推進に必要な情報の種類・項目を整理し、収集すべき情報の規格化（標準化）を進めるとともに、捕獲情報の報告の仕組みについて見直しを図る。</u>特に、指定管理鳥獣については、<u>収集した捕獲等の情報</u>から、単位努力量当たりの捕獲数及び目撃数の<u>算定や、個体数の推定を行い、</u>情報収集に努める。</p> <p>また、<u>錯誤捕獲については、必要な情報の項目（鳥獣種、数、捕獲日、場所、錯誤捕獲された際の状況及び捕獲後の対応等）を整理し、報告の仕組みについて検討した上で、</u>捕獲に従事する者に対して、<u>錯誤捕獲の実態の報告を求めるものとする。</u></p> <p><b>(2) 制度運用の概況情報</b></p> <p>都は、法に基づいて行う制度運用の概況を把握する。都は、この情報を鳥獣保護管理事業計画の作成又は変更にかつとも、国に提供する。</p> <p><b>7 新たな技術についての検討・普及</b></p> <p><b>(1) 捕獲、調査等に係る技術の検討・普及</b></p> <p>銃猟について、従来の巻き狩りだけでなく、誘引狙撃等様々な猟法を組み合わせた捕獲技術について検討する。わな猟について、<u>ICT等を活用した捕獲技術の普及</u>及び錯誤捕獲の少ないくりわなや<u>はこわなの改良について開発された技術の普及・導入などを</u>検討する。</p> <p>また、鳥獣の生息状況を効果的に把握するための調査技術についても検討<u>を進め、普及に努める。</u></p> <p><b>(2) 被害防除対策に資する検討・普及</b></p> <p>生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害等を及ぼす鳥獣の被害発生メカニズムを明らかに<u>し、ICT等の新たな技術も活用しながら、被害の防止、鳥獣の忌避や追い払いなど技術開発について検討し、普及に努める。また、鳥獣の人の生活圏への出没による人身被害を予防する観点からも環境管理等</u>による鳥獣の誘引防止等の被害防除対策に資する技術開発について<u>検討し、普及に努める。</u></p> <p><b>(3) 捕獲個体の活用や処分に係る検討・普及</b></p> <p>捕獲した個体の有効活用や効率的な処分について検討<u>し、普及に努める。</u></p> <p><b>第八 鳥獣保護管理事業の実施体制に関する事項</b></p> <p><b>1 鳥獣行政担当職員</b></p> <p><b>(1) 方針</b></p> | <p><b>6 法に基づく諸制度の運用状況調査</b></p> <p><b>(1) 捕獲等情報収集調査</b></p> <p>法に基づいて行われる捕獲（<u>狩猟、許可捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等事業での捕獲</u>）に<u>つ</u>いては、捕獲を行った者から、<u>捕獲努力量、捕獲年月日、捕獲の位置情報、</u>捕獲個体の性別、捕獲個体の幼獣及び成獣の別、目撃数等<u>から収集すべき基本的な項目を定める。</u>特に、指定管理鳥獣については、<u>これらの結果から、個体数の推定を行うとともに、</u>単位努力量当たりの捕獲数及び目撃数を算定<u>できるよう、</u>情報収集に努める。</p> <p>また、捕獲に従事する者に対して、<u>錯誤捕獲の実態（種類、数、時期、錯誤捕獲された様態及び捕獲後の処置）を報告させる。</u></p> <p><b>(2) 制度運用の概況情報</b></p> <p>都は、法に基づいて行う制度運用の概況を把握する。都は、この情報を鳥獣保護管理事業計画の作成又は変更にかつとも、国に提供する。</p> <p><b>7 新たな技術についての検討</b></p> <p><b>(1) 捕獲、調査等に係る技術の検討</b></p> <p>銃猟について、従来の巻き狩りだけでなく、誘引狙撃等様々な猟法を組み合わせた捕獲技術について検討する。わな猟について、<u>新しい猟法の技術開発</u>及び錯誤捕獲の少ないくりわなや<u>箱わなの改良について</u>検討する。</p> <p>また、鳥獣の生息状況を効果的に把握するための調査技術についても検討<u>する。</u></p> <p><b>(2) 被害防除対策に資する検討</b></p> <p>生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害等を及ぼす鳥獣の被害発生メカニズムを明らかに<u>することを念頭に、防護柵、防鳥網等による予防、忌避剤、威嚇音等による追い払い、生ごみや未収穫作物の適切な管理、耕作放棄地の解消等</u>による鳥獣の誘引防止等の被害防除対策に資する技術開発について<u>検討する。</u></p> <p><b>(3) 捕獲個体の活用や処分に係る検討</b></p> <p>捕獲した個体の有効活用や効率的な処分について検討<u>する。</u></p> <p><b>第八 鳥獣保護管理事業の実施体制に関する事項</b></p> <p><b>1 鳥獣行政担当職員</b></p> <p><b>(1) 方針</b></p> | <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考 |    |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
|--|-------------------|----|----|---------------------------------|-------|---|----|----|----|----|---|----|----|---|------|---|---|---|---------------------------------|--|--|--|-------------|---|---|---|--------|--|--|--|-----------------|---|---|---|-------|--|--|--|------------|---|---|---|------------|---|---|---|------------|---|---|---|-------------|---|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|--|----|----|--|--|-------|--|--|----|----|----|---|----|----|---|------|---|---|---|---------------------------------|--|--|--|-------------|---|---|---|--------|--|--|--|-----------------|---|---|---|-------|--|--|--|------------|---|---|---|------------|---|---|---|------------|---|---|---|-------------|---|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|-------------------------------------|
| <p>職員は、鳥獣保護管理事業計画の内容、鳥獣の生息状況、狩猟者登録を受けた者の数等を勘案し、鳥獣保護管理事業の実施に支障のないよう努める。</p> <p>なお、行政効果を高めるため、計画的に鳥獣行政担当職員を対象として研修等を行い、専門的知識の向上を図る。その際、国、大学等が提供する研修等の活用も検討する。特に、特定計画の作成、実施等の鳥獣の保護及び管理を担当する職員は、必要な専門的知識について習得を図り、区市町村への情報提供、定期的な意見交換等を行い、専門的知識の向上と連携した取組の実施に努める。また、<u>司法警察員に指名された職員は</u>、地方検察庁、警察当局等の協力を得ながら、<u>鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する取締りの事務</u>を行う。</p> <p>(2) 配置計画</p> <p style="text-align: right;">(第17表)</p> <table border="1" data-bbox="234 758 1294 1304"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">現況</th> <th colspan="3">計画終了時</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>専任</th> <th>兼任</th> <th>計</th> <th>専任</th> <th>兼任</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【本庁】</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td colspan="3" rowspan="7">毎年の業務量や社会情勢等を勘案し、適切な人員、人材を配置する。</td> <td rowspan="7"></td> </tr> <tr> <td>環境局自然環境部計画課</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>【出先機関】</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境局多摩環境事務所自然環境課</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>【各支庁】</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総務局大島支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>総務局三宅支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>総務局八丈支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>総務局小笠原支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 区分                | 現況 |    |                                 | 計画終了時 |   |    | 備考 | 専任 | 兼任 | 計 | 専任 | 兼任 | 計 | 【本庁】 | 人 | 人 | 人 | 毎年の業務量や社会情勢等を勘案し、適切な人員、人材を配置する。 |  |  |  | 環境局自然環境部計画課 | 4 | 0 | 4 | 【出先機関】 |  |  |  | 環境局多摩環境事務所自然環境課 | 5 | 0 | 5 | 【各支庁】 |  |  |  | 総務局大島支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 総務局三宅支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 総務局八丈支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 総務局小笠原支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 計 | 9 | 4 | 13 |  |  |  |  | <p>職員は、鳥獣保護管理事業計画の内容、鳥獣の生息状況、狩猟者登録を受けた者の数等を勘案し、鳥獣保護管理事業の実施に支障のないよう努める。</p> <p>なお、行政効果を高めるため、計画的に鳥獣行政担当職員を対象として研修等を行い、専門的知識の向上を図る。その際、国、大学等が提供する研修等の活用も検討する。特に、特定計画の作成、実施等の鳥獣の保護及び管理を担当する職員は、必要な専門的知識について習得を図るものとする。また、区市町村への情報提供、定期的な意見交換等を行い、専門的知識の向上と連携した取組の実施に努め、地方検察庁、警察当局等の協力を得ながら、<u>司法警察員の制度を積極的に活用しつつ効果的な取締り</u>を行う。</p> <p>(2) 配置計画</p> <p style="text-align: right;">(第17表)</p> <table border="1" data-bbox="1481 758 2540 1304"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">現況</th> <th colspan="3">計画終了時</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>専任</th> <th>兼任</th> <th>計</th> <th>専任</th> <th>兼任</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【本庁】</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td colspan="3" rowspan="7">毎年の業務量や社会情勢等を勘案し、適切な人員、人材を配置する。</td> <td rowspan="7"></td> </tr> <tr> <td>環境局自然環境部計画課</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>【出先機関】</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>環境局多摩環境事務所自然環境課</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>【各支庁】</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総務局大島支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>総務局三宅支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>総務局八丈支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>総務局小笠原支庁産業課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 現況 |  |  | 計画終了時 |  |  | 備考 | 専任 | 兼任 | 計 | 専任 | 兼任 | 計 | 【本庁】 | 人 | 人 | 人 | 毎年の業務量や社会情勢等を勘案し、適切な人員、人材を配置する。 |  |  |  | 環境局自然環境部計画課 | 4 | 0 | 4 | 【出先機関】 |  |  |  | 環境局多摩環境事務所自然環境課 | 5 | 0 | 5 | 【各支庁】 |  |  |  | 総務局大島支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 総務局三宅支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 総務局八丈支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 総務局小笠原支庁産業課 | 0 | 1 | 1 | 計 | 9 | 4 | 13 |  |  |  |  | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 区分   |                   | 現況 |    |                                 | 計画終了時 |   |    |    | 備考 |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
|  | 専任                | 兼任 | 計  | 専任                              | 兼任    | 計 |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 【本庁】   | 人                 | 人  | 人  | 毎年の業務量や社会情勢等を勘案し、適切な人員、人材を配置する。 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 環境局自然環境部計画課  | 4                 | 0  | 4  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 【出先機関】   |                   |    |    |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 環境局多摩環境事務所自然環境課  | 5                 | 0  | 5  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 【各支庁】  |                   |    |    |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局大島支庁産業課   | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局三宅支庁産業課   | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局八丈支庁産業課   | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局小笠原支庁産業課  | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 計  | 9                 | 4  | 13 |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 区分   | 現況                |    |    | 計画終了時                           |       |   | 備考 |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
|  | 専任                | 兼任 | 計  | 専任                              | 兼任    | 計 |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 【本庁】   | 人                 | 人  | 人  | 毎年の業務量や社会情勢等を勘案し、適切な人員、人材を配置する。 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 環境局自然環境部計画課  | 4                 | 0  | 4  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 【出先機関】   |                   |    |    |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 環境局多摩環境事務所自然環境課  | 5                 | 0  | 5  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 【各支庁】  |                   |    |    |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局大島支庁産業課   | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局三宅支庁産業課   | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局八丈支庁産業課   | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 総務局小笠原支庁産業課  | 0                 | 1  | 1  |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |
| 計  | 9                 | 4  | 13 |                                 |       |   |    |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |    |    |  |  |       |  |  |    |    |    |   |    |    |   |      |   |   |   |                                 |  |  |  |             |   |   |   |        |  |  |  |                 |   |   |   |       |  |  |  |            |   |   |   |            |   |   |   |            |   |   |   |             |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |                                     |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考        |        |                           |     |                  |          |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
|---|-------------------|-----------|--------|---------------------------|-----|------------------|----------|----|-------------|-----|-----------|----|----|----|----------------|--|----------|-----|----|----|----|----|----------|----------|-----------|---|----|----|----|-----|------------------|--|------------|---------|-----|----|---------------------------|----|----------|--|---|----|----|--------|------|----|----|-------|----|-------------|-----|-----------|----|----|----|----------------|--|----------|-----|----|----|----|----|----------|----------|-----------|---|----|----|----|-----|------------------|--|------------|---------|-----|----|---------------------------|----|----------|--|---|
| <p>(3) 研修計画 (第18表)</p> <table border="1" data-bbox="222 352 1302 1037"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主催</th> <th>時期(予定)</th> <th>回数/年</th> <th>規模</th> <th>人数</th> <th>内容・目的</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野生生物保護担当者会議</td> <td>環境省</td> <td>6月<br/>10月</td> <td>2回</td> <td>全国</td> <td>2人</td> <td>鳥獣保護全般にわたる国の方針</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野生生物保護研修</td> <td>環境省</td> <td>5月</td> <td>1回</td> <td>全国</td> <td>2人</td> <td>野生生物保護関係</td> <td>必要があれば派遣</td> </tr> <tr> <td>鳥獣保護担当者会議</td> <td>都</td> <td>4月</td> <td>1回</td> <td>全都</td> <td>15人</td> <td>年間事業計画、法令関係、重点事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関東山静ブロック会議</td> <td>各都県持ち回り</td> <td>11月</td> <td>1回</td> <td>環境省<br/>関東1都6県、山梨県、静岡県、長野県</td> <td>2人</td> <td>鳥獣保護行政全般</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 鳥獣保護管理推進員</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>鳥獣保護管理に関する指導・取締り、普及啓発等、鳥獣保護管理行政の効果的な実施を図るため、鳥獣保護管理推進員を設置する。任用に当たっては、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟に関する相当の知識を十分に有する者へ委嘱する。</p> <p>鳥獣保護管理推進員の総数は、地域に密着した活動を実施するため、原則として区市町村数に見合う数を最大とし、その配置については、地域の鳥獣の保護及び管理の実情等を勘案した担当地区制とする。</p> <p>また、行政効果を高めるため、活動マニュアル等を用いて計画的に研修や意見交換等を実施し、鳥獣保護管理推進員としての知識や技術の向上を図る。</p> | 名称                | 主催        | 時期(予定) | 回数/年                      | 規模  | 人数               | 内容・目的    | 備考 | 野生生物保護担当者会議 | 環境省 | 6月<br>10月 | 2回 | 全国 | 2人 | 鳥獣保護全般にわたる国の方針 |  | 野生生物保護研修 | 環境省 | 5月 | 1回 | 全国 | 2人 | 野生生物保護関係 | 必要があれば派遣 | 鳥獣保護担当者会議 | 都 | 4月 | 1回 | 全都 | 15人 | 年間事業計画、法令関係、重点事項 |  | 関東山静ブロック会議 | 各都県持ち回り | 11月 | 1回 | 環境省<br>関東1都6県、山梨県、静岡県、長野県 | 2人 | 鳥獣保護行政全般 |  | <p>(3) 研修計画 (第18表)</p> <table border="1" data-bbox="1466 352 2546 1037"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主催</th> <th>時期(予定)</th> <th>回数/年</th> <th>規模</th> <th>人数</th> <th>内容・目的</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野生生物保護担当者会議</td> <td>環境省</td> <td>6月<br/>10月</td> <td>2回</td> <td>全国</td> <td>2人</td> <td>鳥獣保護全般にわたる国の方針</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野生生物保護研修</td> <td>環境省</td> <td>5月</td> <td>1回</td> <td>全国</td> <td>2人</td> <td>野生生物保護関係</td> <td>必要があれば派遣</td> </tr> <tr> <td>鳥獣保護担当者会議</td> <td>都</td> <td>4月</td> <td>1回</td> <td>全都</td> <td>15人</td> <td>年間事業計画、法令関係、重点事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関東山静ブロック会議</td> <td>各都県持ち回り</td> <td>11月</td> <td>1回</td> <td>環境省<br/>関東1都6県、山梨県、静岡県、長野県</td> <td>2人</td> <td>鳥獣保護行政全般</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 鳥獣保護管理員</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>鳥獣保護管理に関する指導・取締り、普及啓発等、鳥獣保護管理行政の効果的な実施を図るため、鳥獣保護管理員を設置する。任用に当たっては、鳥獣の保護及び管理又は狩猟に関する相当の知識を有し、鳥獣の保護及び管理への熱意を有する人材を広く公募し、審査の上、決定する。</p> <p>鳥獣保護管理員の総数は、地域に密着した活動を実施するため、原則として区市町村数に見合う数を最大とし、その配置については、地域の鳥獣の保護及び管理の実情等を勘案した担当地区制とする。</p> <p>また、行政効果を高めるため、活動マニュアル等を用いて計画的に研修や意見交換等を実施し、鳥獣保護管理員としての知識や技術の向上を図る。</p> | 名称 | 主催 | 時期(予定) | 回数/年 | 規模 | 人数 | 内容・目的 | 備考 | 野生生物保護担当者会議 | 環境省 | 6月<br>10月 | 2回 | 全国 | 2人 | 鳥獣保護全般にわたる国の方針 |  | 野生生物保護研修 | 環境省 | 5月 | 1回 | 全国 | 2人 | 野生生物保護関係 | 必要があれば派遣 | 鳥獣保護担当者会議 | 都 | 4月 | 1回 | 全都 | 15人 | 年間事業計画、法令関係、重点事項 |  | 関東山静ブロック会議 | 各都県持ち回り | 11月 | 1回 | 環境省<br>関東1都6県、山梨県、静岡県、長野県 | 2人 | 鳥獣保護行政全般 |  | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 名称  | 主催                | 時期(予定)    | 回数/年   | 規模                        | 人数  | 内容・目的            | 備考       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 野生生物保護担当者会議   | 環境省               | 6月<br>10月 | 2回     | 全国                        | 2人  | 鳥獣保護全般にわたる国の方針   |          |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 野生生物保護研修  | 環境省               | 5月        | 1回     | 全国                        | 2人  | 野生生物保護関係         | 必要があれば派遣 |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 鳥獣保護担当者会議   | 都                 | 4月        | 1回     | 全都                        | 15人 | 年間事業計画、法令関係、重点事項 |          |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 関東山静ブロック会議  | 各都県持ち回り           | 11月       | 1回     | 環境省<br>関東1都6県、山梨県、静岡県、長野県 | 2人  | 鳥獣保護行政全般         |          |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 名称  | 主催                | 時期(予定)    | 回数/年   | 規模                        | 人数  | 内容・目的            | 備考       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 野生生物保護担当者会議   | 環境省               | 6月<br>10月 | 2回     | 全国                        | 2人  | 鳥獣保護全般にわたる国の方針   |          |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 野生生物保護研修  | 環境省               | 5月        | 1回     | 全国                        | 2人  | 野生生物保護関係         | 必要があれば派遣 |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 鳥獣保護担当者会議   | 都                 | 4月        | 1回     | 全都                        | 15人 | 年間事業計画、法令関係、重点事項 |          |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |
| 関東山静ブロック会議  | 各都県持ち回り           | 11月       | 1回     | 環境省<br>関東1都6県、山梨県、静岡県、長野県 | 2人  | 鳥獣保護行政全般         |          |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |    |    |        |      |    |    |       |    |             |     |           |    |    |    |                |  |          |     |    |    |    |    |          |          |           |   |    |    |    |     |                  |  |            |         |     |    |                           |    |          |  |   |



新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考                            |  |       |    |              |           |                               |  |  |   |              |                 |  |  |  |    |    |           |       |    |            |           |                             |  |  |   |              |                 |  |  |   |
|---|-------------------|-------------------------------|--|-------|----|--------------|-----------|-------------------------------|--|--|---|--------------|-----------------|--|--|--|----|----|-----------|-------|----|------------|-----------|-----------------------------|--|--|---|--------------|-----------------|--|--|---|
| <p>(4) 研修計画 <span style="float: right;">(第21表)</span></p> <table border="1" data-bbox="231 352 1299 766"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主催</th> <th>時期、回数、規模等</th> <th>内容・目的</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥獣保護管理推進員研修会</td> <td>都<br/>(本庁)</td> <td>年1回(4月)<br/>鳥獣保護管理推進員<br/>全員を対象</td> <td>・鳥獣の保護及び管理、関係法令等の説明<br/>・取締り指導及び普及啓発の進め方<br/>・鳥獣行政の現状及び問題点 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>都<br/>(担当地区別)</td> <td>年2回程度<br/>地区別研修会</td> <td>・狩猟取締り及び密猟取締り<br/>・傷病鳥獣の取扱い<br/>・違反事例と問題点<br/>・活動に当たっての課題 等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 保護及び管理の担い手の育成</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>都においては、狩猟免許所持者（のべ数）の数は平成28年の約5,500人から、平成29年には約6,100人と近年増加傾向にある。しかし、都内在住の狩猟免許所持者のうち都への狩猟者登録を行った者は平成29年で約200人であり、免許資格を有しながら都内で狩猟をしない人が大半である。</p> <p>一方で、西多摩地域及び南多摩地域においては、鳥獣による農林産物への被害や生態系への影響が顕著であり、有害鳥獣捕獲や個体数調整の実施、被害や生息状況等の調査等、鳥獣の適正な管理が求められ、担い手の育成が急務となっている。</p> <p>そこで、都で実施している狩猟免許更新講習会の機会を活用して、現在直面している都の現状課題等について情報を発信し、公益社団法人東京都猟友会の協力を得ながら、狩猟者の役割の重要性を伝える等、都の鳥獣保護管理に資する担い手確保に努めていく。<u>また、地域の捕獲の担い手の確保及び育成のために、初心者や狩猟免許所持者で未登録の者を対象とした狩猟体験や技術向上を図るための研修等について検討する。</u></p> <p>また、狩猟者には、狩猟事故や違法行為の未然防止を訴える等、資質の向上に努め、社会から信頼を得られるよう、狩猟のマナーや公益的役割についても、併せて普及啓発を図っていく。</p> <p>(2) 人材の育成及び配置</p> <p>① 都職員の育成及び配置</p> <p>鳥獣の保護及び管理に関する部局に配置された都職員は、法に基づく各種計画の作成、計画に基づく事業の実施及び事業の結果の評価について、研修を受ける等研鑽に努める。</p> <p>② 鳥獣保護管理推進員の育成及び配置</p> <p>都は、自らの事務を補助する鳥獣保護管理推進員を対象とした研修を計画的に実施する等、資質の維持・向上に努める。</p> <p>③ 区市町村職員の育成</p> | 名称                | 主催                            | 時期、回数、規模等  | 内容・目的 | 備考 | 鳥獣保護管理推進員研修会 | 都<br>(本庁) | 年1回(4月)<br>鳥獣保護管理推進員<br>全員を対象 | ・鳥獣の保護及び管理、関係法令等の説明<br>・取締り指導及び普及啓発の進め方<br>・鳥獣行政の現状及び問題点 等 |  | 〃 | 都<br>(担当地区別) | 年2回程度<br>地区別研修会 | ・狩猟取締り及び密猟取締り<br>・傷病鳥獣の取扱い<br>・違反事例と問題点<br>・活動に当たっての課題 等 |  | <p>(4) 研修計画 <span style="float: right;">(第21表)</span></p> <table border="1" data-bbox="1478 352 2546 766"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主催</th> <th>時期、回数、規模等</th> <th>内容・目的</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥獣保護管理員研修会</td> <td>都<br/>(本庁)</td> <td>年1回(4月)<br/>鳥獣保護管理員全員<br/>を対象</td> <td>・鳥獣の保護及び管理、関係法令等の説明<br/>・取締り指導及び普及啓発の進め方<br/>・鳥獣行政の現状及び問題点 等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>都<br/>(担当地区別)</td> <td>年2回程度<br/>地区別研修会</td> <td>・狩猟取締り及び密猟取締り<br/>・傷病鳥獣の取扱い<br/>・違反事例と問題点<br/>・活動に当たっての課題 等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 保護及び管理の担い手の育成</b></p> <p>(1) 方針</p> <p>都においては、狩猟免許所持者（のべ数）の数は平成21年の約5,200人から、平成25年の約4,100人へ減少傾向にあったが、平成27年には約5,100人と増加傾向に転じている。しかし、都内在住の狩猟免許所持者のうち都への狩猟者登録を行った者の割合は10%未満であり、免許資格を有しながら東京で狩猟をしない人が大半である。</p> <p>一方で、多摩西部地区においては、鳥獣による農林産物への被害や生態系への影響が顕著であり、有害鳥獣捕獲や個体数調整の実施、被害や生息状況等の調査等、鳥獣の適正な管理が求められ、担い手の育成が急務となっている。</p> <p>そこで、都で実施している狩猟免許更新講習会の機会を活用して、現在直面している都の現状課題等について情報を発信し、公益社団法人東京都猟友会の協力を得ながら、狩猟者の役割の重要性を伝える等、都の鳥獣保護管理に資する担い手確保に努めていく。</p> <p>また、狩猟者には、狩猟事故や違法行為の未然防止を訴える等、資質の向上に努め、社会から信頼を得られるよう、狩猟のマナーや公益的役割についても、あわせて普及啓発を図っていく。</p> <p>(2) 人材の育成及び配置</p> <p>① 都職員の育成及び配置</p> <p>鳥獣の保護及び管理に関する部局に配置された都職員は、法に基づく各種計画の作成、計画に基づく事業の実施及び事業の結果の評価について、研修を受ける等研鑽に努める。</p> <p>② 鳥獣保護管理員の育成及び配置</p> <p>都は、自らの事務を補助する鳥獣保護管理員を対象とした研修を計画的に実施する等、資質の維持・向上に努める。</p> <p>③ 区市町村職員の育成</p> | 名称 | 主催 | 時期、回数、規模等 | 内容・目的 | 備考 | 鳥獣保護管理員研修会 | 都<br>(本庁) | 年1回(4月)<br>鳥獣保護管理員全員<br>を対象 | ・鳥獣の保護及び管理、関係法令等の説明<br>・取締り指導及び普及啓発の進め方<br>・鳥獣行政の現状及び問題点 等 |  | 〃 | 都<br>(担当地区別) | 年2回程度<br>地区別研修会 | ・狩猟取締り及び密猟取締り<br>・傷病鳥獣の取扱い<br>・違反事例と問題点<br>・活動に当たっての課題 等 |  | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 名称  | 主催                | 時期、回数、規模等                     | 内容・目的  | 備考    |    |              |           |                               |  |  |   |              |                 |  |  |  |    |    |           |       |    |            |           |                             |  |  |   |              |                 |  |  |   |
| 鳥獣保護管理推進員研修会  | 都<br>(本庁)         | 年1回(4月)<br>鳥獣保護管理推進員<br>全員を対象 | ・鳥獣の保護及び管理、関係法令等の説明<br>・取締り指導及び普及啓発の進め方<br>・鳥獣行政の現状及び問題点 等 |       |    |              |           |                               |  |  |   |              |                 |  |  |  |    |    |           |       |    |            |           |                             |  |  |   |              |                 |  |  |   |
| 〃   | 都<br>(担当地区別)      | 年2回程度<br>地区別研修会               | ・狩猟取締り及び密猟取締り<br>・傷病鳥獣の取扱い<br>・違反事例と問題点<br>・活動に当たっての課題 等   |       |    |              |           |                               |  |  |   |              |                 |  |  |  |    |    |           |       |    |            |           |                             |  |  |   |              |                 |  |  |   |
| 名称  | 主催                | 時期、回数、規模等                     | 内容・目的  | 備考    |    |              |           |                               |  |  |   |              |                 |  |  |  |    |    |           |       |    |            |           |                             |  |  |   |              |                 |  |  |   |
| 鳥獣保護管理員研修会  | 都<br>(本庁)         | 年1回(4月)<br>鳥獣保護管理員全員<br>を対象   | ・鳥獣の保護及び管理、関係法令等の説明<br>・取締り指導及び普及啓発の進め方<br>・鳥獣行政の現状及び問題点 等 |       |    |              |           |                               |  |  |   |              |                 |  |  |  |    |    |           |       |    |            |           |                             |  |  |   |              |                 |  |  |   |
| 〃   | 都<br>(担当地区別)      | 年2回程度<br>地区別研修会               | ・狩猟取締り及び密猟取締り<br>・傷病鳥獣の取扱い<br>・違反事例と問題点<br>・活動に当たっての課題 等   |       |    |              |           |                               |  |  |   |              |                 |  |  |  |    |    |           |       |    |            |           |                             |  |  |   |              |                 |  |  |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考                |            |                                    |       |           |   |                   |            |                                    |  |    |    |        |    |       |           |   |                   |            |                                    |   |
|--|-------------------|-------------------|------------|------------------------------------|-------|-----------|---|-------------------|------------|------------------------------------|--|----|----|--------|----|-------|-----------|---|-------------------|------------|------------------------------------|---|
| <p>都は、鳥獣の保護及び管理に関する部局に配置された区市町村職員が、法に基づく各種計画の作成、計画に基づく事業の実施及び事業の結果の評価に関する内容を有する研修等を受講できるよう配慮する。</p> <p>④ 民間の保護及び管理の担い手の育成</p> <p>都及び区市町村は、<u>狩猟者の減少・高齢化等により鳥獣捕獲の担い手が減少していることから、鳥獣の捕獲等を適切かつ効果的に実施することができる認定鳥獣捕獲等事業者の育成・確保に努める。</u><br/><u>また、地域における効果的な捕獲体制の整備のため、区市町村等へ認定鳥獣捕獲等事業者の活用事例の情報を提供する。</u></p> <p>(3) 研修計画 <span style="float: right;">(第22表)</span></p> <table border="1" data-bbox="219 758 1308 945"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主催</th> <th>時期、回数等</th> <th>人数</th> <th>内容・目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩猟免許更新講習会</td> <td>都</td> <td>5月～9月<br/>年6～20回程度</td> <td>100～300人／回</td> <td>狩猟免許更新時の講習会にて、鳥獣の保護及び管理に関する普及啓発を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 鳥獣保護施設等について</p> <p>傷病鳥獣の保護や鳥獣に関する普及啓発の拠点となる鳥獣保護センター等の施設については設置は行わず、既存の体制や施設を活用することで対応する。</p> <p>傷病鳥獣の保護については、都内各所で開業している公益社団法人東京都獣医師会所属の病院による身近できめ細やかな治療と <u>NPO 団体</u>、傷病野生鳥獣保護サポーター等による適切なりハビリ等を機能的に運用しながら実施していく。</p> <p>鳥獣に関する普及啓発については、自然公園内に設置されている各ビジターセンター、「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ（渡り性水鳥保全連携協力事業）」に参加している東京港野鳥公園等の既存の施設を有効に活用していく。</p> <p>5 取締り</p> <p>(1) 方針</p> <p>鳥獣の違法捕獲、違法飼養、違法な販売行為等については、警視庁と連携し重点的に取締りを実施している。警視庁が捜査、検挙に関する事務を担い、都は鳥獣保護<u>管理推進員</u>を現地に派遣して野鳥の識別判定及び調書の作成に協力している。さらに、鳥獣保護管理推進員が都内のペットショップ等を巡回パトロールし、野鳥の違法販売等についての監視体制を強化している。今後も、鳥獣保護<u>管理推進員</u>の更なる資質の向上を図り、警視庁との連携を密に積極的な取締りを推進していく。</p> <p>狩猟の取締りについても、地域を所轄する警察署との情報交換及び連携を一層密にし、迅速かつ適正な取締りを推進していく。狩猟期間中は鳥獣保護<u>管理推進員</u>による定期的なパトロールを実施する。特に、狩猟者が多数出猟すると予想される解禁日、週末等はパトロールを強化する。</p> <p>違法捕獲や違法飼養の鳥獣で、任意放棄又は押収された個体を野生復帰させる際には、個体の様子を</p> | 名称                | 主催                | 時期、回数等     | 人数                                 | 内容・目的 | 狩猟免許更新講習会 | 都 | 5月～9月<br>年6～20回程度 | 100～300人／回 | 狩猟免許更新時の講習会にて、鳥獣の保護及び管理に関する普及啓発を図る | <p>都は、鳥獣の保護及び管理に関する部局に配置された区市町村職員が、法に基づく各種計画の作成、計画に基づく事業の実施及び事業の結果の評価に関する内容を有する研修等を受講できるよう配慮する。</p> <p>④ 民間の保護及び管理の担い手の育成</p> <p>都及び区市町村は、<u>民間の保護及び管理の担い手の育成に努める。</u></p> <p>(3) 研修計画 <span style="float: right;">(第22表)</span></p> <table border="1" data-bbox="1466 758 2555 945"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>主催</th> <th>時期、回数等</th> <th>人数</th> <th>内容・目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩猟免許更新講習会</td> <td>都</td> <td>5月～9月<br/>年6～20回程度</td> <td>100～300人／回</td> <td>狩猟免許更新時の講習会にて、鳥獣の保護及び管理に関する普及啓発を図る</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 鳥獣保護施設等について</p> <p>傷病鳥獣の保護や鳥獣に関する普及啓発の拠点となる鳥獣保護センター等の施設については設置は行わず、既存の体制や施設を活用することで対応する。</p> <p>傷病鳥獣の保護については、都内各所で開業している公益社団法人東京都獣医師会所属の病院による身近できめ細やかな治療と <u>NPO 法人</u>、傷病野生鳥獣保護サポーター等による適切なりハビリ等を機能的に運用しながら実施していく。</p> <p>鳥獣に関する普及啓発については、自然公園内に設置されている各ビジターセンター、「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ（渡り性水鳥保全連携協力事業）」に参加している東京港野鳥公園等の既存の施設を有効に活用していく。</p> <p>5 取締り</p> <p>(1) 方針</p> <p>鳥獣の違法捕獲、違法飼養、違法な販売行為等については、警視庁と連携し重点的に取締りを実施している。警視庁が捜査、検挙に関する事務を担い、都は鳥獣保護<u>管理員</u>を現地に派遣して野鳥の識別判定及び調書の作成に協力している。さらに、鳥獣保護管理員が都内のペットショップ等を巡回パトロールし、野鳥の違法販売等についての監視体制を強化している。今後も、鳥獣保護<u>管理員</u>の更なる資質の向上を図り、警視庁との連携を密に積極的な取締りを推進していく。</p> <p>狩猟の取締りについても、地域を所轄する警察署との情報交換及び連携を一層密にし、迅速かつ適正な取締りを推進していく。狩猟期間中は鳥獣保護<u>管理員</u>による定期的なパトロールを実施する。特に、狩猟者が多数出猟すると予想される解禁日、週末等はパトロールを強化する。</p> <p>違法捕獲や違法飼養の鳥獣で、任意放棄又は押収された個体を野生復帰させる際には、個体の様子を</p> | 名称 | 主催 | 時期、回数等 | 人数 | 内容・目的 | 狩猟免許更新講習会 | 都 | 5月～9月<br>年6～20回程度 | 100～300人／回 | 狩猟免許更新時の講習会にて、鳥獣の保護及び管理に関する普及啓発を図る | <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 名称   | 主催                | 時期、回数等            | 人数         | 内容・目的                              |       |           |   |                   |            |                                    |  |    |    |        |    |       |           |   |                   |            |                                    |   |
| 狩猟免許更新講習会  | 都                 | 5月～9月<br>年6～20回程度 | 100～300人／回 | 狩猟免許更新時の講習会にて、鳥獣の保護及び管理に関する普及啓発を図る |       |           |   |                   |            |                                    |  |    |    |        |    |       |           |   |                   |            |                                    |   |
| 名称   | 主催                | 時期、回数等            | 人数         | 内容・目的                              |       |           |   |                   |            |                                    |  |    |    |        |    |       |           |   |                   |            |                                    |   |
| 狩猟免許更新講習会  | 都                 | 5月～9月<br>年6～20回程度 | 100～300人／回 | 狩猟免許更新時の講習会にて、鳥獣の保護及び管理に関する普及啓発を図る |       |           |   |                   |            |                                    |  |    |    |        |    |       |           |   |                   |            |                                    |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考      |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    |    |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
|---|-------------------|---------|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|----|------------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|------------|---------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|---|------|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|------------|---------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|---|
| <p>察し、十分な体力をつけてから放鳥獣する。また、遺伝的な攪(かく)乱を防ぐ観点から、可能な限り捕獲等又は採取等された地域に放鳥獣するよう努める。</p> <p>(2) 年間計画</p> <p style="text-align: right;">(第23表)</p> <table border="1" data-bbox="192 489 1335 903"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="12">実施時期（月）</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩猟取締り、とりもち、かすみ網等による違法捕獲取締り</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>←→</td> <td>狩猟期間及びその前後</td> </tr> <tr> <td>違法捕獲及び違法飼養取締り</td> <td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥獣販売業者パトロール及び取締り</td> <td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 必要な財源の確保</p> <p>本計画に記載されている各種鳥獣保護管理事業を円滑に実施するため、その必要性や金額を十分に精査の上、必要な財源の確保に努める。また、支出に当たっても、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する行政の各種事業の実施に対し、効果的な支出を図るものとする。</p> <p>第九 その他</p> <p>1 傷病鳥獣救護の基本的な対応</p> <p>(1) 方針</p> <p>① 生物多様性の保全に貢献する観点から、鳥獣の野生復帰を図ることを<b>目的に</b>傷病鳥獣の救護を実施する。</p> <p>② <u>保護の対象とする種は、希少種や交通事故等の人為的な要因で傷付き、かつ野生復帰の見込める個体とする。</u></p> <p>③ <u>農林水産業、生活環境、生態系へ恒常的に被害を与える鳥獣として、「表6 予察表」に記載されている次の種は保護の対象としない。</u><br/> <u>対象外鳥獣：ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル、タヌキ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ドバト、スズメ、ヒヨドリ、ムクドリ、カワウ</u></p> <p>④ <u>本来地域に生息しない外来鳥獣等や人間の介入により野生復帰が困難となり得る雛及び出生直後の幼獣についても保護の対象としない。</u></p> <p>⑤ <u>雛及び幼獣を傷病鳥獣と誤認して救護しないよう、適正な鳥獣との関わり方について普及啓発に努める。</u></p> <p>⑥ 東京都傷病鳥獣保護対応マニュアル、同水準と認められるマニュアル等に即して、傷病鳥獣の収容、治療、保護飼養、リハビリテーション及び野生復帰に努める。</p> | 事業内容              | 実施時期（月） |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    | 備考 | 4          | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 狩猟取締り、とりもち、かすみ網等による違法捕獲取締り |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ←→ | 狩猟期間及びその前後 | 違法捕獲及び違法飼養取締り | ← |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | → |  | 鳥獣販売業者パトロール及び取締り | ← |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | → |  | <p>観察し、十分な体力をつけてから放鳥獣する。また、遺伝的な攪(かく)乱を防ぐ観点から、可能な限り捕獲等又は採取等された地域に放鳥獣するよう努める。</p> <p>(2) 年間計画</p> <p style="text-align: right;">(第23表)</p> <table border="1" data-bbox="1433 489 2576 903"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="12">実施時期（月）</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>狩猟取締り、とりもち、かすみ網等による違法捕獲取締り</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>←→</td> <td>狩猟期間及びその前後</td> </tr> <tr> <td>違法捕獲及び違法飼養取締り</td> <td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥獣販売業者パトロール及び取締り</td> <td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 必要な財源の確保</p> <p>本計画に記載されている各種鳥獣保護管理事業を円滑に実施するため、その必要性や金額を十分に精査の上、必要な財源の確保に努める。また、支出に当たっても、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する行政の各種事業の実施に対し、効果的な支出を図るものとする。</p> <p>第九 その他</p> <p>1 傷病鳥獣救護の基本的な対応</p> <p>(1) 方針</p> <p>① 生物多様性の保全に貢献する観点から、鳥獣の野生復帰を図ることを<b>目的として</b>、傷病鳥獣の救護を実施する。</p> <p>② 東京都傷病鳥獣保護対応マニュアル、同水準と認められるマニュアル等に即して、傷病鳥獣の収容、治療、保護飼養、リハビリテーション及び野生復帰に努める。</p> <p>③ <u>ひな及び出生直後の幼獣を傷病鳥獣と誤認して救護しないよう、適正な鳥獣との関わり方について普及啓発に努める。</u></p> | 事業内容 | 実施時期（月） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 備考 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 狩猟取締り、とりもち、かすみ網等による違法捕獲取締り |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ←→ | 狩猟期間及びその前後 | 違法捕獲及び違法飼養取締り | ← |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | → |  | 鳥獣販売業者パトロール及び取締り | ← |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | → |  | <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 事業内容  |                   | 実施時期（月） |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    |    | 備考         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
|   | 4                 | 5       | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |    |    |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
| 狩猟取締り、とりもち、かすみ網等による違法捕獲取締り  |                   |         |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    | ←→ | 狩猟期間及びその前後 |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
| 違法捕獲及び違法飼養取締り   | ←                 |         |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    | →  |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
| 鳥獣販売業者パトロール及び取締り  | ←                 |         |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    | →  |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
| 事業内容  | 実施時期（月）           |         |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   | 備考 |    |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
|   | 4                 | 5       | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |    |    |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
| 狩猟取締り、とりもち、かすみ網等による違法捕獲取締り  |                   |         |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    | ←→ | 狩猟期間及びその前後 |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
| 違法捕獲及び違法飼養取締り   | ←                 |         |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    | →  |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |
| 鳥獣販売業者パトロール及び取締り  | ←                 |         |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |    | →  |            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |      |         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |            |               |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |                  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |   |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p>⑦ 救護した傷病鳥獣から今後の保護管理に有用な情報の収集に努める。</p> <p>⑧ ニホンカモシカについては、特別天然記念物であり、文化財保護法に基づき適切な対処を行う。</p> <p><b>(2) 傷病鳥獣保護の実施</b></p> <p>① 東京都獣医師会、NPO 団体、獣医系大学等保護機関との連携を<b>推進</b>するとともに、東京都傷病野生鳥獣保護サポーター制度を活用して、ネットワーク体制の充実を図る。</p> <p>② 傷病鳥獣の保護収容は、通報者（都民等）の協力を得て、東京都獣医師会、NPO 団体、獣医系大学等保護機関と連携して実施し、治療、保護飼養の後、回復した鳥獣は野生の生活に戻すことを原則とする。</p> <p>③ 傷病鳥獣として収容された鳥獣のうち、特定外来生物に指定された鳥獣や野生復帰が感染症等<b>まん延</b>の原因となるおそれのある鳥獣については、原則として、できる限り苦痛を与えない方法で致死させる。</p> <p><b>2 油等による汚染に伴う水鳥の救護</b></p> <p><b>(1) 連絡体制の整備</b></p> <p>大規模な油汚染事故等複数の行政区域にまたがって大量の傷病<b>の水鳥</b>が発生した場合に備え、情報の収集及び提供並びに円滑な救護活動に資するよう、あらかじめ連絡体制を整備する。また、関係者に対し、環境省が実施する研修を受講させるよう努める。</p> <p><b>(2) 事故発生時の対応</b></p> <p>油汚染事故等一時的に多数の傷病<b>の水鳥</b>が発生した場合には、保護機関のほか、東京都鳥獣保護<b>管理推進員</b>、環境省所管の「水鳥救護研修センター」、動物園等とそれぞれ連携を図りながら対処に努める。</p> <p><b>3 鳥類の鉛中毒の発生防止</b></p> <p>鳥類の鉛中毒による事故死を防止する取組を推進するに当たって、鉛中毒の発生実態に関する科学的知見の蓄積に引き続き努めていく必要がある。国が実施する鉛中毒に関するモニタリングの結果を踏まえ、鉛中毒による鳥類への影響を評価するとともに、水鳥又は猛禽類の保護の観点から効果が見込まれる場合には、該当地域での指定猟法禁止区域制度の活用や鳥獣捕獲等事業における非鉛製銃弾の使用を検討する。また、非鉛製銃弾への切替えを促進するため、代替弾に関する情報提供に努め、捕獲した鳥獣を山野等へ放置しない等の捕獲個体の適切な取扱いについての普及啓発を進める。</p> <p><b>4 感染症への対応</b></p> <p><u>生物多様性の確保、人の生活、家畜の飼育等に影響の大きい鳥獣に関する感染症に備え、専門的な知</u></p> | <p>④ <u>糞(ふん)等の生活被害が多発しているカラス類及びドバト並びに生息数が過剰となっているニホンジカについては、救護の対象としない。また、本来生息するものでない外来鳥獣等についても、救護の対象としない。</u></p> <p>⑤ 救護した傷病鳥獣から今後の保護管理に有用な情報の収集に努める。</p> <p>⑥ ニホンカモシカについては、特別天然記念物であり、文化財保護法に基づき適切な対処を行う。</p> <p><b>(2) 傷病鳥獣保護の実施</b></p> <p>① 東京都獣医師会、NPO 団体、獣医系大学等保護機関との連携を<b>強化</b>するとともに、東京都傷病野生鳥獣保護サポーター制度を活用して、ネットワーク体制の充実を図る。</p> <p>② 傷病鳥獣の保護収容は、通報者（都民等）の協力を得て、東京都獣医師会、NPO 団体、獣医系大学等保護機関と連携して実施し、治療、保護飼養の後、回復した鳥獣は野生の生活に戻すことを原則とする。</p> <p>③ 傷病鳥獣として収容された鳥獣のうち、特定外来生物に指定された鳥獣や野生復帰が感染症等<b>の蔓延</b>の原因となるおそれのある鳥獣については、原則として、できる限り苦痛を与えない方法で致死させる。</p> <p><b>2 油等による汚染に伴う水鳥の救護</b></p> <p><b>(1) 連絡体制の整備</b></p> <p>大規模な油汚染事故等複数の行政区域にまたがって大量の傷病<b>鳥獣</b>が発生した場合に備え、情報の収集及び提供並びに円滑な救護活動に資するよう、あらかじめ連絡体制を整備する。また、関係者に対し、環境省が実施する研修を受講させるよう努める。</p> <p><b>(2) 事故発生時の対応</b></p> <p>油汚染事故等一時的に多数の傷病<b>鳥獣</b>が発生した場合には、保護機関のほか、東京都鳥獣保護<b>管理員</b>、環境省所管の「水鳥救護研修センター」、動物園等とそれぞれ連携を図りながら対処に努める。</p> <p><b>3 感染症への対応</b></p> <p><u>鳥獣に、人獣共通感染症や家畜に影響の大きい感染症が発生した場合に備え、国及び都内関係機関</u></p> | <p>(削除)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(新設)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|---|---|---|
| <p><u>見に基づく情報収集や鳥獣の感染状況等に関する調査を始めとし、関係部局と連携したサーベイランス等を日頃から実施し、情報の共有を行う。また、それらの感染症が発生した場合に、迅速かつ適切に対応できるよう、事前に国及び都内関係機関との連絡体制を整備する。</u></p> <p><u>野生鳥獣に関する感染症は、鳥獣行政のみならず公衆衛生、家畜衛生、動物愛護管理行政等の多くの担当部局に関連するものもあるため、これらに関する部局が連携して対策を実施する。また、関係する機関に加え、都民や地域住民に対して適切な理解を促すなどの普及啓発を行う。</u></p> <p><b>(1) 高病原性鳥インフルエンザ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>人獣共通感染症であり、家さんへの影響も大きいことから、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」等に基づきウイルス保有状況調査等を行うとともに、家畜衛生部局、保健所、区市町村等と連携し、発生時には迅速な対応を行う。野鳥の異常死の早期発見や発生時の対応体制を強化するために、野鳥の生息状況の把握、死亡野鳥調査等の野鳥サーベイランス及び野鳥緊急調査等を実施する人材の育成・確保に努める。また、高病原性鳥インフルエンザと野鳥との関わりや野鳥との接し方等について、住民等への情報提供や普及啓発等を適切に実施する。</u></li> </ul> <p><b>(2) 豚熱（CSF）、アフリカ豚熱（ASF）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>平成30年に国内で26年ぶりに発生して以降、野生イノシシにおける豚熱（CSF）感染が継続して確認されている。都内でも令和2年に野生イノシシでの本病の感染が確認されていることから、野生イノシシにおける感染確認検査を実施するとともに、周辺県や関係区市町村と連携しながら捕獲強化等の対策を一層推進することにより、感染収束に努める。なお、狩猟者や捕獲従事者に対しては「CSF・ASF対策としての野生イノシシの捕獲等に関する防疫措置の手引き（令和元年12月環境省・農林水産省公表）」に基づいた防疫措置に配慮しながら捕獲を実施するよう指導する。また、野生イノシシが豚熱ウイルスで汚染された肉製品を食べること等で感染・まん延につながるおそれがあることから、ごみの放置禁止及びごみ置き場等における野生動物の接触防止対策等の徹底について、関係区市町村、関係機関、関係団体等に対し積極的に普及啓発を行う。</u></li> <li>・<u>アフリカ豚熱（ASF）については、現在国内での感染は確認されていないが、アジア地域で感染が拡大しており、国内への侵入リスクが高まっている。アフリカ豚熱ウイルスが我が国に侵入し、野生イノシシにまん延した場合はその影響が大きいと考えられることから、家畜衛生部局等と連携・協力しながら、野生イノシシにおける感染確認検査の実施や監視体制強化により、万が一の侵入時に早期発見が可能な体制整備に努める。また、国内でアフリカ豚熱の感染が確認された場合、速やかに必要な措置を講じることができるよう、侵入確認時に必要な体制を整える。</u></li> </ul> <p><b>(3) その他感染症（SFTS等）</b></p> <p><u>上記以外の野生鳥獣に関する感染症についても、可能な限り情報収集を行い、鳥獣の保護及び管理に当たっての対応の必要性、対応方法等について検討する。</u></p> <p><u>重要な家畜伝染病（例：口蹄疫<sup>てい</sup>等等）、既に国内での感染者が見られている野生鳥獣と人・家畜との間で伝播<sup>は</sup>する感染症（例：SFTS（重症熱性血小板減少症候群）等）、国内での感染は確認されていないが発生した場合に家畜や希少鳥獣等への影響及び人への感染が懸念される感染症（例：ウエストナイル</u></p> | <p><u>と連携し、情報収集に努め、必要に応じて調査等を行う。</u></p> <p>(1) <u>野生鳥獣における感染症への対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>高病原性鳥インフルエンザについては、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」等に基づきウイルス保有状況調査等を行うとともに、家畜衛生部局、区市町村等と連携し、発生時には迅速な対応を行う。また、高病原性鳥インフルエンザと野鳥との関わり、野鳥との接し方等の住民への情報提供等を適切に実施する。</u></li> </ul> | <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考  |
|---|---|---|
| <p><u>熱等）については、鳥獣における感染状況を早期に発見し対応できるよう、情報収集・監視に努める。</u><br/> <u>また、鳥獣の異常死又は傷病鳥獣の状況等の把握、それら傷病個体等における感染症に関する検査等を通じた監視・注意喚起等や、関係部局や関連機関との情報共有に努める。</u></p> <p>・<u>SFTS（重症熱性血小板減少症候群）などマダニが媒介する感染症の広がりが懸念されている。関東地方周辺では、研究によりマダニ媒介感染症における最重要種の一つであるフタトゲチマダニの密度が、ニホンジカ密度と相関していることが示されている。一方、感染拡大の要因は単一ではなく、様々な要因が関与していると考えられている。将来的な備えとして、適切な野生動物管理が必要であり、関係機関と共に情報収集に努める。</u></p> <p>・<u>疥癬に罹患したタヌキ等については、疥癬のまん延防止に努めるために、できる限り苦痛を与えない方法で致死させる。</u></p> <p>・<u>口蹄疫等が発生している場合には、発生地周辺の鳥獣に異常がないか監視に努める。</u></p> <p><b>(4) 家畜等における感染症発生時の対応</b><br/> <u>都内及び周辺県</u>で家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）<u>第3条の2</u>に規定する<u>特定</u>家畜伝染病が発生している場合は、同病に感受性の高い鳥獣の<u>監視に努めるとともに</u>、同病の感染が疑われる際は、家畜衛生部局等（産業労働局）と調整し、適切な対応を図る。</p> <p>(5) 感染症にり患した傷病鳥獣保護個体への対応<br/>                 傷病鳥獣を保護した際には、必要に応じて搬入後速やかに隔離し、感染症の有無を確認する。感染症にり患している可能性がある場合には検査を実施し、家畜伝染病予防法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）、狂犬病予防法（昭和25年法律第247号）等の関係法令等の規定に従い適切に対処するとともに、第九の1の(2)②若しくは③に基づき対応する。</p> <p><b>5 大型獣類の市街地出没への対応</b><br/>                 近年、ニホンジカやイノシシ等の大型獣類の生息範囲が拡大傾向にあり、市街地への出没の可能性が高まり、人との軋轢が懸念されることから、大型獣類が市街地へ出没した際に対応していくための体制の整備が求められている。<br/>                 そのためには、生息状況調査の継続的な実施により、常に大型獣類の生息分布域の拡大の有無等を把握し、市街地への出没に備える必要がある。また、専門家等の意見も踏まえ、対象獣類の生態、行動特性、想定される出没原因や移動経路など人身被害等の防止に向け、留意すべき事項について整理し、関係部局や区市町村と情報共有を図る。加えて、実際に出没した場合に迅速かつ適切に対応できるよう、関係部局、区市町村、関係機関と連携し、出没の際の連絡体制や捕獲体制の構築、住民への注意喚起等、都の地域事情に応じた対応方法について検討する。</p> | <p>・疥癬に罹患したタヌキ等については、疥癬の<u>蔓延防止</u>に努めるために、できる限り苦痛を与えない方法で致死させる。</p> <p>・<u>その他感染症については、鳥獣の異常死又は傷病鳥獣の状況等により把握に努める。特に口蹄疫等が発生している場合には、発生地周辺の鳥獣に異常がないか監視に努める。</u></p> <p><b>(2) 家畜等における感染症発生時の対応</b><br/> <u>周囲</u>で家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）<u>第2条</u>に規定する家畜伝染病が発生している場合において、同病に感受性の高い鳥獣の<u>個体が確認された場合には、その症状等に十分留意し</u>、同病の感染が疑われる際は、家畜衛生部局等（産業労働局）と調整し、適切な対応を図る。<br/> <u>また、保護個体については、必要に応じて搬入後速やかに隔離及び検査を行い、人獣共通感染症の有無を把握し、感染の可能性がある場合には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法等の関係法令等の規定に従い、適切に対処する。</u></p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   | 備考                      |
|---|---|-------------------------|
| <p><b>6 普及啓発</b></p> <p>(1) 鳥獣の保護管理についての普及等</p> <p>都民の鳥獣の保護管理思想についての普及啓発を図ることを目的として、愛鳥モデル校をはじめとする小・中学校の教育の場を重点とした野鳥の巣箱コンクール、愛鳥週間用ポスター原画コンクールの開催、また、地域住民による保護活動等の育成指導等を行う等、地域の特性に応じた事業の実施を検討する。</p> <p>普及啓発の際には、生物多様性の保全のために、適切な鳥獣の保護及び管理が重要であり、捕殺が不可欠な場合があることにも理解を求めることとし、対策の必要性や科学的根拠を丁寧に説明するよう努める。また、鳥獣の撮影や観察時における配慮に欠けた行為（例えば、希少猛禽類の営巣を至近距離から長時間撮影する等）は、鳥獣の生態に影響を及ぼすため、適切なマナーを普及するよう努める。</p> | <p><b>4 普及啓発</b></p> <p>(1) 鳥獣の保護管理についての普及等</p> <p>都民の鳥獣の保護管理思想についての普及啓発を図ることを目的として、愛鳥モデル校をはじめとする小・中学校の教育の場を重点とした野鳥の巣箱コンクール、愛鳥週間用ポスター原画コンクールの開催、また、地域住民による保護活動等の育成指導等を行う等、地域の特性に応じた事業の実施を検討する。</p> <p>普及啓発の際には、生物多様性の保全のためには、適切な鳥獣の保護及び管理が重要であり、捕殺が不可欠な場合があることにも理解を求めることとし、対策の必要性や科学的根拠を丁寧に説明するよう努める。また、鳥獣の撮影や観察時における配慮に欠けた行為（例えば、希少猛禽類の営巣を至近距離から長時間撮影する、<u>撮影のために通路を占拠する等</u>）は、鳥獣の生態に影響を及ぼす<u>だけでなく、周囲の迷惑ともなることから</u>、適切なマナーを普及するよう努める。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  |               |                                   |                               | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   |                   |                                   |                               |                        | 備考            |
|---|---------------|-----------------------------------|-------------------------------|---|-------------------|-----------------------------------|-------------------------------|------------------------|---------------|
| (2) 普及啓発施設について<br>野鳥等の観察に適する場所や公園等にある野鳥と親しめる主な観察施設等<br>(第24表)                               |               |                                   |                               | (2) 普及啓発施設について<br>野鳥等の観察に適する場所や公園等にある野鳥と親しめる主な観察施設等<br>(第24表)                               |                   |                                   |                               |                        | (変更)<br>(列削除) |
| 名称及び整備年度  | 所在地及び面積       | 施設概要及び内容                          | 利用方針                          | 名称及び整備年度  | 所在地及び面積           | 施設概要及び内容                          | 利用方針                          | 備考                     |               |
| 東京港野鳥公園<br>平成元年度開設  | 大田区<br>約36ha  | ネイチャーセンター<br>自然学習センター<br>観察小屋（4棟） | 入園料一般300円<br>レンジャーによる観察指導あり   | 東京港野鳥公園<br>平成元年度開設  | 大田区<br>24ha       | ネイチャーセンター<br>自然学習センター<br>観察小屋（4棟） | 入園料一般300円<br>レンジャーによる観察指導あり   | 指定管理者<br>東京港野鳥公園グループ   | (変更)          |
| 光が丘公園<br>昭和56年度開設   | 練馬区<br>約61ha  | 観察舎（1棟）                           | 無料<br>バードサンクチュアリでの自然解説あり（土日祝） | 光が丘公園<br>昭和56年度開設   | 練馬区<br>61ha       | 観察舎（1棟）                           | 無料<br>バードサンクチュアリでの自然解説あり（土日祝） | 指定管理者<br>公益財団法人東京都公園協会 | (変更)          |
| 檜原都民の森<br>平成2年度開設   | 檜原村<br>約197ha | 観察小屋（1棟）<br>遊歩道・ハイキングコース          | 無料<br>自然解説員による無料ガイドあり（週末中心）   | 檜原都民の森<br>平成2年度開設   | 檜原村<br>32ha       | 観察小屋（1棟）<br>遊歩道（3,700m）           | 無料<br>自然解説員による無料ガイドあり（週末中心）   | 指定管理者<br>檜原村           | (変更)          |
| 水元公園<br>昭和40年度開設  | 葛飾区<br>約96ha  | 観察舎（6棟）                           | 無料                            | 水元公園<br>昭和40年度開設  | 葛飾区・埼玉三郷市<br>93ha | 観察舎（6棟）                           | 無料                            | 指定管理者<br>公益財団法人東京都公園協会 | (変更)          |
| 葛西臨海公園<br>平成元年度開設   | 江戸川区<br>約78ha | ウォッチングセンター<br>観察舎（7棟）             | 無料<br>ウォッチングセンターでの自然解説あり（土日祝） | 葛西臨海公園<br>平成元年度開設   | 江戸川区<br>81ha      | ウォッチングセンター<br>観察舎（7棟）             | 無料<br>ウォッチングセンターでの自然解説あり（土日祝） | 指定管理者<br>公益財団法人東京都公園協会 | (変更)          |
| 山のふるさと村<br>平成2年度開設  | 奥多摩町<br>約30ha | ビジターセンター<br>ネイチャートレイル（5,500m）     | 無料<br>（宿泊施設は有料）               | 山のふるさと村<br>平成2年度開設  | 奥多摩町<br>30ha      | ビジターセンター<br>ネイチャートレイル（5,500m）     | 無料<br>（宿泊施設は有料）               | 指定管理者<br>奥多摩町          | (変更)          |
| 八丈植物公園<br>昭和37年度開設  | 八丈町<br>約22ha  | ビジターセンター<br>観察小屋（1棟）              | 無料<br>自然解説員による無料ガイドあり（週末中心）   | 八丈植物公園<br>昭和37年度開設  | 八丈町<br>23ha       | ビジターセンター<br>観察小屋（1棟）              | 無料<br>自然解説員による無料ガイドあり（週末中心）   |                        | (変更)          |
| 注) その他自然公園施設 御岳ビジターセンター、奥多摩ビジターセンター<br>高尾ビジターセンター、小笠原ビジターセンター<br>小峰ビジターセンター、御岳インフォメーションセンター |               |                                   |                               | 注) その他自然公園施設 御岳ビジターセンター、奥多摩ビジターセンター<br>高尾ビジターセンター、小笠原ビジターセンター<br>小峰ビジターセンター、御岳インフォメーションセンター |                   |                                   |                               |                        |               |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画） | 備考    |    |        |       |    |        |       |    |        |       |    |        |       |    |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
|---|-------------------|-------|----|--------|-------|----|--------|-------|----|--------|-------|----|--------|-------|----|--|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|-----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|--|----|--------|--|--|--------|--|--|--------|--|--|--------|--|--|--------|--|--|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|-----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|---|
| <p>(3) <b>愛鳥モデル校の指定</b></p> <p>① 方針<br/>鳥獣の保護思想についての普及の一環として、保育園、幼稚園及び小中学校を対象に、申出の中から地域的な配置等を考慮して愛鳥モデル校等を指定する。必要に応じて、高等学校その他の学校等についても指定対象範囲とする。指定校等には、東京都鳥獣保護<b>管理推進員</b>等による指導や鳥獣保護のための必要な助言を行う。</p> <p>② 指定期間<br/>3年以内とし、当該校の希望、活動状況等を勘案し、更新することができることとする。</p> <p>③ 活動内容<br/>愛鳥モデル校等に対し、当該指定を表す銘板の交付等を行う。また、学校からの要望等に応じて、愛鳥教育の指導員として鳥獣保護<b>管理推進員</b>を派遣し、野鳥のための樹林の育成、巣箱等の野鳥の誘引施設の設置等について助言指導を行う。これらにより、地域の鳥獣を保護思想の普及の核となるよう働きかける。</p> <p>④ 内訳</p> <p style="text-align: right;">(第25表)</p> <table border="1" data-bbox="213 940 1311 1335"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和4年度</th> <th colspan="3">令和5年度</th> <th colspan="3">令和6年度</th> <th colspan="3">令和7年度</th> <th colspan="3">令和8年度</th> </tr> <tr> <th>既設</th> <th>新設</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>1</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他の学校</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>3</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>3</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>3</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) <b>愛鳥週間用ポスター原画</b>コンクールの実施<br/>身近な自然の中で、野鳥の<b>生態を観察し</b>、自然の仕組みを知る環境学習のきっかけとして、都内の小中学生が作成した<b>愛鳥週間用ポスター原画</b>を募集する。同コンクールに応募があった全ての作品は作品展で展示するほか、都民向けに鳥獣の保護管理等について普及啓発を図る。</p> <p>(5) <b>安易な餌付けの防止</b><br/>都内では、主にドバト等の野生鳥獣へ安易に餌付け行為が行われることにより、個体数が異常に増え、フンや鳴き声、家屋侵入等による生活環境への被害等が発生しているため、鳥獣への安易な餌付けの防止について、継続的な普及啓発に努める。<br/>普及啓発は、関係団体等によるポスターの掲示、ホームページの活用、看板の設置、広報媒体への掲載、鳥獣保護<b>管理推進員</b>や施設管理者による呼びかけ等により実施する。なお、過度な餌付け行為については、区市町村、施設管理者、警察等と連携し、餌付け行為をやめるよう注意する。</p> | 区分                | 令和4年度 |    |        | 令和5年度 |    |        | 令和6年度 |    |        | 令和7年度 |    |        | 令和8年度 |    |  | 既設 | 新設 | 計 | 小学校 | 16 | 1 | 17 | 17 | 1 | 18 | 18 | 1 | 19 | 19 | 1 | 20 | 20 | 1 | 21 | 中学校 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 1 | 4 | 4 | 1 | 5 | 5 | 1 | 6 | その他の学校 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 1 | 4 | 4 | 1 | 5 | 5 | 1 | 6 | 計 | 18 | 3 | 21 | 21 | 3 | 24 | 24 | 3 | 27 | 27 | 3 | 30 | 30 | 3 | 33 | <p>(3) <b>愛鳥モデル校等</b>の指定</p> <p>① 方針<br/>鳥獣の保護思想についての普及の一環として、保育園、幼稚園及び小中学校を対象に、申出の中から地域的な配置等を考慮して愛鳥モデル校等を指定する。必要に応じて、高等学校その他の学校等についても指定対象範囲とする。指定校等には、東京都鳥獣保護<b>管理員</b>等による指導や鳥獣保護のための必要な助言を行う。</p> <p>② 指定期間<br/>3年以内とし、当該校の希望、活動状況等を勘案し、更新することができることとする。</p> <p>③ 活動内容<br/>愛鳥モデル校等に対し、当該指定を表す銘板の交付等を行う。また、学校からの要望等に応じて、愛鳥教育の指導員として鳥獣保護<b>管理員</b>を派遣し、野鳥のための樹林の育成、巣箱等の野鳥の誘引施設の設置等について助言指導を行う。これらにより、地域の鳥獣を保護思想の普及の核となるよう働き掛ける。</p> <p>④ 内訳</p> <p style="text-align: right;">(第25表)</p> <table border="1" data-bbox="1460 940 2558 1335"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">平成29年度</th> <th colspan="3">平成30年度</th> <th colspan="3">平成31年度</th> <th colspan="3">平成32年度</th> <th colspan="3">平成33年度</th> </tr> <tr> <th>既設</th> <th>新設</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他の学校</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) <b>野鳥の巣箱</b>コンクールの実施<br/>身近な自然の中で、野鳥<b>との触れ合いを深め</b>、自然の仕組みを知る環境学習のきっかけとして、都内の小中学生が作成した<b>野鳥の巣箱</b>を募集する。同コンクールに応募があった全ての作品は作品展で展示するほか、都民向けに鳥獣の保護管理等について普及啓発を図る。</p> <p>(5) <b>安易な餌付けの防止</b><br/>都内では、主にドバト等の野生鳥獣へ安易に餌付け行為が行われることにより、個体数が異常に増え、フンや鳴き声、家屋侵入等による生活環境への被害等が発生しているため、鳥獣への安易な餌付けの防止について、継続的な普及啓発に努める。<br/>普及啓発は、関係団体等によるポスターの掲示、ホームページの活用、看板の設置、広報媒体への掲載、鳥獣保護<b>管理員</b>や施設管理者による呼びかけ等により実施する。なお、過度な餌付け行為については、区市町村、施設管理者、警察等と連携し、餌付け行為をやめるよう注意する。</p> | 区分 | 平成29年度 |  |  | 平成30年度 |  |  | 平成31年度 |  |  | 平成32年度 |  |  | 平成33年度 |  |  | 既設 | 新設 | 計 | 小学校 | 23 | 0 | 23 | 23 | 0 | 23 | 23 | 0 | 23 | 23 | 0 | 23 | 23 | 0 | 23 | 中学校 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | その他の学校 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 計 | 26 | 0 | 26 | 26 | 0 | 26 | 26 | 0 | 26 | 26 | 0 | 26 | 26 | 0 | 26 | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> |
| 区分  |                   | 令和4年度 |    |        | 令和5年度 |    |        | 令和6年度 |    |        | 令和7年度 |    |        | 令和8年度 |    |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
|   | 既設                | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| 小学校   | 16                | 1     | 17 | 17     | 1     | 18 | 18     | 1     | 19 | 19     | 1     | 20 | 20     | 1     | 21 |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| 中学校   | 1                 | 1     | 2  | 2      | 1     | 3  | 3      | 1     | 4  | 4      | 1     | 5  | 5      | 1     | 6  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| その他の学校  | 1                 | 1     | 2  | 2      | 1     | 3  | 3      | 1     | 4  | 4      | 1     | 5  | 5      | 1     | 6  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| 計   | 18                | 3     | 21 | 21     | 3     | 24 | 24     | 3     | 27 | 27     | 3     | 30 | 30     | 3     | 33 |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| 区分  | 平成29年度            |       |    | 平成30年度 |       |    | 平成31年度 |       |    | 平成32年度 |       |    | 平成33年度 |       |    |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
|   | 既設                | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  | 既設     | 新設    | 計  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| 小学校   | 23                | 0     | 23 | 23     | 0     | 23 | 23     | 0     | 23 | 23     | 0     | 23 | 23     | 0     | 23 |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| 中学校   | 1                 | 0     | 1  | 1      | 0     | 1  | 1      | 0     | 1  | 1      | 0     | 1  | 1      | 0     | 1  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| その他の学校  | 2                 | 0     | 2  | 2      | 0     | 2  | 2      | 0     | 2  | 2      | 0     | 2  | 2      | 0     | 2  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |
| 計   | 26                | 0     | 26 | 26     | 0     | 26 | 26     | 0     | 26 | 26     | 0     | 26 | 26     | 0     | 26 |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |  |    |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |        |  |  |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |     |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |        |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |    |   |    |   |



新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p><b>7 小笠原諸島における鳥獣保護等について</b></p> <p>小笠原諸島は、固有かつ希少な動植物が数多く生息、生育する独特の生態系を有しており、平成23年6月にユネスコの世界自然遺産に登録された。一方、外来種等により多くの固有種が影響を受けており、鳥獣の保護等のため積極的な取組が必要である。</p> <p>(1) 概要</p> <p>小笠原諸島は、日本列島南方の北西太平洋に位置し、南北約400kmにわたって散在する島々の総称で、父島、母島及び聳(むこ)島の3列島からなる小笠原群島、火山列島（硫黄列島）及び周辺孤立島からなる。本土から南に約1,000km離れており亜熱帯に属し、島の成立以来大陸と陸続きになったことがない海洋島である。その特異な島の成り立ちから、クロアシアホウドリ、コアホウドリ、<u>オガサワラヒメミズナギドリ</u>等の海鳥類の重要な繁殖地であるとともに、アカガシラカラスバト、オガサワラオオコウモリ等の東京都レッドデータブックに記載されている希少な鳥獣も数多く生息する。<u>また、近年、小笠原諸島のセグロミズナギドリが、他地域とは遺伝的に異なる固有種であることが明らかとなった。</u>さらに、100種以上の陸産貝類や昆虫類及び植物においても固有種の割合が高く、独特の生態系が形作られている。</p> <p>一方、外来種の影響により、<u>小笠原固有種</u>の数は<u>減少</u>しており、希少な自然を保全するため、国、都、小笠原村、地元住民、関係団体等との協働により、鳥獣の生息環境を改善する取組が進められている。</p> <p>その独特の自然や外来種に対する取組等が評価された結果、平成23年6月にユネスコの世界自然遺産への登録が決定した。</p> <p>(2) 鳥獣保護区等について</p> <p>小笠原諸島では、本計画開始時点において、鳥獣保護区が4か所、特別保護地区が3か所、特別保護指定区域が1か所指定されており、その全てが国指定となっている。</p> <p>なお、特別保護指定区域は、オガサワラオオコウモリの冬季の集団ねぐらの形成域として、特段の保護を図るために指定されている。</p> | <p><b>5 小笠原諸島における鳥獣保護等について</b></p> <p>小笠原諸島は、固有かつ希少な動植物が数多く生息、生育する独特の生態系を有しており、平成23年6月にユネスコの世界自然遺産に登録された。一方、外来種等により多くの固有種が影響を受けており、鳥獣の保護等のため積極的な取組が必要である。</p> <p>(1) 概要</p> <p>小笠原諸島は、日本列島南方の北西太平洋に位置し、南北約400kmにわたって散在する島々の総称で、父島、母島及び聳(むこ)島の3列島からなる小笠原群島、火山列島（硫黄列島）及び周辺孤立島からなる。本土から南に約1,000km離れており亜熱帯に属し、島の成立以来大陸と陸続きになったことがない海洋島である。その特異な島の成り立ちから、クロアシアホウドリ、コアホウドリ等の海鳥類の重要な繁殖地であるとともに、アカガシラカラスバト、オガサワラオオコウモリ等の東京都レッドデータブックに記載されている希少な鳥獣も数多く生息する。さらに、100種以上の陸産貝類や昆虫類及び植物においても固有種の割合が高く、独特の生態系が形作られている。</p> <p>一方、外来種の影響により、<u>小笠原固有の生きもの</u>の数は<u>減</u>っており、希少な自然を保全するため、国、都、小笠原村、地元住民、関係団体等との協働により、鳥獣の生息環境を改善する取組が進められている。</p> <p>その独特の自然や外来種に対する取組等が評価された結果、平成23年6月にユネスコの世界自然遺産への登録が決定した。</p> <p>(2) 鳥獣保護区等について</p> <p>小笠原諸島では、本計画開始時点において、鳥獣保護区が4か所、特別保護地区が3か所、特別保護指定区域が1か所指定されており、その全てが国指定となっている。</p> <p>なお、特別保護指定区域は、オガサワラオオコウモリの冬季の集団ねぐらの形成域として、特段の保護を図るために指定されている。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  |              |          |                              |          |                              |          |                              | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）   |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    | 備考   |
|---|--------------|----------|------------------------------|----------|------------------------------|----------|------------------------------|---|--------------|----------|-----------------------------------|----------|-----------------------------------|----------|------------------------------------|------|
| (第27表)  |              |          |                              |          |                              |          |                              | (第27表)  |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    | (変更) |
| 鳥獣保護区   |              |          |                              | 特別保護地区   |                              | 特別保護指定区域 |                              | 鳥獣保護区   |              |          |                                   | 特別保護地区   |                                   | 特別保護指定区域 |                                    |      |
| 指定区分  | 鳥獣保護区名称(国指定) | 指定面積(ha) | 指定期間                         | 指定面積(ha) | 指定期間                         | 指定面積(ha) | 指定期間                         | 指定区分  | 鳥獣保護区名称(国指定) | 指定面積(ha) | 指定期間                              | 指定面積(ha) | 指定期間                              | 指定面積(ha) | 指定期間                               |      |
| 希少鳥獣生息地   | 小笠原群島        | 20,065   | 令和1.11.1<br>～<br>令和21.10.31  | 1,377    | 令和1.11.1<br>～<br>令和21.10.31  | 3        | 令和1.11.1<br>～<br>令和21.10.31※ | 希少鳥獣生息地   | 小笠原群島        | 20,058   | H21.11.1<br>から<br>H31.10.31<br>まで | 1,345    | H21.11.1<br>から<br>H31.10.31<br>まで | 3        | H21.11.1<br>から<br>H31.10.31<br>まで※ | (変更) |
| 集団繁殖地   | 西之島          | 29       | 平成20.8.1<br>～<br>令和9.10.31   | 29       | 平成20.8.1<br>～<br>令和9.10.31   |          |                              | 〃   | 西之島          | 29       | H20.8.1<br>から<br>H39.10.31<br>まで  | 29       | H20.8.1<br>から<br>H39.10.31<br>まで  |          |                                    | (変更) |
| 〃   | 北硫黄島         | 860      | 平成21.8.1<br>～<br>令和11.10.31  | 557      | 平成21.11.1<br>～<br>令和11.10.31 |          |                              | 〃   | 北硫黄島         | 860      | H21.8.1<br>から<br>H41.10.31<br>まで  | 557      | H21.11.1<br>から<br>H41.10.31<br>まで |          |                                    | (変更) |
| 〃   | 南鳥島          | 395      | 平成21.11.1<br>～<br>令和11.10.31 |          |                              |          |                              | 〃   | 南鳥島          | 395      | H21.11.1<br>から<br>H41.10.31<br>まで |          |                                   |          |                                    | (変更) |
| 合計  | 4か所          | 21,349   |                              | 1,963    |                              | 3        |                              | 合計  | 4か所          | 21,342   |                                   | 1,931    |                                   | 3        |                                    | (変更) |
| ※令和元年12月24日から令和21年10月31日までの各年の12月1日から翌年6月30日まで  |              |          |                              |          |                              |          |                              | ※平成21年12月24日から平成31年10月31日までの各年の12月1日から翌年の6月30日まで  |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    | (変更) |
| (3) 鳥獣の人工繁殖について   |              |          |                              |          |                              |          |                              | (3) 鳥獣の人工増殖について   |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    | (変更) |
| ① アカガシラカラスバト保護増殖事業  |              |          |                              |          |                              |          |                              | ① アカガシラカラスバト保護増殖事業  |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    |      |
| 小笠原諸島の固有亜種アカガシラカラスバトは、国内希少野生動植物種及び天然記念物に指定されており、平成12年度から恩賜上野動物園での飼育繁殖を中心に保護増殖事業を実施している。平成18年8月には、種の保存法に基づく保護増殖事業計画が国によって策定され、本事業はこの計画に基づいて実施されている。今後も動物園での飼育繁殖を継続し、関係機関と連携して合意を図りながら生息域外保全に努める(13頁 第6表 参照)。 |              |          |                              |          |                              |          |                              | 小笠原諸島の固有亜種アカガシラカラスバトは、国内希少野生動植物種及び天然記念物に指定されており、平成12年度から恩賜上野動物園での飼育繁殖を中心に保護増殖事業を実施している。平成18年8月には、種の保存法に基づく保護増殖事業計画が国によって策定され、本事業はこの計画に基づいて実施されている。今後も動物園での飼育繁殖を継続し、関係機関と連携して合意を図りながら生息域外保全に努める。 |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    | (変更) |
| ② オガサワラオオコウモリ保護増殖事業   |              |          |                              |          |                              |          |                              | ② オガサワラオオコウモリ保護増殖事業   |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    |      |
| 小笠原諸島の固有種オガサワラオオコウモリは、国内希少野生動植物種及び天然記念物に指定されており、平成22年11月に種の保存法に基づく保護増殖事業計画が国によって策定され、国が調査を行っている。なお、都も、平成19年度から、火山列島において、平成23年度から、父島においてオガサワラオオコウモリ保全調査を行っている。今後も、国に対し、必要に応じて協力を努める。                         |              |          |                              |          |                              |          |                              | 小笠原諸島の固有種オガサワラオオコウモリは、国内希少野生動植物種及び天然記念物に指定されており、平成22年11月に種の保存法に基づく保護増殖事業計画が国によって策定され、国が調査を行っている。なお、都も、平成19年度より、火山列島において、平成23年度より、父島でオガサワラオオコウモリ保全調査を行っている。今後も、国に対し、必要に応じて協力を努める。                |              |          |                                   |          |                                   |          |                                    | (変更) |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  | 備考  |
|---|--|---|
| <p><u>③ オガサワラカワラヒワ保護増殖事業</u><br/> <u>現在、オガサワラカワラヒワの生息が確認されているのは、小笠原諸島の母島、母島属島及び南硫黄島のみである。オガサワラカワラヒワは、国内希少野生動物種に指定されており、令和3年4月に種の保存法に基づく保護増殖事業計画が国によって策定された。今後も、国に対し、必要に応じて協力を努める（13頁 第5表 参照）。</u></p> <p>(4) 外来<u>鳥獣等</u>の対策について</p> <p>① ノヤギ<br/> 家畜として持ち込まれたヤギが野生化し、固有の植物を食べたり踏圧により地表をむき出しにし、島の植生に大きな影響を与えていたため、1970年頃から捕獲を開始した。その結果、南島、東島、<u>聳島列島</u>、西島、兄島及び弟島で根絶が達成され、本計画時には、父島で捕獲を実施しており、根絶に向けた取組を続ける。</p> <p>② ノネコ<br/> 父島及び母島においては、ペットとして飼われていたネコが野生化し、希少な鳥類等を捕食していることから、NPO団体が捕獲を始めた。その後、国及び小笠原村やNPO団体<u>とが協働すること</u>により本格的に捕獲を進め、捕獲されたネコの本土へ<sup>へ</sup>の搬送を行い、東京都獣医師会が搬送されたネコの飼い主を探すという取組を実施しており、野生化したネコの根絶に向けた取組を続ける。また、国は、一部の地域で鳥類の繁殖地保護等のため、ネコ等の侵入防止柵を設置し、監視に取り組んでいる。</p> <p>③ クマネズミ<br/> 船にまぎれて侵入したとされるクマネズミは、固有の植物の種子、実等を食べ、また、希少な鳥類を襲う等、島の生態系に影響を与えているため、南島において、餌箱や手撒きにより殺鼠剤を散布し駆除を実施している。また、国は聳島、兄島等において、ヘリコプターを使った殺鼠剤の散布により駆除に取り組んでいる。</p> <p><u>④ ドブネズミ</u><br/> <u>向島において、オガサワラカワラヒワの繁殖地保護のため、殺鼠剤によるドブネズミの駆除を実施している。</u></p> <p>⑤ その他<br/> 国は、希少な昆虫類を捕食しているグリーンアノール（は虫類）、在来の樹林に侵入するアカギ（木本植物）等についても、駆除対策を講じており生態系の回復を図っている。なお、弟島のノブタ及びウシガエル（両生類）については、駆除が行われ根絶した。</p> | <p><u>③ 人工増殖計画</u><br/> <u>（13頁 第6表 参照）</u></p> <p>(4) 外来<u>種等</u>対策について</p> <p>① ノヤギ<br/> 家畜として持ち込まれたヤギが野生化し、固有の植物を食べたり踏圧により地表をむき出しにし、島の植生に大きな影響を与えていたため、1970年頃から捕獲を開始した。その結果、南島、東島、聳島列島、西島、兄島及び弟島で根絶が達成され、本計画時には、父島で捕獲を実施しており、根絶に向けた取組を続ける。</p> <p>② ノネコ<br/> 父島及び母島においては、ペットとして飼われていたネコが野生化し、希少な鳥類等を捕食していることから、NPO団体が捕獲を始めた。その後、国及び小笠原村やNPO団体<u>との協働</u>により本格的に捕獲を進め、<u>都は</u>捕獲されたネコの本土<u>で</u>の搬送を行い、東京都獣医師会が搬送されたネコの飼い主を探すという取組を実施しており、野生化したネコの根絶に向けた取組を続ける。また、国は、一部の地域で鳥類の繁殖地保護等のため、ネコ等の侵入防止柵を設置し、監視に取り組んでいる。</p> <p>③ クマネズミ<br/> 船にまぎれて侵入したとされるクマネズミは、固有の植物の種子、実等を食べ、また、希少な鳥類を襲う等、島の生態系に影響を与えているため、南島において、餌箱や手撒きにより殺鼠剤を散布し駆除を実施している。また、国は聳島、兄島等において、ヘリコプターを使った殺鼠剤の散布により駆除に取り組んでいる。</p> <p>④ その他<br/> 国は、希少な昆虫類を捕食しているグリーンアノール（は虫類）、在来の樹林に侵入するアカギ（木本植物）等についても、駆除対策を講じており生態系の回復を図っている。なお、弟島のノブタ及びウシガエル（両生類）については、駆除が行われ根絶した。</p> | <p>(削除)</p> <p>(新設)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(新設)</p> <p>(変更)</p> |

新旧対照表

| 新（第13次東京都鳥獣保護管理事業計画）   |                            |                            |                  | 旧（第12次鳥獣保護管理事業計画）  |                            |                                   |                  | 備考   |
|--|----------------------------|----------------------------|------------------|--|----------------------------|-----------------------------------|------------------|------|
| (第28表)   |                            |                            |                  | (第28表)   |                            |                                   |                  | (変更) |
| 対象名  | 対策                         | 実施主体                       | 地域               | 対象名  | 対策                         | 実施主体                              | 地域               |      |
| ノヤギ  | 銃等による駆除                    | 都                          | 父島               | ノヤギ  | 銃等による駆除                    | 都                                 | 父島               |      |
| ノネコ  | 捕獲、本土搬送しペット化               | 国、小笠原村、NPO 団体<br>都、東京都獣医師会 | 父島、母島            | ノネコ  | 捕獲、本土搬送しペット化               | 国、小笠原村、NPO<br>団体<br>都、東京都獣医師<br>会 | 父島、母島            |      |
| クマネズミ  | 殺鼠剤の散布による駆除                | 国、都                        | 聳島列島<br>兄島、弟島、南島 | クマネズミ  | 殺鼠剤の散布による駆除                | 国、都                               | 聳島列島<br>兄島、弟島、南島 | (追加) |
| <u>ドブネズミ</u>   | <u>殺鼠剤の散布による駆除</u>         | <u>国</u>                   | <u>向島</u>        | クマネズミ  | 殺鼠剤の散布による駆除                | 国、都                               | 聳島列島<br>兄島、弟島、南島 |      |
| グリーンアノール<br>(は虫類)  | 粘着シートによる捕獲<br>拡散防止等のための柵設置 | 国、都                        | 父島、母島、兄島         | グリーンアノール<br>(は虫類)  | 粘着シートによる捕獲<br>拡散防止等のための柵設置 | 国、都                               | 父島、母島、兄島         |      |
| アカギ(木本植物)  | 薬剤注入による枯殺や伐倒               | 国、都                        | 父島、母島<br>所有地     | アカギ(木本植物)  | 薬剤注入による枯殺や伐倒               | 国、都                               | 父島、母島<br>所有地     |      |
| <p>(5) 普及啓発</p> <p>旅行者等に対しては、本土、他の島又は他の場所から外来種等を持ち込んだり、<u>広</u>げたりしないようにするため、小笠原航路の船内において、ポスターの掲示、客室へのパンフレット配布等を行い、引き続き啓発を進める。また、竹芝棧橋での乗船時や母島上陸時の靴裏の洗浄、父島遊歩道入り口における衣服又は荷物に付着した虫、種子等の除去や靴裏の洗浄についても、事前案内、説明板等により協力を求めている。</p> <p>小笠原ビジターセンターでは、小笠原の文化、自然等を映像や模型、パネル等により分かりやすく展示、解説し、来館者に対して貴重な自然について理解を深めてもらうよう努める。</p> <p>環境省は、世界自然遺産の保全管理の取組を進めることを目的に、平成29年5月に<u>小笠原世界遺産センターを開所し、世界遺産の価値や保全の取組に関する情報発信や希少種の保護増殖、外来種対策等を実施している。</u></p> <p>都は、小笠原村と協定を締結し、ガイド制度の導入、利用ルールの設定等、保護と適正な利用の両立を図りながら地域の発展に寄与する「東京都版エコツーリズム」を実施している。これにより、南島及び石門一帯では、自然解説、利用指導等を行う認定ガイドの同行を義務付けており、引き続き講習会等を開催し、ガイドの養成やスキルアップに取り組む。</p> <p>国や村もそれぞれガイド制度を設け、利用者への普及啓発を進めており、地元NPO団体等は、アカガシラカラスバトの保全を進めるため、「あかぼっぼの日」を設定し、展示や講演を行う等島民全体を対象にした普及啓発活動も行っている。また、国による「ボランティアによる外来植物の駆除ツアー」や村による「飼いネコのマイクロチップの装着」等、島内外の協力による取組が実施されている。</p> <p><u>アカガシラカラスバトの建物のガラス窓等への衝突、オガサワラオオコウモリの交通事故や農業用ネット等への絡まり、ミズナギドリ類の人工光誘引による不時着など、小笠原特有の鳥獣保護対策について、島内の行政機関、民間の関係団体及び島民と連携して取り組む。</u></p> |                            |                            |                  | <p>(5) 普及啓発</p> <p>旅行者等に対しては、本土、他の島又は他の場所から外来種等を持ち込んだり、<u>広</u>げたりしないようにするため、小笠原航路の船内において、ポスターの掲示、客室へのパンフレット配布等を行い、引き続き啓発を進める。また、竹芝棧橋での乗船時や母島上陸時の靴裏の洗浄、父島遊歩道入り口における衣服又は荷物に付着した虫、種子等の除去や靴裏の洗浄についても、事前案内、説明板等により協力を求めている。</p> <p>小笠原ビジターセンターでは、小笠原の文化、自然等を映像や模型、パネル等により分かりやすく展示、解説し、来館者に対して貴重な自然について理解を深めてもらうよう努める。</p> <p><u>また、環境省は、世界自然遺産の保全管理の取組を進めることを目的に、平成29年4月に世界遺産センター（仮称）を開所する予定である。</u></p> <p>都は、小笠原村と協定を締結し、ガイド制度の導入、利用ルールの設定等、保護と適正な利用の両立を図りながら地域の発展に寄与する「東京都版エコツーリズム」を実施している。これにより、南島及び石門一帯では、自然解説、利用指導等を行う認定ガイドの同行を義務付けており、引き続き講習会等を開催し、ガイドの養成やスキルアップに取り組む。</p> <p><u>一方、</u>国や村もそれぞれガイド制度を設け、利用者への普及啓発を進めており、地元NPO団体等は、アカガシラカラスバトの保全を進めるため、「あかぼっぼの日」を設定し、展示や講演を行う等島民全体を対象にした普及啓発活動も行っている。また、国による「ボランティアによる外来植物の駆除ツアー」や村による「飼いネコのマイクロチップの装着」等、島内外の協力による取組が実施されている。</p> |                            |                                   |                  | (変更) |
|  |                            |                            |                  |  |                            |                                   |                  | (変更) |
|  |                            |                            |                  |  |                            |                                   |                  | (変更) |
|  |                            |                            |                  |  |                            |                                   |                  | (削除) |
|  |                            |                            |                  |  |                            |                                   |                  | (削除) |
|  |                            |                            |                  |  |                            |                                   |                  | (新設) |

## 第 6 期東京都第二種シカ管理計画（案）に関する パブリックコメント等の結果

### 1 パブリックコメント

#### (1) 意見募集期間

令和 4 年 2 月 10 日（木曜日）から令和 4 年 3 月 11 日（金曜日）まで（30 日間）

#### (2) 告知方法

プレス発表、東京都環境局ホームページへの掲載

#### (3) 意見提出方法

郵送又は電子メールによる

#### (4) 応募数及び意見件数

応募数 2 通、意見件数 4 件

#### (5) 主なご意見の概要と都の見解

| No. | 意見内容  | 都の見解   | 計画案の修正 |
|-----|---|--|--------|
| 1   | 狩猟免許試験の実施回数と定員を早急に増やし、狩猟免許取得希望者全員が漏れなく受験できる状態にしてほしい。                          | 近年、受験希望者数の増加に鑑み試験の開催回数を増やしてきています。令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症対策として試験会場の定員を半減させながら、抽選で外れた方を対象として試験を追加開催しました。<br>今後は、十分に感染症対策を講じた上で、収容人数の大きい会場を確保するなど、多くの方が受験できるようにしていきます。 | 無      |
| 2   | シカの被害は減少傾向という事なので、これ以上殺すという手段でなく、防御柵や電気柵、ネットの設置を強化して、棲み分けを図るようにしてほしい。         | シカの被害が減少傾向になっているという事実はありません。<br>今後とも農林業被害等を防止する柵やネットを設置していくほか、シカの捕獲を強化していきます。  | 無      |
| 3   | 狩猟免許を安易に与えるのは許されることではない。インターネット上には非常に残酷な動画が投稿されるなど、命をもてあそぶような風潮が広まることを危惧している。 | 狩猟免許試験や狩猟免許更新講習会等の機会を捉え、無用に動物を虐待するような行為は厳に慎むべきである旨を周知していきます。   | 無      |

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 4 | くくりわなは、無差別に動物を捕まえ脚を失う動物を生み出す残酷なものなので使用禁止とし、箱わなを設置し、麻酔をかけたのち山に返してほしい。 | 東京都のシカの状態を勘案すると、くくりわなは有効な捕獲手法の一つであると考えています。<br>くくりわなについては設置中の見回りを徹底するとともに、休止中の動作停止、わな径の確認、見回り時の痕跡確認などにより錯誤捕獲の予防に取り組みます。<br>また、錯誤捕獲の発生に備え、対応方針や連絡、放獣体制の整備等、早急に実行可能な対策の検討を進め、取り組んでいきます。 | 無 |
|---|--|---|---|

## 2 利害関係者への意見照会

### (1) 根拠法令

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第7条の2第3項において準用する法第7条第5項

### (2) 意見照会先団体

環境省、林野庁、東京都森林組合、奥多摩町農業推進協議会、公益社団法人東京都猟友会、公益財団法人日本自然保護協会  
公益財団法人東京都農林水産振興財団東京都農林総合研究センター

### (3) 主な御意見の概要と都の見解

| 意見  | 都の見解                               | 修正の有無 |
|---|------------------------------------|-------|
| 秩父多摩甲斐国立公園の高山植生や森林下層植生等への被害は深刻化していることから、捕獲困難地域等における捕獲を強化していただきたい。 | 御意見のとおり、捕獲困難地等の捕獲に取り組んでいきます。       | 無     |
| 捕獲従事者については、経験豊かな狩猟免許所持者が従事されるよう希望する。                              | 市町村及び猟友会等と連携しながら、捕獲従事者の充実に努めていきます。 | 無     |

## 3 関係地方公共団体との協議

### (1) 根拠法令

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第7条の2第3項において準用する法第7条第7項

### (2) 協議先団体

埼玉県、神奈川県、山梨県

八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩町  
産業労働局、水道局、建設局（関係局）

(3) 主な御意見等

特になし

第 6 期東京都第二種シカ管理計画  
(答申案)

令和 4 年 4 月

東 京 都



## 目次

|                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| <b>第1章 計画の概要</b> .....         | <b>1</b>  |
| 1 計画策定の経緯 .....                | 1         |
| 2 計画の根拠 .....                  | 1         |
| 3 管理すべき鳥獣の種類 .....             | 1         |
| 4 計画の期間 .....                  | 2         |
| 5 計画の対象とする区域（管理区域） .....       | 2         |
| <b>第2章 第5期計画までの成果と課題</b> ..... | <b>3</b>  |
| 1 現状 .....                     | 3         |
| 2 成果と課題 .....                  | 9         |
| <b>第3章 管理計画</b> .....          | <b>12</b> |
| 1 基本的な考え方 .....                | 12        |
| 2 エリア区分と取組の方向性 .....           | 12        |
| 3 計画の目標 .....                  | 13        |
| 4 個体数管理 .....                  | 14        |
| 5 生息環境管理 .....                 | 16        |
| 6 被害防除 .....                   | 16        |
| 7 モニタリング .....                 | 16        |
| 8 実施体制 .....                   | 17        |
| 9 錯誤捕獲の低減と市街地出没への対応 .....      | 18        |
| 10 感染症及び安全対策 .....             | 18        |
| 11 普及啓発 .....                  | 19        |

## 第1章 計画の概要

### 1 計画策定の経緯

東京は、世界有数の大都市であるとともに、世界自然遺産として登録された小笠原諸島をはじめとして、多摩や島しょを中心に豊かな自然が残されている都市でもある。

このうち、奥多摩地域には古くからニホンジカ（以下「シカ」という。）をはじめとする様々な野生鳥獣が森林生態系の一員として生息し、豊かな森の象徴として都民にとってかけがえのない存在となっている。しかし、大型鳥獣の代表であるシカは、近年、全国でその生息域を拡大し、森林生態系や農林業へ被害を与えており、東京においても例外ではない。

都は、平成16年にシカ食害を受けた奥多摩町の造林地で発生した大規模な表土流出をきっかけとして、平成17年9月に鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づく東京都シカ保護管理計画を策定し、人とシカが共存する豊かな森づくりを目指してシカ対策を開始した。

その後、平成20年3月に第2期東京都シカ保護管理計画、平成24年3月に第3期東京都シカ保護管理計画、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号。以下「法」という。）の施行に伴い平成27年5月に第4期東京都第二種シカ管理計画、平成29年4月に第5期東京都第二種シカ管理計画（以下「第5期計画」という。）を策定し、関係部局、市町村、地元猟友会等と連携をとりながら、シカの個体数管理や各種の柵の設置、治山・砂防事業、モニタリング調査など様々な対策を実施してきた。さらに、東京のシカは関東山地シカ地域個体群<sup>1</sup>という長野県へもつながる大集団の一部であるという認識に立ち、隣接県と連携し対策を進めてきた。

これまでの取組により、現在はシカ食害による著しい表土流出等は確認されておらず、一部の地域では一定程度シカの密度低下に成功した。しかしながら、都内全域としてのシカ生息数は依然として高い水準にあるとともに、シカの分布域は西多摩の山地から東及び南へと拡大しており、今後とも森林生態系や農林業への影響が懸念されている。

こうした状況に対応するため、第5期計画に引き続き、第6期東京都第二種シカ管理計画（以下「本計画」という。）を策定する。

### 2 計画の根拠

法第7条の2第1項に基づき、第二種特定鳥獣管理計画<sup>2</sup>として策定する。

### 3 管理すべき鳥獣の種類

ニホンジカ

---

<sup>1</sup> ある地域に生息する同種のまとまり（集団）のこと。関東山地1都5県（東京都、埼玉県、群馬県、長野県、山梨県及び神奈川県）の範囲内に生息するシカの集まりを関東山地シカ個体群という。

<sup>2</sup> その生息数が著しく増加し、又はその生息地の範囲が拡大している鳥獣を対象に、人と野生鳥獣との軋轢を解消するとともに、長期的な観点からこれらの野生鳥獣の個体群の保護管理を図ることを目的として策定する計画。専門家や地域の幅広い関係者の合意を図りながら、科学的で計画的な保護又は管理に係る目標を設定し、鳥獣の適切な個体群管理の実施、鳥獣の生息環境の整備、鳥獣による被害の防除等、様々な手段を講じる。

#### 4 計画の期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで  
(第13次鳥獣保護管理事業計画期間内)

#### 5 計画の対象とする区域(管理区域)

八王子市の一部(中央自動車道以北で国道16号線以西の区域及び中央自動車道以南で明治の森高尾国定公園及び都立高尾陣場自然公園の区域)、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村及び奥多摩町(図1)



図1 管理区域

※今期から中央自動車道(八王子市内の点線)以南の区域を管理区域に追加

## 第2章 第5期計画までの成果と課題

### 1 現状

#### (1) 捕獲

第5期計画では、従来管理計画の中で一定としていた年間捕獲目標数について、毎年度定める年間実施計画において市町村ごとの管理捕獲（数の調整<sup>3</sup>及び被害の防止<sup>4</sup>）の目標（予定）と、全体としての狩猟の目標（想定）を設定した。

狩猟については過去の計画に引き続き、奥多摩町、青梅市及び檜原村における狩猟期間を2月末まで延長するとともに、1日当たりの捕獲頭数制限は廃止した。

捕獲頭数は管理計画開始以降減少傾向にあったが、平成25年度以降は増加に転じ、第5期計画において3年目及び4年目に当たる令和元年度及び令和2年度は大幅に増加して過去最高となった。

雌雄比は、管理計画開始当初はメスの捕獲が多かったが、徐々にオスの捕獲が多くなり、近年は3分の2程度がオスとなっている。

市町村別では、管理計画開始当初は奥多摩町における捕獲がほとんどであったが、平成26年度頃から青梅市における捕獲が増加し、近年は檜原村における捕獲が顕著に増加している。直近では八王子市における狩猟による捕獲数も増加している。

表1 年間捕獲目標数に対する達成状況の推移（第5期の4か年）

| 年度          | H29         | H30         | R1           | R2           |
|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 予定捕獲数(頭)    | 700         | 700         | 750          | 850          |
| 捕獲数(括弧内はわな) | 503         | 504         | 729          | 747          |
| うち管理捕獲      | 282<br>(34) | 307<br>(86) | 441<br>(160) | 487<br>(149) |
| うち狩猟        | 221         | 197         | 288          | 260          |
| 達成率         | 71.9%       | 72.0%       | 97.2%        | 87.8%        |

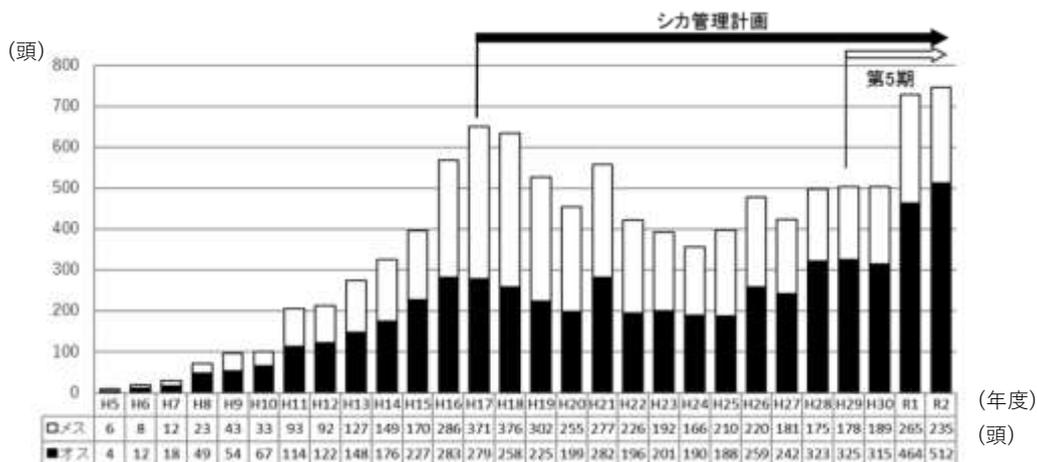


図2 シカ捕獲数の推移

<sup>3</sup> 第二種特定鳥獣管理計画に基づき、鳥獣を適正な個体数とするために行う捕獲

<sup>4</sup> 農林業等の被害を受けている者又は被害を受けている者から依頼された者が個別の被害防止のために行う捕獲。いわゆる有害鳥獣捕獲のこと。

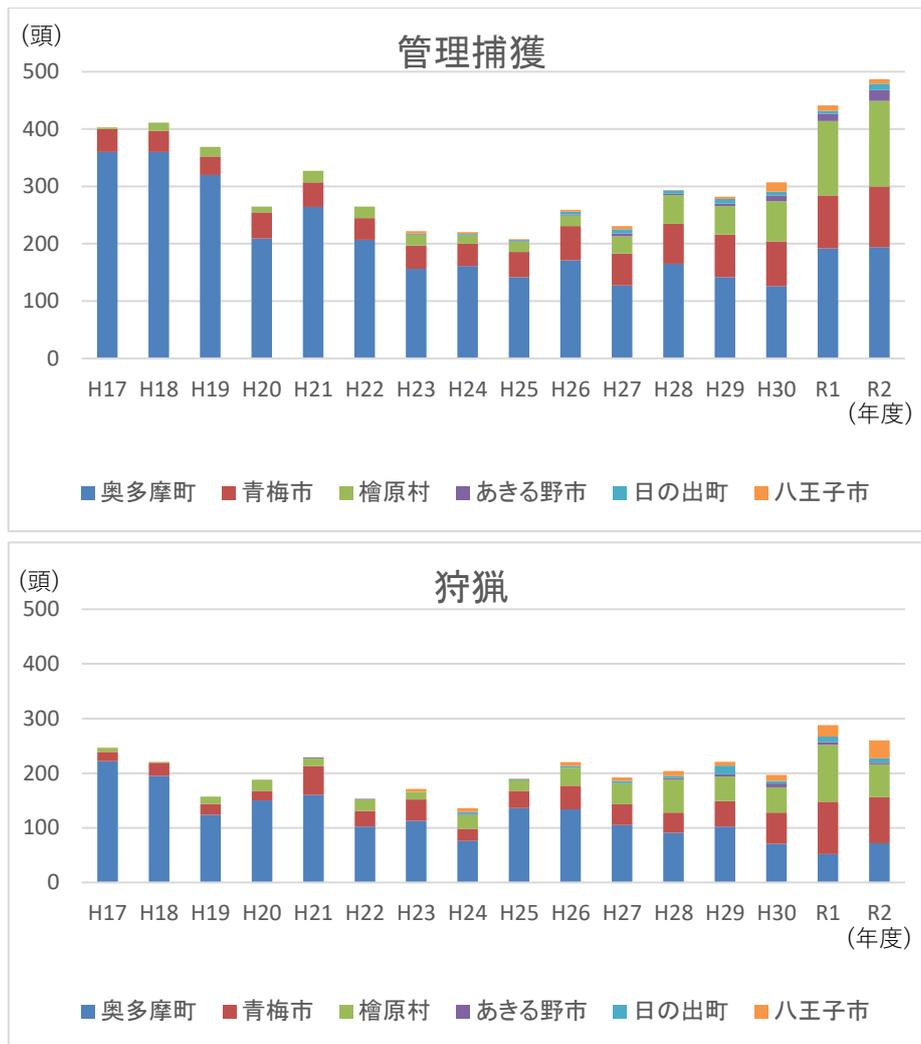


図3 シカ管理計画期間内の市町村別捕獲数の推移（上：管理捕獲、下：狩猟）

## (2) 分布と生息数

シカの分布範囲は管理計画開始以降も東へ南へと拡大し、現在では西多摩地域の山地とその東に連なる丘陵地のほぼ全域、南は従来の管理区域境の中央自動車道を越えて高尾山に及んでおり、町田市との境界付近においても確認されつつある（図4）。

階層ベイズ法によるハーベストベースドモデルを用いた個体数推計<sup>5</sup>の結果、令和元年度末のシカ生息数は約3,500頭（中央値=3,483頭。95%信頼区間=1,709頭～6,045頭）と考えられる。

継続して高い捕獲圧がかけられてきたAエリア（P13図11）の生息数は管理計画開始以降減少傾向にあったが、第5期期間内は増加したものと考えられる。Bエリアでは直近2か年の大量捕獲で減少したと考えられるが、それまでは増加傾向であったと考えられ、現在ではAエリアと同程度のシカ密度となっている可能性がある。Cエリアでは未だ数は少ないものの一貫して増加してきたものと考えられる。

<sup>5</sup> 経年的に収集・蓄積された捕獲数や各種モニタリング結果などのデータから、全てのデータに最も合理的に当てはまる個体数を推定する統計手法

区画法や糞塊密度などの調査結果やそれらを利用したシカの密度分布の推定結果から、アクセスが悪く捕獲が困難な高標高域にシカの生息密度の高い区域が継続して存在している可能性が高いと考えられる。

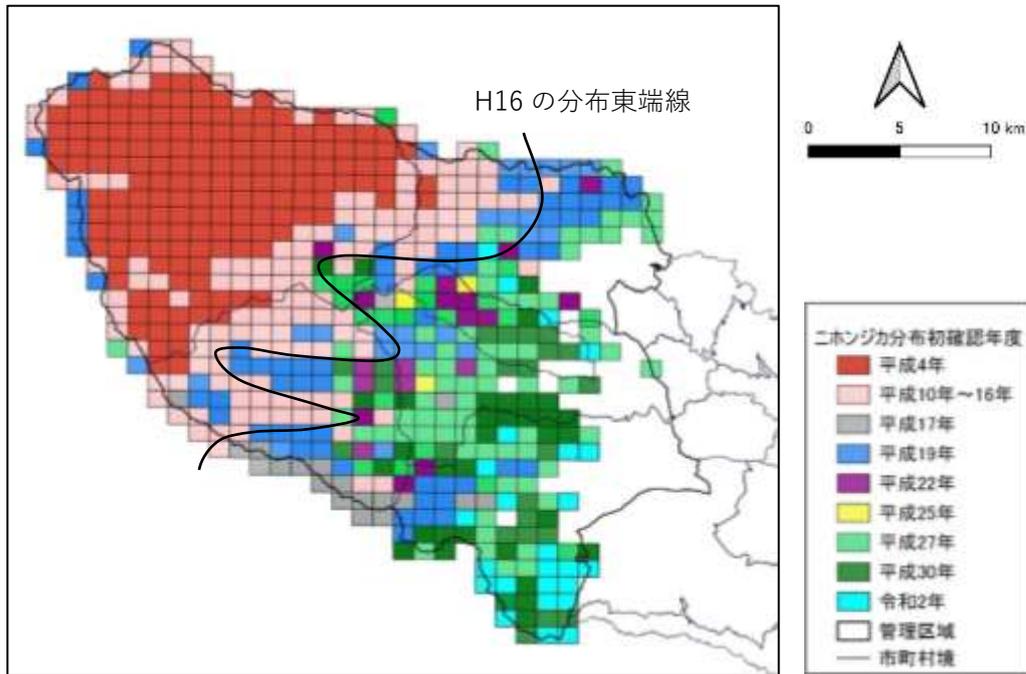


図4 聞き取り及び既存調査から推定したシカ分布の変化  
 ※平成16年に、調査結果をもとに分布東端線以西を主な生息範囲と推定した

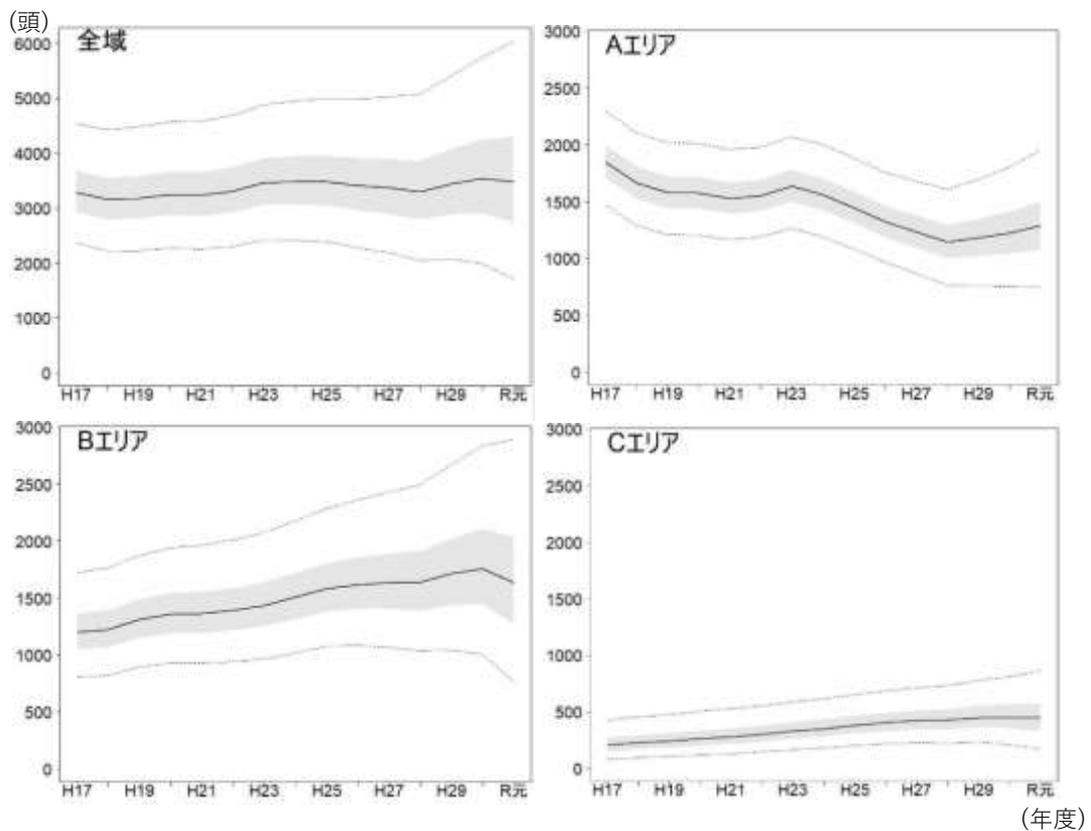


図5 管理区域全域及び各エリアにおける推定生息数の推移（階層ベイズ法による推計）

表2 各エリアのシカ生息密度の推定（令和元年度末。階層ベイズ法による推計）

| エリア      | Aエリア                | Bエリア                | Cエリア               |
|----------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 密度（頭/㎢）※ | 7.8<br>(4.51－11.83) | 7.8<br>(3.69－13.81) | 3.7<br>(1.43－7.12) |

※生息頭数を森林面積で割ったもの。上段は推定生息数の中央値を用いた試算。カッコ内は95%信頼区間の上限値と下限値を用いた推定幅の試算

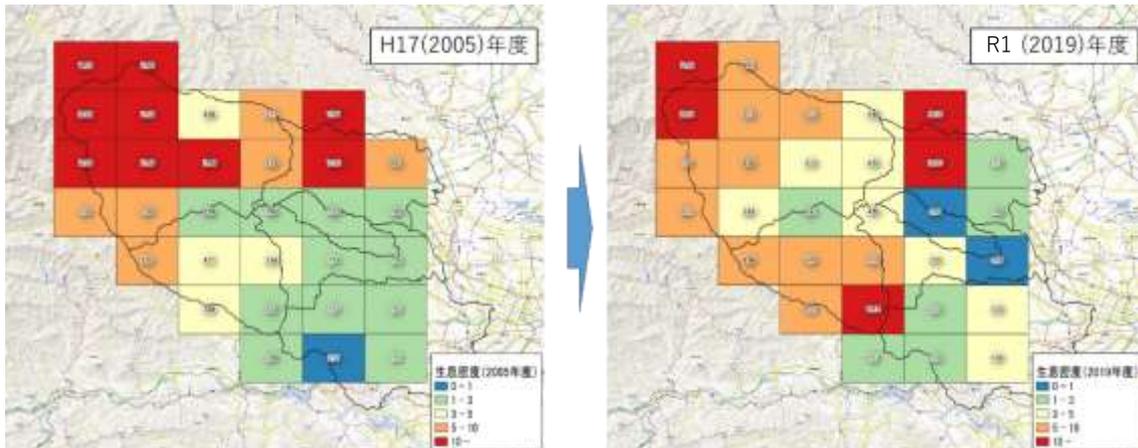


図6 5キロメッシュごとの生息密度の推移（階層ベイズ法による推計）

### (3) 森林生態系に係る影響と対策

Aエリアにおけるシカの採食圧による植生への長期的な影響は、シカがより高い密度で生息している山梨県側の山地と同程度となっており、植生の回復傾向は見られず、林床植生が貧弱な状態が続いている。B及びCエリアの比較的標高が高い地点の森林においてもAエリアと同様な林床の貧弱化が進行しており、シカによる採食の影響が拡大している。

令和3年4月に更新された「東京都レッドリスト（東京都の保護上重要な野生生物種）（本土部）2020年版」の掲載種と10年前の掲載種を比較すると、西多摩地域における絶滅危惧Ⅰ類<sup>6</sup>の植物が約2倍に増加しており、その主な要因として山地でのシカによる採食の影響が指摘されている。

シカの食害から自然度の高い森林や貴重な植物群落などを保護するための柵（植生保護柵）を雲取山周辺、三頭山周辺、御前山及び御岳山周辺、陣場山や高尾山などに設置、管理しており、総延長は約8.5kmとなっている。

<sup>6</sup> 東京都レッドリストのカテゴリー区分の一つで、現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの

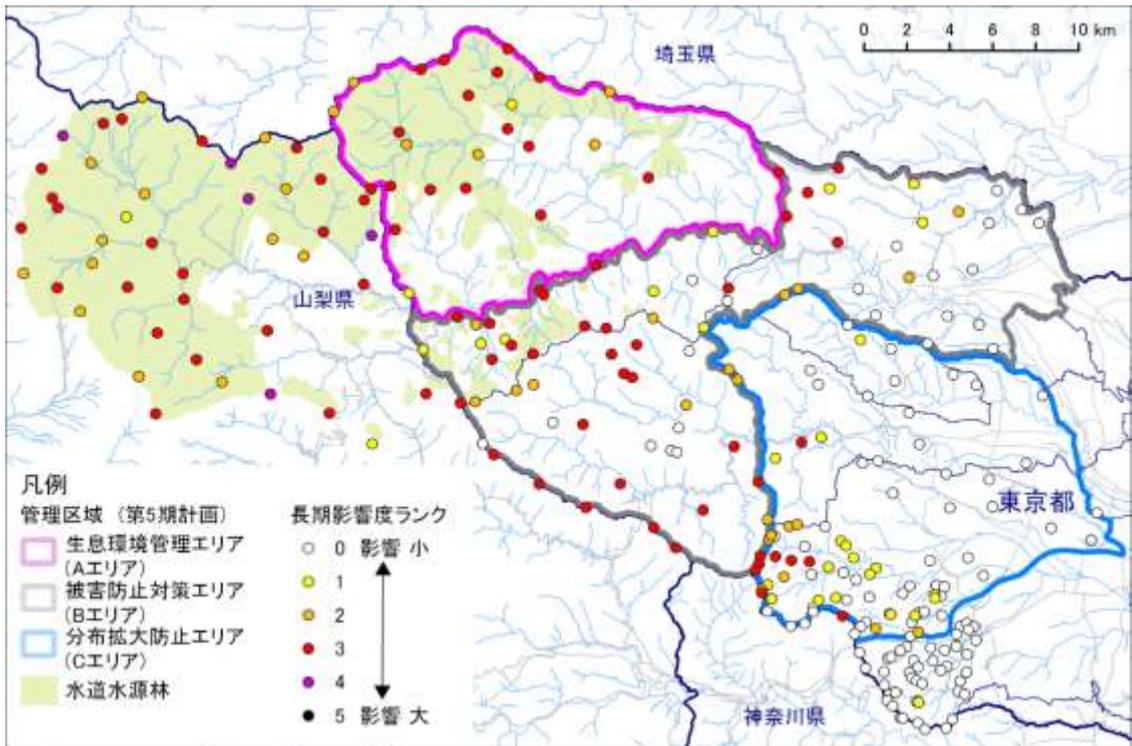


図7 管理区域及び水道水源林の長期影響度<sup>7</sup>（令和元年度）

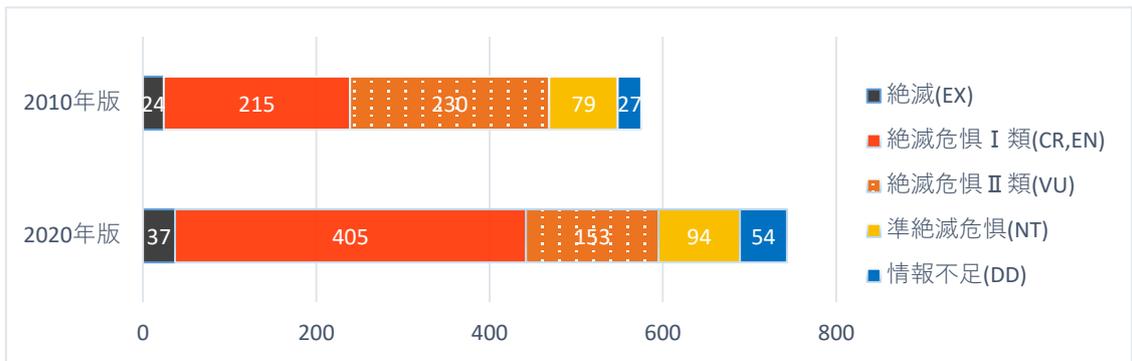


図8 新旧の東京都レッドリストにおける西多摩植物の掲載種数

表3 植生保護柵の設置状況

| 年度    | H17 | H18   | H19   | H20   | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | 計     |
|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 延長(m) | 820 | 1,509 | 2,445 | 1,664 | 288 | 100 | 70  | 81  | 79  | —   | 74  | 290 | 334 | 138 | 388 | 250 | 8,530 |

<sup>7</sup> 樹木の矮性化、枯死、不嗜好性植物の繁茂などの状況から、シカによる継続的な植生への影響度合いを判定したもの（詳細は資料編表9参照）

#### (4) 農林業被害と対策状況

農業被害は依然として奥多摩町のワサビ被害が最も多く、特に平成30年度には侵入防止ネットの管理不十分等により被害が顕著に増加した。その他の市町村におけるシカの被害はおおむね低い水準である。被害対策として、奥多摩町を中心にワサビ田等の農地の周囲へシカの侵入防止ネットや電気柵等を設置するなどの取組を各市町村にて実施し、都は補助金による支援措置を行った。

林業被害対策では、第5期計画の期間中から徐々に新植造林地の展開を再開したが、それに応じて被害が増加してきた。このため令和2年度からは、食害の著しい造林地における防護柵の設置を必須のものとしている。

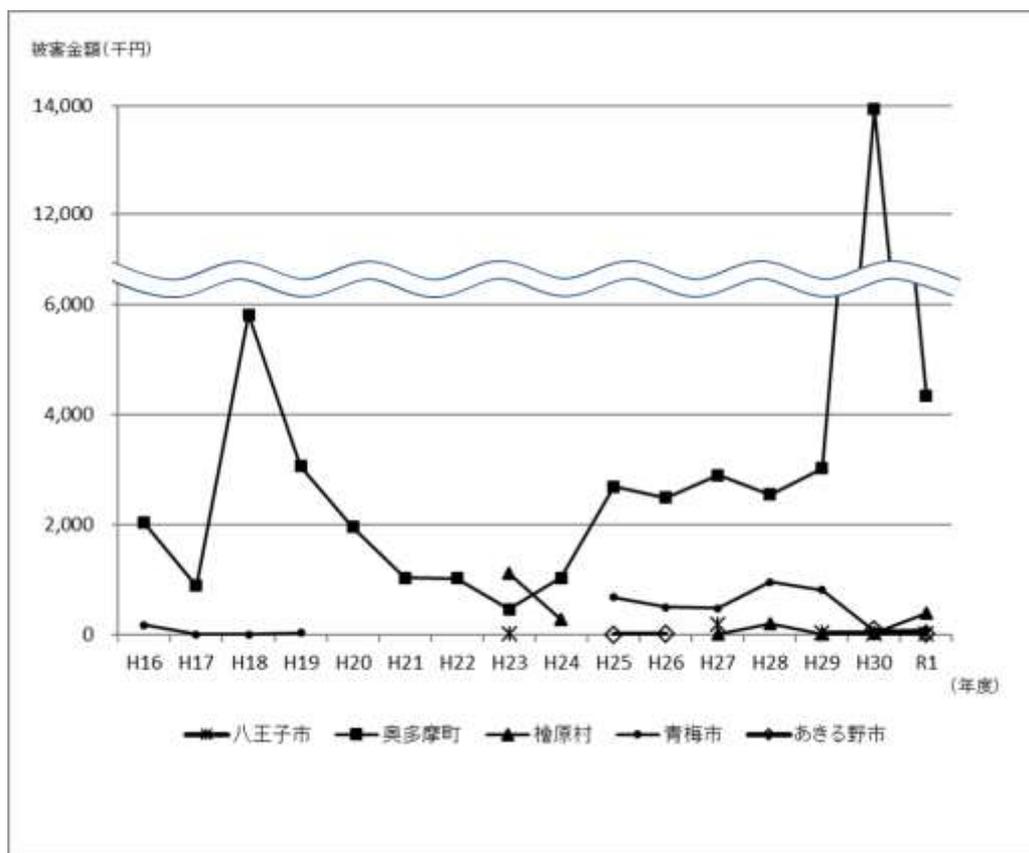


図9 市町村別の農業被害金額の推移

表4 農業被害防止対策のための柵等の設置状況 (奥多摩町分)

| 年度         | H17   | H18   | H19   | H20   | H21   | H22   | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2 | 計      |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--------|
| 電気柵 (m)    | 234   | -     | -     | -     | -     | -     | -   | -   | -   | -   | -   | 437 | -   | -   | 432 | -  | 1,103  |
| 侵入防止ネット(m) | 2,250 | 2,250 | 2,050 | 2,500 | 2,450 | 1,333 | 969 | 285 | 391 | 319 | 694 | 490 | 392 | 624 | -   | -  | 16,997 |

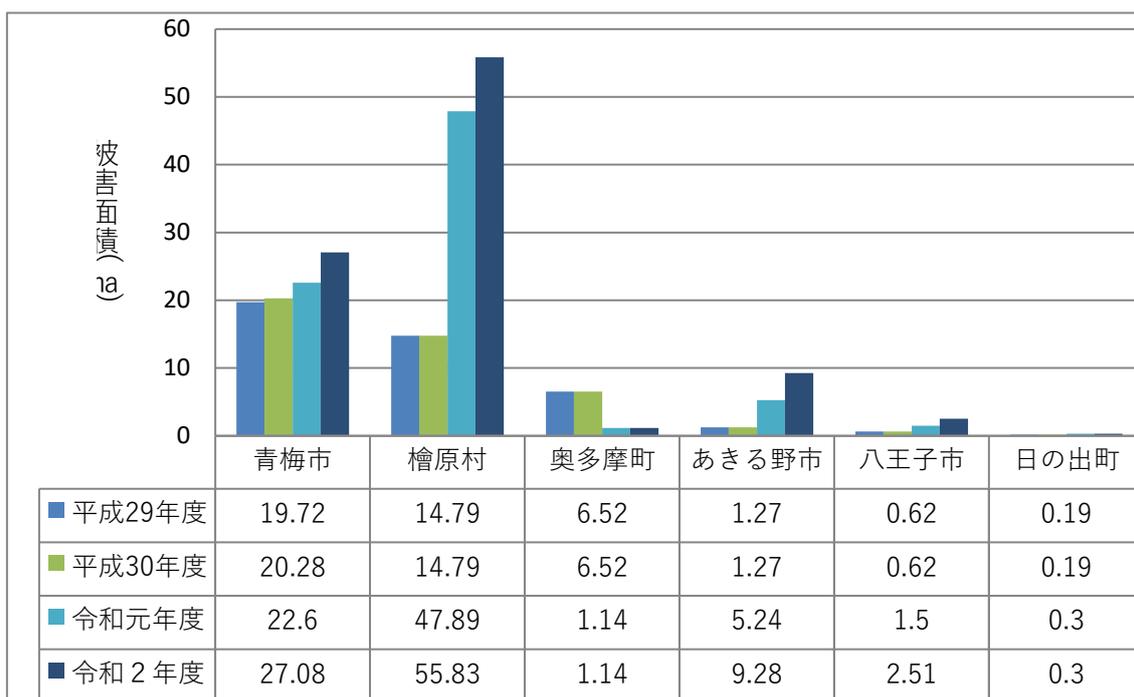


図 10 市町村別の造林地の被害状況

表 5 造林地における被害対策のための柵の施行状況

| 年度     | H28 | H29   | H30   | R1    | R2     |
|--------|-----|-------|-------|-------|--------|
| 防護柵(m) | 0   | 2,784 | 2,600 | 2,785 | 21,468 |

## 2 成果と課題

### (1) 目標の達成状況

#### ア 個体数管理

##### <目標>

○生息数 : 生息密度 Aエリア 1～3頭/km<sup>2</sup>

B及びCエリア 0～1頭/km<sup>2</sup>

\*これにより算出される生息頭数 400 頭

○生息範囲 : 平成 16 年のシカ分布東端線から西の範囲

##### <達成状況>

ベイズ法による推定では、中央値でA、Bの両エリアともに7.8頭/km<sup>2</sup>、Cエリアは3.7頭/km<sup>2</sup>と算定されており、各エリアが目標とする密度水準には遠く及ばず、現時点ではその実現についても見通せていない。

生息範囲についても、シカは目標とする平成 16 年の分布東端線の東側に広く分布して定着が進んでおり、生息範囲が縮小する見通しは立っていない。

## イ 森林生態系の回復・保全

### <目標>

○シカが増えすぎない環境をつくるとともに、シカの食害等により被害を受けている森林や自然植生を保全・回復し、森林の有する生物多様性の維持・向上を目指す。

### <達成状況>

シカの増加を抑えられておらず、A及びBエリアにおいてシカ密度が高い状態が継続しているとともに、高標高域の稜線部を中心に自然植生や二次林などでシカ食害の影響が長期化し、林床植生の貧弱化と表土層の劣化が継続しており、目標は達成できていない。

こうした森林生態系への影響は、レッドリスト種の増加（特に絶滅危惧Ⅰ類植物の大幅増）により一層顕在化した。今後状況が改善されなければ、水源涵養機能の低下や表土の流出等、森林の公益的機能の更なる低下が懸念される。

林床植生の貧弱化は管理区域の東や南へ拡大しており、Cエリアにおいても徐々に影響が現れつつある。

## ウ 農林業被害防除

### <目標>

○個体数抑制だけではなく様々な防除対策を行うことにより、農地及び造林地周辺でのシカの定着を防止し、農林業被害を軽減する。

### <達成状況>

農業被害対策については、ワサビ被害は依然として残るものの、農地周囲への侵入防止ネットや電気柵の設置等により一定の効果が得られている状況であり、部分的に目標は達成してきている。しかしながら、シカが減少傾向となっているわけではなく、ワサビを中心に食害も継続しており、引き続き侵入防止ネット等の設置による防除対策が必要である。

林業被害対策については、第5期計画期間中に檜原村や青梅市などで再開された新植造林地を中心として被害が発生、増加しており、目標は達成できていない。新植造林地が多いBエリアは現在Aエリアに匹敵するシカ密度と考えられることから、今後とも対策は長期化するものと考えられる。

## (2) 課題

第5期計画の期間では、特に後半は青梅市及び檜原村での捕獲が多かったものの、全体としての捕獲圧は不足していたと考えられ、結果として森林生態系の回復・保全や農林業被害防除などの目標に対して十分な成果が得られなかった。シカの生息数を減少さ

せるためには、自然増加数を上回る捕獲圧を全域かつ全期間にわたりかけていく必要がある。

Aエリアは平成初頭までのシカ分布の中心であり、高密度化したシカの影響により平成16年には造林地での土砂流出事故が発生したことから、現在まで再造林は停止されている。エリア内のシカ密度は管理計画開始当初に比べて減少したと考えられるが、依然として多くのシカが生息しており、今後とも強力にシカの捕獲に取り組んでいく必要がある。

Bエリアのシカは直近の数年間を除きほぼ一貫して増加してきており、これ以上の増加はAエリアやCエリアでの個体数増加につながりかねず、全域のシカの動向にも影響すると考えられる。当エリアは新植造林地も多く、林業被害対策としても早期の捕獲強化が求められる。

Cエリアは、管理計画開始当時にはシカが確認されるのはまれであったが、近年は有害捕獲や狩猟捕獲が増加している。農林業被害の少なさなどからこれまで十分な捕獲圧がかけられておらず、餌資源が豊富なため、今後一気に個体数が増加する可能性がある。

AエリアやBエリアの高標高域にはシカの生息密度が高い区域があり、新たな個体の供給源となっている可能性があるが、アクセスの悪さなどからこれまで十分な捕獲圧がかけられていない。特に主稜線部の国立公園等の優れた自然環境は長期にわたってシカによる影響を受けており、生態系保全上も早期の対策が求められる。

第5期計画では管理区域外であった高尾山一帯は、明治の森高尾国立公園等に指定されており、市街地に接する地域でありながら貴重で豊かな植生が保全されているが、近年シカの確認頻度が顕著に増加している。ひとたびシカが定着して高密度化すれば植生への深刻な影響が危惧される一方、観光客やハイカーなど多くの利用者に配慮しながらの大量捕獲は極めて困難であることから、早期の対策が求められる。

シカの分布域は市街地周辺に及んでおり、鉄道や自動車等との衝突事故の増加が危惧される。シカの市街地への出没は、地域の住民やペットにとっても人身被害の増加や人獣共通感染症への感染リスクの上昇等の懸念がある。

今後、シカの捕獲を効果的に進めるためには、シカの捕獲場所や時期、手法等の情報収集、変化するシカの分布や個体群の動向を把握するためのモニタリング、これらのデータ分析と捕獲作業への反映、作業の効果検証などを計画的かつ継続的に行う必要がある。

### 第3章 管理計画

#### 1 基本的な考え方

在来種であるシカは森林生態系の重要な要素であるが、増えすぎたシカに起因する生態系や農林業への被害等を改善するためには、シカの個体数を適正な水準に減少させるとともに、その生息地を適正な範囲に縮小させることが重要である。

第5期計画ではシカ個体数の増加や分布域の拡大を十分に抑えることができず、森林生態系や農林業への被害が継続している。

本計画では引き続き被害対策を進めるとともに、個体数管理を強化し、東京のシカ問題の早期解消に向けて取り組んでいく。

#### 2 エリア区分と取組の方向性

従来の管理計画の考え方を引き継ぎ、過去のシカの分布範囲、地形や自然環境、土地利用等の状況を踏まえて管理区域内を3つのエリアに区分するとともに（図11）、シカ対策に取り組む方向性を示す。

##### ○生息環境管理エリア（Aエリア：奥多摩町北部（多摩川北岸））

西多摩地域の北西部に位置し、北で埼玉県、西で山梨県に接する。東京都の最高峰である雲取山から連なる稜線には国立公園特別保護地区及び特別地域に指定されている自然林や二次林が分布し、多様で豊かな生態系の基盤となっている。また、広大な面積の植林地が存在するとともに、多摩川水系の水源としても広い流域面積を有するエリアでもある。

豊かな森林生態系を回復するとともに、森林施業が再開され、農林業被害が顕在化しない状態を目指し、引き続き強力的に捕獲圧をかけていく。

##### ○被害防除対策エリア（Bエリア：奥多摩町南部（多摩川南岸）、青梅市、檜原村）

西側は山梨県に接し、三頭山から東の御岳山方面、南の生藤山方面へ派生する稜線にAエリアに次ぐ高標高域を有する。東側は北で埼玉県に接し中低標高（おおむね800m未満）の山地と丘陵地が連なる。

国立公園特別保護地区及び特別地域、都自然環境保全地域に指定されている自然林や二次林が稜線付近に分布するとともに、檜原村及び青梅市の植林地では活発に森林施業が行われている。

自然林や二次林の植生を維持するとともに、農林業被害が顕在化しない状態を目指し、増加してきたシカを抑制し減少させるための捕獲強化に取り組んでいく。

##### ○分布拡大防止エリア（Cエリア：八王子市、あきる野市、日の出町）

概おおむね中低標高の山地や丘陵地にかけてのエリアであり、植林地や雑木林が広がっている。

シカの目撃はあるが植生への被害が顕在化せず、農林業被害もない状態を維持する

とともに、これ以上に生息域拡大と密度上昇しないよう抑制することを目指し、現段階から少しでも多くのシカを捕獲していく。

なお、本計画期間から高尾山一帯（八王子市内の中央自動車道南側に位置する明治の森高尾国定公園及び都立高尾陣場自然公園の区域）を管理区域に追加し、シカ対策に取り組んでいく。

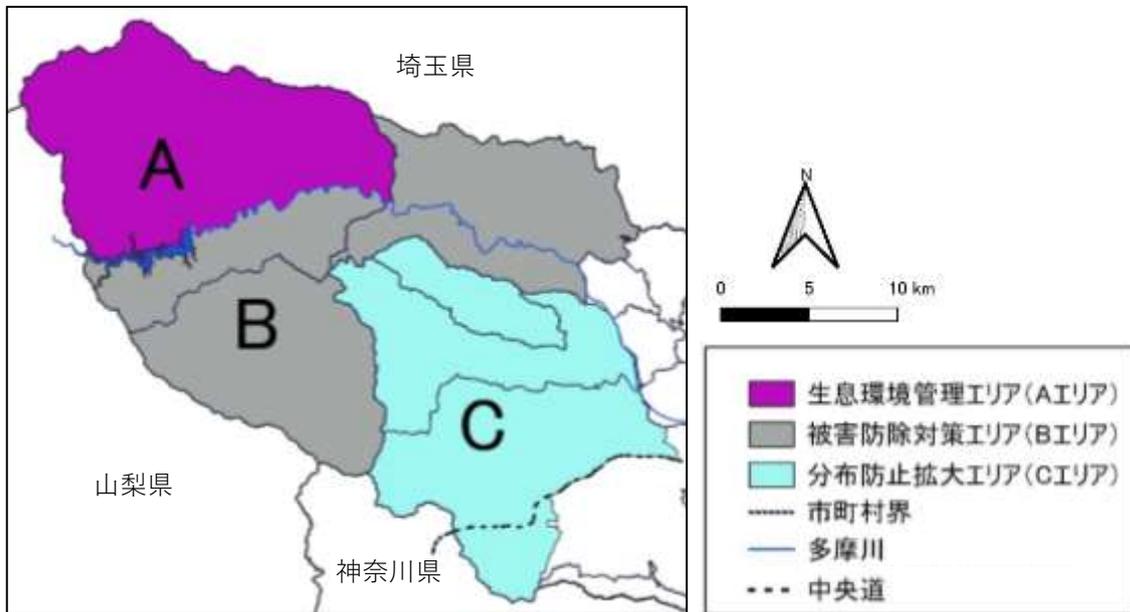


図 11 管理区域のエリア区分

### 3 計画の目標

#### (1) 生息数と生息範囲の適正化

##### ア 長期的な目標

本計画においても、これまでのシカ管理計画における最終的な目標である生息密度（Aエリア：1頭～3頭/km<sup>2</sup>、B・Cエリア：0頭～1頭/km<sup>2</sup>）及び生息頭数（400頭。参考参照）、生息範囲（平成16年における分布東端線以西）を踏襲する。

（参考：目標生息数の算出）

エリア別の目標密度（中央値）とエリア面積から算出する。ただし、B・Cエリアについては、第1期計画策定時点である平成16年の生息状況調査においてシカが分布していないエリア（約330k m<sup>2</sup>）は、算出面積から除外する。

〔算出根拠〕

|        |   |                       |   |                            |   |      |
|--------|---|-----------------------|---|----------------------------|---|------|
| Aエリア   | : | 2頭/k m <sup>2</sup>   | × | 170 k m <sup>2</sup>       | = | 340頭 |
| B・Cエリア | : | 0.5頭/k m <sup>2</sup> | × | (480-330) k m <sup>2</sup> | = | 75頭  |
| 計      | : |                       |   | 415頭                       | ≒ | 400頭 |

##### イ 段階的な目標

最終的な目標に至るまでのステップとして、今期及び次期の10年間で長期的目標の上限程度（Aエリア：3頭/km<sup>2</sup>、Bエリア：1頭/km<sup>2</sup>、Cエリア：0.5頭/km<sup>2</sup>）に

到達することを目標とする。また、本計画期間末までの5年間で現状の密度と10年間の到達目標とのおおむね中間(Aエリア:4~5頭/km<sup>2</sup>、Bエリア:2~3頭/km<sup>2</sup>、Cエリア:1~2頭/km<sup>2</sup>)に至ることを目指す。

## (2) 森林生態系の回復・保全

シカが森林生態系の構成要素の一つであることを鑑み、シカの捕獲や様々な被害対策を講じることにより良好な森林生態系の回復・保全を目指す。

対策効果を測るものとして次の指標を設定する。

### ア 短期的な効果の指標

植生被害調査地点における下層植生(草本層及びササ類)の被度及び低木層の被度の合計により評価する。

これまでのシカの採食圧による植生への影響度合いの違いを考慮し、既に下層植生の衰退が進行しているA及びBエリアについては被度の増加地点が減少地点を大きく上回ることを、現時点では下層植生への影響が少ないCエリアについては現状維持を目指す。

### イ 長期的な効果の指標

植生被害調査地点の長期影響度により評価する。

長期にわたり受け続けた影響については、その回復にも長い時間が必要となることを見込まれることから、本計画期間内においては管理区域全域の調査地点において、長期影響度が悪化した地点がゼロとなることを目指す。

## (3) 農林業被害の軽減

第5次東京都農林業獣害対策基本計画等に基づき、個体数抑制とともに様々な防除対策を行うことにより、農地及び造林地周辺でのシカの定着を防止し、農林業被害を軽減する。

特に林業被害については、本計画期間において増加傾向にある林業被害面積を減少傾向に転換させ、継続的に減少させていくことを目指す。

## 4 個体数管理

### (1) 個体数管理の基本的な考え方

個体数管理は、管理捕獲と狩猟により実施する。管理捕獲は原則として数の調整のための捕獲と被害の防止のための捕獲により行い、捕獲手法の検討等を目的とした試験的な捕獲も含むものとする。

個体数管理を効果的に行うためには、メスジカの捕獲が重要であることから、管理捕獲及び狩猟のいずれにおいてもメスジカ捕獲を推進する。

個体数管理の基数は、令和元年(2019)年度末における管理区域内の推定生息数の中央値(約3,500頭)とする。

毎年度の捕獲頭数の目標値は、捕獲状況や推定生息密度の調査結果など勘案しながら、

市町村の区域毎に年間実施計画で定める。この際、エリア区分とともに、市町村の区域毎にも目標密度への到達状況の管理を実施していく。

## (2) 管理捕獲の推進

### ア 市町村が行う捕獲

市町村が行う管理捕獲は、農林業が行われている区域を中心に実施する。

全てのエリアにおいて着実に個体数を減少させていくため、都は市町村捕獲の支援を強化するとともに、近年のくくりわなによる捕獲の増加など捕獲技術の変化に応じたきめ細やかな支援を行う。

### イ 都が行う捕獲及び試験的な捕獲

都は、主として生態系保全の観点から、雲取山一帯など地形が急峻等の理由で捕獲が十分でない高標高域の自然性の高い地域や、高尾山一帯など特に自然環境保全上重要な地域において捕獲を実施する。

また、林業被害対策としての造林地周辺における捕獲作業による追い払い効果の検証等のため、試験的な捕獲を実施する。

### ウ 指定管理鳥獣捕獲等事業

都が主として生態系保全の観点から実施する捕獲については、アクセスが困難あるいは低密度などの悪条件において着実な捕獲が求められるだけでなく、捕獲作業に関わる行動記録や目視情報、気象や環境条件などの各種データの収集や全体考察などの高度な知見と技術が求められることから、原則として指定管理鳥獣捕獲等事業として実施する。

指定管理鳥獣捕獲等事業の検討や実施に当たっては東京都シカ管理計画検討会専門部会（P18 参照）から技術的な助言を受けるものとする。実施後の評価と手法等の改善についても同様とする。事業の具体的な内容については、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画において定めるものとする。

## (3) 狩猟規制の緩和

管理捕獲に加え、狩猟による捕獲を推進するため、第5期計画に引き続き、奥多摩町、青梅市及び檜原村の全域において11月15日から2月15日までの狩猟期間を2月末日まで延長する。期間延長の対象となる地域については、市町村との連携により狩猟者への指導、住民への広報等を行い、事故防止の徹底を図る。

なお、一日あたりの狩猟頭数制限については、国において平成29年に廃止されており、都においても前計画から実施していないことから、引き続き実施しない。

規制の緩和については、生息密度等状況を踏まえ、必要に応じて見直しを検討する。

## (4) 担い手の確保

都の狩猟免許交付件数は長年減少傾向が続いていたが、網猟免許及びわな猟免許取得

者の増加を受けて平成 25 年度を境に増加傾向に転じている。狩猟者登録証交付件数も平成 26 年度を底に同様な傾向である。

一方、地元猟友会では徐々に若い世代が増えつつあるものの、全体数としては捕獲の担い手不足の状況が継続している。

都内における捕獲の担い手確保に向け、狩猟免許取得者が捕獲数増に貢献できるような働きかけなどについて、今後とも市町村、地元猟友会等と連携していく。

## 5 生息環境管理

本計画は、シカの個体数を適正な水準に減少させるとともに、その生息地を適正な範囲に縮小させることを長期的な目標としており、そのためにはまず個体数管理が十分に進展する必要がある。

森林においてはシカの餌資源の増加やそれに伴う繁殖率上昇を招くような生息環境の改変は可能な限り避けることを念頭に置きつつ、森林再生事業、森林整備補助事業等を活用し、シカ個体群の安定的存続下でも林床植生の衰退が生じない均衡が取れた森林生態系の回復及び保全を図る。

一方、農地及び集落周辺においても、集落への侵入経路となるとともに、餌を提供し繁殖を促進する可能性がある耕作放棄地や草地等の管理を徹底し、シカが依存しにくい環境の整備に取り組む。

## 6 被害防除

### (1) 植生保護対策

自然公園特別地域等の区域において、レッドリスト種や貴重な植物群落の保全が必要な場所に植生保護柵を設置し、生態系の保全を図る。

### (2) 農業被害対策

引き続きワサビ田等へ侵入防止ネット等を設置するとともに、これらのきめ細かい維持管理について普及啓発を行っていく。

### (3) 林業被害対策

食害の著しい地域においては、シカの生息状況や捕獲状況を踏まえ、造林対象箇所を適切に選択する。造林地においては原則として防護柵を設置していくとともに、必要に応じて周辺における捕獲を行うことにより、シカの定着防止と林業被害の軽減の取組みを継続していく。

## 7 モニタリング

### (1) モニタリングの考え方

計画の評価・検討・修正を行うフィードバック管理を適切に進めるため、常に変化するシカの生息状況や生息環境について継続的にモニタリングを実施する。モニタリング

は、年間計画に基づき実施するとともに、フィードバック管理の一環として、必要に応じて調査項目を見直していく。

特に、捕獲強化を実施する場合には、十分な効果検証が行えるようモニタリングの強化を検討する。

被害状況や分布状況等の収集にあっては、NPO団体やビジターセンター等からの情報、東京都自然保護指導員（都レンジャー）が巡回時に得た情報等の活用を図る。

## (2) モニタリングの内容

### ア 森林及び植生への被害状況及び回復状況

シカによる森林や植生への被害状況及び回復状況を把握するため、管理区域内の植生調査、植生保護柵内外の植生比較調査等を実施する。

### イ 農林業への被害状況

農業被害状況の把握のため、関係部局及び市町村と連携し、農作物の被害地、被害品目、被害量等の情報収集に努める。

林業被害状況の把握のため、被害の分布や被害量等の情報収集に努める。

### ウ シカの生息状況

捕獲効果の検証及び年間捕獲目標頭数の設定等のため、目撃情報や捕獲状況等を収集するとともに、糞塊法による分布調査や区画法などによる生息密度調査を実施する。

シカの密度分布の変化を把握し、戦略的な捕獲を実施するため、生息状況や捕獲状況等のデータに基づき、定期的に個体数推定及び密度分布を推定する。

### エ シカ個体群の状況

個体群の分布移動の時期や経路等を踏まえた効果的な捕獲計画を検討するため、センサーカメラ調査等により管理区域のエリアに応じたシカの動向把握を行う。

捕獲が個体群に与えた効果を検証するため、捕獲個体からシカの年齢、性別等の情報収集を行う。

## 8 実施体制

### (1) 計画の実施体制

シカの管理は、次のとおり様々な主体と連携して行う。

#### ア 東京都シカ管理計画検討会

学識経験者、農林業者、狩猟者、自然保護団体、庁内関係部局及び地元市町村で構成し、各事業の実施状況やモニタリング結果等に基づき、シカ管理計画及び年間実施計画の作成に関する検討を行う。

## イ 東京都シカ管理計画検討会専門部会

検討会の下部組織として、動物学、植物生態学等の学識経験者で構成し、各事業の実施状況やモニタリング結果等の検証を行う。

## ウ 地元市町村

東京都と連携し、個体数管理、森林施業指導、被害防除対策、農林業被害調査、住民への周知等を行う。

### (2) 国及び関係県との連携

シカ管理事業を効率的・効果的に進めていくためには、隣接県との連携が不可欠である。埼玉県、山梨県及び神奈川県と生息状況、捕獲状況等についての情報交換を行うとともに、埼玉県及び山梨県と引き続き都県境での共同捕獲を行っていく。

関東山地ニホンジカ広域協議会において国及び関係県との情報の共有化に努めるとともに、都県をまたぐ秩父多摩甲斐国立公園を管理する国に対しては、広域的なシカ個体数調整等積極的なシカ被害対策を推進するよう求めていく。

### (3) 都民、NPO等との協働

生息状況、被害状況等の調査や普及啓発については都民、NPO、企業等の多様な主体との連携及び協働を進める。

## 9 錯誤捕獲の低減と市街地出没への対応

近年、捕獲におけるわな（くくりわな）の使用が大幅に増加しており、最近では管理捕獲の三分の一を占めるようになってきている。今後もこの傾向は強まると見込まれることから、錯誤捕獲についても今後の増加が懸念される。

特にツキノワグマ及びニホンカモシカは保護対象となっている鳥獣であり、その個体の取扱いは慎重に行う必要があるとともに、こうした大型獣の放逐には捕獲者側にも危険が及び、人身被害につながることもある。

わなについては設置中の見回りを徹底するとともに、休止中の動作停止、わな径の確認、見回り時のクマの痕跡確認などにより錯誤捕獲の予防に取り組む。

また、錯誤捕獲の発生に備え、対応方針や連絡、放獣体制の整備等、早急に実行可能な対策の検討を進め、実行していく。錯誤捕獲発生時には適切に報告を行う。

市街地での出没個体についても、法手続きの考え方や関係者の体制整備など速やかな対応のための準備を進めていく。

## 10 感染症及び安全対策

シカの捕獲に当たっては、捕獲作業時や解体処理時等の接触等による人獣共通感染症への感染とともに、森林に生息するマダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群（SFTS）への感染などのリスクについても十分留意する必要がある。加えてシカの捕獲がイノシ

シカの捕獲と同時に行われる場合などもあることから、野生イノシシへの接触、ウイルスに汚染された血液、泥の付着等による豚熱（CSF）ウイルスの拡散リスクについても認識する必要がある。捕獲従事者や狩猟者等に対しては、感染症に係る情報提供を行うとともに、作業時の皮膚の露出防止、捕獲個体の適切かつ確実な処理、衣服や猟具、車両等の洗浄の徹底等に関する注意喚起を行っていく。

また、捕獲や各種モニタリング調査は、転落や滑落等による事故等、様々な危険を伴う作業であることから、安全管理の徹底についても促していく。

## 11 普及啓発

シカによる森林被害等の問題は、直接被害を受けている西多摩地域だけの問題ではなく、森林生態系の恩恵を享受している都民全体の共通の問題である。加えて市街地出没の増加など人とシカとの距離が近づいており、交通への支障や人身被害、人獣共通感染症などについても留意する必要がある。

都と市町村はともに連携・協力し、シカ問題とその対策の必要性を都民に周知し、併せて広く森林生態系や野生動物と人の生活との関わりや環境問題に対する都民の関心を高めるよう努めていく。

普及啓発の実施に当たっては、ホームページや広報紙、ビジターセンターなどの利用拠点や各種イベント、狩猟者登録の窓口をはじめ、観光客や地域住民、狩猟者その他の対象に応じた様々な機会と手段を活用していく。

## 資 料 編

## 第1章 シカを取り巻く現状

### 1 東京都のシカ管理施策の推移

東京都の多摩地域に生息するシカは、明治時代から大正時代初期にかけて、銃器の普及による狩猟圧の高まりや人口増加に伴う都市域の急速な拡大などにより生息数が徐々に減少し、その生息域も奥多摩町西端の雲取山周辺等に限られていた。そのため、東京都は国によるメスジカの狩猟禁止に加え、昭和51年（1976年）に奥多摩町をオスジカ捕獲禁止区域に指定し、さらに昭和59年（1984年）には雲取山周辺の高標高域を鳥獣保護区に指定し、シカの保護を図った。

その結果、シカの生息数は徐々に回復し生息域も拡大した一方、造林木や農作物へのシカによる食害も発生し、被害は年々増加していった。これを受け、東京都は、平成2年（1990年）からシカの分布状況、生息密度、捕獲状況、植生影響等を把握し、シカの保護管理施策のために必要な情報収集を目的としたモニタリング調査を行い、調査結果に基づき、平成12年（2000年）には東京都獣害対策基本計画を策定し、農林業被害対策を実施した。有害鳥獣捕獲による捕獲頭数が増加する中、平成14年（2002年）には、昭和51年以来初めて奥多摩町でのオスジカの狩猟を解禁し、シカの個体数抑制を図った。

しかし、シカによる被害は農林業被害に止まらず、シカが高密度化する地域では低木層・草本層の植物が採食され、シカの不嗜好性植物の増加やササ類等の林床植生の退行など、自然植生への影響が懸念されるようになった。さらに、林床植生の退行により裸地化が進み、平成16年（2004年）には、シカ被害を受けた奥多摩町オオダワ等の造林地において表土のほとんどが流出し、一部に岩石の露出や崩壊が見られるという激甚的な被害が発生し、深刻な事態となった。

こうしたことから、東京都は、人とシカとが共存する豊かな森づくりを目的として、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第7条に基づき、平成17年（2005年）に東京都シカ保護管理計画を策定した。その後、平成20年（2008年）に第2期東京都シカ保護管理計画、平成24年（2012年）に第3期東京都シカ保護管理計画を策定し、平成26年（2014年）5月の法改正による「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」の施行に伴い、平成27年（2015年）5月に第4期東京都第二種シカ管理計画を策定した。さらに平成29年（2017年）には第5期東京都第二種シカ管理計画を策定した。

### 2 生息環境

#### (1) 自然環境と土地利用

##### ア 地形（図12）

(ア)奥多摩町、青梅市、檜原村、あきる野市、日の出町及び八王子市の大部分は関東山地に含まれている。

- (イ) 東京の最高標高である雲取山(2,017m)は、東京都、埼玉県及び山梨県の3都県の境界に位置している。雲取山から北東の尾根筋は、埼玉県との都県境であり、西谷山(1,718m)、蕎麦粒山(1,473m)を経て棒ノ折山(969m)へと東方向に続いている。また、雲取山から南の尾根筋は、山梨県との都県境であり、七ツ石山(1,757m)を経て、奥多摩湖へと下り、再び三頭山(1,528m)へと上って、南東方向に続いている。
- (ウ) 奥多摩町の中央を東西方向に走る尾根の南側には、湛<sup>たん</sup>水面積約4.3km<sup>2</sup>の奥多摩湖が広がり、そこからは1級河川である多摩川が流れている。多摩川は奥多摩町氷川地区で日原川と合流して東京湾へ注いでいる。

#### イ 標高及び最大傾斜(図13及び図14)

- (ア) 都県境に当たる稜<sup>りょう</sup>線などに沿って標高1,000m以上の山地が広がっている。
- (イ) 標高400m以上の山地の大部分は、最大傾斜30度以上の急傾斜面であり、ほぼ全域が大・中起伏山地となっている。
- (ウ) シカの食害により土砂崩壊の危険性が高いとされる傾斜30度以上の地域は、多摩川北岸地域に多く、これらの地域では、傾斜の緩やかな地域より被害対策が重要である。

#### ウ 植生(図15)

- (ア) 標高400m以上1,000m未満の地域にスギ、ヒノキなどの人工林が集中して分布している。これらの人工林は、林業の低迷等から手入れがされず、林床に光が差し込まないため下草が生えず、土壌が露出し荒廃した状態となっている箇所も多い。
- (イ) 雲取山周辺には、コメツガ、シラビソなどが優占する亜高山帯の針葉樹林、その周りにはブナ、イヌブナ、クリ及びミズナラが優占する落葉広葉樹林が発達している。
- (ウ) 多摩川以南にも、ブナ、クリ、ミズナラ等が優占する良好な落葉広葉樹林が残っている。

#### エ 土地利用(図16)

森林率80%以上のメッシュ数は、全域のメッシュ数の約7割を占めており、シカの生息に大きく関連していると考えられる。一方、森林率の低い地域は、JR青梅線及び五日市線沿いに限られている。



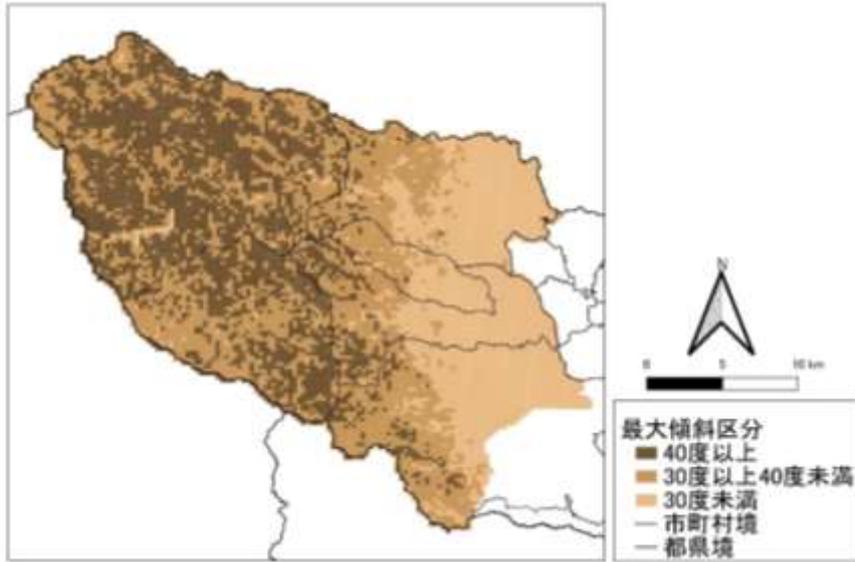


図 14 管理区域の最大傾斜

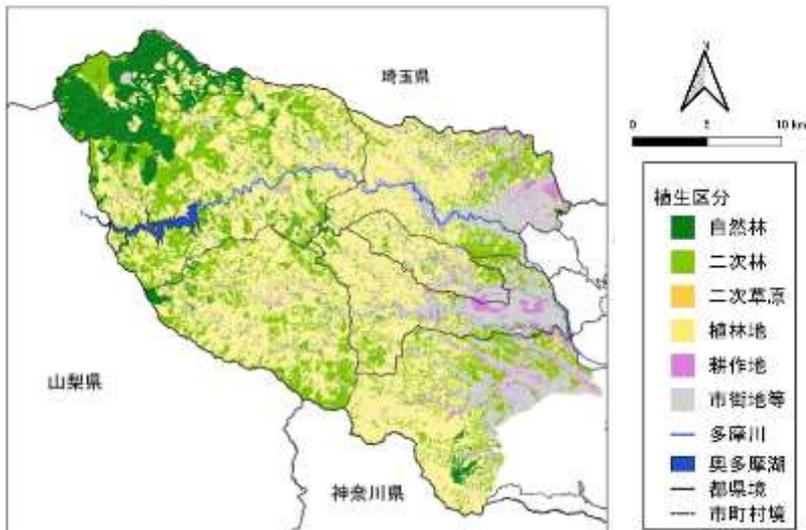


図 15 管理区域の植生

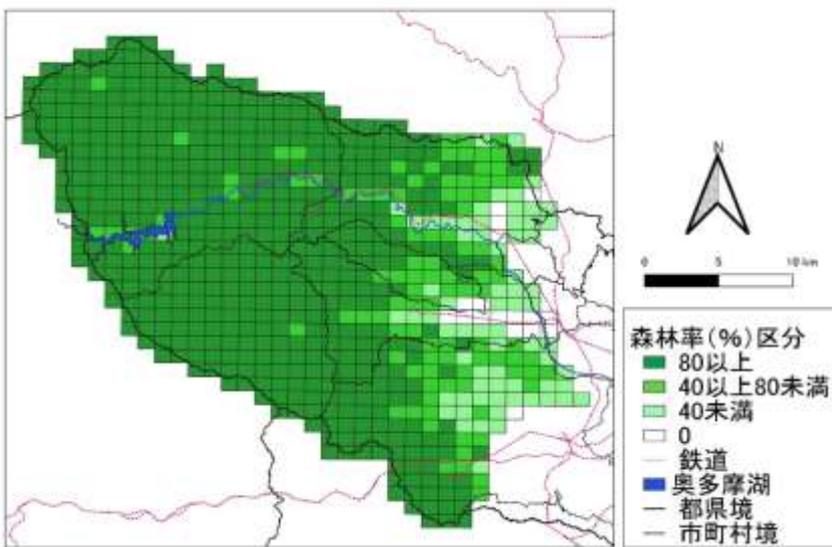


図 16 管理区域の森林率

## (2) 土地利用規制等

### ア 土地所有区分

奥多摩町から山梨県へと続く多摩川源流域は、その多くが水道局所管の水道水源林となっている（図 17）。

### イ 法規制（管理区域内の主な自然公園及び鳥獣保護区等）

#### (ア) 国立公園（図 18）

奥多摩町全域、檜原村の北部約 3 分の 2 の地域、青梅市、あきる野市及び日の出町の西側一部地域が、秩父多摩甲斐国立公園に指定されている。

#### (イ) 国立公園の特別保護地区（図 18）

雲取山周辺（72ha）及び三頭山周辺（76ha）が特別保護地区に指定されている。

#### (ウ) 国定公園（図 18）

八王子市の西部地域が明治の森高尾国定公園（770ha）に指定されている。

#### (エ) 都立自然公園（図 18）

都立秋川丘陵自然公園（1,335ha）、都立滝山自然公園（661ha）、都立羽村草花丘陵自然公園（553ha）及び都立高尾陣場自然公園（4,403ha）が指定されている。

#### (オ) 鳥獣保護区（図 19）

奥多摩鳥獣保護区（2,576ha）、奥多摩湖鳥獣保護区（691ha）、山のふるさと村鳥獣保護区（154ha）、御岳鳥獣保護区（2,330ha）、青梅鳥獣保護区（517ha）、多摩川鳥獣保護区（4,607ha）、秋川丘陵鳥獣保護区（2,235ha）、三頭山鳥獣保護区（314ha）、奥多摩都民の森鳥獣保護区（360ha）、五日市鳥獣保護区（127ha）、横沢入鳥獣保護区（53ha）及び高尾鳥獣保護区（4,414ha）が指定されている。

#### (カ) 鳥獣保護区の特別保護地区（図 19）

奥多摩特別保護地区（1,173ha）、三頭山特別保護地区（80ha）、奥多摩湖特別保護地区（110ha）及び御岳特別保護地区（325ha）が指定されている。

#### (キ) 特定猟具使用禁止区域（銃器）（図 19）

青梅市、八王子市、あきる野市及び日の出町の一部が指定されている。なお、銃器による狩猟が実質的に行えるのは、奥多摩町全域、檜原村全域、青梅市の一部等である。

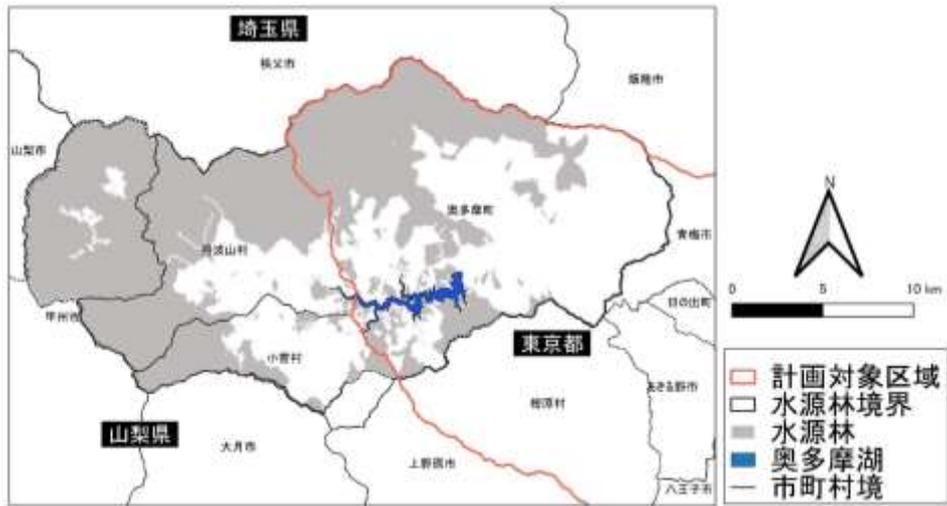


図 17 東京都水道水源林区域

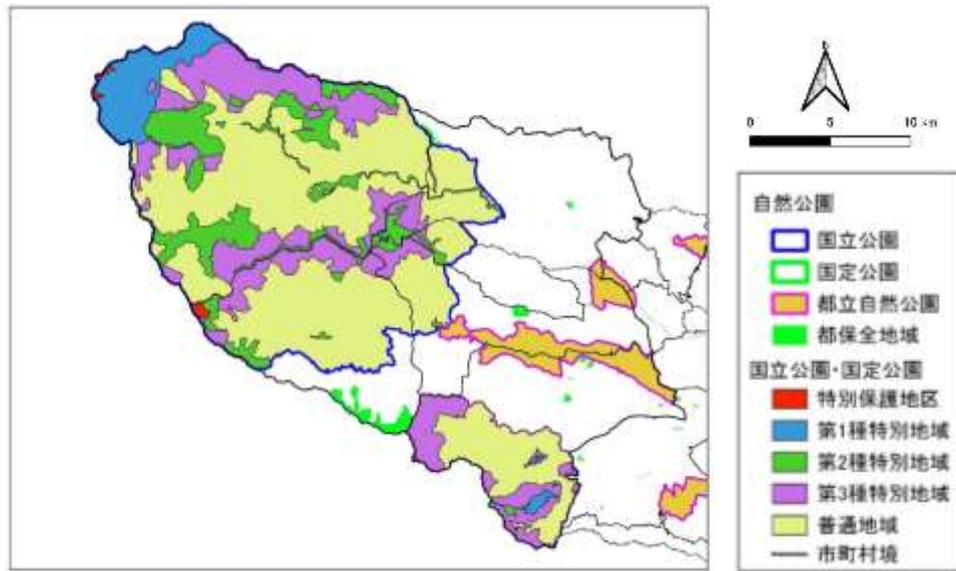


図 18 自然公園の指定

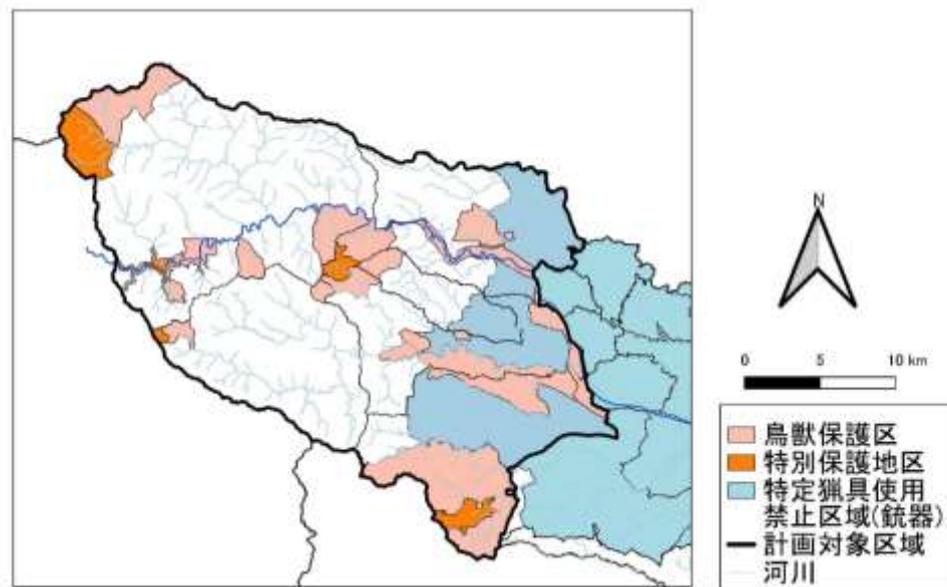


図 19 鳥獣保護区及び特定猟具使用禁止区域（銃器）の指定

### 3 生息動向

#### (1) 分布

東京のシカは、東京、埼玉、山梨、群馬及び長野の各都県にまたがる関東山地シカ地域個体群の一部であり、個体群の南東端に属している。東京都内の推定生息密度は周辺県と比較すると低く、10頭/km<sup>2</sup>以下の地域が多くなっている。(図20)

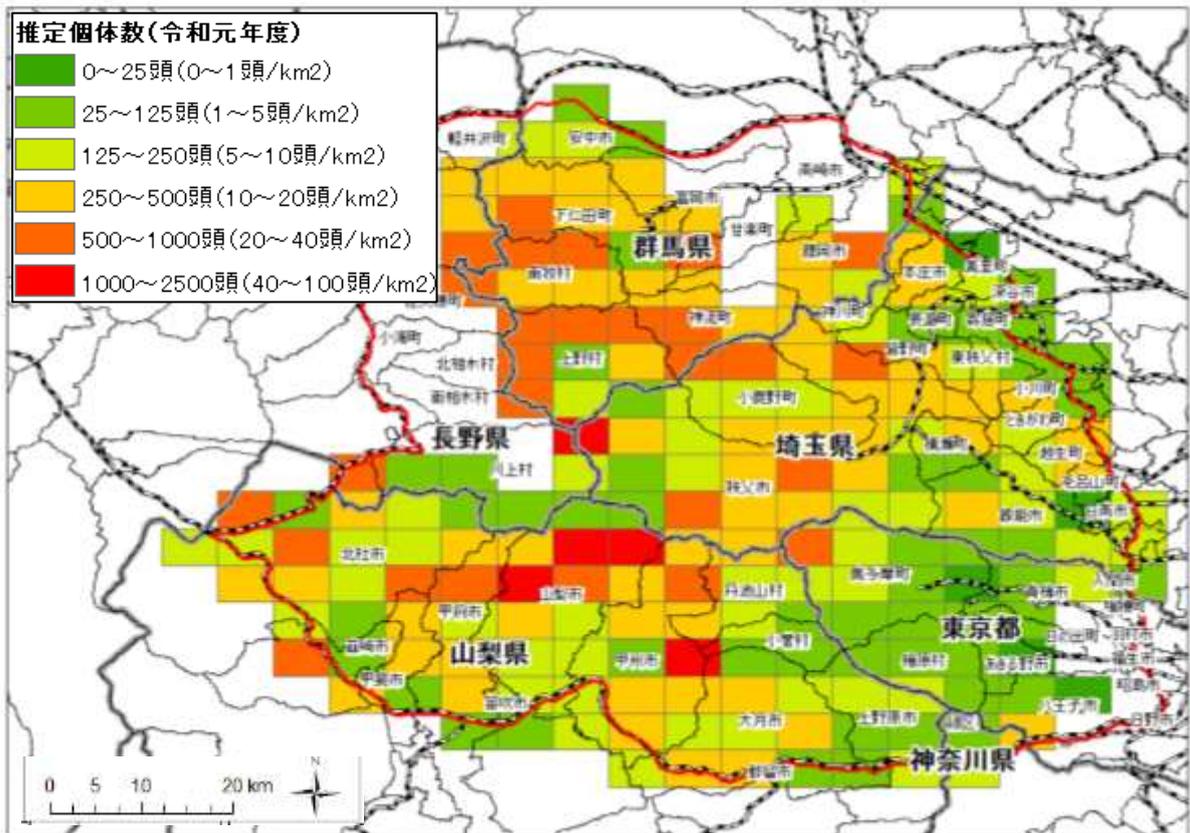


図 20 令和元年度関東山地シカ地域個体群の5 kmメッシュ毎推定個体数  
(関東地方におけるニホンジカ及びイノシシの生息状況等調査業務報告書(環境省))

## (2) 区画法調査結果

管理区域内に設定した 20 箇所の調査地点で、平成 17 年度から令和 2 年度にかけて、毎年度 10 月 15 日～11 月 15 日の間に、区画法による推定生息密度の調査を実施した。

令和 2 年度の調査では水松山や雲取山、唐松谷といった高標高域で確認頭数が多く、それぞれ 15 頭以上のシカが確認された。(図 21)

第 5 期計画期間内のエリアごとの推定生息密度の推移については、平成 30 年度の減少を除けば、A エリアで増加傾向、BC エリアで横ばい傾向であったが、令和 2 年度は全エリアで推定生息密度増加の傾向がみられた。(図 22)

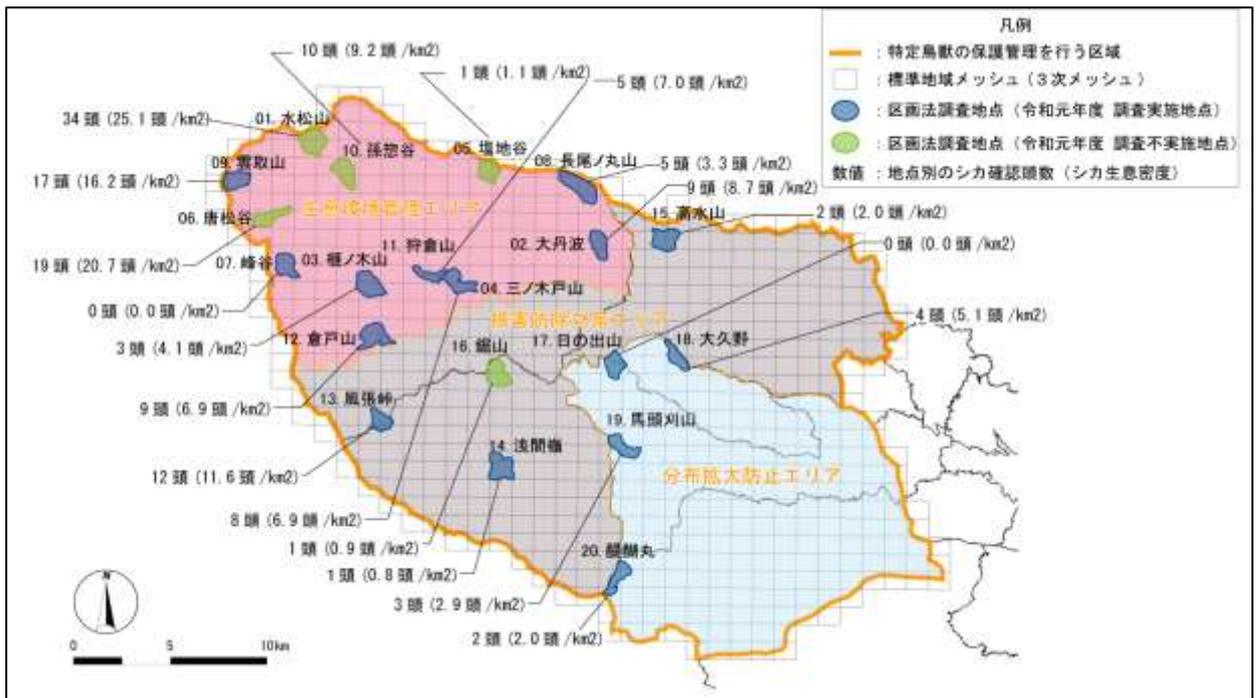


図 21 令和 2 年度の区画法調査地点ごとのニホンジカ確認頭数及び生息密度 (頭/km<sup>2</sup>)



図 22 エリアごとの推定生息密度の推移

### (3) 糞塊密度調査結果

A エリアを含む水源林管内において、平成 17 年度から令和 2 年度にかけて、例年 10 月 1 日～10 月 15 日に、計 211 km の調査ルートで糞塊密度調査を実施した。BC エリア内では令和 2 年 10 月 15 日～11 月 15 日に計 205 km のルートで糞塊密度調査を実施した。

令和 2 年度の調査の結果、雲取山周辺で糞塊密度が高く、そのほか檜原村内や八王子市北西部などで、比較的糞塊密度が高い地域が確認された。(図 23)

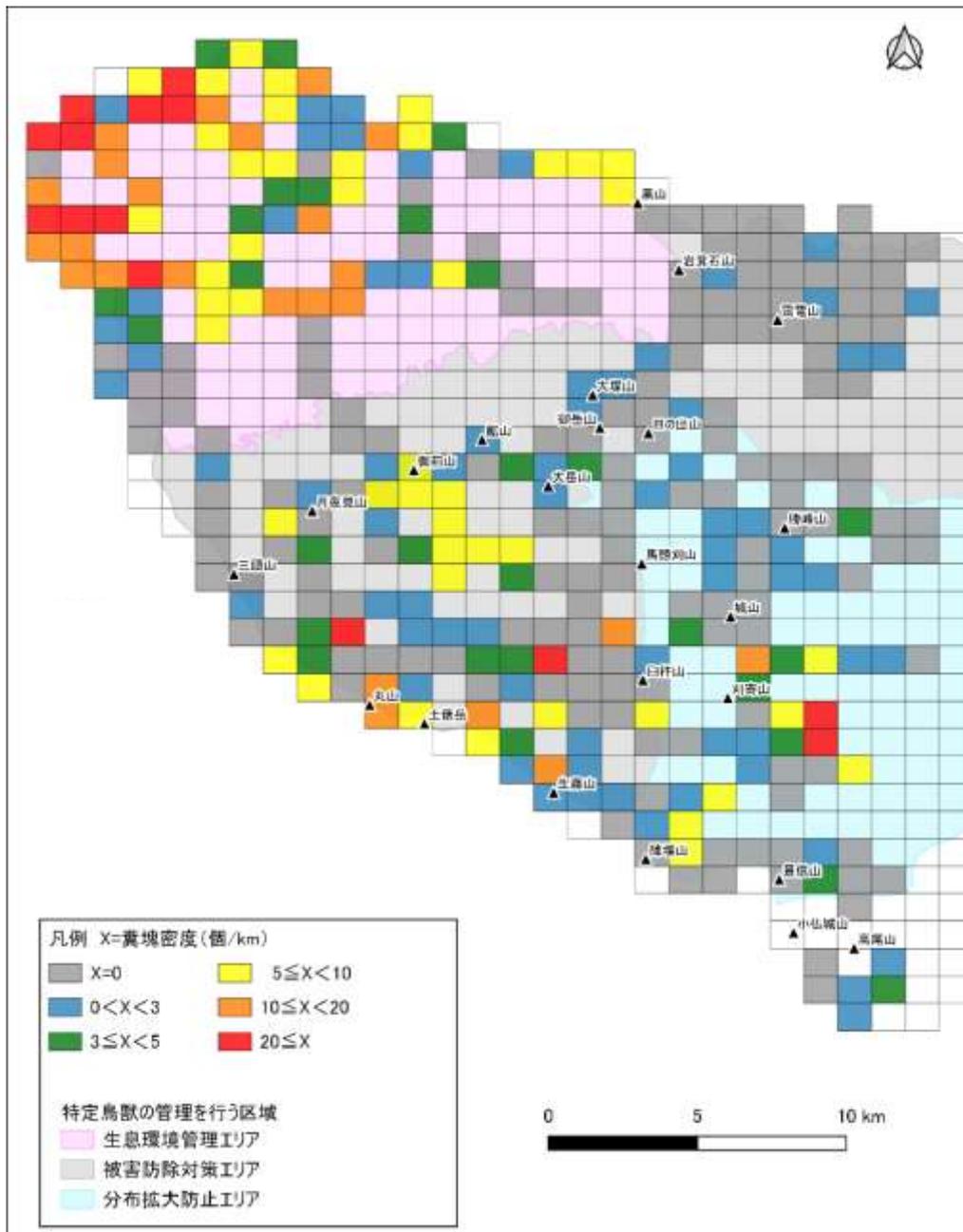


図 23 令和 2 年度糞塊密度調査結果

#### (4) センサーカメラ調査結果

BCエリア内の10地点に、各2台のセンサーカメラを設置し、平成30年度から令和2年度にかけて撮影状況を調査した。

調査の結果、青梅市加治丘陵や檜原村笹尾根では調査期間を通じて撮影頻度が高く、メスの比率も高い。また、八王子市内の八王子城跡や奥高尾丘陵では撮影頻度は低いものの、年々増加しており、メスの比率も増加している。この結果から、今後、八王子市を中心に、Cエリアへのシカの侵入、定着の進行が懸念される。(図24)

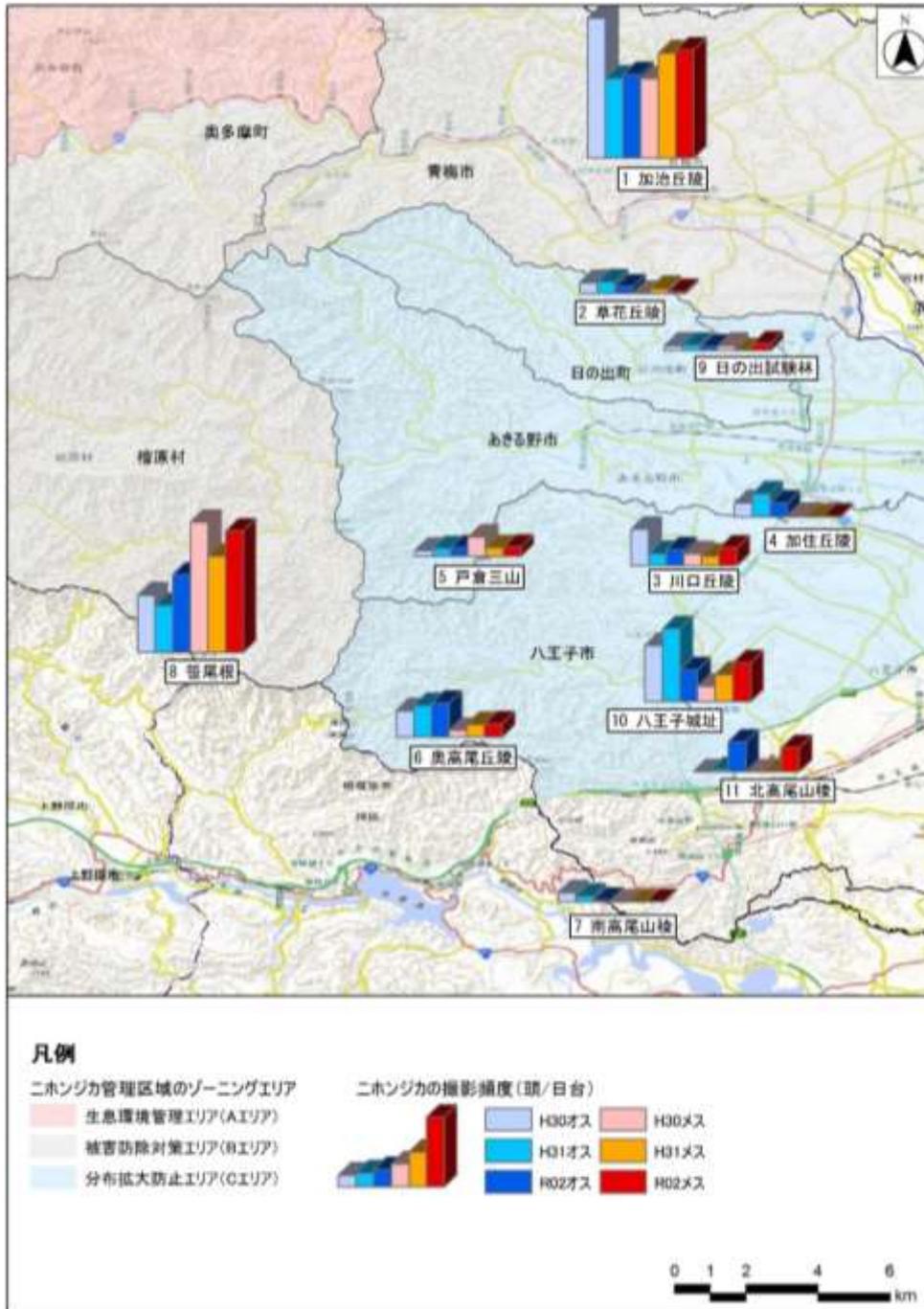


図24 センサーカメラ調査による撮影頻度(雌雄別)

(5) 階層ベイズ法を用いた個体数推定

区画法調査結果、糞塊密度、センサーカメラ撮影頻度、CPUE を密度指標とし、シカの捕獲数を基に階層ベイズ法を用いた個体数推定を実施した

市町村ごとの推定生息数を見ると、奥多摩町では平成 28 年度まで減少傾向が続いたが、その後やや増加傾向、BC エリアとなる檜原村、青梅市あきる野市及び八王子市では共通して増加傾向が続く結果となった。日の出町では推定生息数は横ばいとなった。

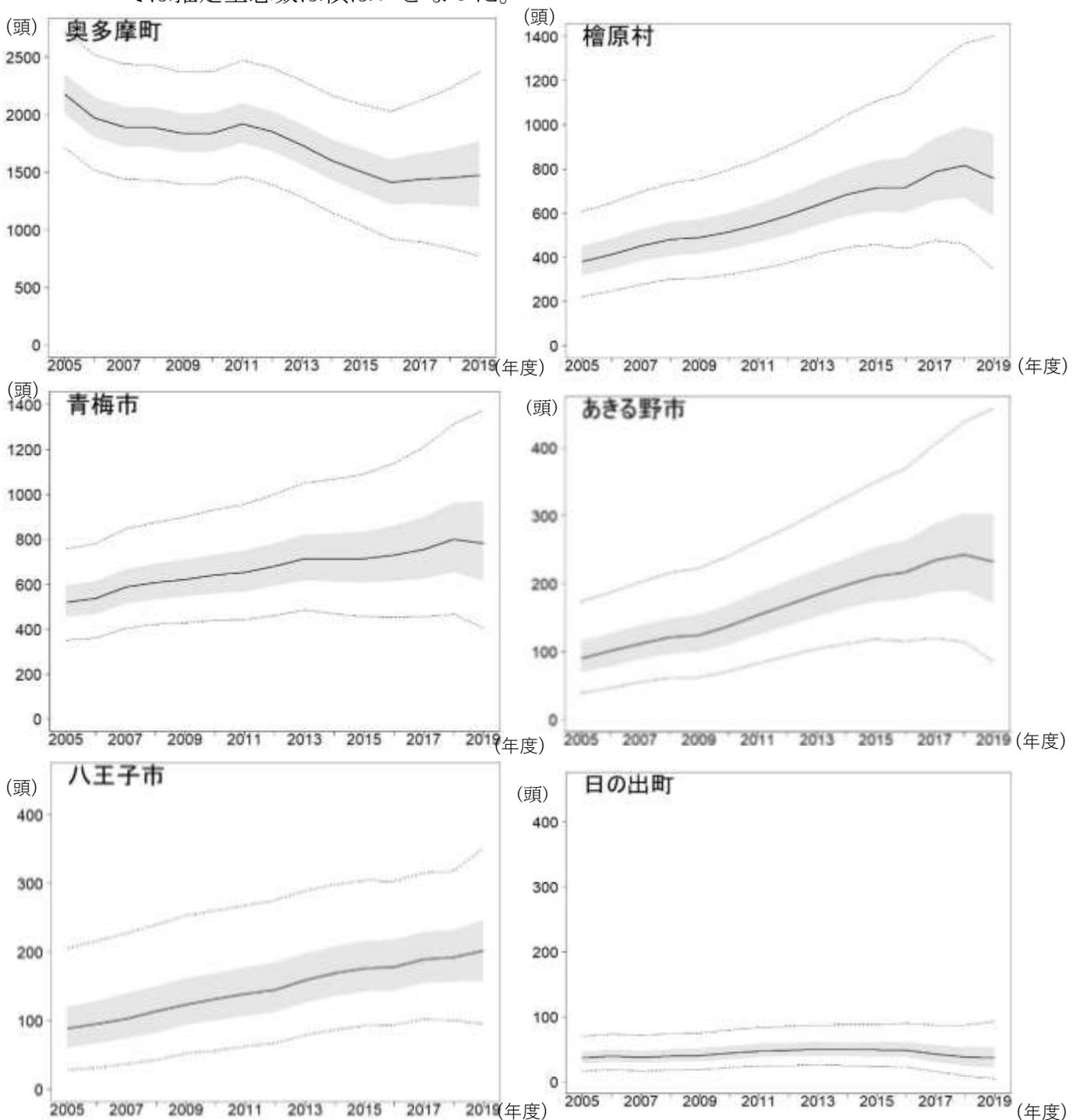


図 25 市町村ごとの個体数推定結果

## (6) VAST 法による相対密度の推定

区画法生息密度、糞塊密度、センサーカメラ撮影頻度、CPUE 及び SPUE のデータを基に、VAST 法を用いて空間補間を行い、1 kmメッシュレベルの相対密度の分布図を作成した。

解析の結果、特に雲取山周辺の密度が大きく、平成 25 年度から令和 2 年度にかけて高密度の状態が継続していることが推定された。奥多摩町東部では密度の低下、八王子市北西部では密度の上昇が推定された。

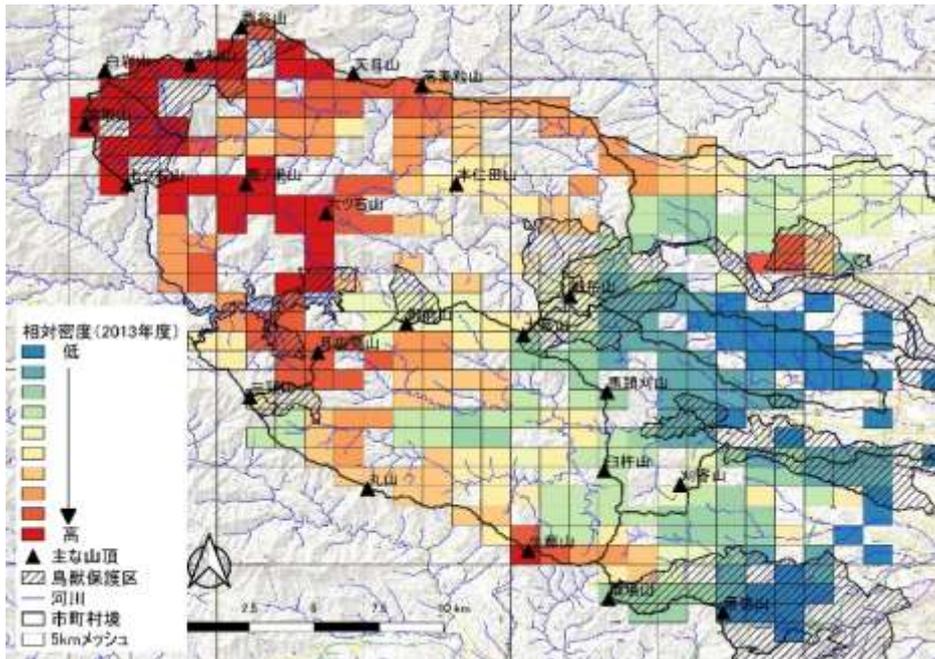


図 26 相対密度分布 (平成 25 年度)

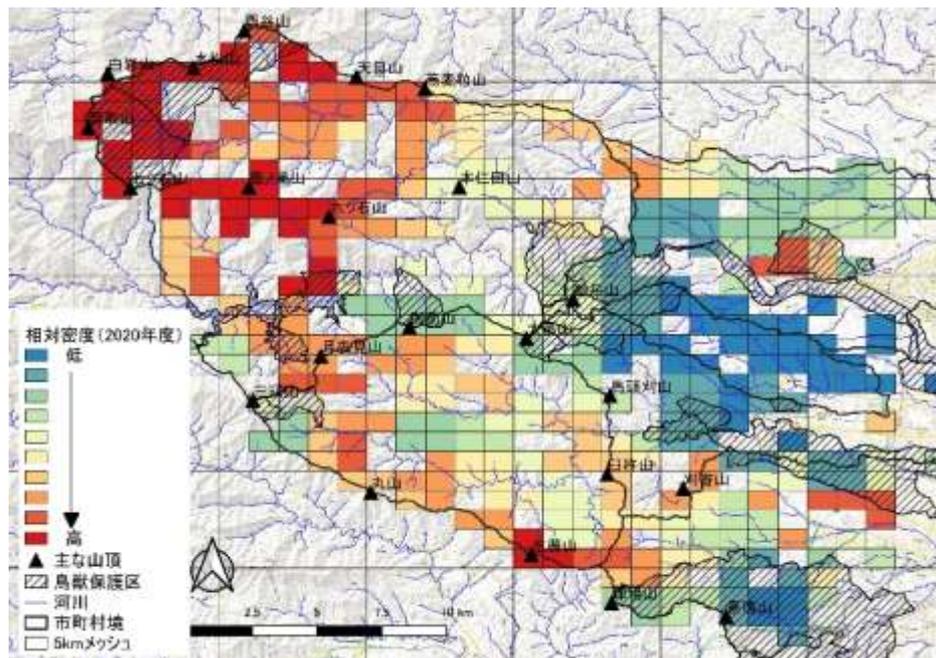


図 27 相対密度分布 (令和 2 年度)

## (7)テレメトリー調査の結果

平成29年度から令和2年度にかけて、計6個体にGPS首輪を装着し、行動の追跡を行った。各個体の詳細は表6のとおりである。

調査の結果、平成29年10月に檜原村内で捕獲されたF1701は、11月下旬に雲取山山頂付近南斜面に移動し、2月下旬頃まで定着した後、3月には再び檜原村に移動が確認された。冬季にササが残る高標高域へ移動したものと考えられる。

一方、八王子市西浅川町で捕獲したF1801及び八王子市小津町で捕獲したM1902は行動圏が小さく、年間を通じて一定の地域に定住していることが確認された。

また、令和元年12月に八王子市上恩方町で捕獲した個体M1903は、繁殖期とある9～11月に山梨県小菅村に移動し、それ以外の季節は上恩方町に定住していることが確認された。

表6 テレメトリー調査実施個体に関する情報

| 項目          | 個体名                                |                                   |                                  |                                |                                   |                                |
|-------------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
|             | F1701<br>(個体①)                     | F1702<br>(個体②)                    | F1801                            | F1901                          | M1902                             | M1903                          |
| 捕獲年月日       | 平成29年<br>10月27日                    | 平成30年<br>1月14日                    | 平成30年<br>6月23日                   | 令和元年<br>8月6日                   | 令和元年<br>11月27日                    | 令和元年<br>12月5日                  |
| 捕獲場所        | 東京都檜原<br>村                         | 東京都奥多<br>摩町                       | 八王子市西<br>浅川町                     | 八王子市上<br>恩方町                   | 八王子市小<br>津町                       | 八王子市上<br>恩方町                   |
| 性別          | メス                                 | メス                                | メス                               | メス                             | オス<br>(角4尖)                       | オス<br>(角4尖)                    |
| 齢(推定)       | 1歳以上<br>(亜成獣)                      | 1歳以上<br>(亜成獣)                     | 1歳以上<br>(亜成獣)                    | 2歳                             | 6歳以上<br>(成獣)                      | 6歳以上<br>(成獣)                   |
| 体重          | 33.2kg                             | 43.4kg                            | 40kg<br>(推定)                     | 45.5kg                         | 80kg(推定)                          | 80kg(推定)                       |
| 後足長         | 360mm                              | 360mm                             | 424mm                            | 385mm                          | 425mm                             | 455mm                          |
| 追跡期間        | 平成29年10<br>月27日～<br>平成30年5<br>月20日 | 平成30年1<br>月14日～<br>平成30年2<br>月15日 | 平成30年6<br>月23日～<br>令和元年12<br>月4日 | 令和元年8<br>月6日～<br>令和元年8<br>月23日 | 令和元年11<br>月27日～<br>令和2年12<br>月26日 | 令和元年12<br>月5日～<br>令和3年2月<br>2日 |
| 追跡日数        | 205日間                              | 32日間                              | 529日間                            | 17日間                           | 395日間                             | 425日間                          |
| 追跡終了の<br>経緯 | 死亡<br>(狩猟)                         | 死亡<br>(狩猟)                        | 計画的な首<br>輪脱落処置                   | 死亡<br>(原因不明)                   | 死亡<br>(狩猟)                        | 計画的な首輪<br>脱落処置                 |

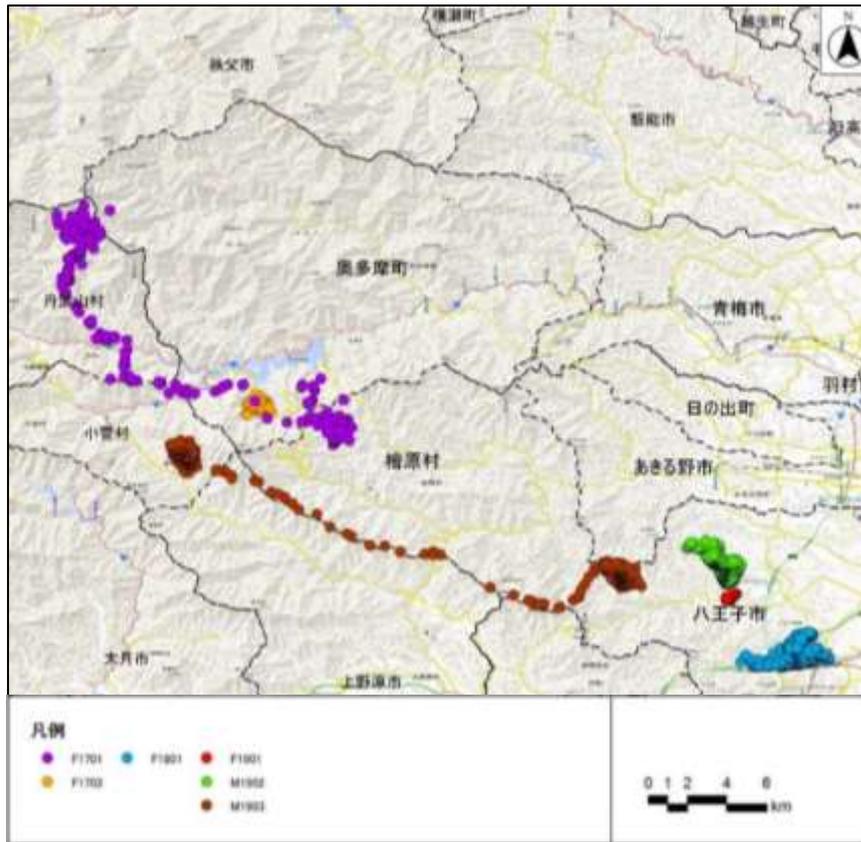


図 28 テレメトリー調査個体の行動圏

表 7 テレメトリー調査個体の行動の概要

| 個体名    | 行動圏の位置                  | 行動圏の概要  |
|--------|-------------------------|---|
| F 1701 | 東京都檜原村、奥多摩町、山梨県丹波山村、小菅村 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月下旬に奥多摩町を經由して、山梨県丹波山村の雲取山南斜面へ移動した。</li> <li>・2月中旬に、同ルートを辿って移動し始め、2月下旬に奥多摩町ヌカザス山付近に到達した。</li> <li>・3月～5月に檜原村倉掛周辺で生息していた。</li> <li>・9月20日に檜原村の林内で人為的に外された首輪を確認した。</li> <li>・秋季～冬季にかけて行動圏が大きく変動していた。</li> <li>・12月～4月は夜間より日中の活動が多かった。</li> </ul> |
| F 1702 | 東京都奥多摩町                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・放獣後32日後に奥多摩町の林内で首輪の脱落確認した。</li> </ul>   |
| F1801  | 東京都八王子市                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査期間を通して、同地域で生息していた。</li> <li>・行動圏の位置や範囲において、季節的に大きな変動はなかった。</li> <li>・日中より夜間の時間帯の活動が多かった。</li> </ul>   |
| F1901  | 東京都八王子市                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・放獣後17日以内に死亡を確認した。</li> </ul>  |
| M1902  | 東京都八王子市                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査期間を通して、同地域で生息していた。</li> <li>・行動圏の位置や範囲において、季節的に大きな変動はなかった。</li> <li>・日中より夜間の時間帯の活動が多かった。</li> </ul>   |
| M1903  | 東京都八王子市、檜原村、山梨県上野原市、小菅村 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年12月～令和2年9月及び令和2年11月～令和3年2月にかけて捕獲場所周辺で生息していた。</li> <li>・令和2年9月～11月に、山梨県小菅村へ行動圏が移動しており、発情期に行動圏が一時的に大きく変動していた。</li> <li>・非発情期では夜間の時間帯の活動が多かったが、発情期では夜間より日中の活動が多かった。</li> </ul>   |

## (8) DNA 調査の結果

平成 29 年度から令和 2 年度にかけて管理区域内で捕獲された個体からサンプルを採取し、計 364 個体分の DNA 調査を実施した。

調査の結果、相模川よりも北部の関東山地の個体から発見されている遺伝子型 CN-2 を持つ個体が最も多く計 236 個体が確認された。次いで東京都、埼玉県、神奈川県及び山梨県の広域のシカから発見されている遺伝子型 CN-1 を持つ個体が 97 個体確認され、そのほか相模川より北部の関東山地のシカから発見された CN-3 が 27 個体、相模川より北部の東京都、山梨県のシカから発見された CN-5 の遺伝子系を持つ個体が 4 個体確認された。

丹沢山地由来特有の遺伝子型を持つ個体は確認されなかった。

表 8 確認された遺伝子型の数と特徴

| 遺伝子型 | 発見数 | 遺伝子型の特徴             |
|------|-----|---------------------|
| CN-1 | 97  | 東京都、埼玉県、神奈川県、山梨県の広域 |
| CN-2 | 236 | 相模川より北部の関東山地のシカ     |
| CN-3 | 27  | 相模川より北部の関東山地のシカ     |
| CN-4 | —   | 丹沢山地に特有の遺伝子型        |
| CN-5 | 4   | 相模川より北部の東京都、山梨県のシカ  |
| 合計   | 364 |                     |

## 4 シカによる被害の現状

### (1) 植生被害

シカによる植生被害の状況を把握するため、水源林管内では72箇所の調査地点で平成26年度からシカによる植生への長期的な影響度の調査を実施した。BCエリア内については、令和元年度に200か所の調査地点を設定し、シカによる植生への長期的な影響度の調査を実施した。シカによる植生への長期的な影響度は表9を基準としランク付けした。

令和元年度の調査の結果、水源林管内では、全域でシカによる植生被害が大きく、水源林のうち東京都内の範囲については29箇所の調査地点のうち21地点で影響度ランクが3以上となっている。

Bエリアについては調査地点の69地点中26地点で影響度ランクが3となっており、特に標高の高い地点で植生影響度が高い傾向があった。また、Cエリアについては131地点のうち、檜原村と八王子市の境界付近を中心に9地点で影響度ランクが3となっており、被害は大きく拡大していないことが示唆された。

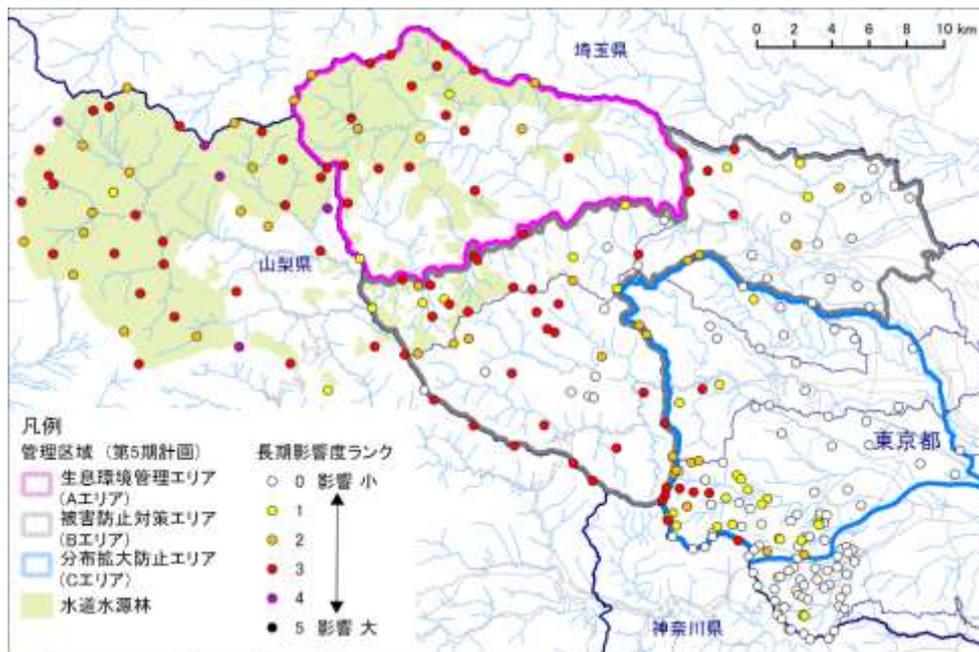


図29 管理区域及び水道水源林における長期的な植生影響度(令和元年度)

表9 長期影響度ランクの基準

| 区分 | 木本の矮性化、枯死、不嗜好性の繁茂等について                                       |
|----|--|
| 0  | 従来の植生が維持されている。高木性樹種の稚樹が生育。更新可能な状態。                           |
| 1  | 低木、スズタケに矮性化が見られる。不嗜好性以外の草本が小型化して非開花個体が増える。                   |
| 2  | 樹木に古新の樹皮剥ぎが目立つ。スズタケに枯死個体が見られ、他のササに矮性化が見られる。不嗜好性以外の草本の開花個体なし。 |
| 3  | 樹木に枯死個体を確認できる。スズタケは枯死個体が目立つ。不嗜好性植物が目立つ。ディアラインができる。           |
| 4  | 樹木に枯死個体が目立つ。全てのササ種に枯死個体が見られる。土壌浸食が見られ、これにより木本の根が露出。          |
| 5  | 植物がほぼ枯死。地表土壌が流出し、裸地（岩山）に近い状態になる。                             |

## 第2章 被害対策の推移

### 1 個体数管理

#### (1) 狩猟による捕獲の推移

奥多摩町では、国によるメスジカの捕獲禁止に加え、昭和51年から平成14年までの26年間にわたりオスジカの狩猟禁止措置がとられていた。このため、平成13年度以前の東京都における捕獲頭数は僅かであったが、禁止が解除された平成14年度には75頭、平成15年度には102頭、平成16年度には143頭のオスジカが捕獲された。さらに、メスジカの狩猟禁止が解除された平成17年度にはオス・メス合わせて247頭が捕獲された。その後は増減があるものの、例年150～250頭程度が捕獲されている。(図30)

また、平成17年度以降は狩猟規制の緩和として、狩猟期間の延長(13日間又は14日間)を行っており、例年延長期間中に10～30頭程度のシカの捕獲がされている(表10)。

市町村別に捕獲実績の推移を見ると奥多摩町では捕獲頭数の減少が続き平成30年度以降の捕獲数は100頭以下となっている。青梅市及び檜原村では平成25年度頃から増加傾向となり捕獲数は奥多摩町と同程度となっている。八王子市、あきる野市及び日の出町では、狩猟可能区域が少なく、平成28年度まで捕獲実績は10頭に満たなかったが、その後増加傾向となり八王子市では令和2年度の捕獲数30頭を超えるまで増加した。(図31)。

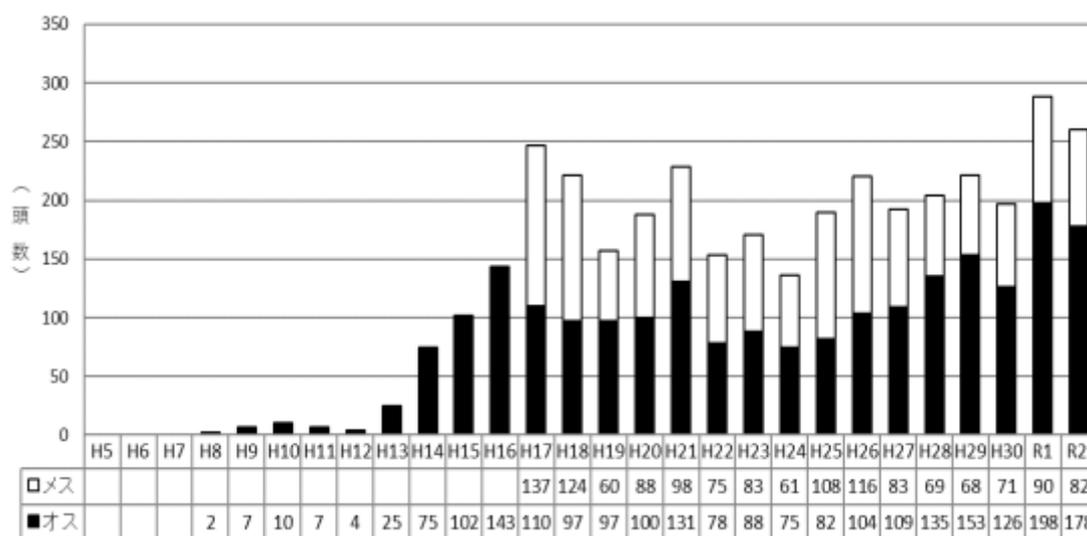


図30 狩猟によるシカ捕獲頭数の推移

表 10 狩猟によるシカ捕獲頭数 (オス・メス別)

(単位：頭)

| 年度   | H17 |     |     | H18 |     |     | H19 |    |     | H20 |    |     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 雌雄   | オス  | メス  | 計   | オス  | メス  | 計   | オス  | メス | 計   | オス  | メス | 計   |
| 通常猟期 | 95  | 113 | 208 | 90  | 115 | 205 | 84  | 53 | 137 | 92  | 74 | 166 |
| 猟期延長 | 15  | 24  | 39  | 7   | 9   | 16  | 13  | 7  | 20  | 8   | 14 | 22  |
| 計    | 110 | 137 | 247 | 97  | 124 | 221 | 97  | 60 | 157 | 100 | 88 | 188 |

| 年度   | H21 |    |     | H22 |    |     | H23 |    |     | H24 |    |     |
|------|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 雌雄   | オス  | メス | 計   |
| 通常猟期 | 118 | 93 | 211 | 70  | 67 | 137 | 78  | 73 | 151 | 68  | 52 | 120 |
| 猟期延長 | 13  | 5  | 18  | 8   | 8  | 16  | 10  | 10 | 20  | 7   | 9  | 16  |
| 計    | 131 | 98 | 229 | 78  | 75 | 153 | 88  | 83 | 171 | 75  | 61 | 136 |

| 年度   | H25 |     |     | H26 |     |     | H27 |    |     | H28 |    |     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 雌雄   | オス  | メス  | 計   | オス  | メス  | 計   | オス  | メス | 計   | オス  | メス | 計   |
| 通常猟期 | 79  | 107 | 186 | 96  | 106 | 202 | 94  | 61 | 155 | 117 | 58 | 175 |
| 猟期延長 | 3   | 1   | 4   | 8   | 10  | 18  | 15  | 22 | 37  | 18  | 11 | 29  |
| 計    | 82  | 108 | 190 | 104 | 116 | 220 | 109 | 83 | 192 | 135 | 69 | 204 |

| 年度   | H29 |    |     | H30 |    |     | R1  |    |     | R2  |    |     |
|------|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| 雌雄   | オス  | メス | 計   |
| 通常猟期 | 130 | 57 | 187 | 117 | 58 | 175 | 167 | 70 | 237 | 159 | 72 | 231 |
| 猟期延長 | 23  | 11 | 34  | 9   | 13 | 22  | 31  | 20 | 51  | 19  | 10 | 29  |
| 計    | 153 | 68 | 221 | 126 | 71 | 197 | 198 | 90 | 288 | 178 | 82 | 260 |

※通常猟期(11/15 から 2/15 まで)に加えて、奥多摩町、青梅市及び檜原村の全域で狩猟期間を延長 (2/16 から 2/末まで)

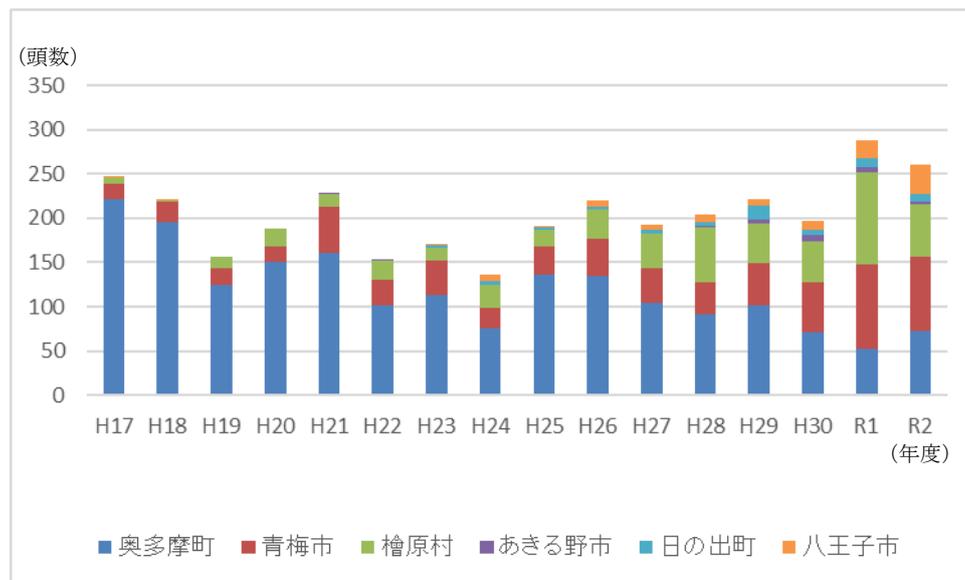


図 31 市町村別の狩猟によるシカ捕獲頭数

## (2) 管理捕獲による捕獲の推移

昭和 60 年頃から、農林業被害が発生するようになり、その規模は年々大きくなったため、対策として有害鳥獣捕獲を実施した。捕獲頭数は当初 10 頭であったが、平成 16 年度には 426 頭に増加した。管理計画を策定した平成 17 年度以降は、個体数の調整を目的とする管理捕獲として捕獲が行われ、捕獲頭数は年々減少し、平成 25 年度には総捕獲数が 208 頭となった。その後、捕獲頭数は第 3、4 期計画期間には横ばいから微増、第 5 期計画期間に大きく増加し、令和 2 年度の捕獲頭数は 487 頭と過去最多となった。(図 32)

捕獲実績を市町村別に見ると、奥多摩町では、第 1 期計画（平成 17 年度から平成 19 年度まで）には年間 300 頭以上の捕獲実績があったが、徐々に減少し、平成 27 年度には捕獲実績が 127 頭にまで減少した。その後第 5 期計画内ではやや増加傾向となり、令和 2 年度には 194 頭の捕獲となった。青梅市、檜原村における捕獲実績は、平成 27 年度頃から増加が続いており、令和 2 年度には青梅市で 106 頭、檜原村で 149 頭を捕獲するに至っている。あきる野市、日の出町、八王子市では平成 27 年度頃から捕獲され始め、近年は年間 10 頭前後の捕獲となっている。(図 33)

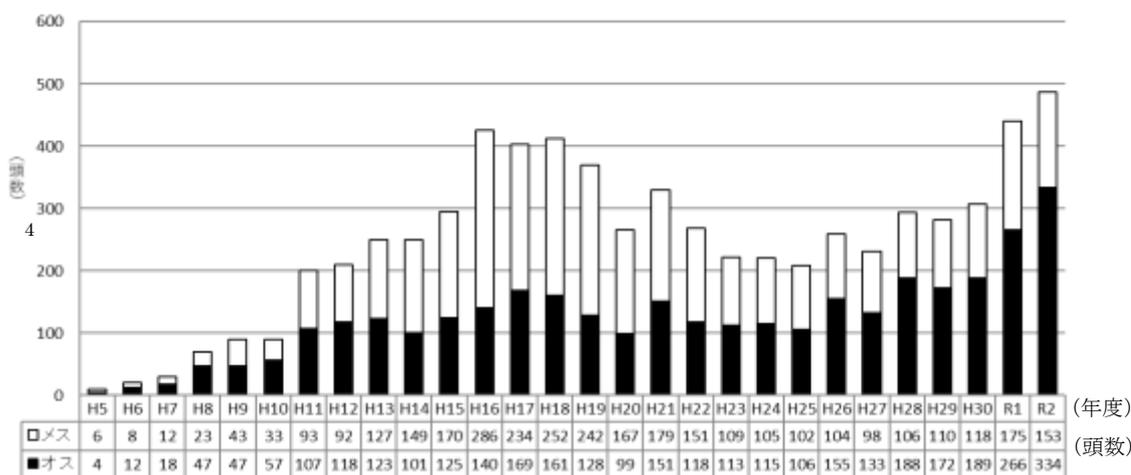


図 32 管理捕獲によるシカ捕獲頭数の推移

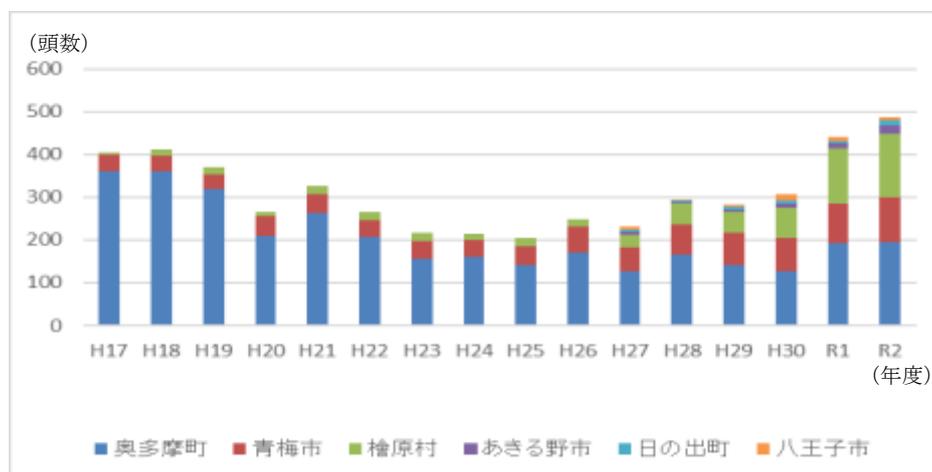


図 33 管理捕獲によるシカ捕獲頭数（市町村別）

## 2 被害防除対策の実施状況

### (1) 水道水源林における被害対策

植栽した苗木の健全な育成を図り森林への被害を防止するため、水道水源林では、地形等を勘案してシカ侵入防止柵、単木保護ネット等の防護措置を講じた（表 11）。

表 11 水道水源林における森林被害対策のための柵等の施行状況

| 年度         | H17    | H18    | H19 | H20 | H21 | H22 | H23   |
|------------|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 侵入防止柵(m)   | 3,638  | 12,110 | 470 | —   | —   | —   | 3,068 |
| 単木保護ネット(本) | 16,178 | 11,695 | —   | —   | —   | —   | —     |

※平成24年度から令和2年度まで、事業実績なし



写真1 単木保護ネットによる樹木の保護



写真2 侵入防止柵による下層植生の回復

### (2) 治山・砂防対策

平成 16 年に奥多摩町のオオダワ、逆川（ウスバ）及び雲風呂谷の 3 か所において土砂流出が発生し、被害規模は 14ha にも及んだが、治山事業により山腹斜面からの土砂流出を防止し、山腹の緑化により対策が完了している。その後、シカによる著しい土砂の流出箇所は確認されていない。

表 12 治山事業の実績

| 年度             | H17 | H18 | H19     |
|----------------|-----|-----|---------|
| 山腹工（柵工・筋工・伏工等） | 5ha | 9ha | 谷止工 1 基 |

※平成 20 年度から令和 2 年度まで、事業実績なし

表 13 砂防事業の実績

| 年 度 | H17 | H18 | H19    | H20    | H21    | H22     | H23                 | H24                 |
|-----|-----|-----|--------|--------|--------|---------|---------------------|---------------------|
| 谷止工 | 3 基 | 4 基 | 6 基    | —      | —      | —       | —                   | —                   |
| 法面工 | —   | —   | 3.00ha | 3.00ha | 0.07ha | 0.157ha | —                   | —                   |
| 筋 工 | —   | —   | —      | —      | —      | 510.0m  | —                   | —                   |
| 調 査 | —   | —   | —      | —      | —      | —       | モニタリング<br>調査<br>(※) | モニタリング<br>調査<br>(※) |

※ モニタリング調査：事業後の追跡調査

※※平成 25 年度から令和 2 年度まで、事業実績なし



復旧工事前



復旧工事後



復旧工事前



復旧工事後

写真3 奥多摩町オオダワの復旧

### 第3章 隣接県におけるシカの生息状況と管理の概況

関東山地シカ地域個体群を抱える関係県では、群馬県が平成12年度、埼玉県が平成18年度、神奈川県が平成15年度、山梨県が平成16年度及び長野県が平成13年度にそれぞれシカの管理計画を策定している。

隣接する東京都、埼玉県及び山梨県のシカ捕獲頭数は、平成17年度は合計約2,400頭だったが、その後各都県で捕獲数が増加を続け、令和2年度には合計約22,000頭にまで至っている（図34）。

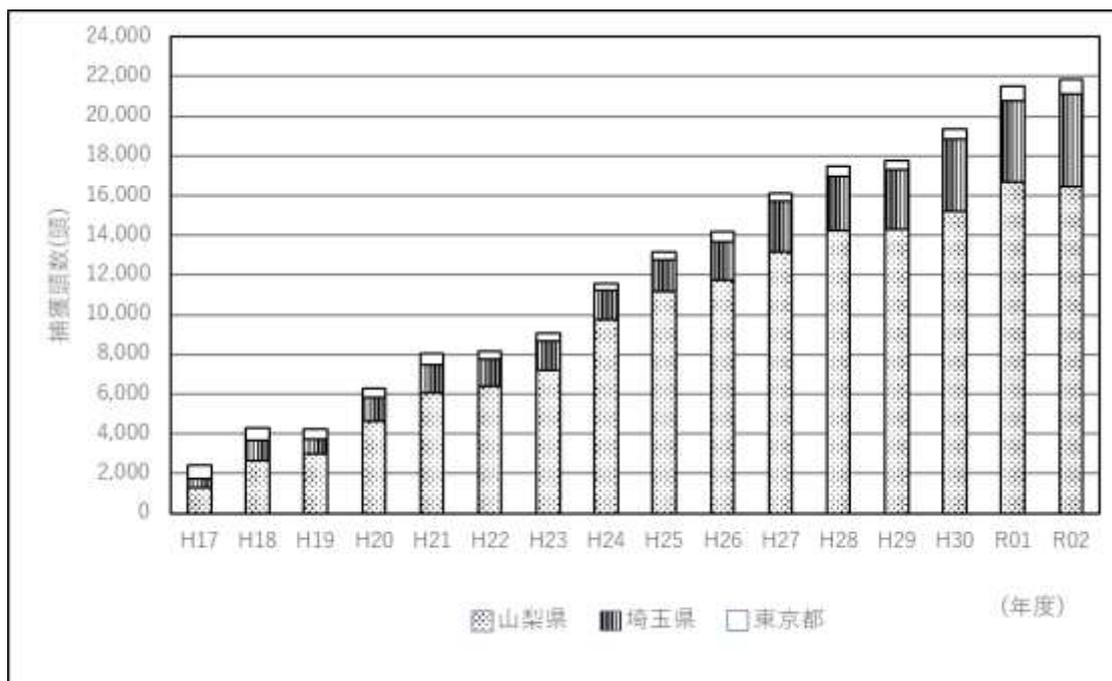


図34 1都2県におけるシカ捕獲頭数の経年変化<sup>8</sup>

<sup>8</sup> 平成29年度までのデータは『鳥獣関係統計』（環境省）、平成30年度以降データは各県より提供。

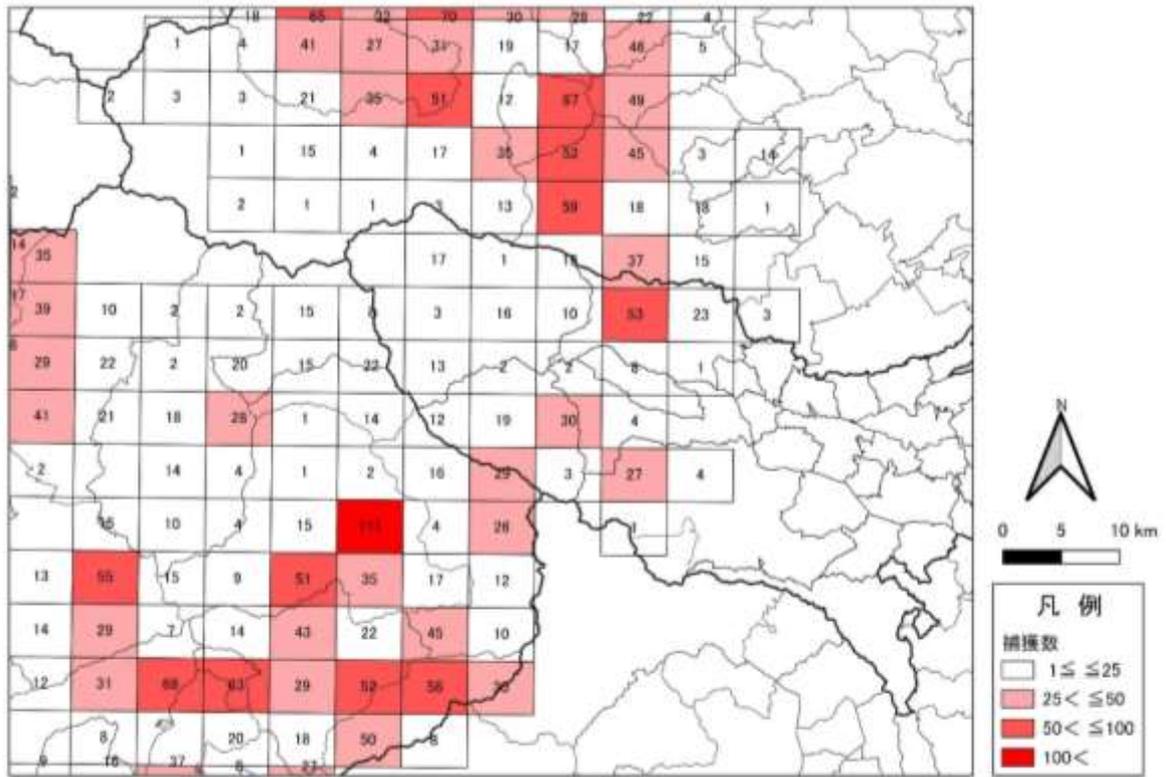


図 35 都県境における狩猟によるシカ捕獲(令和 2 年度)<sup>8</sup>

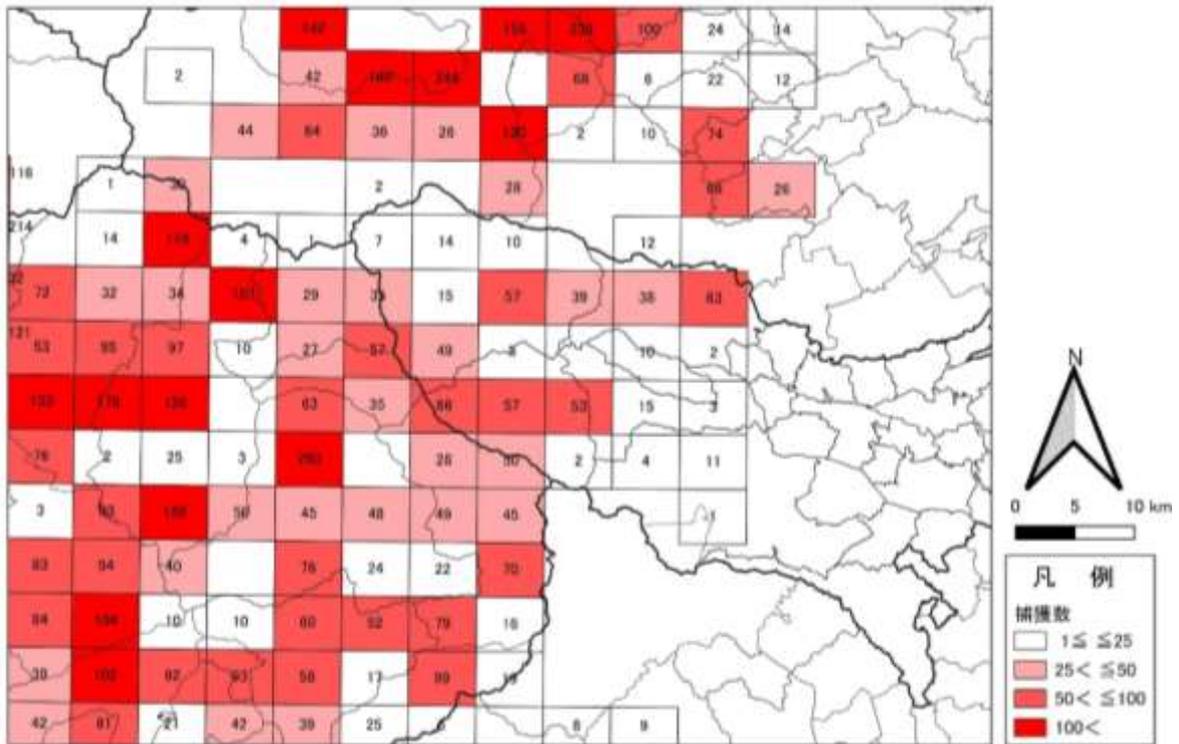


図 36 都県境における管理捕獲によるシカ捕獲(令和 2 年度)

<sup>8</sup> 図 35 及び図 36 は、各県提供データを基に作成。

## 第4章 狩猟者の動向、数及び年齢構成の推移<sup>9</sup>

### 1 狩猟免許交付状況 受験者数確認

東京都の狩猟免許交付状況について見ると（図 37）、平成 10 年度以降、平成 25 年度まで減少傾向が続いたが、平成 26 年度以降は主に罾猟で増加の傾向が続いている。

#### (1) 免許種別（図 37）

免許種別に交付状況を見ると、第一種銃猟免許（散弾銃及び空気銃。以下「第一種銃猟」という。）については、平成 25 年度まで減少傾向が続きその後は横ばいである。第二種銃猟免許（空気銃。以下「第二種銃猟」という。）については、平成 18 年度以降はほぼ横ばいの状態にある。罾猟免許及びわな猟免許（以下「罾・わな」という。）については、平成 25 年度の減少を除けば、増加傾向が続いている。

#### (2) 年齢別（図 38）

年齢別に交付状況を見ると、平成 15 年度までの傾向としては、50 歳代及び 60 歳以上への交付件数は同程度であったが、平成 16 年度以降、50 歳代の割合が減少し、全体の交付件数も減少傾向となった。しかし、平成 25 年度以降は 50 歳以下への交付件数が増加し、全体の交付件数も増加傾向となっている。

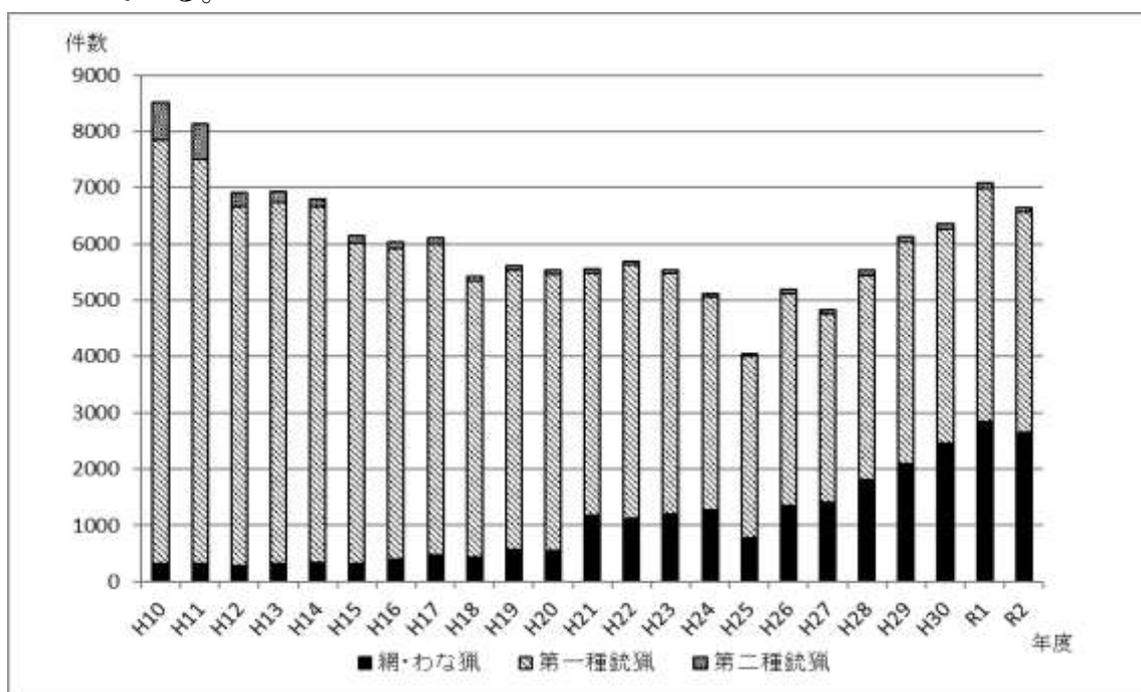


図 37 東京都の狩猟免許交付状況

<sup>9</sup> 図 37 から図 40 までの図及び表 14 について、平成 29 年度までのデータは『鳥獣関係統計』（環境省）、平成 30 年度以降のデータは東京都調査による。

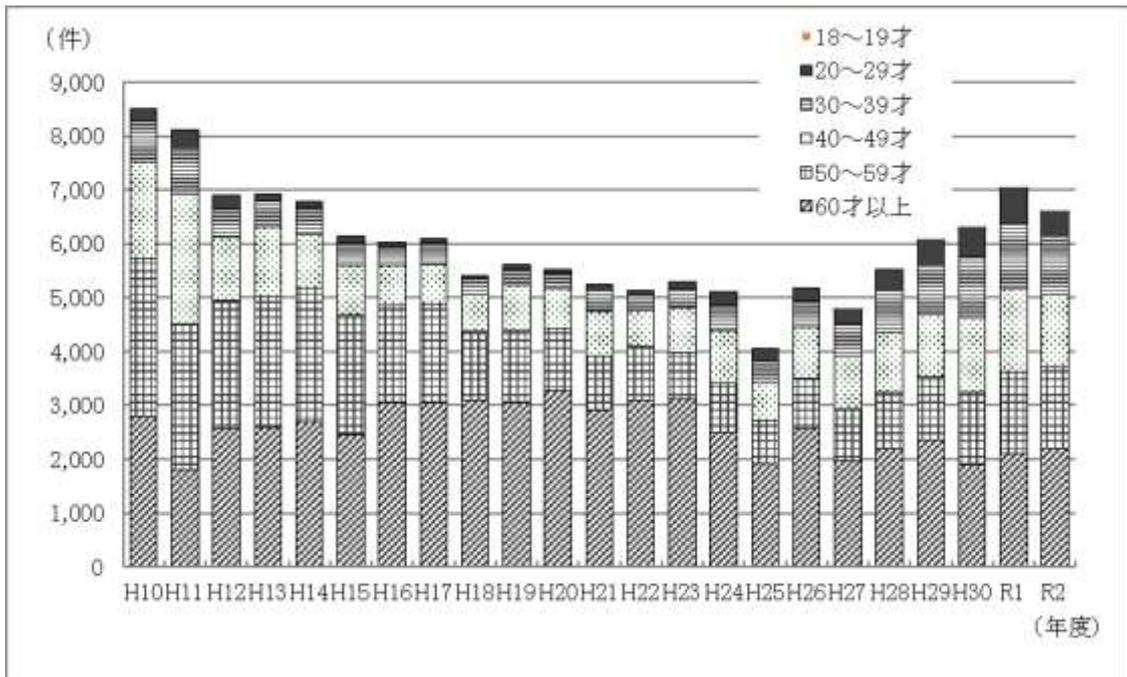


図 38 東京都の狩猟免許交付状況（年齢別）

## 2 狩猟者登録証交付状況

東京都の狩猟者登録証交付状況を見ると（図 39）、都内で狩猟をするために必要となる狩猟者登録証を交付した件数は、平成 26 年度まで減少傾向にあったが、平成 27 年度以降は微増となっている。

平成 10 年度から令和元年度までの間に、都内の狩猟免許保持者のうち、狩猟者登録手続きを行った者は 1 割未満である（表 14）。

### (1) 免許種別（図 39）

免許種別ごとに交付状況を見ると、第一種銃猟については平成 17 年度から逡減し、平成 25 年度以降は約 250～300 件程度で横ばいとなっている。第二種銃猟については平成 14 年度から減少したが、平成 24 年度以降は 20 件程度で横ばいとなっている。網・わなについては、平成 19 年度以降、増加傾向にある。

### (2) 都内外在住者別（図 40）

都外在住者への狩猟者登録証交付件数は、全体の 1 割未満である。都外在住者のうち、神奈川県や埼玉県など隣接県からの登録が多い。

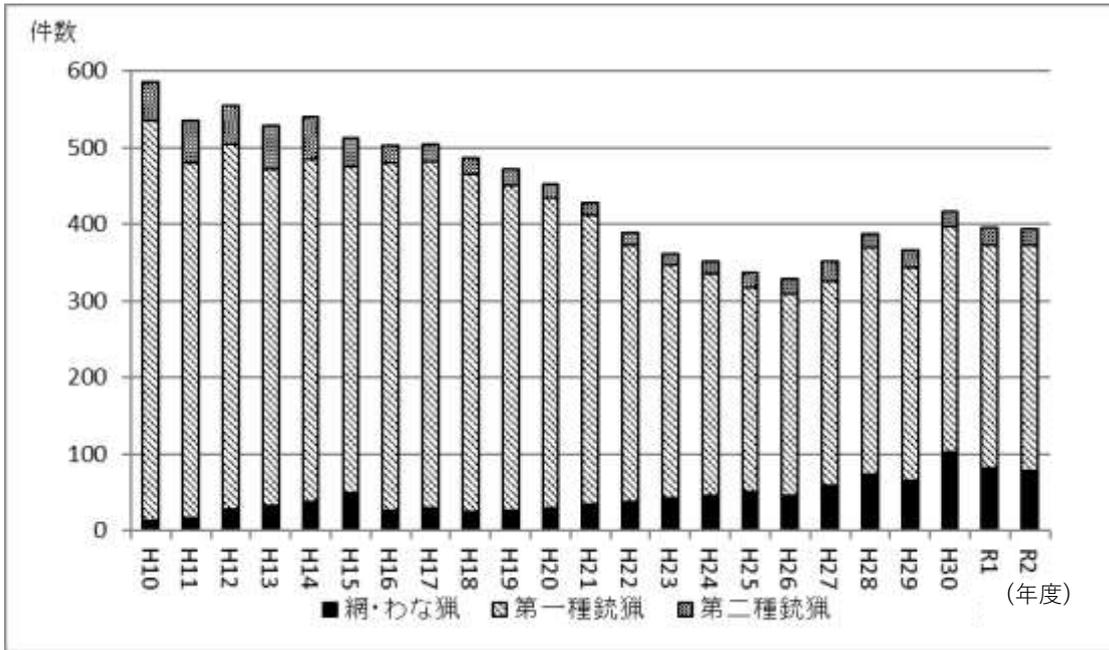


図 39 東京都の狩猟者登録証交付状況（免許種別）

表 14 東京都における狩猟免許交付状況及び狩猟者登録証交付状況の推移（単位：件）

| 年度         | H10   | H11   | H12   | H13   | H14   | H15   | H16   | H17   | H18   | H19   | H20   |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 狩猟免許交付件数   | 8,510 | 8,132 | 6,910 | 6,937 | 6,790 | 6,144 | 6,031 | 6,104 | 5,419 | 5,618 | 5,525 |
| 狩猟者登録証交付件数 | 586   | 535   | 555   | 528   | 540   | 512   | 502   | 505   | 487   | 471   | 452   |

| 年度         | H21   | H22   | H23   | H24   | H25   | H26   | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | R2    |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 狩猟免許交付件数   | 5,549 | 5,692 | 5,524 | 5,118 | 4,053 | 5,192 | 4,827 | 5,531 | 6,115 | 6,335 | 7,065 | 6,645 |
| 狩猟者登録証交付件数 | 427   | 389   | 361   | 351   | 337   | 329   | 352   | 387   | 366   | 388   | 396   | 394   |

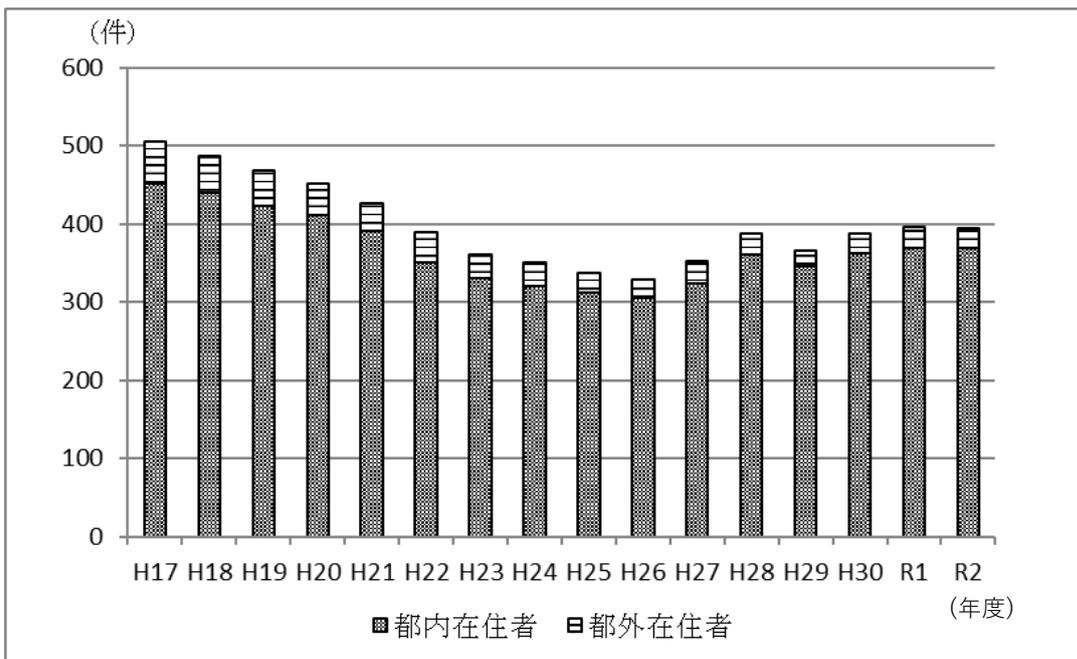


図 40 東京都の狩猟者登録証交付状況（都内外在住者別）

(参考：管理計画の期間)

| 計画名称              | 計画期間                                     |
|-------------------|--|
| 東京都シカ保護管理計画       | 平成 17 年 9 月 30 日から<br>平成 20 年 3 月 31 日まで |
| 第 2 期東京都シカ保護管理計画  | 平成 20 年 4 月 1 日から<br>平成 24 年 3 月 31 日まで  |
| 第 3 期東京都シカ保護管理計画  | 平成 24 年 4 月 1 日から<br>平成 27 年 5 月 28 日まで  |
| 第 4 期東京都第二種シカ管理計画 | 平成 27 年 5 月 29 日から<br>平成 29 年 3 月 31 日まで |
| 第 5 期東京都第二種シカ管理計画 | 平成 29 年 4 月 1 日から<br>令和 4 年 3 月 31 日まで   |
| 第 6 期東京都第二種シカ管理計画 | 令和 4 年 4 月 1 日から<br>令和 9 年 3 月 31 日まで    |

第6期東京都第二種シカ管理計画(案)に寄せられたパブリックコメント

| 通し番号 | 該当箇所 |          |  | ご意見の内容  | 都の見解(案)  | 修正の有無 |
|------|------|----------|--|---|--|-------|
|      | ページ  | 行        | 項目   |   |  |       |
| 1    | 15   | 32       | 第3章 管理計画<br>4 個体数管理<br>(4)担い手の確保               | <p>狩猟免許試験の実施回数と定員を早急に増やし、狩猟免許取得希望者全員が漏れなく受験できる状態にしていきたい。</p> <p>狩猟免許試験の実施回数と定員の制限のために、狩猟免許取得希望者が受験を申し込んでも抽選漏れする状況が継続し、管理捕獲や狩猟の担い手確保の著しい障害となっているためです。</p> <p>私は東京都でシカの管理捕獲や狩猟に従事しております。計画(案)の通り、地元猟友会で徐々に若い世代が増えていますが、やはりまだまだ担い手が不足している状況です。</p> <p>そのため、私自身も知人などで管理捕獲や狩猟に興味のある方がいれば、狩猟免許試験を受けるよう声をかけてきました。</p> <p>しかし、私の知る範囲だけでも、奥多摩町での管理捕獲への従事希望者5人が、令和2年度あるいは令和3年度の狩猟免許試験に申し込んだものの、抽選漏れ受験できず、未だ管理捕獲に従事できない状況です。中には、3回申し込んで3回とも抽選漏れとなり受験できていない知人もいます。</p> <p>担い手確保のために、狩猟免許取得希望者ができる限り早急に狩猟免許を取得できるよう、どうか狩猟免許試験の拡充をお願いいたします。</p>   | <p>近年、受験希望者数の増加に鑑み試験の開催回数を増やしてきています。令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策として試験会場の定員を半減させながら、抽選で外れた方を対象として試験を追加開催しました。</p> <p>今後は、十分に感染症対策を講じた上で、収容人数の大きい会場を確保するなど、多くの方が受験できるようにしていきます。</p>                            | 無     |
| 2    | 8    | 2        | 第2章 第5期計画までの成果と課題<br>(4)農林業被害と対策状況             | <p>シカの被害は減少傾向(1ページ1.計画策定の経緯)という事ですので、これ以上殺すという手段でなく、防御柵や電気柵やネット設置を強化して、棲み分けを図るようお願い致します。</p>  | <p>シカの被害が減少傾向になっているという事実はありません。</p> <p>今後とも農林業被害等を防止する柵やネットを設置していくほか、シカの捕獲を強化していきます。</p>   | 無     |
| 3    | 15   | 28<br>37 | 第3章 管理計画<br>4 個体数管理<br>(3)狩猟規制の緩和<br>(4)担い手の確保 | <p>免許を取らせる為の支援や、補助金を出して、狩猟者を増やす、残酷な狩猟を推進する、猟の時期を延長するなど、動物を利用する為、利益の為と言われても致し方なく、猟友会との癒着をも疑われかねません。猟友会や狩猟家は、命を平気で殺し、彼等には莫大な報酬が支払われるとの事、その報酬には、国民の血税が使われます。その報酬目当てにゲーム感覚で狩猟をするケースもあると思います。</p> <p>また、彼等は、狩猟に犬を使い、シーズンが終わると、忠実な猟犬を平気で山に捨てたりします。木に縛り付けて帰れないようにしたり、そのやり方は、残酷極まりないものです。</p> <p>捨てられて彷徨ううち、イノシシ用のくくりわなにかかっしまい動けず、そのまま命を落としたり、運良く助かっても脚を失うなど、猟にはそのような残酷な一面もあります。</p> <p>狩猟を推進する都として、そういった狩猟者の倫理観はどうか、厳しいルールを定めたり、厳しい罰則を設けるなどしなければ、命を簡単に弄ぶ輩が生まれてしまいます。そのような免許を安易に与えることは、許されることではないと考えます。</p> <p>今、YouTubeなどで、くくりわなにかかった動物を笑いながら殺し、解体する非常に残酷な動画が投稿されています。若い女性が、ブームのように、狩りガールと称して、鹿を解体したりして楽しんでいる所を投稿しているのです。そのような人たちは、日常の楽しみに自分の防寒用にうさぎを殴り殺して毛皮を剥いたりしているそうです。そのような風潮が広まるのを非常に危惧します。</p> | <p>狩猟免許試験や狩猟免許更新講習会等の機会を捉え、無用に動物を虐待するような行為は厳に慎むべきである旨を周知徹底していきます。</p>  | 無     |
| 4    | 18   | 21       | 第3章 管理計画<br>9 錯誤捕獲の低減                          | <p>くくりわなは、無差別に動物を捕まえ、脚を失う動物を生み出す残酷なわなですので許可しないで下さい、使用禁止猟具にして下さい。箱わなを設置し、麻酔をかけたのち山に返して下さい。</p>   | <p>東京都のシカの状況を勘案すると、くくりわなは有効な捕獲手法の一つであると考えています。</p> <p>くくりわなについては設置中の見回りを徹底するとともに、休止中の動作停止、わな径の確認、見回り時の痕跡確認などにより錯誤捕獲の予防に取り組みます。</p> <p>また、錯誤捕獲の発生に備え、対応方針や連絡、放獣体制の整備等、早急に実行可能な対策の検討を進め、取り組んでいきます。</p> | 無     |